

1999(平成11)年度

講 義 内 容

国 文 科
英 文 科
放 射 線 科
専攻科(放射線技術科学専攻)
仏 教 科

I 国文科・英文科・放射線科

講 義 內 容

目 次

I 国文科・英文科・放射線科

1	専 門 教 育 科 目		
	(1) 国 文 科	7	
	(2) 英 文 科	57	
	(3) 放 射 線 科	127	
2	他 学 部 履 修 科 目	181	
3	日 本 語 ・ 日 本 事 情 科 目	263	
4	教 職 ・ 資 格 講 座	279	

II 専 攻 科 (放射線技術科学専攻) ... 299

III 仏 教 科 (-夜間開講-)

1	専 門 教 育 科 目		
	2 他 学 部 履 修 科 目	335	
	3 仏 教 学 部 開 設 科 目	371	

国 文 科	専 門 教 育 科 目
	国 文 科
国 文 科	英 文 科
	放 射 線 科
国 文 科	他 学 部 履 修 科 目
	日 本 語 日 本 事 情 科 目
国 文 科	教 職 資 格 講 座
	放 射 線 技 術 科 学 専 攻
専 攻 科	専 門 教 育 科 目
	他 学 部 履 修 科 目
仏 教 科	(夜 間 開 講)
	他 学 部 履 修 科 目
仏 教 科	仏 教 学 部 開 設 科 目

1 專門教育科目

(1) 国 文 科

1 専門教育科目

(1) 国 文 科

古典文法(萩原義雄)	7
国語演習Ⅰ〔平成9年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕(片山晴賢)	9
国語演習Ⅰ〔平成9年度以前入学生：国文演習Ⅰ〕(萩原義雄)	10
国文演習Ⅰ(安藤幸輔)	11
国文演習Ⅰ(石割透)	11
国文演習Ⅰ(岡本恭子)	12
国文演習Ⅰ(小林治)	12
国文演習Ⅰ(坂口博規)	13
国文演習Ⅰ(佐原作美)	13
国文演習Ⅰ(鈴木裕子)	14
国文演習Ⅰ(清田啓子)	14
国文演習Ⅰ(藺部幹生)	15
国語演習Ⅱ〔平成9年度以降入学生適用：国文演習Ⅱ〕(片山晴賢)	15
国語演習Ⅱ〔平成9年度以前入学生適用：国文演習Ⅱ〕(萩原義雄)	16
国文演習Ⅱ(安藤幸輔)	17
国文演習Ⅱ(石割透)	17
国文演習Ⅱ(岡本恭子)	18
国文演習Ⅱ(小林治)	18
国文演習Ⅱ(坂口博規)	19
国文演習Ⅱ(佐原作美)	19
国文演習Ⅱ(鈴木裕子)	20
国文演習Ⅱ(清田啓子)	20
国文演習Ⅱ(藺部幹生)	21
上代文学史〔平成9年度以前入学生：国文学史Ⅰ〕(佐原作美)	21
中古文学史〔平成9年度以前入学生：国文学史Ⅰ〕(鈴木裕子)	22
中世文学史〔平成9年度以前入学生：国文学史Ⅰ〕(岡本恭子)	22
近世文学史〔平成9年度以前入学生：国文学史Ⅰ〕(清田啓子)	23
近代文学史〔平成9年度以前入学生：国文学史Ⅱ〕(笹瀬王子)	23
現代文学史〔平成9年度以前入学生：国文学史Ⅱ〕(小林治)	24
国文学概論(坂口博規)	24
国語学(奥原淳子)	25
中国文学講読(清水浩子)	25
上代文学講読〔平成9年度以前入学生：国文講読Ⅰ(上代)〕(佐原作美)	26
中古文学講読〔平成9年度以前入学生：国文講読Ⅱ(中古)〕(鈴木裕子)	26
中世文学講読〔平成9年度以前入学生：国文講読Ⅲ(中世)〕(藺部幹生)	27
近世文学講読〔平成9年度以前入学生：国文講読Ⅳ(近世)〕(菅野一雄)	27
近代文学講読〔平成9年度以前入学生：国文講読Ⅴ(近・現代)〕(石割透)	28
現代文学講読〔平成9年度以前入学生：国文講読Ⅴ(近・現代)〕(安藤幸輔)	28
原典講読(岡本恭子)	29
国語史(片山晴賢)	29
口語文法(奥原淳子)	30
中国文学史(清水浩子)	30
和歌文学(坂口博規)	31
物語文学Ⅰ(佐原作美)	31

物	語	文	学	II	(藺	部	幹	生)	32											
説	話	文	学	II	(藺	部	幹	生)	32											
日	記	文	学	学	(岡	本	恭	子)	33											
歴	史	文	学	学	(藺	本	幹	生)	33											
連	歌	・	俳	諧	(菅	野	一	雄)	34											
近	・	現	代	詩	(井	上		優)	35											
児	童	文	学	学	(吉	田	司	雄)	36											
古	典	戲	曲	演	劇	(清	田	啓	子)	36										
近	代	戲	曲	演	劇	(笹	瀬	王	子)	37										
比	較	文	学	入	門	(石	割		透)	37										
女	性	史	入	門	(高	嶋	めぐみ)		38											
文	芸	創	作	実	(安	藤	幸	輔)	38											
有	職	故	論	論	(大	塚	英	子)	39											
文	化	概	論	I	(佐	原	作	美	他6名)	40										
周	縁	芸	術	I	(小	林		治)	40											
周	縁	芸	術	II	(石	割		透)	41											
国	文	学	特	殊	研	究	(岡	本	恭	子・小	林	治・坂	口	博	規	・清	田	啓	子)	41
上	代	文	学	研	究	(川	上	順	子)	42										
中	古	文	学	研	究	(鈴	木	裕	子)	42										
中	世	文	学	研	究	(坂	口	博	規)	43										
近	世	文	学	研	究	(清	田	啓	子)	43										
近	・	現	代	文	学	研	究	(井	上	優)	44									
国	語	学	研	究	(片	山	晴	賢)	45											
書	道	実	習	I	(那	須	隆	吉)	45											
書	道	実	習	II	(那	須	隆	吉)	46											
情	報	処	理	(中	原			誠)	46											
応	用	情	報	処	理	(中	原		誠)	47										
表	現	法	(笹	瀬	王	子)	47													
編	集	実	務	(長	谷	川	孝)	48												
ジ	ャ	ナ	リ	ズ	ム	研	究	(箕	野	寿	雄)	48								
秘	書	概	論	(湯	浅	陽	子)	49												
秘	書	実	務	(森	本	正	恵)	50												
卒	業	研	究	I	(鈴	木	裕	子)	51											
卒	業	研	究	II	(石	割	透)	51												
卒	業	研	究	III	(片	山	晴	賢)	52											

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古 典 文 法	はぎ 秋 原 よし 義 雄	短 国 1 必	4

講義のねらい

古典文法の学習を進めていくこととなる。たとえていうならば、「湧きいつる乾坤の一滴の雫が山を下り、瀧・岩瀬の川を縦横無尽に流れ、逆巻く激流青どんぶらに身を委ねやがては広大な大海にたどり着く。まさに、「ことばの海」への旅立ちなのである。」ここで長期欠席者に対する最大の苦しみは、「淀み」にはまって時の流れのなかで意外と速度を誤ることにある。学習意識が薄れ、つまりさそうになったら、いつでもヘルプのサインを私に出すことである。こちらも、「溺れる子は藁にも縋る」ではないが、常に警告のカードと学習意識度を再認識する逆モードによる確認を促す意味で個々に質問対応する構えである。この科目での最大の学習はことばの理合であり、創造力と感性を豊かに育むことにある。まさに「継往開来」の精神を宿していきたい。悠優たることばの学びは、古典が現代の私たちに多様なことばの羅を教導する。この教導を実践することでことばの自己啓発が生まれてくることを自らの志で実感していただきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

名詞

和語名詞
漢語名詞
混種語名詞
数名詞
代名詞
固有名詞（人名・地名・歌名など）

動詞の分類

動詞の活用語尾からみた語の成分機能
単純和語動詞
複合動詞
サ変動詞 漢語サ変動詞と和語サ変動詞

形容詞と形容動詞

色彩感覚の形容表現
音調感覚の形容表現
量語形容表現

副詞

象徴語表現
呼応の副詞表現

感動詞

接続詞

助詞

助動詞

否定表現（「ず」と「ぬ」）
肯定表現
推量表現

敬意表現

句表現

文表現

文章表現

といった内容について、実際の作品データから該当語の表現を多く取り込み、検討を重ねていく。データ量の増大に伴いコンピュータ機器の使用が望ましいので、各自使用方法をマスターする意味からも情報センター室の機器利用を促進するとともに個人利用の高い運動機器などを含めた使用方法についても十二分に検討する。

[年間講義スケジュール表とその講義内容題目]

- 4月～5月連休前 ①コンピュータ機器利用による文法学習とは、どのようなものか？
②実際体験学習（インターネットの利用方法とその恣意性・思考性を探る）
- 5月中旬 ③テキストデータへの挑戦！
④データの仕組みを文法的に理解してみよう
- 5月下旬 ⑤ネーミングということばの成立過程と断続性とその展開性について
- 6月 ⑥ことばの仕組み（逆引き検索による上接語と下接語の関係について）
- 7月 ⑦形容表現
⑧象徴語表現
- 〈夏休み〉 ⑨電子メールで、故郷・旅先などの各地に伝わる和歌・連歌・俳諧語の文

- 9月下旬 構造を楽しんでみよう。
- 10月 ⑩感動表現
⑪接続語の利用度合いについて
⑫助詞について (係助詞による文末表現)
⑬助詞「は」と「が」
⑭副助詞・終助詞・格助詞・接続助詞
- 11月 ⑮助動詞について
- 12月 ⑯敬意表現 (複助動詞)
⑰句表現 (慣用句によることばの言いまわし)
- <冬休み> ⑱レポート提出
主題目「古典作品資料『○○』による○○」について
- 1月 ⑲レポートがうまく書けない人のためにワンポイントアドバイス

教科書

講義に使用する古典作品資料について

- 竹取物語 (FD 版)
- 伊勢物語 (歌物語 FD 版)
- 大和物語 (歌物語 FD 版)
- 平中物語 (歌物語 FD 版)
- 源氏物語 (渋谷栄一さん作成・公開資料)
- 今昔物語集 (鈴鹿本京都大学付属図書館公開資料)
- 宇治拾遺物語 (私家版・情報言語研究室公開資料)
- 大鏡 (目下作成中)
- 平家物語 (目下作成中)
- 徒然草 (私家版烏丸本)
- 選集抄 (私家版松平文庫本・情報言語研究室公開資料)
- 仮名書き法華経 (私家版西来寺本・FD 版)
- 正法眼蔵 (私家版乾坤本・FD 版)
- 吾妻鏡 (目下作成中)
- 太平記 (CD-ROM 版)

上記、古典作品資料データベース・テキスト版を使用する。使用に際しては、適宜ファイルデータ資料を管理するうえで、容量に応じた各10枚程 (500円ぐらい) のFDを各自が用意されたい。

その他

PC 機器利用による電子教科書 (4月の①でFD購入配布。業者依託による。) を使用するため、常に進行表に従い、各自が講義内容項目の箇所を紙出して講義に臨みたい。もしくはPC機器の持ち込みによる対応でも良い。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習 I	かた 片 やま 山 はる 晴 かた 賢	H10以降入学生/短国1 選必	2
国文演習 I		H9以前入学生/短国1 必	

講義のねらい

国語学研究の基礎的な知識を養うことに主眼をおき、中世の資料を中心に検討していく。

講義の内容・
授業スケジュール

それぞれ、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自からの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

参考書等

授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語演習 I	はぎ 原 義 雄 萩 原 義 雄	H10以降入学生/短国1 選必	2
国文演習 I		H9以前入学生/短国1 必	

講義のねらい

明治時代の国語辞書である大槻文彦編『大言海』を読んでいく。読むというより、どのようなことばが収録されていて、どのように意味解説され、用例をどのように掲載しているのかを考察していくのである。この近代国語辞書を繙くとき、常に考えておきたいことは、近代から現代へと変遷する時代の流れのなかで古語と新語そして常語という多くのことばがどう生かされてきたのか文学資料・新聞、雑誌記事そして現代の国語辞書などへの影響をも見ていくことにある。ことばを常に意識していくことで、現実をもっともっと具現化できるに違いない。時には頭上高く舞い上がる鳥の目で見、ときには、地を這うような蟻の目で物事を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 編纂者大槻文彦と周囲の人々について
 - ② 辞書編纂における意図するところとは
 - ③ 辞書の凡例内容を分析する
 - ④ 見出し語項目別によることばの数量的統計化について
 - ⑤ 意義分類項目別によるおのおのことばの意味記述の特徴について
 - ⑥ 逆引きによることばの理解とその検索方法
 - ⑦ 品詞別項目によることばの意味理解とコード化分類
 - ⑧ シソーラス形式による類義語の効用
 - ⑨ 異名・別名・別称の記述の有無
 - ⑩ ことばの語源探求は、如何に解明されてきているか？
 - ⑪ 引用用例と典拠とした書籍について
 - ⑫ 『大言海』引用の研究論文資料の確認
- 以上、12項目について検討を重ねていく。

[検討作業にともなう計画表案]

- 4月 受講手続き確認
 5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り
 本格的に作業確立のための資料準備
 分析「ことば」に基づく旅立ち調査とその方法
 〈夏休みを大いに利用しよう〉
 9月下旬 調査結果の報告書の作成
 10月以降 結果報告を公開発表
 1月 評価決定

成績評価の方法

月毎に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえる形で提出発表していく。個人が分析することばの数を100語として、一語ずつ評価する。

教科書

私家版『大言海』〈情報言語学研究室“テキストデータ”にて公開中。FD 4枚程度 URL <http://komazawa.com/hagi>〉を使用する。

参考書等

大槻文彦『大言海』初版から現代版まで(富山房)他国語辞書。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 I	あん どう こう すけ 安 藤 幸 輔	H10以降入学生/短国1選必	2
		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

近代日本文学の代表的作家と作品を対象とし、作品を正しく、深く読む方法を身につけるようにする。すなわち、作品をまず自分で読み、次に先覚者の考え方も参考にして、最後に真の作品の主題、表現、構成について理解するようにする。漱石、一葉、康成、潤一郎など17人の作品（前期）直哉、犀星、かの子、芙美子を中心とする。（後期）

 講義の内容・
授業スケジュール

各自が研究したものを発表し、適宜に質疑応答をする形をとる。
発表者は、あらかじめ指定された方式による発表内容をコピーによって全員に配布する。

履修上の留意点

レポート、発表によって評価する。
出席を重視する。発表者以外の者も発言を求める。

教 科 書

『近代の短篇小説』（菁柿堂）1,545円ほか

参 考 書 等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 I	いし わり とおる 石 割 透	H10以降入学生/短国1選必	2
		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

太宰治の小説を細かく読み検討していく。

 講義の内容・
授業スケジュール

それぞれ、時間ごとに発表者を決め、その発表に基づいて授業を進めていく。

履修上の留意点

受講者は、発表者に限らず、必ず扱う作品を細かく読んで授業に臨むこと。

成績評価の方法

評価は、それぞれの発表と、それを更に深めた内容にまとめあげたレポートによって、主として行なう。

教 科 書

太宰治『晩年』『津軽』『走れメロス』『お伽草紙』『二十世紀旗手』（以上、新潮文庫）など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習 I	おがもとゆきこ 岡本恭子	H10以降入学生/短国1選必	2
		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

京都下鴨神社の神職の家に生を受けた「鴨長明」が、その出自に対応する生き方をせずに、晩年は出家者となり、さらに世を背き、いわゆる隠遁者としての生き方を選んだ。その長明にはいろんな逸話があるが、長明が生きた“あかし”として残した作品の一つに『方丈記』がある。その他の作品に『鴨長明集』、『無名抄』、『発心集』があるが、特に後者の二作品は成立年代が明らかではない。

ここでは『方丈記』を教材として用いるが、次の二点に要約する問題点を勉強する上で、『方丈記』のみで処することはできないはずである。そのテーマとする問題とは、

- ① 長明と文筆活動について
 - ② 長明の求道とは何か
- の二点をあげる。

講義の内容・授業スケジュール

上記に示した問題点をかまえて、分担者が発表するという授業形態をとる。「演習」という授業科目は、大学生として真に実力のつく科目であるので、大いに力を発揮してもらいたいと考える。

履修上の留意点

『方丈記』に関する研究図書は多いので発表者は扱いやすいかも知れない。しかし、それらをいかに取舍選択できるかによって、発表の中身が異なるのは言うまでもない。何よりも大事なことは、自分の中で完全消化をすることである。

成績評価の方法

授業時の発表のみ

教科書

鈴木知太郎著『校注方丈記・徒然草』（笠間書院）1,200円

参考書等

授業の中で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習 I	こばやしおさむ 小林 治	H10以降入学生/短国1選必	2
		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

宮澤賢治の散文作品、および野間宏、安部公房の初期短編小説を読み、作家について調査することを通じて、個々の作家における思想と実践（行動）と作品の関係の様相、ならびにそれぞれが抱えこんでいる問題点について考える。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導、助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望制によって決定する。

履修上の留意点

受講者は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告書にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどりつきたいとは考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問していただきたい。年間を通じて文学研究に必要な基本的手続きとその意義を知ることが当演習の目的である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習 I	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	H10以降入学生/短国1選必	2
		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

軍記物語の雄『平家物語』を流布本において読む。『平家物語』は語り本系と読み本系に大別される諸伝本があり、各伝本によって記述内容に異同があり、その点も確認しながら平家一門の滅亡の物語を読み進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

物語の主題である「盛者必衰」に即して、『平家物語』の三主人公と言うべき平清盛・木曾義仲・源義経の栄光と没落の落差に「無常」の文学性を考えるが、授業としては主に清盛の滅亡の因たる悪業を、鹿谷事件の顛末・女人哀話とされる「祇王」「小督」の話・福原遷都をめぐる話に見て、結果としての非業の死まで読みたい。後半に義仲と義経の悲劇について考えたい。

履修上の留意点

作品の読解を中心として進めるが、『平家物語』全体を通読することは叶わないので、受講生は出来るだけ授業で触れない物語部分についても読んで欲しい。報告者のみならず受講者全体で作品を味わってもらうように、折々課題を与える。

成績評価の方法

定期試験は行わず、各報告者のレポート等の内容、及び出席状況を加味して評価する。

教科書

野村宗朔編『昭和校訂平家物語』（武蔵野書院）1,529円

参考書等

授業にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習 I	さ ほう さく み 佐 原 作 美	H10以降入学生/短国1選必	2
		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

『古事記』や『風土記』あるいは『日本霊異記』などの中から、広く知られ親しまれて来た神話や説話などの伝承文学を読みながら、それらに含まれる諸問題について考察を加えていきたい。古代人と現代人とをつなぐ心のありようをも探っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習は受講生による自主的な調査やその口頭による発表をもとに進められるものである。したがって、受講生に分担割当てを課してその発表を中心に質疑応答をまじえながら進めていく。出来るだけ多くの作品にふれられるようにしたい。

履修上の留意点

科目の性格上、受講生による調査研究の発表によって授業を展開することになるので受講生の積極的で意欲的な姿勢が望まれる。作品を通り一遍の理解に終らせるのではなく地道に、根気よく読み進めることが大切なのでその点を理解した上で授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

成績は平常の授業の発表やレポートあるいは出席状況などをもとに評価する。

教科書

『日本説話文学』（おうふう）1,800円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習 I	すずき 鈴木 ひろこ 裕子	H10以降入学生/短国1 選必 H9以前入学生/短国1 必	2

講義のねらい

この演習の目的は、主として三つあります。まず、古典文学に親しむこと。次に、文芸研究の方法の基礎を学ぶこと、そして、各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

平安時代の歌物語『伊勢物語』を、影印本で読みます。変体仮名の読み方や、古典の文章を理解することに慣れましょう。また、和歌が人々の人生に於いてどのような機能を果たすものかを考えながら、当時の社会や人々の生活への関心を深めましょう。

履修上の留意点

授業は、受講者の分担報告を中心として進めますので、担当者がいかに熱意をもって作品を深く読み、多角的に調査し、考察してきたかにより、授業の水準が決まることは言うまでもありません。担当者の発表で授業がおもしろくもつまらなくもなりますから、十分に準備しておくこと。が、それだけではなく、受講生全員にも、発表を受け身で聞き流しているだけではなく、質問・意見などを活発に発言するよう、積極的な授業参加の姿勢を強く望みます。

成績評価の方法

学年末にレポートを提出してもらい、その内容を中心に、授業中の発表や発言、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

『天福本伊勢物語(完本)』(武蔵野書院)、『変体仮名の手引き』(武蔵野書院)

参考書等

授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習 I	せいだ 清田 けいこ 啓子	H10以降入学生/短国1 選必 H9以前入学生/短国1 必	2

講義のねらい

演習は、研究方法を実習する科目であるので、参加する学生の研究・調査とその発表がこの時間の中心になる。

講義の内容・授業スケジュール

今年度の演習材料として、井原西鶴の『世間胸算用』をとりあげる。初めに、西鶴の生涯と業績を通観し、以後、この作品の各章を受講者に分担して研究してもらう。そして、その成果を発表してもらうが、それについての検討には全員が参加することになる。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、出席すること、論議に加わることが最重要となる。積極的に発言すること、他の意見を充分聞きとる姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席状況(三分の一以上の欠席は〈不可〉となる)及び、発表の研究内容、折々の宿題や夏期レポート等によって評価する。定期試験は行わない。

教科書

富士昭雄編『世間胸算用』(明治書院) 1,400円

参考書等

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅰ	その べ みき お 園 部 幹 生	H10以降入学生/短国1選必	2
		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

国文学研究の基本的な方法を実践的に獲得することを目標とする。今年度は、中世を代表する歌人である藤原定家の異父兄に当たる隆信の私家集『隆信集』をとりあげる。担当歌の正確な解釈は勿論のこと、国歌大観を用いて用例を検索したり、歌語の文学史的な位置づけを考えたりすることを通して、自分で研究が出来るような基礎作業を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習形式で、各人が年間に二首の和歌を担当して発表を行うが、追加や訂正のための発表も数えられ、年間に十回程度の発表回数になる。また、授業時間外に研究方法や内容についての個別ディスカッションを行い、より完成度の高い研究成果があげられるように努力する。

履修上の留意点

用例の検索や分析、また、発表のための資料作りなどには、相当な時間を要するので、この科目を履修するには、それだけの覚悟が必要となる。また、担当教員と対等に意見交換をするくらいの気構えも欲しい。

成績評価の方法

発表内容によって60点分の評価を下し、他の受講生の発表に対する意見・質問によって40点分の評価を下す。また、必要に応じてレポート提出を求めることもあるが、追再試験を含む定期試験は一切行わない。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習Ⅱ	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	H10以降入学生/短国1選必	2
国文演習Ⅱ		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

1年次に修得した国語国文学研究法をさらに発展させるために、各自が好む題材を選び研究を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

国語資料をもとに、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自からの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教科書

必要に応じてコピーを配付する。

参考書等

授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習Ⅱ	はぎ 原 よし 雄 萩 原 義 雄	H10以降入学生/短国2選必	2
国文演習Ⅱ		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

鎌倉時代に成る百科辞書『塵袋』を読む。この書の書写者印融上人は、神奈川県横浜市に縁ある関東輩出の高野山の学僧である。この資料は現在、上野国立博物館の所蔵するところであり、昨年印融上人展が、横浜市歴史資料館で催された折にも公開展示されている。現存する唯一の古写完本である。しかし、時を隔てず数十年の間に、高野山の他学僧による書写本(零本)などが知られていることもあり、原本『塵袋』の存在を窺わず根拠に成っている。この書の成立問題について、本文記載内容から考察して、以下の課題項目について言及してみることも必要であり、多くの時代性豊かなことばについて考えてみるのも妙趣を感じないではない。古人の知的関心度とは、如何なる物事であり、これを読み解くことで、受講者お一人おひとりにして、何か人生の糧となることを期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 『塵袋』という百科辞書をみんなでもっと知ろう。
- ② 書写者、印融上人って、どんな人?
- ③ 項目内容の目次作成って、どういう作業なの?
- ④ ことばの索引は、なぜ近代まで作成されなかったの?
- ⑤ 書写表記する文字に、なぜカタカナと漢字が使用されているの?
- ⑥ 問答体による記述方法って、質問応答する人物は複数なの?
- ⑦ 鎌倉時代の知識者というのは、この内容をどう受容していったの?
- ⑧ この資料の公開理会の度合いは、どの程度なの?
- ⑨ この書籍を見た人って、どのような身分階層人なの?
- ⑩ この書籍に引用されている内外の典籍って、どこからどのように入手し、その内容をどの程度で抄録したの?
- ⑪ この書籍の文章を音読するとき、どう読むの?
- ⑫ 読めない文字漢字って、どんな漢字?筆法は?
- ⑬ 特徴のある古語・古句って、どんなふうに使っているの?
- ⑭ 回答内容は、当代にあって蘊蓄のある解釈表現からなっているの?
- ⑮ この辞書を編集するに、どの程度の年月をかけて着想してなったの?
- ⑯ 後世、この書籍がどのように影響を及ぼしているの?
- ⑰ この書籍と発想を同じくする内容の書籍は、他に知られていないの?
- ⑱ 現代人の目からみて、どんな事柄が役立つの?
- ⑲ 現代語訳するとしたら、どんなふうに表示できるの?
- ⑳ この内容を一枚の絵として仕上げることができるのかな……?

[検討作業にともなう計画表案]

- 4月 受講手続き確認
- 5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り
本格的に作業確立のための資料準備
分析「ことば」に基づく調査とその方法
(夏休みに展示資料館を見に行こう)
- 9月下旬 調査結果の報告書の作成
- 10月以降 結果報告を公開発表
- 1月 評価決定

成績評価の方法

月毎に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえた上で、提出発表していく。個人が年間分析する事柄の数を35問答として、一問答ずつを単位として評価する。

教科書

私家版『塵袋』〈情報言語学研究室「テキストデータ」にて公開予定。FD 2枚程度 URL <http://komazawa.com/hagi>〉を使用する。

参考書等

- 山崎 誠編『塵袋の研究』(勉誠社)。
- 佐竹昭広編『塵袋抄』(臨川書店)。
- 原装影印版 増補 古辞書叢刊『塵袋抄』(大東急記念文庫蔵・雄松堂出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	あん どう こう すけ 安 藤 幸 輔	H10以降入学生/短国2選必	2
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

近代日本文学の代表的作家と作品を対象とし、作品を正しく、深く読む方法を身につけるようにする。すなわち、作品をまず自分で読み、次に先覚の考えかたをも参考にし、最後に真の作品の主題、表現、構成について理解するようにする。

 講義の内容・
授業スケジュール

各自が研究したものを発表し、適宜に質疑応答をする形をとる。
発表者は、発表する内容を定められた方式によってコピーして全員に配布する。

履修上の留意点

レポート、発表によって評価する。
出席を重視する。発表者以外の者の発言を求める。

教科書

『昭和の短篇小説』（菁柿堂）1,545円
希望する作家の作品（直哉、治、康成、由紀夫など）を題材とする方法をとる。（後期）

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	いし わり とおる 石 割 透	H10以降入学生/短国2選必	2
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

谷崎潤一郎の、代表的な小説を細かく読み、検討していく。この時間では主として谷崎の昭和期の作品を中心に扱いたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

それぞれ、時間ごとに発表者を決め、その発表に基づいて授業を進めていく。

履修上の留意点

受講者は、発表者に限らず、扱う作品を必ず緻密に読みこんで授業に臨むこと。

成績評価の方法

年度2～3回のそれぞれの発表と、その発表の内容を更に深めた勉強の成果を反映したレポートによって評価する。

教科書

『蓼喰ふ虫』『春琴抄』『吉野葛・盲目物語』『細雪(上・中・下)』『猫と庄造と二人のをんな』(以上、新潮文庫)など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	おがもと ゆきこ 岡本恭子	H10以降入学生/短国2選必	2
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

『徒然草』作者を「吉田兼好」と呼んでいるが、こうした呼称は江戸時代になってからのものであるから、もし姓を付して呼ぶとすれば「卜部兼好」と言うべきであろう。その兼好が通世した時期や原因については明確でない。兼好は、『徒然草』の中では冗舌であるが、自身の出家に関しては沈黙する。そのせいか、時代を越えて、個人の今、という立場によって、つまり作品に対する接近の仕方によって、いろんな相貌を見せるのである。ゆえに、ある時は叱咤される、あるときは生きる指針を与えてくれる書であるという如く感じているのが『徒然草』である。
 たくさんの未来をもつ学生たちに、生きることの意味を、またどのようなヒントを与えられるか、それが楽しみである。

講義の内容・授業スケジュール

分担者による発表の場が設けられるということは、大学生として真に力つける場である。最終学年として、あるいは次のステップとなるように、手を抜かず勉強してほしい。

履修上の留意点

『徒然草』に関する研究図書は多いので、発表者は取り扱いやすいかも知れない。しかし、自分の発表する主題に添っての取捨選択は、自分の中でかなり消化していないとむづかしい。

成績評価の方法

授業時の発表のみ

教科書

鈴木知太郎著『校註方丈記・徒然草』（笠間書院）1,200円

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	こはやし おさむ 小林 治	H10以降入学生/短国2選必	2
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

安部公房、島尾敏雄、小島信夫、深沢七郎、加賀乙彦、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の作品、あるいは上野英信などによるルポルタージュ文学作品を読み、戦後の日本文学の可能性と限界について考える。演習Ⅰからの積み重ねの科目として、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考えることを意識しながら、作品に向かってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導・助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望制によって決定する。

履修上の留意点

受講生は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどり着ければとは考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	H10以降入学生/短国2選必	2
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

鎌倉時代後期、後深草上皇の後宮に生きた二条という女性の回想の記『とはずがたり』を読む。上皇の寵愛を受けながら、同時に作中「雪の曙」と称される藤原(西園寺)実兼と、「有明の月」と称される上皇の弟仁和寺御室性助法親王の二人の男性から愛され交渉を持つ。当時の宮廷貴族社会の頹廢的な風潮の中に生きた作者の、その赤裸々な愛欲遍歴の大胆な告白の記は、古典文学においては他に例を見ない作品である。その告白は、後に西行法師を理想に仰ぎ出家した作者が、真摯な求道心をもって諸国修行の旅を重ね、自己の前半生の贖罪の体験を通して得たところの愛欲の苦悩を超克した告白だと理解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では三人の男性との交渉を中心として読み進める。女性の手になる回想の記として、本作品は日記文学のジャンルに入る。これは紀行文学・随筆文学等と共に「自照文学」と称される。自照(自己、その人生を観照する)の精神は、平安王朝時代の女流文学の伝統に立つものだが、自ずと本作品が生まれた中世という時代の特徴が指摘され、また作者固有の感性・闊達な自在の精神が考えられ、まず女性の手になる文学の歴史を概観し導入としたい。テキストは口語訳も補われておりその読解は主に作者の心理の読みなどを中心に進めたい。受講者に作品を分担して、その点について各自の読みを問う。

履修上の留意点

演習につき各担当者の発表内容を中心として評価する。特に出席重視。

教科書

福田秀一校注『とはずがたり』(新潮社)2,270円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	さ くら たく み 佐 原 作 美	H10以降入学生/短国2選必	2
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

平安朝の前期に成立し、わが国の仏教説話集の祖とされる『日本霊異記』をもとに演習を行う。この作品は、上中下巻の三巻に116の説話を収めたものであるが、その思想的主張は序文に見られるように、仏教思想とくに因果応報の思想をもとにしての教化善導にあると言える。当時の一般庶民が何に苦しみ悩み、何に光明を見出そうとしていたかなど、古代社会にあってその底辺にあった人々の心情や思想行動がよく描写されている。作品の読解をもとに、当時の社会状況や人々の心性を見ていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

科目の性格上、受講生による調査の発表を中心に進めることになる。具体的には、上中下の各巻ごとに、受講生が任意に担当する説話を選び、その調査をもとに口頭による発表とそれへの質疑応答をまじえながら授業を展開していきたい。

履修上の留意点

演習授業という点からどうしても受講生の発表が中心となるが、単に説話の内容やあらすじを知るだけに終らせず、作品や登場人物の背景となっている社会的時代的な状況をも視野に入れて、より多角的に理解を深めることが必要である。作中人物を追体験する程の気概を持ってのぞんでほしい。

成績評価の方法

成績は授業時の発表やレポートや出席状況などを見て評価する。

教科書

新潮日本古典集成『日本霊異記』(新潮社)2,200円

参考書等

授業の折に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	すずき 鈴木 裕子	H10以降入学生/短国2選必	2
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

今から千年ほど昔、平安時代の日本では、女性たちによって数多の物語作品や日記文学などが書かれました。そのなかでも『枕草子』は特異な作品と言えるかも知れません。『源氏物語』など他の作品と比較しながら『枕草子』を精読し、文学的位置について考えてみましょう。
もちろん、この授業が、前年度から引き続き、受講生各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練の場であるということは言うまでもありません。

講義の内容・授業スケジュール

『枕草子』の日記的章段、随想的章段を中心に読みますが、適宜、類聚的章段をも扱います。合わせてその周辺の資料をも読み、より深く作品と歴史的背景について考察したいと思います。

履修上の留意点

授業は、受講者の分担報告を中心として進めますので、担当者がいかに熱意をもって作品を深く読み、多角的に調査し、考察してきたかにより、授業の水準が決まることは言うまでもありません。担当者の発表で授業がおもしろくもつまらなくもなりますから、十分に準備しておくこと。が、それだけではなく、受講生全員にも、発表を受け身で聞き流しているだけではなく、質問・意見などを活発に発言するよう、積極的な授業参加の姿勢を強く望みます。

成績評価の方法

学年末にレポートを提出してもらい、その内容を中心に、授業中の発表や発言、出席状況（授業に欠席・遅刻しないことが前提）などの平常点を加味して評価します。

教科書

石田穰二訳注『枕草子』上・下（角川文庫）その他プリント教材

参考書等

授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	せいだ 清田 啓子	H10以降入学生/短国2選必	2
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

一年次で習得した国文学研究方法を、さらに発展させ、同じ素材を別の作者・異なるジャンルで扱うとどのような作品になるか、比較しながらそれぞれの作品を評価していくという方法を試みたい。とりあえずは、西鶴と近松との作品で検討するが、その後の材料は参加者が自由に選んでかまわない。

講義の内容・授業スケジュール

西鶴の『好色五人女』・近松の世話浮瑠璃にとり上げられた[おなつ清十郎及びおさん茂兵衛]について論じてもらい、その後は参加者の提出する材料を全員で検討していきたい。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、出席すること、論議に加わることが最重要になる。発表担当者の準備は当然だが、それをよく聞きとり、自分の意見を積極的に述べる姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席状況（三分の一以上の欠席は〈不可〉となる）及び、発表の内容、折々の宿題や夏期レポート等による。定期試験は行わない。

教科書

松崎仁・白石悌三編『西鶴と近松』（和泉書院）1,470円

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	そのべみきお生 園部幹生	H10以降入学生/短国2選必	2
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

国文学研究の方法を実践的に獲得することを目標とする。今年度は、中世を代表する文学ジャンルである説話をとりあげる。各自が好きな題材とテーマを選び、一年かけてその説話を研究する。完成度の高い研究を求める。

講義の内容・授業スケジュール

演習形式で、各人が選んだ題材について年間に四段階に分けて発表を行うが、追加や訂正のための発表も数えると、年間に十回程度の発表回数になる。また、授業時間外に研究方法や内容についての個別ディスカッションを行い、より完成度の高い研究成果があげられるように努力する。

履修上の留意点

同類話の比較や歴史的資料の検索、また、発表のための資料作りなどは、相当な時間を要するので、この科目を履修するには、それだけの覚悟が必要となる。また、担当教員と対等に意見交換をするくらいの気構えも欲しい。

成績評価の方法

発表内容によって60点分の評価を下し、他の受講生の発表に対する意見・質問によって30点分の評価を下す。それ以上の成績を得たい場合はレポートを提出する。それ以外の場合でも、必要に応じてレポート提出を求めることもあるが、追再試験を含む定期試験は一切行わない。

教科書

なし。

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学史	さほらさくみ 佐原作美	短国1・2選	4
国文学史Ⅰ		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

無文字時代の文学のありようから、文字を得て記録され、今日にまで継承されて来た飛鳥奈良時代の文学作品を中心に上代文学の流れを、史的背景をふまえながら考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話を豊富に含む古事記や日本書記や風土記などの散文文学をはじめ、万葉集などの韻文文学など、それぞれの作品の一端にふれながら、上代文学のおもしろさを発掘していきたい。

履修上の留意点

教科書に載っている例文や、配布されるであろうプリントの他に、上記の作品を積極的に読んで欲しいと思う。

成績評価の方法

課題のレポートや定期試験その他出席状況などを見て評価する。

教科書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』(新典社) 927円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学史	すずき 木ひろこ 鈴木裕子	短国1・2選	4
国文学史 I		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

平安時代の作品を中心に、特に女性による文学の流れを通観し、それが日本の文学史においてどのような位置を占め、どのような意味を有するか考察します。

講義の内容・授業スケジュール

古典文学の担い手として重要な役割を果たした女性の文学作品に触れることで、時代の思潮を理解し、古典文学に親しむ契機となり得るように、実際の作品をできるだけ読んでいくつもりです。変体仮名を読む機会も設けます。

履修上の留意点

授業は、教科書の他にプリント教材を配布し、それらを用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、適宜、受講生に短い発表を課します。その他積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます。(前期一回、後期一回) その他、授業中の発表、小テスト、出席状態などの平常点を加味して総合的に評価します。

教科書

青木生子他編『女流の文学』(新典社) その他プリント教材

参考書等

授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学史	おかもと ゆきこ 岡本恭子	短国1・2選	4
国文学史 I		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

日本文学とは何か。それを説明する方法の一つに文学史がある。これは日本文学の全体を歴史的展開の軌道に乗せながら、作品・作者・思想などを考えもので、日本文学の全貌を理解する有力な方法の一つである。

ここでは中世期という範囲を設けてはいるが、いうまでもなく前時代の、そして次代への影響についても考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 和歌伝統の回復と衰退について
- ② 新しい詩の創造(連歌)について
- ③ 擬古物語と歴史物語について
- ④ 短篇小説への移行について
- ⑤ 説話集の盛行について
- ⑥ 禅僧たちの文学について
- ⑦ 叙事詩文学世界の展開(軍記もの)について
- ⑧ 自照文学について
- ⑨ 芸能と文学について

履修上の留意点

教科書を用いないが、プリントにて参考資料を配布する。ただし、これはあくまでも「参考資料」であって、主たる資料とはならないので、個々で調べて勉強しなければならない。

成績評価の方法

前期、後期に分けて行う予定であるが、授業の状態によって変更する。また出席状況も評価点に加味する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学史	せい だ けい こ 清 田 啓 子	短国1・2選	4
国文学史 I		H9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

近世(江戸時代)の文学の流れを通観する。江戸時代は、庶民が力を発揮できた時代であると同時に、政治的束縛も各分野に及ぼされた。そのような中で、文学を志した人々のあり方はどんなものであったか、どういう作品が生み出されたかを探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書とする『近世文学史』には、作品もかなり掲載されているので、なるべく丁寧にその意義を見きわめつつ、近世初期から末期までの変遷を辿ることになる。

履修上の留意点

文学とは何か、を、常に念頭においてほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、夏期リポート、折々の提出物等による。

教科書

佐藤毅他編『近世文学史』(双文社出版)1,800円

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学史	ささ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	4
国文学史 II		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

日本の近代は、江戸から明治へと改元された時から始まるとされる。文学の世界も同様である。旧来の文学を一新し、近代文学としての歩みを始め、自立し、その独自性を発揮するまでの道程を知り、確認することは文学研究の上からばかりでなく、今を生きる私達現代人にとっても自ら〈近代〉を問う意味で、有意義となる。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、明治開化期の文学の考察に始まり、以降は時代の流れに沿って、文芸思潮を中心にその時々の文学運動を山看しながら個々の作品の歴史的な意味について考えていく。

履修上の留意点

講義の性格上、ともしれば、作品名の羅列になりがちであるが、可能な限り数多くの作品に直接ふれるようにしたい。従って、受講者は知識として作品名を覚えればよいというのではなく、あらかじめそれらの作品を自主的に読み、考える姿勢をもって講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

前後期末に実施する試験、任意リポート、受講態度等を総合的に評価する。

教科書

岡保生・大久保典夫編『現代日本文学史』(おうふう)1,500円
他、講義中に配布するプリント。

参考書等

講義の際、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学史	こ ぼやし おさむ 小 林 治	短国1・2選	4
国文学史Ⅱ		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

現代日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。現代の起点を関東大震災のあった大正12(1923)年前後に置き、以降、昭和の終り(1988)まで見ていくことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

期は総編と昭和20年の敗戦までを、後期にそれ以後を取り上げる予定。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しくふれる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

三好行雄編『近代文学史必携』(学燈社-別冊国文学-) 1,000円

参考書等

『時代別日本文学史事典(現代編)』(東京堂出版) 6,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学概論	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	H10以降入学生/短国1・2選 H9以前入学生/短国2必	4

講義のねらい

日本文学は原始より長い歴史をもち、政治や社会や風土と深くかわりながら、複雑多様で豊かな展開を示してきた。個々の作品や作家を考える上で、そうした日本文学がいかなる背景のもとで生成したのかを理解することは大切なことである。日本文学の本質をきわめ、その諸相を十分に把握することで作品・作家の抱えた諸問題への深い関心が喚起される。即ち、日本文学を研究する上で様々な視点があることを知り、問題意識を持つ必要があるからである。文学作品を研究するには客観的立場に立って「論証」することが要求され、単に個人の主観的印象や価値判断を与えるものではない。日本文学とはいかなるものか、日本文学研究とはいかなるものかを考えるのが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

日本文学について、各ジャンルの様相・文学理念・風土との関係・時代や社会とのつながり等を中心に概観する。講座名に「国文学概論」となっていて、今「日本文学」という語を用いているが、学術体系の名称として、この「国文学」と「日本文学」という用語をめぐって論争の時期もあった。まずその問題から説き始めて、以下テキストを読み進めることを中心に、主に文学理念を考えてゆく。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

教科書

阿部正路・上坂信男・神作光一・寺本直彦編著『日本文学概論』(右文書院刊) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	おくはらじゆんこ 奥原淳子	H10以降入学生/短国1・2選	4
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。
私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声/音韻・文字・語彙の各方面から概説します。
なお、概要は次の通りです。

- ・音声/音韻：どの器官を使って声をだしているのか
どのように声を作っているのか
音声をどのように表記するのか
アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・かたかな・ローマ字の成立と変遷
仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果/授業態度/課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著、『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学講読	しみずひろこ 清水浩子	H10以降入学生/短国1・2選	4
		H9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

『唐宋八家文』、『白氏文集』、唐詩を学ぶことによって漢文に親しみ、中国の文学への理解を深め、平安文学への影響を考える。

成績評価の方法

年間数回の試験と授業中の発言によって判定を行う。

教科書

中村璋八編『中国思想文学通史』（明治書院）及びプリント

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学講読	さ 佐 原 作 美	短国1・2選	4
国文講読Ⅰ(上代)		H9以前入学生/短国1・2選必	

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝(629-641)の頃から奈良朝の天平宝字3年(759)までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人で個性豊かな、山上憶良等の和歌を中心に講読していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

レポートや出席状況をもって評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう(桜楓社)1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学講読	す ず 鈴 木 裕 子	短国1・2選	4
国文講読Ⅱ(中古)		H9以前入学生/短国1・2選必	

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者の一人一人に答を見付けてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

今年は、初音の巻から読みます。完成した六条院に玉鬘を迎え、いよいよはなやかに我が世の春を誇る光源氏。いわゆる玉鬘十帖の構造や意味についても理解を深めていきたいと思います。

履修上の留意点

授業は、テキストを用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます。(前期一回、後期一回)その他、授業中に適宜レポート等を課し、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

『源氏物語四』新潮日本古典集成(新潮社)

参考書等

秋山虔・宝伏信助編『源氏物語必携事典』(角川書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学講読 国文講読Ⅲ(中世)	その 園 部 幹 生	短国1・2選 H9以前入学生/短国1・2選必	4

講義のねらい

中世文学の中から、本年度は『御伽草子』をとりあげる。『御伽草子』は、「一寸法師」「浦島太郎」「物くさ太郎」「鉢かづき」「酒呑童子」その他(狭義では二十三編)のたいへんによく親しまれた作品群であるが、古典の原文を読むことで、幼い頃に親しんだ御伽話とはまた異なる作品世界を味わいたい。作品それ自体が持つおもしろさを堪能することも講座のねらいではあるが、加えて、それ以前の古典作品とは質的に変貌してきた中世文学のあり方や享受の問題について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前後期を通して、『御伽草子』の中の作品を出来るだけ多く講読する。

履修上の留意点

毎時間、その日の講義内容に対する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限に提出する意見文によって50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う(試験はテキスト・ノート・辞書・参考書等何でも持ち込み参照可)。なお、追再試験はレポート提出とするが、これについては1月の授業時間内に指示するので、必ず出席すること。

教科書

白田甚五郎・藤島秀隆・岡田啓助・成田守編『御伽草子』(おうふう)1,849円

参考書等

必要に応じて時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学講読 国文講読Ⅳ(近世)	かん 菅 野 かず お 雄	短国1・2選 H9以前入学生/短国1・2選必	4

講義のねらい

現在の劇場で上演される「文楽」は、「浄瑠璃」演奏による人形芝居で、世界の人形劇の中でも独特なものである。この「浄瑠璃」とは、中世後期に発生し、近世に発展・盛行した芸能である。浄瑠璃詞章の作者として代表的なのが近松門左衛門である。近松はたくさん名作を残したが、『曾根崎心中』は元禄16年に初めて身の廻りの町人の生活から取材して書いた作品で、大当りをとったものである。醤油屋の手代徳兵衛と遊女お初が、愛し合っているが心中に至ってしまう物語で、現在の「文楽」でも繰り返し上演される人気演目である。

この講義において、浄瑠璃とはどういうものか、近松はどのような作品を作ったか、『曾根崎心中』の二人の主人公やその周囲の人々に近松がどういう眼を向けていたか、何を観客に訴えようとしていたか、などを学習して考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

浄瑠璃の歴史、近松門左衛門の略歴などを説明し、『曾根崎心中』をくわしく読む。言葉の意味、引用されている先行作品、表現技巧などをこまかく吟味し、現在の「文楽」で上演する形態も適宜考察しながら読んで行く。

履修上の留意点

だいたい講義式で進める。時々全員での斉読を行う。毎時出欠をとる。学生の私語や無礼には厳しく対応する。

成績評価の方法

随時小テスト(テキスト・ノート携行)を行い、その結果と出欠状況などを総合して評価する。

教科書

祐田善雄校注『曾根崎心中・冥途の飛脚他五篇』(岩波文庫)

参考書等

講義の進展につれ、随時参考資料や観劇資料を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学講読 国文講読V(近・現代)	いしわり 石割透	短国1・2選 H9以前入学生/短国1・2選必	4

講義のねらい

1910年代から1920年代に発表された、わが国の代表的な小説を、多様な角度から読み、同時代の文学史、表現史の検討の一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール

扱う作品は芥川龍之介「奉教人の死」「秋」「歯車」、谷崎潤一郎「少年」「帮間」「痴人の愛」、志賀直哉「十一月三日午後の事」「雨蛙」、内田百閒「冥途」「旅順入城式」、宇野浩二「歳の中」など。

また、それらの作品や時代に共通する課題をかかえた菊池寛、近松秋江、江戸川乱歩などの作品も自由にとり入れて、この時代の文学の問題を考えていく予定。

履修上の留意点

文庫本などで接することが難しい作品を扱う場合もあるが、そうした作品も、受講者は必ず授業でとりあげる作品を前もって読んで授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートなどでは、これまでの研究文献にもたれかかることのない、斬新な視角によるものを期待したい。

教科書

『奉教人の死・煙草と悪魔』『大導寺信輔の半生・手巾・湖南の扇』(以上、岩波文庫)、谷崎潤一郎『刺青・秘密』(新潮文庫)、『美食倶楽部・谷崎潤一郎大正作品集』(ちくま文庫)、志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』(新潮文庫) 内田百閒『冥途・旅順入城式』(岩波文庫)

参考書等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学講読 国文講読V(近・現代)	あんどう 安藤幸輔	短国1・2選 H9以前入学生/短国1・2選必	4

講義のねらい

「戦後文学」の代表的作家の作品を講読する。すなわち、
 ・太宰治『富嶽百景』『斜陽』『お伽草子』『ヴィヨンの妻』『駆け込み訴え』など。
 ・坂口安吾『風博士』『桜の森の満開の下』『青鬼の禪を洗う女』など。
 ・大岡昇平『俘虜記』『武蔵野夫人』など。
 ・三島由紀夫『金閣寺』『橋づくし』『近代能楽集』など。
 (上の各作家の作品は、掲げることのできなかった作品も扱いたい。受講生が手にしやすい文庫本に収録されているものを選ぶようにするため、作品や順序に変更があるかもしれない。)

教科書・参考書等

そのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原典講読	おがもとゆきこ 岡本恭子	短国1・2選	4

講義のねらい

「小倉百人一首」は、奈良時代から鎌倉初期までの百人の歌人の歌が収められたものだが、それらは藤原定家の美意識によって選ばれた秀歌ばかりである。

中心となる歌の多くは平安時代のものであるが、王朝和歌によって形成された美意識を知ることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 歌の声調の美しさを直接知るために、まず百人一首の暗唱からはじめたい。
- ② 歌語は、物語・日記・随筆などの表現上重要な役割を果たしているため、歌語の把握を通して古典文学の世界を深める。
- ③ 王朝人の自然観を考えていく。
- ④ これはまだ未定だが、自分の手で百人一首を造り、嫁ぐ時の道具の中へ入れてほしいとも考えている。

履修上の留意点

「講読」は、教師の一方的な講義では成立しない。最低のところ、読めることと内容把握をすることを義務づける。つまり予習を必要とするということである。この点について、前もって指名しておくか、当日無作為に指名するかは後日考える。

成績評価の方法

出席・発表内容等を加味し、試験については授業の状態によって決めたいと思う。

教科書

犬養 廉他編『影印本百人一首』（新典社）773円

参考書等

授業の中で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	かたやまはるかた 片山晴賢	短国1・2選	4

講義のねらい

日本語の通事的な変遷について基礎的な知識を養うことに主眼をおきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本語の通事的な変遷について。後期は主に中世・近世・近代の音韻・文法・文学等を中心に授業を進めたい。

履修上の留意点

積極的に授業に参加に、つねに言葉に対して問題意識をもっていただきたい。

成績評価の方法

出席状況・定期試験・レポート提出により総合的に評価する。

教科書

佐藤喜代治『国語史』（下）（おうふう）

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
口語文法	おくはらじゅんこ 奥原淳子	短国1・2選	4

講義のねらい	<p>本講義の目標は、「言語を客観的に分析する態度を育てること」にあります。</p> <p>普段、当たり前前に使用している日本語を、なぜそう表現するのか、どんなルールが隠されているのか、誰の視点から表現しているのか等探っていきます。私たちは、日本語の文法を意識して言語を運用しているわけではありませんが、この授業ではその無意識の部分を意識するといった作業が必要となります。これを繰り返すことで、言語を分析する視点が養われていくだろうと考えます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>まず、これまで学んできた伝統的な口語文法の基礎項目を復習します。</p> <p>それから、外国語としての日本語という視点から、現在使用されている日本語の文法的現象をとらえ直していきます。大切なことは、種々の言語現象を「当たり前だ」とやり過ごすのではなく、「おもしろい」「不思議だ」と感じることです。</p> <p>後半は、学生による調査・発表で進めていきます。調査・発表を通じて、関連資料の調べ方・レジュメの書き方・発表の仕方なども併せて学んでほしいと思います。</p>
履修上の留意点	授業には、受身でなく、自ら調べ、分析し、発表するという姿勢で臨むこと。
成績評価の方法	筆記試験の結果／提出物／研究発表／授業態度
教科書	適宜プリントを配布します。
参考書等	その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学史	しみずひろこ 清水浩子	短国1・2選	4

講義のねらい	テキストにより周代の文学から現代までの文学について概観し、代表的な作品の講読を行い、中国文学への理解を深める。
成績評価の方法	年間2回の試験とレポートによって判定する。
教科書	中村璋八編著『中国思想文学通史』(明治書院)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
和歌文学	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国1・2選	4

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛女徳子（安徳天皇母）の宮廷に女房として仕えた、右京大夫と称された女性の個人歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学としての自照精神を問うことも出来る。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死別を体験し、その追想の日々を過ごす。その動乱期の戦乱に運命を翻弄された作者の人生を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時、和歌文学の流れを通観し、また女性の手になる自照文学の流れを概説したい。作者はまた一時似絵（肖像画）の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋も体験する。授業では、資盛・隆信二人の男性との交渉時に詠まれた歌を中心に作品を読み進めていく。講読とは違い作品研究という形で本文を読解する。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

教科書

糸賀きみ江校注『建礼門院右京大夫集』（新潮社）1,940円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物語文学 I	さ ばら さく み 佐 原 作 美	短国1・2選	4

講義のねらい

平安朝前期に成立したと考えられている『竹取物語』を対象に講読を中心とする授業を行う。知っての通り『竹取物語』は『源氏物語』の中で、「物語の出で来はじめの祖（おや）なる竹取物語」と書かれているように、わが国の物語文学の祖と見られ、古くから時代や階層を超えて多くの人々に親しまれて来た作品である。作品のもつ諸問題を考察しつつ読んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

短い作品なので年間を通して読み終えるようにしたい。時間があれば他の関連する作品にも目を向けていきたい。

成績評価の方法

成績は平常の授業の出席状況やリポートその他などをもって評価する。

教科書

新潮古典集成『竹取物語』（新潮社）

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物語文学Ⅱ	その 園 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい	物語文学の中から、『堤中納言物語』をとりあげる。『堤中納言物語』は、平安時代後期から鎌倉時代初頭頃までに成立したと考えられている作品で、「花桜折る少将」「このついで」「虫めづる姫君」「ほどの懸想」「逢坂越えぬ権中納言」「貝あはせ」「思はぬ方にとまりする少将」「花田の女御」「はいずみ」「よしなしごと」の十の短編からなる。それぞれに趣向が凝らされているので、そうした趣向を楽しみつつ、作品を鑑賞すると同時に、作品が成立した当時の時代背景や生活習慣、人々の意識などを踏まえて、現代の価値観では計れない作品の意義についても考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	年間を通して作品を読み進める。
履修上の留意点	毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	毎時限提出する意見文で50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う(試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等何でも持ち込み参照可)。なお、追再試験はレポートとするが、これについては、1月の授業時間内に指示するので、必ず出席すること。
教科書	伊藤博編『堤中納言物語』(おうふう) 1,500円
参考書等	必要に応じて時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
説話文学	その 園 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい	今年度は、代表的な説話文学作品の中から、宇治拾遺物語をとりあげる。特に、宇治拾遺物語編者の意識がどのようなものであったかを考えるために、宇治拾遺物語に収録されている説話に内在する編者もしくは説話伝承者の視点を読み解いていきたい。近年、宇治拾遺物語を扱った講義では、その内容を論文としてまとめており、論文に先行するという意味で、学問的レベルとしては、宇治拾遺物語研究の最先端をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	前期の前半は、宇治拾遺物語編者論を中心に講義する。前期の後半から後期にかけては、宇治拾遺物語に収録された箇々の説話を検討する。その関連から、他の説話集や歴史物語、及び、記録類における同類話を読む必要も出てくる。どの説話をどのような順序で読むかは、各時限に学生諸君から出される意見や疑問などによって決定するので、スケジュールの大半は、実際には学生諸君自身の問題意識に委ねられることになる。
履修上の留意点	毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	毎時限提出する意見文で50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う(筆記試験はテキスト・ノート・参考書等全て持ち込み参照可。但し、受講生が少ない場合はレポートに変更する)。なお、追再試験はレポート提出とするが、これについては、1月の授業時間内に指示する。
教科書	中島悦次校注『宇治拾遺物語』(角川文庫) 720円
参考書等	『駒澤短大国文』28号

科目名	担当者名	配当学科	単位
日記文学	おかもとゆきこ 岡本 恭子	短国1・2選	4

講義のねらい

日記を付ける、日記を書く、この両者の意味は同じなのか同じでないのか。日記と日記文学の共通性と非共通性について。真名と仮名、男性と女性の、日記の関り合いについて考えることとする。

ここでは主として仮名日記を扱うが、時代を越えて女性の生きざまを学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 日記と日記文学について
- ② 仮名日記誕生の歴史的背景(中古)
- ③ 仮名日記誕生の歴史的背景(中世)
- ④ 仮名日記と歌集について

履修上の留意点

上記の講義の内容・授業スケジュールを簡略に記したが、この中身は多様な問題を有する。それらを学ぶための拠り所として教科書で示す教科書を教材として用いるが、重要と思われる問題のある場合は、その都度プリントを配布する。ただし、試験はそのいずれも必要とするので、よく承知しておくこと。

成績評価の方法

前期・後期に分けて行いたいと考えている。出席の有無は考慮する。

教科書

藤原忠美編『王朝日記選』(和泉書院)1,400円

参考書等

授業の中で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史文学	そのべみきお 園部 幹生	短国1・2選	4

講義のねらい

中古(平安時代)の代表的な歴史物語の中から、『大鏡』をとりあげる。昨年度は「物語文学」の講座の中で大鏡を扱い、序文と兼通伝、及び、その関連作品を読んだので、今年度は序文と兼通伝の続きにあたる為光伝・公季伝を中心に読み進めたい。その関連から、栄花物語や記録類・説話集類も読むことになる。歴史物語としての『大鏡』について理解するだけではなく、時代や人物に関する認識を持ち、そこに登場してきた人物や出来事がどのように受けとめられ、評価されてきたのかを見る目を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、序文を講読する。前期の後半から後期にかけては、為光伝・公季伝や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

前期の前半の序文については、平成10年度の「物語文学」で講義した内容と重複することになるので、平成10年度に「物語文学」を受講した学生はその旨を了解のうえで受講すること。また、毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う(試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等何でも持ち込み参照可)。追再試験はレポートとするが、これについては、1月の授業時間内に指示するので、必ず出席すること。

教科書

特に指定しないので、『大鏡』の全文が載っているものであれば何でもよい。むしろ、受講生がそれぞれ異なる『大鏡』を持参して、違いを検討しながら読み進めることができれば、その方がよいと考えている。

参考書等

必要に応じて時間内に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
連 歌 ・ 俳 諧	かん の かず お 菅 野 一 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

いま俳句と川柳は静かなブームで、それらを作る人・読んで楽しむ人の数は増加の一途をたどっているようである。俳句・川柳のルーツを探ると、それらは江戸時代の「俳諧」から出て来ている。そしてその「俳諧」は、さらにその前の「連歌」から分かれて発達してきたものである。この「連歌」や「俳諧」を現在作る人は数少ない。しかし中世・近世においては、貴族・武士・町人にわたって幅広く流行した文芸であった。「連歌」も「俳諧」も、五・七・五の長句と七・七の短句との唱和を基本とし、原則としてグループで作って行く詩歌である。

この「連歌」と「俳諧」の歴史や特質を学習し、代表的な作品例を鑑賞し、「連歌・俳諧」というものがどういうものであるのかということを考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

連歌・俳諧の歴史、その代表的な作者、基礎的な規則などを説明し、具体例として、連歌から飯尾宗祇らの『水無瀬三吟百韻』、俳諧から松尾芭蕉らの『猿蓑』の中の一・二篇をとり上げ、これをじっくり読解、鑑賞する。

履修上の留意点

だいたい講義式で進め、毎時出欠をとる。学生の私語や無礼には厳しく対応する。

成績評価の方法

随時小テスト(テキスト・ノート携行)を行い、その結果と出欠状況などを総合して評価する。

教科書

プリント

参考書等

講義の進展につれていろいろな資料を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 ・ 現 代 詩	井 上 優 <small>いの うえ まさる</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

私たちはよく、「文学的」であるとかないとかいおうとして、それと同様の意味で「詩的」であるとかないとかいうことがある。現代、文学ジャンルの中で詩歌は小説などの散文に比較して隅のほうに追いやられている気味がある。特に若い世代にとって、実際詩を朗読したり、あるいは実作したりするという事はそう多くないだろうし、例えば高等学校までの国語の授業を振り返ってみても、詩が取り上げられたのは年に一二度であったろう。にもかかわらず、私たちは「文学的」という趣味の範囲を「詩的」という言葉で覆うように想定している日常がある。ところで、ロシア・フォルマリズムの一人ヴィクトル・シクロフスキーが、「日常的に見慣れた事物を奇異なものとして表現する《非日常化》の方法が芸術の方法」であるといった(『散文の理論』)ことはよく知られている。このいかたを文学に引き付けていえば、「文学」と「非文学」との違いは、「文学」とは日常の見慣れ使い古された言葉を《非日常化》したものであるということになる。こういうとなんとなく分かったような気もしてしまうが、「非文学」とされる日常語自体が性別、出身地、現住地、階層、宗教、職業などによって人それぞれ多様であり、皆が皆同じ日常語を共有していると考えるのは幻想であって、「文学的言語」、「詩的言語」が何であるのかは容易に括ってしまえない。だが、そうであっても、いやそうであるからこそ、詩とは何か、詩の言語とは何かを問いかけて行くことは、文学やそれを取り巻く環境を考え直して行くうえで、大切なことであるのだ。この授業では、明治期以降に発表された詩作品を、形式、モチーフ、イメージなど様々な点から考察を加えて行くことを通して、詩的言語の持つ魅力や問題を見つめてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず始めに現代の文学理論の極めて初歩的な事柄について概観する。詩を読むうえで現代文学理論を踏まえることで何が可能となるのか、いくつかの理論の中で、ある理論に立つと詩作品から何が見え、また同時に何が見えないままになってしまうのか、言語や記号への考察を含め、最初にアプローチの手掛かりを求めることにしたい。その後、実際に詩作品の考察を試みるが、詩ジャンルに自閉せず、広く同時代の散文作品や、童謡、唱歌、流行唄などをも視野に入れ、交響させつつ味わって行きたい。また聴講者それぞれが街へ出て、白らが触れる言葉を拾い集め、実際に詩を作ったり、それを相互に鑑賞しあったりする機会も設けられればと思う。

履修上の留意点

授業で取り上げる作品は各自文庫本を入手したり、配布されたプリントを使ってあらかじめ読んでから出席することが絶対に要求される。読まぬままの学生、および用意してくるよう指示されたものを持参せずに来た学生は出席とは見なさないので、注意すること。

成績評価の方法

学年末に教場での試験を行おうと思うが、ふだんの授業のおりにも何らかの小課題を提出してもらうことも考えている。出席状況や授業中の姿勢も考慮して、多面的に評価したい。

教 科 書

授業の中で、その都度指示する。

参 考 書 等

授業の中で、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児 童 文 学	よし だ もり お 吉 田 司 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

現代日本の児童文学作品を読みすすめることによって、文学テキストの魅力を理解し、〈子供〉をめぐる社会的文化的諸問題についても併せて考えてゆきたい。また、実際に短い童話の創作にチャレンジすることで、文章を書くことの楽しさと難しさを体験してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに近代日本の児童文学を概観する。そのうえで本年度は戦後日本の現代児童文学を中心に取り上げたい。竹山道雄『ピルマの竖琴』、壺井栄『二十四の瞳』、いぬいとみこ『木かげの家の小人たち』などを読む予定。

履修上の留意点

1～2週毎に1作品くらいのペースでどどんいろいろな作品（しかも長編も多い）を読んでゆくので、旺盛な好奇心と読書意欲とをもって受講すること。

成績評価の方法

未定。例年通りならば、夏休みに童話創作の宿題、学年末に教場試験、なお、随時作品の感想等の提出を求めることがあるので、そうした平常点も重視する。

教 科 書

宮川健郎『現代児童文学の語るもの』（NHK ブックス）950円。他は教場で指示。短い作品はプリントを配布するが、長編については各自で購入することを求める。

参 考 書 等

授業中にそのつど指示する。

そ の 他

一応講義形式で行う予定だが、聴講人数に応じて授業スタイルを工夫したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古 典 戯 曲 演 劇	せい だ けい こ 清 田 啓 子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の古典芸能に親しみ、鑑賞眼をやしなうための、必要な知識を与えることを目的とする。参加者には、能・人形浄瑠璃・歌舞伎をそれぞれ最低一回鑑賞し、レポートを提出する義務を課す。

講義の内容・授業スケジュール

日本演劇の大まかな歴史を解説し、随時都内又は近郊で上演される上記三種の芸能に関して解説・案内する。基本的に浄瑠璃の歴史を中心に、他に及ぶ予定であるが、上演の現実的な状況から、厳密なスケジュールは立てられない。

履修上の留意点

上記三種の芸能を鑑賞する余力——時間的、経済的、精神的余裕——が必要である。

成績評価の方法

上記三種のレポートと、総括としての期末試験による。

教 科 書

影山正隆編『人形浄瑠璃関係資料（抄）』（新典社）515円

参 考 書 等

教場にて指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代戯曲演劇	さど せ 瀬 王 子	短国1・2選	4

講義のねらい

近代(明治~大正)の演劇および戯曲文学を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

近代演劇通史という形で日本における演劇運動を概観する傍ら、近代作家による実際の戯曲作品についての検討を加える。具体的に対象とする作家作品は、河竹黙阿弥、坪内逍遙、北村透谷、岡本綺堂、泉鏡花、菊池寛といった明治大正期の文学者の手になる戯曲を予定。戯曲・演劇という形式にこだわらず、文学作品としての見地から、それらの作品の意味を考察したい。

履修上の留意点

戯曲・演劇の場合、どうしても舞台上で実演されたもののみをイメージしがちであるが、本講義では、あくまでも“読む”行為を通してそれを考える。したがって、受講者は漫然と講義に臨むことのないよう、課題となる作品を前もって読んでおくことが必要である。

成績評価の方法

試験、レポート提出、学習意欲等を総合的に評価する。

教科書

教場で配布するプリントの他、その都度指示する各種文庫。

参考書等

必要に応じて、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学入門	いし わり 割 とおる 透	短国1・2選	4

講義のねらい

一つの作品が成立するに際して、作家に意識され、強い影響を与えた作品と比較することで、その作品の特質、その作家の創造性を追究したい。

講義の内容・
授業スケジュール

この時間では、和漢洋の種々な作品から材料を得て成立している作品が多く、書斎の所産とも形容される芥川龍之介の初期の作品を中心にして、その作品の成立の材料となった作品と比較することで、芥川文学の特質、近代文学としての芥川の作品を検討したい。

履修上の留意点

受講者は、授業時に扱かう芥川の作品、それに関わる作品を読んでくること。それは前もって授業の中で指示する。

成績評価の方法

年に二度ほど提出することになるレポートで主として行なう。

教科書

『芥川龍之介全集1』(ちくま文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女性史入門	たがしま 高 嶋 めぐみ	短国1・2選	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代 ②中世 ③近世 ④近代 ⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況 ②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文芸創作	あん どう こう すけ 安 藤 幸 輔	短国1・2選	4

講義のねらい

・実作をしながら小説の方法を身につける。
(童話、現代詩をふくむが、以下の内容説明は、「小説」で代表させる)。

講義の内容・授業スケジュール

- A) 小説はどんなものであるかを理解する。
 1. 構成の三要素を理解する。
 2. 表現の三要素を理解する。
 3. 主題をどのように設定するか考える。
 4. 読者との関係を理解する。
- B) 実際に作品を書いて、発表する。
 1. 原稿用紙の使い方 (ワープロの場合)
 2. 作品を添削批評する (合評もする)
 3. 雑誌を発行し、(年2回以上) 作品を掲載し、学内や関係方面に配布する。
- C) 作品を書くための準備、心得を学ぶ。
 1. 取材はどうするか。
 2. メモの取り方。
 3. 推敲はどうするのか。
 4. 他人の作品の模倣、盗みは、どこまで許されるか。
- D) 創作の参考となる近現代の作家の作品を読む。

成績評価の方法

実作品の提出によって評価する。

教科書

葉山修平著『新・文章の方法』(笠間書院) 1,300円。その他は追って指示する。

参考書等

そのつどに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
有 職 故 実	おお つか ひで こ 大 塚 英 子	英国1・2選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実(正しい前例)に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された、前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解説の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論じることにより、日本文化の研究に一視点を提供したい。

具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

 講義の内容・
授業スケジュール

前期A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。

B、平安朝の服飾文化

1. 古代服制の歴史的变化をたどり、平安初期に唐風服飾として完備した時の姿を、各種の資料から考える。
2. 律令服飾制を規範としながら、平安貴族社会がどのような流行を生み、それがまたいかなる制度を生じたかを考える。
3. 平安文学の中心となる摂関期の男性装束・女性装束を細部にわたって解説。また、かさね色目の標本で当時の色を調べる。
4. 『源氏物語絵巻』のビデオを見る。

後期A、平安朝の年中行事

1. 『源氏物語』花宴をめぐって曲水宴・重陽宴と比較し、文化的年中行事を考える。
2. 正月の年中行事を詳説。特に朝賀の儀式の持つ政治的意味について考える。

B、平安朝における官職位階の制度

成績評価の方法

夏休みレポート「源氏物語絵巻における服飾と調度」(絵の模写三枚をふくむ)と、学年末テストを総合して評価する。

教 科 書

河鍔実英『有職故実』(塙書房)1,900円
コンパクト版『日本の絵巻1』(中央公論社)1,400円、及びプリントを使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	佐原作美	短国1・2選	4

講義のねらい

主題を「タブー」(taboo)とし、下記のような日程と担当者によって、それぞれ専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示すスケジュールにしたがって授業は進められる。講義内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者によって指示されるのでそれに従うこと。

★各担当ごとのスケジュール

◎4月14日(水) オリエンテーション、ガイダンス 佐原作美

- | | | |
|-----------------|------------------------------|-------|
| ① 近代文学とタブー | 《4/21、4/28、5/12、5/19 (4回)》 | 井上優 |
| ② タブーと宗教 | 《5/26、6/2、6/9、6/16 (4回)》 | 佐藤憲昭 |
| ③ 上代文学の中に見えるタブー | 《6/23、6/30、7/7、7/14 (4回)》 | 川上順子 |
| ④ 教育におけるタブー | 《9/22、9/29、10/6、10/13 (4回)》 | 末藤美津子 |
| ⑤ 歴史におけるタブー | 《10/20、10/27、11/10 (3回)》 | 茂野隆晴 |
| ⑥ 慣習のタブー | 《11/17、11/24、12/1、12/8 (4回)》 | 高嶋めぐみ |

◎12月15日(水) まとめ 佐原作美

科目名	担当者名	配当学科	単位
周縁芸術 I	小林おさむ	短国1・2選	4

講義のねらい

本講義における周縁芸術とは、文学の周縁にあって、文学を触発し、影響を与え、その想像力を飛躍させ、同時に自己洞察させてきたところの他の様々な芸術、例えば音楽、演劇、映画、美術、写真などを指すこととする。ここでは、それら他ジャンルの芸術と言語表現による芸術-文学作品との関わりの諸相を、日本の近現代に事例をとってみていく。なお、外国文学と日本文学の関わりを考察する比較文学的事例もいくつか入るであろう。

講義の内容・授業スケジュール

宮沢賢治、横光利一、安部公房、村上龍、村上春樹などの作家、作品と周縁芸術の関係を順次みていく。例えば、賢治と音楽、演劇、横光と映画、安部と演劇、映画、写真、村上龍と音楽、映画、村上春樹と音楽などの予定である。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

その都度、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業で、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
周縁芸術Ⅱ	いしわりとおる 石割透	短国1・2選	4

講義のねらい

日本近代文学と美術、特に絵画との関わりを、作品の表現、発表メディアに挟まれた挿絵、口絵、表紙絵などを通して検討していく予定。この時間では、特に雑誌「明星」「白樺」を中心として、そうした課題をとりあげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「明星」を中心に、後期は「白樺」を中心にして検討していく予定であるが、その都度プリントなどの資料を配布して授業を進めたい。

履修上の留意点

文学者、文学作品に限らず、この授業では度々美術作品や画家などに言及する筈である。美術に充分に関心を持ち、折をみて、美術館に足を運んだり、画集をひろげる機会を数多くもってほしい。

成績評価の方法

レポートにより評価する。年に2回ほど提出することになる予定。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	さかぐちひろき 坂口博規	短国1・2選	4

講義のねらい

「夢」を共通テーマとして、下記の日程と担当者により、それぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者によりその都度指示がある。今年度の内容と日程及び担当者は次の通りである。

- ① 和歌における夢 坂口博規
(4/15・4/22・5/6・5/13・5/20・5/27)
- ② 女流日記文学における夢 岡本恭子
(6/3・6/10・6/17・6/24・7/1・7/8・7/15)
- ③ 近世文学における夢 清田啓子
(9/16・9/30・10/7・10/14・10/21・10/28・11/4)
- ④ 近・現代文学における夢 小林治
(11/11・11/18・11/25・12/2・12/9・12/16・1/13)

履修上の留意点

最初の授業の時(4/15)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席のこと。

成績評価の方法

レポート及び出席状況により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究	川 ^{かわ} 上 ^{かみ} 順 ^{より} 子 ^こ	短国1・2選	4

講義のねらい

『古事記』を中心として、『日本書紀』・『風土記』等、日本上代の書物なかの、散文で書かれた文学作品を対象として講義を行う。神話から発して説話・物語に結実する上代文学の流れを押えて、個々の上代文学作品がどのような意義をもつのか考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は『古事記』上巻のなかの出雲神話をとりあげて、誰でもよく知っているオオクニヌシの神話と、「出雲国風土記」の相違を考えながら、『古事記』の神話がどのようにして創り上げられていったか研究する。それに先立ってスサノオという神についても考えることになるであろう。さらに時間があれば『古事記』の三輪山神話を研究して、「常陸国風土記」その他にみえるへびの説話との比較・検討をこころみたい。

後期は『古事記』中巻のヤマトタケル物語を研究するところから始めて、遍歴する貴種の話を考える。『古事記』下巻のオケ・ヲケの物語も貴種流離譚であるが、これは「播磨国風土記」との関わりのなかで考えたい。時間が許せば「古風土記逸文」の楽しい話を順次紹介したい。

履修上の留意点

授業の前に教科書を読み、話のあら筋や内容を把握してから出席すると、講義の内容がよくわかり、深く理解することができる。上代文学の大きさを実感してもらいたい。

成績評価の方法

リポートによる評価を行う。出席を毎回とり参考にする。随時小論文提出を行うので専用ノートを用意して講義にそなえること。

教科書

①倉野憲司校注『古事記』(岩波文庫) ②大久間喜一郎編『古代説話風土記篇』(おうふう)

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究	鈴 ^{すず} 木 ^き 裕 ^{ひろ} 子 ^こ	短国1・2選	4

講義のねらい

平安時代の勅撰集・家集・物語の中の和歌を読み、鑑賞することを通して、和歌の表現の魅力、また、うたことばの特質などについて考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

『古今和歌集』の歌を中心として読みながら、古歌との関わりや『伊勢物語』『源氏物語』などの物語、後代の和歌への影響等について考察していきます。

履修上の留意点

授業は、テキストやプリント教材を用いての講義を中心に行いません。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行いません。(前期一回、後期一回) その他、授業中に適宜小テストを実施し、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

『古今和歌集』(角川文庫) その他プリント教材。

参考書等

小林幸夫他『くた)をよむ-三十一字の詩学-』(三省堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究	さか ぐち ひろ 規 坂 口 博 規	短国1・2選	4

講義のねらい

我が国の歌人の中でも、特に平安時代末(1118~1190)に生きた歌人西行法師は広く親まれ、その歌は愛誦されている。西行は後代に影響を与え中世文学の開拓者とも考えられ、その精神は継承されている。その西行の生涯を通して中世文学の精神を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

西行の歌のうち、特に旅の歌を中心に詠みながらその生涯を考える。従って通年で若い時期の旅の歌から詠む形をとってゆく。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、その評価と、及び出席内容をもって評価する。

教科書

開講時に指示する。西行の歌集(山家集他)ならどの出版物も可。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究	せい だ けい こ 清 田 啓 子	短国1・2選	4

講義のねらい

近世文学の諸ジャンルの中で大きい存在である読本(よみほん)を対象にしたい。前期読本が『雨月物語』をその頂点とし、後期読本に影響を与える様相、そして後期読本の成熟という流れを追い、曲亭馬琴の代表作『椿説弓張月』を鑑賞する。

講義の内容・授業スケジュール

読本の簡単な歴史の説明。その時々代表的作品の紹介・鑑賞。それらを経て、『弓張月』前編を影印本で読む。

履修上の留意点

読本には大部の著が多いがその分量に怖れず、当時の読者と同レベルで楽しもうと心がけてほしい。何かを発見するはずである。

成績評価の方法

授業への参加、宿題やリサーチ等による。

教科書

板坂則子編『椿説弓張月前編』(笠間書院)1,748円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近・現代文学研究	井 上 優	短国1・2選	4

講義のねらい

「言語・病・フリークス——日本近代文学から／へ——」というテーマで、明治期以降現代までの文学作品について考察をしていく。レスリー・フィードラーは、フリークスに言及して、彼らは「男と女、性のある・なし、動物と人間、大と小、自己と他者、そしてそれにつれて、現実と幻想、経験と空想、事実と神話の間にある因習的な境界線に挑戦をかけてくる」と述べている(『フリークス 秘められた自己の神話とイメージ』)。文学作品には、「ノーマルな人間」ならざるものとして排除される存在が登場するものがあるが、そのことによって私たちの分類体系や境界性が再考に付されることがある。それはあたかも、不意に病に襲われることで、健康なときには全く意識しなかった自分の身体の不可解な物質性があらためて感じられるように。だが、そうした病やフリークスを作品が内容として提示しているということのみならず、文学というもののそのものがよく考えてみれば、簡単に分類や定義や境界線引きが可能なものではない。例えば、一言で「日本文学」というとき、私たちは何をさしてそういうのか。日本に住む外国人が日本語で書いた外国を舞台にした物語は、日本文学なのか外国文学なのか。逆に外国に住む日本人によって外国語で書かれた日本を舞台にした小説はどうなるのか。こうした些細な発問を投げかけてみただけで、自明であるかのように思っていた日本人とか日本語とか、日本文学といったものは、実は恐ろしくつかみどころのないものに過ぎないことに気づくだろう。もしかしたら、文学というものの自体がフリークスのものであるかもしれないのだ。この授業では、「日本近代文学」といわれるものに触れながら、私たちの境界性を問い直す試みをしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

扱おうと予定している作品は、広津柳浪『変目伝』、森鷗外『文づかひ』『大発見』『金毘羅』、徳富蘆花『不如帰』、田山花袋『重右衛門の最後』、井上ひさし『吉里吉里人』、リービ英雄『なぜ日本語で書くのか』、松浦理英子『親指Pの修業時代』、村上龍『フィジーの小人』、水村美苗『私小説 from left to right』などである。機会をみつけて、和久井映見主演『ピュア』、金城武、深田恭子主演『神様、もう少しだけ』といった、TVドラマにおける障害者やHIV問題の表象の考察などもできればと考えている。

履修上の留意点

取り上げる作品は、すべて文庫本等簡単に入手できるものばかりにする予定なので、講義を聴く前には必ず一度読んでくることが要求される。読まずに来た者、および準備してくるよう指定されたものを持参していない者は、出席とは見なさないので注意すること。

成績評価の方法

学年末に教場での試験を行おうと思うが、ふだんの授業のおりにも何らかの小課題を提出してもらうことも考えている。出席状況や授業中の姿勢も考慮して、多面的に評価したい。

教 科 書

授業の中で、その都度指示する。

参 考 書 等

授業の中で、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語学研究	かた 片 やま 山 はる 晴 かた 賢	短国1・2選	4

講義のねらい

日本語の特質の一つである「敬語」を中心とした講義をしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は敬語の起源・中古中世の敬語をとりあげ、後期は近世近代の敬語について検討してみたい。

履修上の留意点

授業はプリント教材を用いて講義を中心に進めたい。

成績評価の方法

前期・後期にそれぞれ1回、その他授業中に適宜小テストを実施する。

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道実習 I	な 那 す 須 たか 隆 よし 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

芸術全体の中で書道が東洋独自の芸術として、どんな特質を持つのかを考察しながら、書道の基礎的知識と技法を習得すると共に鑑賞力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

執筆法、用筆法、運筆法及び用具用材とその取り扱い方について学ぶ。
 ○書体とその変遷を理解する。
 ○初歩的な楷書、行書、草書の書法を習得する。
 ○仮名の単体、連綿体を学び、平仮名、片仮名の成立、及びいろは歌、五十音図について理解する。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教科書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道実習Ⅱ	な す たが よし 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

漢字仮名の代表的古典を学び、書道についての理解と鑑賞力を高め、書道文化の素晴らしさを味わいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 古典の解説と臨書により、楷書法、行書法、草書法、仮名書法の習熟をはかる。
- 変体仮名、及び代表的古筆について理解を深める。
- 実社会で役立つ実用書道(手紙文、宛名書き、のし紙等の書き方)を学び、一層書道に親しめるようにしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出(又、随時レポートの提出)等を総合して評価する。

教科書

『大学書写書道教育』(第一法規出版)〈書道実習Ⅰ、Ⅱ併用〉

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理	な が はら まこと 中 原 誠	短国1・2選	4

講義のねらい

コンピュータ利用技術の進歩は、ダウンサイジングと低価格化を招き、「コンピュータは高価で利用は難しい」というイメージを払拭し、社会のあらゆる面に於いてコンピュータによる情報処理は必須となってきた。全社員にパーソナルコンピュータを与え、すべての業務をコンピュータ処理する企業も増えており、コンピュータに関する知識と利用技術は必須となってきた。

このような実社会の現状を踏まえ、この講座では、基本的なコンピュータ知識と利用技術の習得に重点をおき、講義と実習を併用しておこなう。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 前期
ビジネスレターを作成を通して、ワードプロセッサの利用技術とビジネス社会の基本実務の知識習得に重点をおいて進める。
- (2) 後期
コンピュータの基本機能と利用技術に関する講義とパソコンを利用したビジネス諸表の作成をおこない、コンピュータの理解と一般的な利用技術を習得することに重点を置く。

履修上の留意点

本講座は、情報処理の基本を中心に講義するので、コンピュータ関連の知識は皆無でも受講可能である。

但し、実習がかなりのウエイトをしめるので、欠席した場合は、次の時限の講義を理解することが難しくなる。年間を通して、無欠席で受講する覚悟が必要である。

成績評価の方法

出席状況等の平常評価と試験を組み合わせる総合的に評価する。
試験は、前期(講義時間内)と期末(全学一斉)におこなう。

教科書

すべてプリントを使用する。講義開始時に、都度、配布する。

参考書等

開講時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 情 報 処 理	なか はら まこと 中 原 誠	短国1・2選	4

講義のねらい

ここ数年世の中はコンピュータブームに沸き、多くの企業で全従業員に1台ずつのパーソナルコンピュータが与えられ、企業内に張り巡らされたネットワークを経由して、誰もが簡単に様々なデータを手に入れ、自らの業務に役立つ情報に加工できるようになってきた。もはや、企業においてはワープロや表計算ソフトを使えることは当たり前となり、むしろデータをどのように処理すればより業務に役立つ情報になるかということを考える知恵が重要視されるようになりつつある。

こうした点を踏まえ本講座では、最近のデータベース技術の概要と利用法を、講義と実習を通じて学びながら、データの有効な活用法を習得することを狙いとする。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

前期はデータベース技術の概要と利用法の基本を、実習を通じて習得する。

後 期

データベース内のデータを他のアプリケーション（表計算ソフト、ワープロソフト等）を利用して、より役立つ情報に加工する技術を習得する。

履修上の留意点

本講座の受講にあたっては、ワープロの知識は必須で、できれば表計算ソフトの知識があることが望ましい。

実習のウェイトがかなり高く、欠席による遅れを次の時限の講義で取り戻すことがなかなか難しいため年間を通して欠席をしない覚悟が必要である。

成績評価の方法

出席状況等の平常評価と試験の組み合わせで総合的に評価する。

試験は、前期（講義時間内）と期末（全学一斉）に行う。

教 科 書

すべてプリントを使用する。講義開始時に、都度配布する。

参 考 書 等

開講時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
表 現 法	ささ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本語の構造や特質の理解を通じ、文章表現力を養うのが本講義の主眼である。

表現とは、自己発現の手段であると共に、他者や社会とのコミュニケーションをはかる手段でもある。そのことを踏まえ、明晰で論理的な、そして何よりも正しい表現方法の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を中心に現代日本語の表現について学ぶ。それと並行して、プリントなどの各種教材を参考に語彙力や書く力の向上をはかる。

履修上の留意点

随時に課す、課題を通して積極的な講義への参加をのぞむ。

成績評価の方法

授業中に実施する各種課題、レポート等を総合的に評価する。

教 科 書

影山尚之他編『日本語と表現の工夫』（双文社出版）1,796円

参 考 書 等

教場にて、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝	短国1・2選	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに—何かを—伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を讀みとるのかという「視点(目のつけどころ)」が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材、原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして考えながら、「自分の視点」を育てることを目指したいと思っています。

「だれかに—何かを—伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙(誌)づくりの課題には、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙(誌)を課題作品として提出してもらいます。

教科書

使いません。(随時、プリントを使用します)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジャーナリズム研究	はたの としお 旗野 寿雄	短国1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースや報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材(マスメディア志望者)、あるいは、情報を自律的に解説・判断できる人間(読者)を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道倫理といった諸問題を、プライバシーや名誉毀損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

第一線の記者、論説委員、アメリカ勤務などの体験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、日米ジャーナリズムの比較なども試みる。放送局や新聞社の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、小論文、簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語(意見発表)歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単位
秘書概論	湯浅陽子	短国1・2選	2

講義のねらい

わが国における秘書の業務は、西暦645年大化改新の頃に誕生し、明治のはじめに秘書という言葉が用いられるようになったという。この秘書に対する一般的な概念は、それ以後あまり変わってはいない。しかし、時代の変遷に伴って秘書業務の内容は変わり、それは各分野における経営組織体の中で重要な位置を占めるまでになってきている。すなわち、経営者の日常業務が、情報の横溢、スピードの要求等の渦中にある今、その円滑な流れを全うするためには、上司の本務業務補佐のための秘書の能力が期待され、また、大いに役立っているからである。

秘書の仕事は大から小まで様々な種類があり、それに携わる秘書の能力・経験も様々である。しかし、どんな小さな仕事を受け持つ場合でも、上司を理解し、上司に匹敵して役立つ秘書の能力発揮が求められ、秘書はそれに応えなければならない。上司およびその業務内容を理解するためには、秘書の本質・形態・課題等に関する秘書理論を学ぶことが必要なのである。

講義の内容・授業スケジュール

授業回数

1. 4月第3週 オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. 〃第4週 秘書検定について
3. 5月第2週 企業組織と人間行動
4. 〃第3週 経営者と秘書の機能
5. 〃第4週 秘書の形態
6. 〃第5週 秘書の業務とその特質
7. 6月第1週 秘書と交流分析
8. 〃第2週 予備日
9. 〃第3週 秘書と人間関係
10. 〃第4週 秘書と情報
11. 7月第1週 秘書に求められるもの
12. 〃第2週 女性とライフサイクル
13. 〃第3週 レポート提出

履修上の留意点

1～2年後には社会人になろうという人が受講するのであるから、正当な理由の無い欠席・遅刻は許されない。事後承諾を受けるのではなく、事前に何らかの形で連絡しておく配慮が必要である。授業中は自分を一人の大人の女性として意識し、学生同士の言葉遣いにも留意して、自分達で学ぶ環境作りを心がけてほしい。

成績評価の方法

出席およびレポート提出の有無を重視する。日常に課する小レポートも加味する。いかなるレポートもメ切日を過ぎたものは受け取らない。2年生は就職活動で欠席を余儀無くされることがあるが、「私の就職活動報告」と題して欠席したその日の活動を翌週に発表してもらい、欠席分を補う。

教科書

プリント教材を実費支給する。

その他

主に講義形式で授業を進める。取り扱う関連分野が多領域にわたるため、ビデオ教材を使うこともある。その際は前の週に予告するとともに、当日に教務課正面のビデオ教場使用欄にて案内するので、前もって指示されているビデオ教場に入ってもらいたい。

ただ講義を聞くというのではなく、これから直面する就職のこと、結婚、家庭と仕事との両立の問題、40代・50代をどんなふうに過ごしたいのか等々、自分のライフサイクルの中の現時点と未来を、秘書という事務能力の優れた女性の職能をとおして考える機会になればと思っている。自分のライフプランや職業に対する意識を再確認するために、出席票を兼ねて意見を書いてもらうことも多くなる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
秘書実務	もりもとまさえ 森本正恵	短国1・2選	2

講義のねらい

秘書業務の基本を修得する。

企業で働く秘書として必要な資質、職務知識、一般知識、マナー・接遇、技能などの分野について学び、即戦力として実務知識が役立つような講義を目的とする。

文部省認定秘書技能検定試験の受験にも対応できる。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の進め方としては、秘書や秘書の仕事について考え理解し行動でき、表現できるように適宜レポートや実技(来客対応・電話対応など)を課題として与えながら実務能力がつくように進めていく。

(授業計画)

1. オリエンテーション(ねらいと進め方)
2. 秘書の役割と心がまえ
3. 会 話(話し方、聞き方、敬語)
4. 接 遇(来客対応、電話対応)
5. 日程管理(行動予定、出張、旅行)
6. 交際業務と環境整備(慶弔のマナー、仕事のしやすい環境)
7. 文書作成(社内文書、社外文書、グラフ)
8. 文書管理(ファイリング、郵便の扱い)
9. 会 議(会議の種類と準備、後始末)
10. 美しい立ち居振舞い(おじぎ、イスの立ち方座り方、物の扱い)
11. 実 技①(接遇 受付、取次、案内、接待、見送り)
12. 実 技②(電話対応)
13. 実 技③(報告の仕方、状況対応)
14. まとめ

履修上の留意点

毎回講義と演習を中心に進めますので、資料を参考にして課題をきちんとこなすこと。提出物については、締切日を守るように自己管理すること。

成績評価の方法

小テスト及び定期テストの成績。レポート等の提出物。実技。授業への参加意識などを含んだ総合評価とする。

教 科 書

野坂裕子・能勢照代・森本敦司共著『セクレタリアル・オフィスワーク・ノート』
(燃焼社) 1,800円

そ の 他

なお、適宜ビデオを使用し、秘書や秘書の仕事について具体的な理解ができるようにするとともに、立ち居振舞いや話し方について自己を客観的に見られる資料とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究 I	<small>すずきひろこ</small> 鈴木 裕 子	短国 2 選	4

講義のねらい

二年間の学習の成果として、各自が決めたテーマで研究論文を作成します。特に、古典(上代、中古、中世、近世)に関わるテーマを選んだ者を対象とする科目です。実際に論文を作成するのに必要な基礎知識や調査の方法などを概説し、作成のサポートをします。

講義の内容・授業スケジュール

- ・四月・五月……各自が具体的なテーマを決定する。テーマによっては、それぞれの専門の教員の指導を受けることになる。
- ・六月上旬以降……研究テーマを提出し、研究を進める。進捗状況、問題点等の指導をする。
- ・一月最終授業時まで論文を提出する。

履修上の留意点

学生生活の総括として、各自が主体的に選んだテーマによって論文を書くことにより、よりいっそうの成長を期待したいと思います。

成績評価の方法

完成した論文による。

教科書

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究 II	<small>いしわりとおる</small> 石 割 透	短国 2 選	4

講義のねらい

二年間の学習の一つの達成として、自己の研究テーマ、自己のモチーフに基づいた分野の研究を追究し、これ迄の研究成果を十分に吸収し、視野に収めたうえで一つの論文を作成していく。この時間は、そうした論文を実際に書き、その質をより高いものに仕上げていくための、実際の指導を行う。この時間は、研究テーマを近・現代文学に関わる者が受講してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月にかけては、論文の具体的なテーマを各自が決めるまでの期間として、研究の基本的な方法、研究を進めるうえでの基本的な文献、多様な研究方法のありようを紹介する。各自の研究テーマが決められた六月以降は、テーマに基づいた指導を個々に具体的にしない、進捗状況、問題点を指摘し、指導する。そのようにして自己のテーマを深めながら、十二月末或いは一月のはじめに、四百字詰め原稿用紙三十枚から四十枚の論文を提出する。

履修上の留意点

二年間の学習成果をまとめる意味で、できるだけ多くの学生に受講してほしいと思う。論文を書くことで、直接のテーマを超えた、多くのことが見え、新たな発見がなされるに違いない。受講者は、他の受講者のテーマにも関心をもち、互いに話し合ったり、刺激を与えあったりすることができれば、と思う。

成績評価の方法

完成した論文によるとともに、授業時の学習意欲、積極性に高い評価を与えたい。

教科書

特に指定はしない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究Ⅲ	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短国2選	4

講義のねらい	卒業研究Ⅲは、国語学についての研究論文を作成するための講座である。国語学研究上必要な方法論・資料収集等の方法について講義する。
講義の内容・授業スケジュール	具体的な論文の例示をして、中世を中心とした音韻・文法・語彙・文字等の特質を概観し、各自の研究対象を確認し、助言した後でそのテーマにそった資料収集を進めてもらう。夏休み中に主な資料のカードを作成してもらい、10月初に論文作成にとりかかり、12月に各自点検の為の面談を行った後に提出してもらう。
履修上の留意点	各自の自主的な作業で進められるので、論文を作成するという意欲が必要となる。
成績評価の方法	論文作成過程の中の努力・意欲をみて、さらに論文を評価する。
教科書	面談の中で指示する。

1 專門教育科目

(2) 英 文 科

1 専門教育科目

(2) 英 文 科

《必修科目》【一 類】

英米文学概論	(熊崎久子)	57
英語音声学	(モエ, R. A.)	58
英文法論	(梅原敏弘)	59
英文講読 I	(滝静寿)	59
英文講読 I	(高野秀夫)	60
英文講読 I	(三島出)	60
Freshman English	(キーズ, P.)	61
英文学史	(滝静寿)	62
英語学概論	(高野秀夫)	63
英文作文	(アシュウエル, T.)	63
英文作文	(梅原敏弘)	64
英文作文	(高野秀夫)	64
英文講読 II	(熊崎久子)	65
英文講読 II	(滝静寿)	65
英文講読 II	(三島出)	66
Spoken English	(ギャリソン, J.)	67
Spoken English	(グリフィス, J.)	67

《必修科目》【二 類】

英米文学概論	(熊崎久子)	68
英語音声学	(モエ, R. A.)	69
Intensive English I	(グリフィス, J.)	70
Intensive English I	(シエレン, K.)	72
Intensive English II	(アシュウエル, T.)	74
Intensive English II	(ウォレス, G.)	75
Intensive English III	(山縣裕)	76
Intensive English III	(アシュウエル, T.)	76
Intensive English III	(マクサマック, M. W.)	77
Intensive English IV	(キーズ, P.)	77
Intensive English IV	(マクサマック, M. W.)	78
Intensive English IV	(オデー, J.)	78
英文学史	(滝静寿)	79
Intensive English V	(ロルフ, M. F.)	80
Intensive English V	(デンドウ, G.)	80
Intensive English VI	(アシュウエル, T.)	81
Intensive English VI	(デンドウ, G.)	82
Group Discussion	(ロルフ, M. F.)	82
Group Discussion	(ウォレス, G.)	83
Group Discussion	(デンドウ, G.)	84
Group Discussion	(ギャリソン, J.)	84
Reading Comprehension	(ロルフ, M. F.)	85
Reading Comprehension	(ウォレス, G.)	86
Reading Comprehension	(オデー, J.)	87

Reading Comprehension (グリフィス, J.)	88
《選択科目》【一類・二類共通】	
情報処理 I (湯浅陽子)	89
Advanced English I A (ギャリソン, J.)	90
Advanced English I B (ギャリソン, J.)	91
時事英語 (休講)	
戯曲研究 (熊崎久子)	92
英語演習 I [英語音声の基礎] (アシュウェル, T.)	93
英語演習 II [シャーロック・ホームズ] (滝静寿)	93
英語演習 III [口語英語の基礎訓練] (梅原敏弘)	94
英語演習 IV [リスニング] (ギャリソン, J.)	95
英語演習 V [ポキャビュラリー ビルディング] (梅原敏弘)	96
英語演習 VI [英語表現] (高野秀夫)	97
英語演習 VII [英語基本読解法] (三島出)	97
米文学演習 (ギャリソン, J.)	98
ジャーナリズム研究 (篠野寿雄)	99
西洋古典文学 (水島陽子)	99
イギリス史 (アシュウェル, T.)	100
イギリス文化事情 (休講)	
アメリカ史 (休講)	
アメリカ文化事情 (モエ, R. A.)	101
アメリカ演劇 (休講)	
20世紀米文学 (ギャリソン, J.)	102
20世紀英文学 (高野秀夫)	103
同時通訳 I (モエ, R. A.)	104
同時通訳 II (モエ, R. A.)	106
聖書研究 (水島陽子)	107
ビジネスイングリッシュ (町井靖)	107
秘書概論 (湯浅陽子)	108
秘書実務 (森本正恵)	109
秘書英語 (森本正恵)	110
作品作家研究 [ロマン派の詩] (熊崎久子)	111
作品作家研究 [世紀末文学] (滝静寿)	112
作品作家研究 [20世紀アメリカ小説] (吉沢栄治郎)	112
作品作家研究 [19世紀英文学] (高野秀夫)	113
作品作家研究 [近代アメリカ文学] (三島出)	114
情報処理 II (ブルックス, D.)	115
言語と文化 (休講)	
英語表現研究 (梅原敏弘)	117
Advanced English II A (モエ, R. A.)	118
Advanced English II B (モエ, R. A.)	119
英語とコンピュータ (ブルックス, D.)	120
表現法 (笹瀬王子)	122
日本語教育法 (休講)	

《必修科目》【一 類】

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 文 学 概 論	くま ぎき ひさ こ 熊 崎 久 子	短 英 1 必	4

講義のねらい

古代英語の時代より、中世英語の時代、文芸復興期を経、浪漫主義、古典主義等々の長く、膨大な歴史と伝統の上に結実をみせた19世紀イギリス文学と逞しい開拓精神と果てしない夢と希望の上に独自の浪漫主義を開花させた19世紀アメリカ文学を、それぞれの時代の趨勢を背景に概観する。産業革命の影響を受け、大きく変動していく社会と揺れ動く人心を反映させたヴィクトリア女王朝のイギリス文学は明治の日本文学にも少なからぬ影響を与えています。英国同様に産業革命の影響を受け、また、辺境の消滅による失意から、リアリズム文学へ、自然主義文学へと変革するアメリカ文学は後にこの国独自の文学者を生み出します。南部作家、黒人作家等です。それらの背景を踏まえて社会と文学の接点にも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 前期 ヴィクトリア朝の英文学
 - 4月 英文学の流れ——古代英語時代から18世紀まで、ヴィクトリア朝概観
 - 5月 詩歌
 - 6月 小説
 - 7月 アイルランド文芸運動、児童文学、世紀末文学
- ② 後期 19世紀米文学
 - 9月 独立以前からロマンティシズム興起まで
 - 10月 ロマンティシズム興隆からリアリズム発生まで
 - 11月 リアリズムの確立、自然主義の台頭、第一次世界大戦前後
 - 12月 新劇、ロスト・ジェネレーションの作家、黒人作家、南部作家
 - 1月 補足とまとめ

授業の進め方

- ① 予定表に従い、作家と作品について論じる。重要な作品については必要な箇所を引用し参照します。特に韻律が主要な役割を果たす詩歌の場合は解説のみでは十分な理解ができないので作品を引用し朗読します。
- ② 必要に応じ講義概要を配布する。あるいは黒板に板書します。
- ③ 終了前10分間弱を質問の時間に当てます。

履修上の留意点

広い範囲の作品作家を扱うことになるので、予定表を参考にあらかじめその日のための予備知識を備えて出席すること。出席するだけでは内容の把握が出来ません。またその日の疑問は必ずその日に質問をし、解決しておくこと。

成績評価の方法

1. 定期試験の成績……50%
2. 年2回提出のレポートの評価……30%
3. 授業中に提出をもとめた小レポート……20%

教科書

正式の教科書は特にありません。
準テキスト：佐瀬順夫著『要説イギリス文学史』（英宝社）
『要説アメリカ文学史』（同上）

参考書等

引用も多く専門的なものとしては、斎藤勇著『英文学史』（研究社）
『アメリカ文学史』（同上）があります。
その他、英米文学史関係の本であれば殆ど差異はありません。自分に合ったものを各自選んでほしい。辞書的なものは『英米文学辞典』（研究社）、『イギリス文学案内』（朝日出版社）、『アメリカ文学案内』（朝日出版社）などがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 音 声 学	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	短 英 1 必	4

講義のねらい

To teach students how they can improve their aural skills and listening comprehension abilities of English as it is naturally spoken by native speakers. This course will not concentrate on theory but instead the practical application of phonetics. In other words, students will be taught less about what Phonetics is from an academic viewpoint, but rather how to use it to enable them to improve their listening comprehension and transcription skills.

講義の内容・授業スケジュール

The essential elements of the course will concentrate on sound recognition, accurate sound reproduction and representation through the use of phonetic symbols, and the correct interpretation of sound into proper English.

[Note: Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.]

- 4月2週 Explanation of course. Explanation of Phonetics. Distribution of phonetic symbols chart.
- 3週 Voiced and voiceless sounds. Classification of major vowels. Classification of consonants.
- 4週 Pronunciation of vowels and diphthongs.
- 5月2週 Pronunciation of consonants.
- 3週 Sound sequence. Consonant clusters. Length or duration. Liaison or linking. Assimilation. Elision and contraction.
- 4週から12月3週まで Exercises involving the actual application of phonetic principles.

履修上の留意点

Although attendance will not be taken, students will be expected to attend class regularly and promptly. Tests will not be announced. Students who are absent on the day of a test will receive a score of zero for that test. Tardy students without valid excuses will not be permitted to take tests and as such, they will also receive a score of zero. As a rule, there will be no make-up tests, however, if a student can prove that she was absent, or tardy, for a legitimate reason, then she may qualify to take a make-up test at the end of the year. Students are advised to take careful notes during the lectures. Outside practice and preparation are essential and often will make the difference between passing and failing. Accordingly, students are urged to apply what they are learning outside of class. Talking in class will not be tolerated and students who fail to observe this rule will be expelled.

成績評価の方法

The final grade will be based entirely on the average of an indeterminate number of unannounced tests given throughout the year plus alpha. Alpha represents the difference between 100 and the average of the student with the highest average. [Final Grade=Avg. + α] Attendance is not a factor because it will not be taken due to the large size of the class.

教科書

No assigned textbook. A phonetic symbols chart will be distributed at the start of the course. Students are advised to listen to English language materials, such as radio broadcasts, TV programs, videos, songs, etc., in their free time.

参考書等

Students will need a notebook and may use dictionaries in class. Students must use pencils when taking tests, however, during class either pens, pencils, or other markers are acceptable.

その他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters. Test results and current averages will be posted. Students with low grades are advised to consult with the teacher at an early date in order to discuss ways of improving their performance.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 文 法 論	うめ ほら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短 英 1 必	4

講義のねらい

基本的な文構造の知識の再確認と日本人が得に苦手とする文法項目の克服を主眼とする。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者が多く演習形式がとれないので、ハンドアウトをあらかじめ配り、ハンドアウトに記されたそれぞれのセンテンスに含まれる重要な文法項目を逐次解説していくという形をとる。センテンスの量はかなり多く、中にはやや理解の難しい文法概念を含んだものもあるので、受講者は毎回必ず講義に出席し、こまめにノートを取る必要がある。講義は基本的な文構造の知識の再確認から始まり、時制、アスペクト、名詞の数と冠詞等の日本人に難しい文法項目を順次取り上げ、解説していくことにする。練習問題も配布するが、課題として自宅でやってもらう。

履修上の留意点

ハンドアウトには英語のセンテンスのみが記されていて解説は書かれていないので、毎回講義に出席し、ノートをごまめに取らないと試験で合格点をとることは難しい。講義の内容を理解し、正確にノートテイキングをするためには、あらかじめ家で十分下調べをしてセンテンスの意味をよく理解しておくことが肝要である。

成績評価の方法

前期終了時または後期開始時、及び学年末にそれぞれ試験をおこない、その結果によって成績評価をする。

教 科 書

使用せず。ハンドアウトを配布。

参 考 書 等

クワーク著『現代英語文法』(紀伊国屋書店)
松波 有編『英文法』(大修館)
正保富三著『英語の冠詞がわかる本』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 文 講 読 I	たき せい じゅ 滝 静 寿	短 英 1 必	2

講義のねらい

チャールズ・ラムの『シェイクスピア物語』の中の作品(未定)を取り上げ、輪読・鑑賞する。子供向けに平易に書き直されたものであるが、文学的格調の高い文体を通し、ラムのシェイクスピアに対する思い入れを考えていく。また、原典の一部を対訳を通して読み、シェイクスピアの言葉の特質を考えてみる。途中で映画を鑑賞する。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) ラムの『シェイクスピア物語』を輪読・鑑賞する。
(後期前半) 原典の一部を対訳を通して読む。
(後期後半) シェイクスピアの作品の映画を鑑賞し、劇作家とその作品を研究する。

履修上の留意点

小グループに分け、輪番制で研究発表をする。割り当てられた所は、文法的な問題はもとより、全て責任をもって質問や意見に答えてもらう。
予習が第一、授業に対する積極的な態度が第二、遅刻、欠席には厳しく臨む。

成績評価の方法

授業態度、出席率、意見の発表、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教 科 書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英文講読 I	たか の ひで あ 高 野 秀 夫	短英 1 必	2

講義のねらい	① Natural Speed で英語を読み、聞く能力を高める。 ② 教科書：いわゆるクリスマスの読物のなかでディケンズの『クリスマス・キャロル』はとりわけ有名です。特に冷酷な主人公が亡霊に導かれてやさしい人間に生まれ変わる心の動きに注目しながら読み進めていく予定です。
講義の内容・授業スケジュール	① テープの英語 ② 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英国文学の知識を広げる。
履修上の留意点	毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。
成績評価の方法	前期・後期各一回テスト・レポート・平常点
教科書	Charles Dickens : <i>A Christmas Carol</i>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英文講読 I	み し ま いづる 三 島 出	短英 1 必	2

講義のねらい	言葉の果たす役割は、コミュニケーションばかりではない。もっと本質的な面に立ち戻り、英語を用いて創り出された芸術作品を味わうことによって、言葉の果たしている妙なる役割に注目する必要があるように思われる。シェイクスピアの悲劇を取り扱ったこのテキストは、上記の学習目的に適したものと考えている。
講義の内容・授業スケジュール	学習に先立って、前もって作品を読んでおく必要があるが、情報過多の現代日本の学生にそれを要求することは不可能に近い。従って作品を取り扱う前にビデオを見せ、物語の展開を先ず理解してもらおう。それから著者の主張する批評を講読し学習していきたい。時間の制約上、このテキストの前半部分を取り扱い後半の作品は、二次次に学習する予定にしている。
履修上の留意点	ビデオ上映日に欠席すると、実際に作品を読まねば著者の主張する批評の意図を把握することはできない。
成績評価の方法	筆記試験及び授業の出席と発表の内容を勘案して評価する。
教科書	<i>Six Tragedies of Shakespere</i> (英宝社) 1243円
参考書等	先ずシェイクスピアの作品を読むこと
その他	ビデオを使用。上映所要時間 <i>Romeo & Juliet</i> (110min.)、 <i>Macbeth</i> (140min.)、 <i>King Lear</i> (187min.) である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Freshman English	Keyes, Peter (キーズ, ピーター)	短 英 1 必	2

講義のねらい

Text : 'Basic Survival'
 Authors : Peter Viney
 Publisher : Heinemann
 Supplementary Material will be handed out by the teacher.

講義の内容・
授業スケジュール

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

履修上の留意点

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher form time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

成績評価の方法

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The main text covers seven skill areas. These are communications, business, socializing, travel, hotels, money, and food and drink. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

教 科 書

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation reviewing what has been learnt.

参 考 書 等

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

そ の 他

'Survival English'
 An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).
 An English Japanese dictionary.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文学史	滝 静 寿 <small>たき せい しゅ</small>	短英2必	4

専門(英文科)

講義のねらい

歴史を背景に、イギリス文学の流れを、その時代の代表的な作品、作家を取り上げながら概観する。講義形式であるので、ノートをとって貰う。

講義の内容・授業スケジュール

- (4月) イギリス文学史の年間講義の概略の説明、イギリスについての基礎知識、アングロ・サクソン時代までの簡単な歴史。
- (5月) 古英語時代の詩歌等『バイウルフ』を中心に。ノーマン・コンクエストによる言語・文化の変遷。
- (6月) 16世紀までの歴史。中英語の文学チョウサー、ラングランドを中心に。ギリシヤ・ローマ演劇について。
- (7月) 17世紀までの歴史、中世のイギリス演劇。ヒューマニズムについて。
- (9月) エリザベス朝の文学と演劇、特にシェイクスピアを中心に。
- (10月) 18世紀までの歴史、ビュリタニズムについて、特にミルトン、バンヤンを中心に。王政復古について。
- (11月) 19世紀までの歴史。ポーブ等について。散文の登場、ジャーナリズムの発展、サムエル・ジョンソン等を中心に。
- (12月) ヴィクトリア朝の歴史と文芸。
- (1月) イギリス文学史の総まとめ。

履修上の留意点

出欠はとらない代りに、前期、後期のレポートを提出し、それが出席率になる。未提出者は単位修得はできない。

成績評価の方法

学年末のペーパーのテストが主で、前後期各1回提出のレポートを参考に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

教場で説明。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学概論	たかのひでお夫 高野秀夫	短英2必	4

講義のねらい

ドイツ語の Vater, Mutter, Bruder, Schwester は英語の Father, Mother, Brother, Sister である。これは中学、高校で一生懸命学んできた英語の歴史を紐解くことですぐに分かる。

英語はインド・ヨーロッパ語族 (Indo-European Family of Languages) のひとつの言語であり、その生い立ちは "Indo-European" … "Germanic" … "West Germanic" … "Low Germanic" … Anglo-Saxon (Old English) … Middle English … Modern English となる。

今や a leading international language になり10億の人が話す英語が如何に生まれ、発達し今日に至ったのか？ このことを概観することによって、英語の理解が一層深まり、また English speaking people の眼であり心であり生きかたがよりはっきり分かる講義をしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. General Character of English (一般的な英語の特徴)
2. The Indo-European Family of Languages (インド・ヨーロッパ語族)
3. Vocabulary (語彙)
4. Spelling and Pronunciation (綴りと発音)
5. The Shaping of Words (語の形成)
6. Making of Modern English (現代英語の成立)
7. The English Language Today (今日の英語)

履修上の留意点

教科書を使うので事前にしっかり予習しておくこと。

成績評価の方法

前後期末試験とレポート。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 作 文	Ashwell, Tim (アッシュウェル, ティム)	短英2必	2

講義のねらい

In this course, students will be encouraged to write extensively in English in order to develop greater fluency and greater belief in using English as a means of communication and as a way to express oneself.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will be given a target number of pages to complete in their diaries and some class time may be set aside for diary writing. Students will also work from the textbook in class to build up basic skills. Assignments which require students to draft and redraft will be set for homework.

履修上の留意点

Students are expected to excuse themselves for any absences and will be penalised in their final grades for unexcused absences or lateness. Deadlines for assignments must be met.

成績評価の方法

Grades will be based on : i) diaries ; ii) assignments ; iii) effort shown in class ; iv) attendance.

教科書

なし

参考書等

特になし

そ の 他

Students should buy a floppy disc onto which they can type their assignments.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 作 文	梅原 敏弘	短英2必	2

講義のねらい

日本人が英語を書くときに犯す誤りには共通のパターンがあるように思われる。そうした誤りのパターンを意識し、そうした間違いを犯さないように心がければ、英文を書くとき間違いを犯す確率は低くなる。この英作文の授業では、間違いやすいパターンに注意し、そうした間違いを犯さないように英文を書く練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

Common Errors in English Writing という教科書を、Unit 1 から Unit 20 まで、順をおって学習していく。この教科書には日本人が犯しやすい誤りの事例が多数載せられ、Unit 毎に其の誤りがパターン化されている。各 Unit には相当量の練習問題があるので、一回の授業で 1 Unit をこなすことが出来るかどうかは分からないが、予定としては一回の授業で 1 Unit を済ましていくつもりである。

履修上の留意点

練習問題の量が多いので予習をしっかりしてくる。就職活動のために欠席は最小限にとどめること。

成績評価の方法

授業時間内に行われる数回の試験の結果、および出席を総合的に勘案して決める。

教 科 書

木塚晴夫著 *Common Errors in English Writing* (マクミラン ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 作 文	高野 秀夫	短英2必	2

講義のねらい

英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

- ① 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。
- ② 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
- ③ A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する。

後 期

- 後期も前期と同じ授業計画。
- ① ヒヤリング・テープの活用
 - ② 教科書 (英作文)
 - ③ 短い英語のスピーチ

履修上の留意点

- ① 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
- ② 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみる。

成績評価の方法

- ① レポート
- ② 前期・後期各1回テスト
 - (a) 英字新聞記事
 - (b) 教科書の英作文
 - (c) 自由英作文
- ③ 平常点

教 科 書

- ① *Unique English Composition* (Vol. I・II)
- ② *TV News Watching・21 Approaches*

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英文講読Ⅱ	くま ざき ひさ こ 熊 崎 久 子	短英2必	2

講義のねらい

- 20世紀英文学の中でも特異な存在である D. H. ロレンスの後半生について、妻フリーダが綴った思い出の記、「私ではなく、風が……」を読みます。
- 併せてロレンス自身の書いた短編小説、詩、エッセイ、および書簡を読み、人生、愛、性、芸術、宗教など、あらゆる分野に互り独自の見解を披瀝しているロレンス自身の生き方とその思想に触れたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 第一週 D. H. ロレンスについて解説
第二週以降 “Not I, but the wind…”を読む。
最終週 質疑応答とまとめ。
- 後期 “The World of D. H. Lawrence”を読む。
最終週 質疑応答とまとめ。

授業の進め方

- 「私ではなく、風が……」は簡単な文章で綴られていますので速読をいたします。作品中に言及されているロレンスの詩、小説、紀行文などはその都度、一部引用して鑑賞します。受講者全員による朗読とディスカッションを行います。
- 配布プリントはロレンス自身の英語で書かれたものですからじっくりと文章と内容を味わいます。この場合も受講者全員の発表と意見の交換を行います。

履修上の留意点

十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握して教場に臨んでください。朗読、意見発表は申し出制としますので準備を十分にし、積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期、後期各一回行う試験の評価……60%
平常点……40%

教科書

- Frieda Lawrence 著 *Not I, but the Wind* (弓プレス)
- D. H. Lawrence の作品、プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英文講読Ⅱ	たき せい じゅ 滝 静 寿	短英2必	2

講義のねらい

旧約聖書の『創世記』を輪読し、西洋文化の根底をなす世界観に接し、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の違いを概観してみる。平易な英語で書かれているので、速読に馴れることを目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- (4月) 『聖書』、『聖書物語』について
- (5月) 「創世記」“天地創造”から“バベルの塔”まで
- (6月) “ノアの箱舟”
- (7月) “天地創造”のビデオ鑑賞
- (9月) “アブラハム”
- (10月) “ソドム”
- (11月) “イサク”
- (12月) “ヨセフ”から“モーゼの十戒”(出エジプト記)への導入と、ビデオ鑑賞
- (1月) 全体のまとめ

履修上の留意点

教員のみでなく学生からも常に問題を提起し、読むだけでなく、各ストーリーにもられた意味等を考えながら進めていく。
必ず予習し、積極的な意見の発表を義務づける。予習しない者は入室を拒否する。

成績評価の方法

授業を進めていく過程での平常点、出席率、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

The Story Bible by Pearl S. Buck Vol. 1 (英宝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読 II	みしまいつる 三 島 出	短 英 2 必	2

講義のねらい

一年次のテキストを用いて、作品の後半の部分を取り扱うことにしている。昨年は実施されていないので、今年は一・二年同時スタートとなる。講義のねらいは、一年次で学習した作品とこれから取り扱う作品との比較、シェイクスピアが作品に秘めていたもの等を理解することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

一年次に開講していないので、今回は前半の作品を概説してから後半の作品を取り扱う。Othello (94min.) Antony & Cleopatra (148min.) Hamlet (155min.) のビデオ作品をそれぞれ前もって見せた後で、これらの作品についての Dover Wilson の批評を講読する。

履修上の留意点

授業への参加、作品の理解が必要不可欠である。

成績評価の方法

筆記試験・出席及び発表内容によって評価する。

教 科 書

Six Tragedies of Shakespeare (英宝社) 1243円

参 考 書 等

出来るだけ作品を読むこと

そ の 他

ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Spoken English	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J.)	短 英 2 選	2

講義のねらい

To improve the student's articulatory skills by maximization of opportunities to speak with the instructor and other students in one-on-one and small group situations under supervision.

講義の内容・
授業スケジュール

[Lesson content may vary somewhat from scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations and the need to spend more or less time on certain subjects.]

The first semester will focus on everyday situations the student might encounter living abroad, including telephone conversations, booking tickets for plays or musical performances, visiting the doctor or dentist, inquiring about directions, business hours, the price or size of an article to be purchased, and ordering in a restaurant.

The second semester will continue the above pattern, moving gradually into more difficult situations that require organizational, analytical and argumentative skills. Topics will include but will not be limited to seeking correction of a mistaken bill, trying to convince someone to change their opinion of something and explaining why something was done while admitting that it was a mistake.

履修上の留意点

Class attendance is required. More than three unexcused absences will result in a lowered grade. Students are required to have both Japanese-English and English-Japanese dictionaries with them in class every day.

成績評価の方法

Grades will be based on general preparedness, class participation and one or two graded presentations or interviews.

教 科 書

None

参 考 書 等

None

そ の 他

Nothing

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Spoken English	Griffiths, J. (グリフィス, J)	短 英 2 選	2

講義のねらい

The principal aim of this course will be to improve the ability of the students to express themselves effectively in conversational English in a variety of situations.

講義の内容・
授業スケジュール

Each class will cover different conversational topics in the news, popular films and music, on the Internet, or in the textbook. During each semester, every student will be expected to make one short presentation on a topic of their choice.

履修上の留意点

During the course of two semesters, students will be expected to become reasonably competent in the material presented in the textbook. Regular attendance and enthusiastic participation in classroom activities will be required to complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of final grade. Presentations and test scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences will automatically lower the final grade ten full points. Every two times a student is late for class, it will count as one absence.

教 科 書

Interchange I: English for international communication

そ の 他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

《必修科目》【二 類】

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 文 学 概 論	くま ぎき ひさ こ 熊 崎 久 子	短 英 1 必	4

講義のねらい

古代英語の時代より、中世英語の時代、文芸復興期を経、浪漫主義、古典主義等々の長く、膨大な歴史と伝統の上に結実をみせた19世紀イギリス文学と逞しい開拓精神と果てしない夢と希望の上に独自の浪漫主義を開花させた19世紀アメリカ文学を、それぞれの時代の趨勢を背景に概観する。産業革命の影響を受け、大きく変動していく社会と揺れ動く人心を反映させたヴィクトリア女王朝のイギリス文学は明治の日本文学にも少なからぬ影響を与えています。英国同様に産業革命の影響を受け、また、辺境の消滅による失意から、リアリズム文学へ、自然主義文学へと変革するアメリカ文学は後にこの国独自の文学者を生み出します。南部作家、黒人作家等です。それらの背景を踏まえて社会と文学の接点にも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 前期 ヴィクトリア朝の英文学
 - 4月 英文学の流れ — 古代英語時代から18世紀まで、ヴィクトリア朝概観
 - 5月 詩歌
 - 6月 小説
 - 7月 アイルランド文芸運動、児童文学、世紀末文学
- ② 後期 19世紀米文学
 - 9月 独立以前からロマンティズム興起まで
 - 10月 ロマンティズム興隆からリアリズム発生まで
 - 11月 リアリズムの確立、自然主義の台頭、第一次世界大戦前後
 - 12月 新劇、ロスト・ジェネレーションの作家、黒人作家、南部作家
 - 1月 補足とまとめ

授業の進め方

- ① 予定表に従い、作家と作品について論じる。重要な作品については必要な箇所を引用し参照します。特に韻律が主要な役割を果たす詩歌の場合は解説のみでは十分な理解ができないので作品を引用し朗読します。
- ② 必要に応じ講義概要を配布する。あるいは黒板に板書します。
- ③ 終了前10分間弱を質問の時間に当てます。

履修上の留意点

広い範囲の作品作家を扱うことになるので、予定表を参考にあらかじめその日のための予備知識を備えて出席すること。出席するだけでは内容の把握が出来ません。またその日の疑問は必ずその日に質問をし、解決しておくこと。

成績評価の方法

1. 定期試験の成績……50%
2. 年2回提出のリポートの評価……30%
3. 授業中に提出をもとめた小レポート……20%

教科書

正式の教科書は特にありません。
準テキスト：佐瀬順夫著『要説イギリス文学史』（英宝社）
『要説アメリカ文学史』（同上）

参考書等

引用も多く専門的なものとしては、斎藤勇著『英文学史』（研究社）
『アメリカ文学史』（同上）があります。
その他、英米文学史関係の本であれば殆ど差異はありません。自分に合ったものを各自選んでほしい。辞書的なものは『英米文学辞典』（研究社）、『イギリス文学案内』（朝日出版社）、『アメリカ文学案内』（朝日出版社）などがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語音声学	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	短英 1 必	4

講義のねらい

To teach students how they can improve their aural skills and listening comprehension abilities of English as it is naturally spoken by native speakers. This course will not concentrate on theory but instead the practical application of phonetics. In other words, students will be taught less about what Phonetics is from an academic viewpoint, but rather how to use it to enable them to improve their listening comprehension and transcription skills.

講義の内容・授業スケジュール

The essential elements of the course will concentrate on sound recognition, accurate sound reproduction and representation through the use of phonetic symbols, and the correct interpretation of sound into proper English.

[Note: Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.]

- 4月2週 Explanation of course. Explanation of Phonetics. Distribution of phonetic symbols chart
- 3週 Voiced and voiceless sounds. Classification of major vowels. Classification of consonants.
- 4週 Pronunciation of vowels and diphthongs.
- 5月2週 Pronunciation of consonants.
- 3週 Sound sequence. Consonant clusters. Length or duration. Liason or linking. Assimilation. Elision and contraction.
- 4週から12月3週まで Exercises involving the actual application of phonetic principles.

履修上の留意点

Although attendance will not be taken, students will be expected to attend class regularly and promptly. Tests will not be announced. Students who are absent on the day of a test will receive a score of zero for that test. Tardy students without valid excuses will not be permitted to take tests and as such, they will also receive a score of zero. As a rule, there will be no make-up tests, however, if a student can prove that she was absent, or tardy, for a legitimate reason, then she may qualify to take a make-up test at the end of the year. Students are advised to take careful notes during the lectures. Outside practice and preparation are essential and often will make the difference between passing and failing. Accordingly, students are urged to apply what they are learning outside of class. Talking in class will not be tolerated and students who fail to observe this rule will be expelled.

成績評価の方法

The final grade will be based entirely on the average of an indeterminate number of unannounced tests given throughout the year plus alpha. Alpha represents the difference between 100 and the average of the student with the highest average. [Final Grade=Avg. + α] Attendance is not a factor because it will not be taken due to the large size of the class.

教科書

No assigned textbook. A phonetic symbols chart will be distributed at the start of the course. Students are advised to listen to English language materials, such as radio broadcasts, TV programs, videos, songs, etc., in their free time.

参考書等

Students will need a notebook and may use dictionaries in class. Students must use pencils when taking tests, however, during class either pens, pencils, or other markers are acceptable.

その他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters. Test results and current averages will be posted. Students with low grades are advised to consult with the teacher at an early date in order to discuss ways of improving their performance.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English I	Griffiths, J. (グリフィス, J)	短英 1 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the oral and aural skills of students in English. Exercises are designed to enable students to respond automatically and correctly in speaking situations. In other words, students will be taught how to actually use the English they have studied prior to entering college in conversational situations.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will be conducted in the L. L. At the start of the course students will be given printouts of the material to be covered in class. It will be essential that they review the assigned lessons prior to each lesson, otherwise they may find themselves unable to keep up with the rapid pace of the class. Each class will begin with a 20-question multiple choice comprehension test over the previous lesson's content. After that the students will record the next lesson and practice it according to the instructions of their teacher. Such exercises may vary according to teacher or be supplemented with additional materials.

[Note : Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or similar factors.]

前期

- 4月 2週 Distribution of study materials. Explanation of course. Assignment.
- 3週 Record Unit 1a Situations practice.
- 4週 Unit 1a Situations comprehension test. Record Unit 1c Episode practice.
- 5月 2週 Unit 1c Episode comprehension test. Record Unit 2a Situations practice.
- 3週 Unit 2a Situations comprehension test. Record Unit 2c Episode practice.
- 4週 Unit 2c Episode comprehension test. Record Unit 3a Situations practice.
- 6月 1週 Unit 3a Situations comprehension test. Record Unit 3c Episode practice.
- 2週 Unit 3c Episode comprehension test. Record Unit 4a Situations practice.
- 3週 Unit 4a Situations comprehension test. Record Unit 4c Episode practice.
- 4週 Unit 4c Episode comprehension test. Record Unit 5a Situations practice.
- 7月 1週 Unit 5a Situations comprehension test. Record Unit 5c Episode practice.
- 2週 Unit 5c Episode comprehension test. Record Unit 6a Situations practice.

後期

- 9月 3週 Unit 6a Situations comprehension test. Record Unit 6c Episode practice.
- 4週 Unit 6c Episode comprehension test. Record Unit 7a Situations practice.
- 10月 1週 Unit 7a Situations comprehension test. Record Unit 7c Episode practice.
- 2週 Unit 7c Episode comprehension test. Record Unit 8a Situations practice.
- 3週 Unit 8a Situations comprehension test. Record Unit 8c Episode practice.
- 4週 Unit 8c Episode comprehension test. Record Unit 9a Situations practice.
- 5週 Unit 9a Situations comprehension test. Record Unit 9c Episode practice.
- 11月 2週 Unit 9c Episode comprehension test. Record Unit 10a Situations practice.
- 3週 Unit 10a Situations comprehension test. Record Unit 10c Episode practice.
- 4週 Unit 10c Episode comprehension test.
- 12月 1週 Supplemental lessons.
- 2週 Make-up tests.
- 1月 2週 Student evaluation Questionnaires.

履修上の留意点

Preparation before class is absolutely essential. Students who do not have a solid understanding of the content of the material being covered will not be able to respond promptly nor correctly, and as such, will find themselves failing. Also, because the course is fast-paced, it will be necessary to practice speaking outside of class. Traditional study methods of only reading and memorizing and not actually speaking out loud will be insufficient. As for speaking ability, students will be graded on their pronunciation also. In other words, they will be expected to demonstrate what they are learning in Phonetics. As can be seen from the grading method, regular and prompt attendance is important because it will directly affect the final grade. Each class will begin with a test. Students who come late will not be allowed to take the test; their grade for that test will be "0". Students who are absent will not be allowed to take the test at a later date. They also will receive a "0" for that test. At the end of each semester makeup tests may be given to certain students who qualify. If a student was absent from both the Situations and Episode comprehension tests of a particular unit for a reason deemed valid by her instructor, then she

may be given a makeup test for that unit. It should be noted that the makeup tests, unlike the comprehension tests, is a 100question speaking test lasting only about 5 minutes and covering all the material in that unit. Students are given only one chance to answer questions as they hear them and their answers are recorded. Pronunciation, grammar, and content must all be perfect for an answer to be correct.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will primarily be based on the average score of all LCTs (Listening Comprehension Tests).

教科書

No assigned textbook.

参考書等

Printouts of the main study material will be distributed by teachers to the students. Students, however, will be required to provide their own audio tapes. A 90-minute tape is needed to record Situation Exercises and a 60-minute tape is needed to record Episode Exercises.

その他

Students are encouraged to consult with their teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters. Results of comprehension tests will be posted regularly outside the English Department Resources Room.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English I	Schelin, Keith (シエレン, キース)	短 英 1 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the oral and aural skills of students in English. Exercises are designed to enable students to respond rapidly and correctly in speaking situations. In other words, students will be taught how to actually use the English they have studied prior to entering college in conversational situations.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will be conducted in the L. L. . At the start of the course students will be given printouts of the material to be covered in class. It will be essential that they review the assigned lessons prior to each lesson, otherwise they may find themselves unable to keep up with the rapid pace of the class. Each class will begin with a 20-question multiple choice comprehension test over the previous lesson's content. After that the students will record the next lesson and practice it according to the instructions of their teacher. Such exercises may vary according to teacher or be supplemented with additional materials.

履修上の留意点

Printouts of the main study material will be distributed by teachers to the students. Students, however, will be required to provide their own audio tapes. A 90-minute tape is needed to record Situation Exercises and a 60-minute tape is needed to record Episode Exercises.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula :

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + a = \text{Final Grade}$$
 X=number of absences, Y=number of times tardy, Z=average of all grades, a=adjustment based on Teacher's evaluation

教 科 書

Preparation before class is absolutely essential. Students who do not have a solid understanding of the content of the material being covered will not be able to respond promptly nor correctly, and as such, will find themselves failing. Also, because the course is fast-paced, it will be necessary to practice speaking outside of class. Traditional study methods of only reading and memorizing and not actually speaking out loud will be insufficient. As for speaking ability, students will be graded on their pronunciation also. In other words, they will be expected to demonstrate what they are learning in Phonetics. As can be seen from the grading method, regular and prompt attendance is important because it will directly affect the final grade. Each class will begin with a test. Students who come late will not be allowed to take the test ; their grade for that test will be "0". Students who are absent will not be allowed to take the test at a later date. They also will receive a "0" for that test. At the end of each semester makeup tests may be given to certain students who qualify. If a student was absent from both the Situations and Episode comprehension tests of a particular unit for a reason deemed valid by her instructor, then she may be given a makeup test for that unit. It should be noted that the makeup tests, unlike the comprehension tests, is a 100-question speaking test lasting only about 5 minutes and covering all the material in that unit. Students are given only one chance to answer questions as they hear them and their answers are recorded. Pronunciation, grammar, and content must all be perfect for an answer to be correct.

Students whose scores are 70 and under are required to do additional homework for the following week. For Situations, students are required to write 3 questions and 3 answers to those questions, for each of the sections of the following weeks lest. For Episodes, they are to make 5 questions and answers for each of the paragraphs of the following weeks lest.

参 考 書 等

Lesson content may vary from scheduled lesson plans as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.

Situation tests have 5 possible answers to choose from.

Episode tests give you 4 possible answers to choose from. If none of the given answers is correct then you are to choose number 5.

Yearly Schedule

- week 1-Distribution of study materials. Explanation of course. Assignment.
- 2-Record Unit 1a Situations practice.

- 3-Unit 1a Situations comprehension test. Record Unit 1c Episode practice.
- 4-Unit 1c Episode comprehension test. Record Unit 2a Situations practice.
- 5-Unit 2a Situations comprehension test. Record Unit 2c Episode practice.
- 6-Unit 2c Episode comprehension test. Record Unit 3a Situations practice.
- 7-Unit 3a Situations comprehension test. Record Unit 3c Episode practice.
- 8-Unit 3c Episode comprehension test. Record Unit 4a Situations practice.
- 9-Unit 4a Situations comprehension test. Record Unit 4c Episode practice.
- 10-Unit 4c Episode comprehension test. Record Unit 5a Situations practice.
- 11-Unit 5a Situations comprehension test. Record Unit 5c Episode practice.
- 12-Unit 5c Episode comprehension test. Record Unit 6a Situations practice.
- 13-Unit 6a Situations comprehension test. Record Unit 6c Episode practice.
- 14-Unit 6c Episode comprehension test. Record Unit 7a Situations practice.
- 15-Unit 7a Situations comprehension test. Record Unit 7c Episode practice.
- 16-Unit 7c Episode comprehension test. Record Unit 8a Situations practice.
- 17-Unit 8a Situations comprehension test. Record Unit 8c Episode practice.
- 18-Unit 8c Episode comprehension test. Record Unit 9a Situations practice.
- 19-Unit 9a Situations comprehension test. Record Unit 9c Episode practice.
- 20-Unit 9c Episode comprehension test. Record Unit 10a Situations practice.
- 21-Unit 10a Situations comprehension test. Record Unit 10c Episode practice.
- 22-Unit 10c Episode comprehension test.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English II	Ashwell, Tim (アッシュウェル, ティム)	短 英 1 必	2

講義のねらい

In this course, students will be guided to read extensively in English so that they may begin to find that reading in English can be a rewarding experience.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be asked to buy one reader each at the beginning of the year. These readers will be shared with other students in the class and students will be told how many readers they will be expected to read each term. In addition, work will be done on developing particular reading skills in class.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absence are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on : i) reviews of books read ; ii) effort in class ; iii) attendance.

教 科 書

特になし

教 科 書

特になし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English II	Wallace, George (ウォレス, ジョージ)	短 英 1 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving students' reading skills in English, and will also seek to make students more aware readers of English. By this I mean, they will be required not only to read for content but to assess the value / validity of what they are reading and to comment upon it in clear, simple English.

講義の内容・
授業スケジュール

At the start of the year students will be required to buy the text to be used and will be told what is expected of them. Each week they will read the main passage of the chapter (to be covered in that week's class) for their homework. To ensure this is strictly adhered to, a test will be given at the start of each class to gauge how thoroughly the students did their homework. Then in class they will be required to summarize the passage in their own words, and also to comment on it, offering their own opinions and criticisms.

履修上の留意点

Students who are absent for more than three classes in the year will automatically fail (Unless they can produce proof of why they were unavoidably absent, e. g. hospitalization) .

Coming late to class twice will be counted as one absence, so students should take care to be on time.

成績評価の方法

Grades will be based on

- (i) the number of absences.
- (ii) the number of times late to class.
- (iii) the aggregate score of the weekly tests.
- (iv) the zest with which students participate in classroom discussions.
- (v) the contribution students make to classroom morale.

Note : For students with a bona fide excuse for being absent from class, there will be a make-up test at the end of each term. A bona fide excuse will need written proof (e. g. a doctor's note in case of illness).

教 科 書

yet to be decided.

参 考 書 等

All students must bring a dictionary to every class (either a bilingual one or preferably an English-English dictionary by Longman or Oxford University Press).

そ の 他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English III	やま 山 がつ 縣 ゆたか 裕	短 英 1 必	2

講義のねらい

The focus of this course is for students to get used to spoken English so that their English communication will improve. In this course students will practice listening comprehension of authentic English.

履修上の留意点

Students in this course will actively participate in English conversation.

教 科 書

Survival English — The Sounds of New York — (Book 1) (朝日出版社) 1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English III	Ashwell, Tim (アッシュウェル, ティム)	短 英 1 必	2

講義のねらい

This course is designed to provide students with opportunities to listen to short videoreports made by a small Los Angeles T. V. company which cover such topics as fitness, food and education and revolve around interviews with local people. The emphasis will be on comprehension through listening, not reading, and students will be expected to speak out in class.

講義の内容・
授業スケジュール

Each video report will be studied for 3 or 4 lessons. Students will normally be required to prepare vocabulary in advance, but, in class, first, the topic will be introduced and then sections of the video will be studied using intensive questioning. There will be sections of the video report which will not be covered in class and students will be expected to study these themselves outside class by borrowing copies of the tapes from the L. L. office. In the final class on each video report, students will be given a test. At no stage will a script be given out.

履修上の留意点

There will be no retests.

成績評価の方法

Grades will be based on effort in class and on an average of all the test results over the year. Attendance will be assessed as part of the effort grade.

教 科 書

All materials will be provided by the instructor.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English III	Maksimuk, M. W. (マクサマック, M. W.)	短英 1 必	2

講義のねらい	The main goal of this class is to improve the students listening ability of natruel English that is spoken in various situations.
講義の内容・授業スケジュール	Courses will conducted according to the format of the text. However, the instructor will sometimes supplement the lessons using various materials.
履修上の留意点	Students are expected to be aggressive, inquisitive and enthusiastic in each and every class. The students must bring to class a notebook, in which to take notes, a dictionary to look up new and forgotten words and, most important, a willingness to learn.
成績評価の方法	Grades will be based on the results of semester exams (50%), homework assignments (10%), attendance (10%) and in-class participation (30%).
教科書	Textbook will be announced at first class.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English IV	Keyes, Peter (キーズ, ピーター)	短英 1 必	2

講義のねらい	Text : 'Basic Survival' Authors : Peter Viney Publisher : Heinemann Supplimentary Material will be handed out by the teacher.
講義の内容・授業スケジュール	To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.
履修上の留意点	Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.
成績評価の方法	The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The main text covers seven skill areas. These are communications, business, socializing, travel, hotels, money, and food and drink. Each of those themes will be expanded upon by the teacher.
教科書	Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation reviewing what has been learnt
参考書等	The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be givin for high attendance.
その他	'Survival English' An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class). An English Japanese dictionary.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English IV	Maksimuk, M. W. (マクサマック, M. W.)	短英 1 必	2

講義のねらい

The purpose of this class is to have the students genuinely improve their oral communicative skills.

講義の内容・授業スケジュール

The instructor will provide the students with materials that will be explained in class. The students are expected to make a serious attempt to understand the material and digest it, for it will be the basis for our in-class discussions. There will be role-playing, short, simple presentations related to the daily lives of the students which will also be the basis for discussion.

履修上の留意点

Students are expected to be active and inquisitive because this is, after all, a oral communication class. This should be a "un" class if....

成績評価の方法

Students will be graded each and every day on their in-class participation. No participation means no passing grade. There will also be semester exams. Consistent punctuality and attendance are a must.

教科書

Textbook will be announced at first class.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English IV	O'Dea, Jeff (オデー, J.)	短英 1 必	2

講義のねらい

To develop communicative language skills. Focussing on speaking :
In particular... Eye contact... Expression... Voice Projection... Gestures... Fluency and listening.

講義の内容・授業スケジュール

Students taking this class will be expected to participate fully in all class activities. class activities will be approximately : 60% pairwork
30% listening
10% small group work

履修上の留意点

Students may be absent for 2 classes at no penalty. After this, each time the student is absent, their end of year score will be reduced by 2%. For example, if a student is absent from 6 lessons, they will lose 8% . (Exceptions may be made in the case of serious illness or injury)

成績評価の方法

(i) Presentations Total Value 60%
Working in pairs, students will be evaluated on their presentation of a dialogue in front of the class. Evaluation will occur on 4 separate occasions during the year. Twice in term one and twice in term two. Dialogues will be based on the language studied in class. Students will have time to prepare their presentations in class.
Students will be given a score out of fifteen for each presentation. The score will be based on how well they demonstrate the following five basic skills (1) Eye contact... (2) Expression... (3) Projection of Voice... (4) Gestures... (5) Fluency. These five skills will be the main focus of most lessons through-out the year, so students will have plenty of opportunity to work on and improve these skills.
During the presentation, each skill will be scored using the following point system 3=GOOD 2= SATISFACTORY 1=POOR 0=NOT DEMONSTRATED
The highest possible score being 15
(ii) Listening Quizzes Total Value 40%
Again on four separate occasions students will be given listening quizzes based on the language covered in class. Two quizzes in term one and two quizzes in term two. Each quiz will be worth 10%

教科書

Text not yet decided. Will advise later.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 文 学 史	たき 滝 せい 静 じゆ 寿	短英2必	4

講義のねらい

歴史を背景に、イギリス文学の流れを、その時代の代表的な作品、作家を取り上げながら概観する。講義形式であるので、ノートをとって貰う。

講義の内容・
授業スケジュール

- (4月) イギリス文学史の年間講義の概略の説明、イギリスについての基礎知識、アングロ・サクソン時代までの簡単な歴史。
- (5月) 古英語時代の詩歌等『ベイウルフ』を中心に。ノーマン・コンクエストによる言語・文化の変遷。
- (6月) 16世紀までの歴史。中英語の文学チョウサー、ラングランドを中心に。ギリシヤ・ローマ演劇について。
- (7月) 17世紀までの歴史、中世のイギリス演劇。ヒューマニズムについて。
- (9月) エリザベス朝の文学と演劇、特にシェイクスピアを中心に。
- (10月) 18世紀までの歴史、・ビュリタニズムについて、特にミルトン、バンヤンを中心に。王政復古について。
- (11月) 19世紀までの歴史。ポープ等について。散文の登場、ジャーナリズムの発展、サムエル・ジョンソン等を中心に。
- (12月) ヴィクトリア朝の歴史と文芸。
- (1月) イギリス文学史の総まとめ。

履修上の留意点

出欠はとらない代わりに、前期、後期のレポートを提出し、それが出席率になる。未提出(期日まで)者は単位修得はできない。

成績評価の方法

学年末のペーパーのテストが主で、前後期各1回提出のレポートを参考に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

教場で説明。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English V	Rolff, Michael. F (ロルフ, M. F.)	短英 2 必	2

[開講時に指示します。]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English V	Dendo, Gary (デンドウ, ゲーリー)	短英 2 必	2

講義のねらい

The purpose of this course is to familiarize students with the TOEIC test and improve their test scores.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be taught strategies for taking the TOEIC test and will complete practice exercises and drills during each class. Recognizing why mistakes were made will be an important function of these tasks. The TOEIC test will be given in class at the beginning and end of the first semester, and at the end of the second semester. Students will be expected to show improvement on their test scores as the academic year progresses.

履修上の留意点

When a student is absent from class, it is her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate and complete it by the next class. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Final grades will be calculated by the following formula ;

$$(100 - 5x) + y + z + A$$

3

x=Number of absences, two late arrivals will equal one absence

y=TOEIC test scores

z=Homework and quiz average

A=Adjustment based on teacher evaluation of effort and improvement

教科書

Building Skills for the TOEIC Test. Gina Richardson and Michele Peters, Longman, ¥2,390

その他

Students are encouraged to talk to the teacher if they have any problems concerning the class.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VI	Ashwell, Tim (アッシュウェル, ティム)	短 英 2 必	2

- 講義のねらい

In this course, students will be encouraged to write extensively in English in order to develop greater fluency and greater belief in using English as a means of communication and as a way to express oneself.
- 講義の内容・授業スケジュール

Each week students will be given a target number of pages to complete in their diaries and some class time may be set aside for diary writing. Students will also work from the textbook in class to build up basic skills. Assignments which require students to draft and redraft will be set for homework.
- 履修上の留意点

Students are expected to excuse themselves for any absences and will be penalised in their final grades for unexcused absences or lateness. Deadlines for assignments must be met.
- 成績評価の方法

Grades will be based on ; i) diaries ; ii) assignments ; iii) effort shown in class ; iv) attendance.
- 教 科 書

なし
- 参 考 書 等

特になし
- そ の 他

Students should buy a floppy disc onto which they can type their assignments.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI	Dendo, Gary (デンドウ, ゲーリー)	短英 2 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the English writing skills of students through the application of various structured and free-writing exercises. Students will complete a consistent format of writing activities during the academic year.

講義の内容・
授業スケジュール

Every week students will complete a short guided writing exercise reviewing grammar and sentence structure. (Approximately 30 minutes)

Assignments and exercises during the course will include the following :

Diary Writing
Dictation Practice
Creative Writing
Story Writing
Current Event Report
Descriptive Compositions

履修上の留意点

When a student is absent from class, it is her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate and complete it by the next class.

成績評価の方法

Final grades will be calculated by the following formula :

$$\frac{(100 - 5X) + y + A}{2}$$

x=Number of absences

y=Average of class assignments

A=Adjustment based on teacher evaluation

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be provided for the students.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Group Discussion	Rolff, Michael. F (ロルフ, M. F.)	短英 2 必	2

[開講時に指示します。]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Group Discussion	Wallace, George (ウォレス, ジョージ)	短 英 2 必	2

講義のねらい

The primary aim of this course is to get students into the habit of discussing topics of conversation in natural everyday English.

講義の内容・
授業スケジュール

Before students can begin to discuss anything in English, two areas must be worked on intensively the first is their vocabulary as without a sufficient active vocabulary to draw upon, their attempts at discussion will founder. The second is their confidence, as without this vital ingredient even the most studious and able student will feel unable to converse freely in English.

Each week a topic of discussion will be presented to the class by the teacher. At the start of the academic year, the topics will tend to be quite simple (e. g., Describe someone you know), but as the year progresses, the topics will become more demanding.

After the topic to be discussed has been explained, students will work in groups of four, sounding each other out for ideas and vocabulary, with one of the four acting as "secretary" writing down the group's thoughts.

Groups will then appoint a spokesperson (someone different from the secretary) who will report to the class on what each group came up with. The teacher will coordinate this group reporting, writing down on the black-board words, phrases and ideas that each group thought of. By pooling the various groups' information, the class will learn not from reference to dictionaries, but by relying on themselves and their classmates. In doing so they will gain in confidence as they soon realize how big their passive vocabulary is, and see how thinking around a subject can lead to a more interesting approach to studying English than rote learning and translation.

履修上の留意点

As much of the class work will be done in small groups, it is essential that all students actively participate, without relying on their classmates to cover for them. The teacher will closely monitor all group discussions to check that all members are doing their utmost to contribute to the group's brainstorming and discussion sessions.

成績評価の方法

By the very nature of this class, there will be minimal written work to be assessed. Grades will be dependent on (i) the individual student's attendance record, (ii) their level of participation in the group's discussion, (iii) their overall contribution to the class (e. g., asking questions when something is not clear, answering promptly and in English when asked a question by the teacher.)

教 科 書

There will be no set text to be used in this class. The teacher will provide photocopied materials as and when required.

参 考 書 等

Students should all bring a pocket dictionary to class each week (either a bilingual one or preferably an English-English dictionary by Longman or Oxford University Press).

そ の 他

Points students should be under no illusions about !
Any student absent from class without a good reason (and without proof that their reason is valid) on more than three occasions will automatically fail the class for the whole year.

Two late arrivals for class will be assessed as one absence. Arriving late for class more than half a dozen times in the year will guarantee a student a "fail" grade.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Group Discussion	Dendo, Gary (デンドウ, ゲーリー)	短英 2 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on developing the oral skills of students through discussion.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will participate in discussions focusing on current events, controversial issues, and personal interests. Special emphasis will be put on the study of news and current events throughout the academic year. Students will study relevant vocabulary to assist in comprehension and discussion of class materials. Sources for class materials will include various textbooks, magazine and newspaper articles, as well as units developed by the teacher.

Details of class activities will be explained at the first class meeting.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. Students will be expected to keep themselves informed of news and current events as well as review materials on a regular basis.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance and attendance.

教科書

No text will be used. Bringing dictionaries to class is highly recommended.

参考書等

Various types of handouts will be used to facilitate discussion.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Group Discussion	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J.)	短英 2 必	2

講義のねらい

The goal of this course is to develop and expand the student's ability to carry on a conversation in English. As such, it is intended to build on oral skills acquired in Intensive English IV.

講義の内容・
授業スケジュール

[Lesson content may vary somewhat from scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations and the need to spend more or less time on certain subjects.]

前期: Specific assignments will be decided after determination of the overall abilities of the class. The class is designed to maximize the amount of time students have to speak English in a conversational situation. Topics for discussion are chosen a week in advance by the instructor from among suggestions made by students. After a short introduction by the instructor the following week, students are paired or placed in groups of from 3 to 4, between which the instructor circulates making suggestions, corrections and participating in the discussions of the groups. Groups are changed several times each class to insure that students speak with as many other people as possible.

後期: Second semester topics for discussion will be drawn from more advanced fields.

履修上の留意点

Regular, timely attendance is required. A maximum of three unexcused absences is allowed.

成績評価の方法

Grades will be based on weekly in-class performance (50%) and two oral reports, one at the end of each semester (25% each).

教科書

Material for use in class will be provided by instructor.

参考書等

None.

その他

Nothing

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Reading Comprehension	Rolf, Michael. F (ロルフ, M. F.)	短 英 2 必	2

[開講時に指示します。]

専門(英文科)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Reading Comprehension	Wallace, George (ウォレス, ジョージ)	短英 2 必	2

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' reading ability in English. Students will learn (i) how to skim (speed-read) to assess what the subject / theme of a text / passage is, (ii) how to find keywords in a text, (iii) how to use context to guess the meanings of words they do not know.

講義の内容・授業スケジュール

Every fortnight the teacher will provide the class with a passage of English taken from a newspaper or a magazine (whose target audience is principally native speakers of English). In pairs the students will read through the passage underlining any words or phrases they do not understand. Then they will team up with other groups to see which words' meanings can be found without recourse to a dictionary. By pooling their knowledge, the students not only save time and effort, they also take a more active interest in the class.

After pooling their knowledge, however, the students will still be faced with some words they do not know. The next stage of the learning process is to get the students to guess the meaning of the words they don't know without using a dictionary. In their groups students will be encouraged to guess the meaning of unfamiliar words from a careful study of the context in which they appear. Groups will appoint a spokesperson who will then report to the class as a whole what their guesses were.

The teacher will then explain (in English) what the meanings of difficult words are, showing how the words can be expressed in more basic English where appropriate (e. g. It is elementary = It is very simple).

The students will then have a chance to ask for explanation / help on any points of grammar, etc. which trouble them.

Students will be expected to learn the words that are new to them for their homework, and to read through the passage taking in the most important information (e. g., if the passage is about the peace negotiations in Bosnia, the students will be expected to know where Bosnia is and why it was at war).

To ensure that students do their homework, there will be a test every other week. One part of the test will be on vocabulary and usage, the other on comprehension (of the text studied the week before).

履修上の留意点

As much of the class work will be done in small groups, it is essential that all students actively participate. Relying on one's classmates to do all the work for you will not be acceptable, and anyone seen to be idling / not concentrating on the work under discussion will be marked down (this will be reflected in their end-of-year grade).

成績評価の方法

End-of-year grades will be based on the following criteria: (i) attendance record (ii) level of participation in classroom activities (iii) aggregate score in the fortnightly tests.

教科書

The teacher will provide photocopied materials every fortnight.

参考書等

Students should always bring a pocket dictionary to class (preferably one by Longman or Oxford University Press, with the meanings of words explained wholly in English).

その他

Any student who is absent more than three times without good reason (and proof of that reason) will automatically fail this class.
Two late arrivals=One absence. Be warned!

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Reading Comprehension	O'Dea, Jeff (オデー, J)	短 英 2 必	2

講義のねらい

To develop reading comprehension by reading and discussing articles.
Students should be prepared to participate actively and fully in class discussions, activities and presentations.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be expected to...

- # Read and also do written work at home in preparation for class.
- # participate in class discussions and small group discussions
- # Ask questions to the teacher and to their classmates about the reading topics
- # Share their opinions and views about what they have read and studied with the teacher and other students in the class
- # Write about what they have read and discussed

成績評価の方法

Students will be evaluated by

- a) Short reading comprehension tests : {60%of final grade} :
Grade will be based on average of test scores.
Tests will be given at regular periods throughout the course.
- b) A readers journal : {40% of final grade}
Students will write about different topics they have studied.
Journals will be evaluated on content and struture.
Grade will be based on average of journal scores
- c) Students may be absent for 2classes at no penalty. After this, each time the student is absent, their end of year score will be reduced by 2%. For example, if a student is absent from 6les-sons, they will lose8%.
(Exceptions may be made in the case of serious illness or injury)

教 科 書

Not yet decided

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Reading Comprehension	Griffiths, J. (グリフィス, J)	短 英 2 必	2

講義のねらい

The principal aim of this course will be to improve the ability of the students to read and understand a variety of materials in modern English.

講義の内容・
授業スケジュール

Each class will cover printed materials on different topics in the news, modern films and entertainment, or directly from the Internet. Copies of the reading materials will be distributed regularly throughout the year. During class, each student will be expected to read both silently and aloud, and also participate in class discussions. Periodic quizzes will be given to check on comprehension and retention. During the second semester, every student will be expected to complete an individual reading assignment and present a short report on a topic of their choice approved by the instructor.

履修上の留意点

Regular attendance, completion of all assignments, and enthusiastic participation in classroom activities will be required to complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. The individual reading assignment, short report and quiz scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences will automatically lower the final grade ten full points. Every two times a student is late for class, it will count as one absence.

教 科 書

To be determined.

そ の 他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

《選択科目》【一類・二類 共通】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理 I	湯 浅 陽 子	短英1選	2

講義のねらい

パソコンやワープロなどの情報機器が広く普及し、子どもたちからお年寄りまで身近なものとなっているが、これらの機器を使いこなすには、まず、基本として keyboard の正確で速い操作方法である“Touch Typing”（タッチタイピング技能＝ブラインドタッチ：手元を見ないで打つ技能）を身につけることが必要である。

Keyboard はさまざまな情報機器に共通する入力装置なので、Alphabet による Touch Typing 技能を身につけると、Personal Computer や Word Processor、Typewriter などいろいろな機器を正確に速く操作することが可能になる。マルチメディア社会を迎え、これら情報機器を操作することが必要になればなるほど、Touch Typing 技能を身につけることは必須条件になってくる。

本講義では、Touch Typing 技能を習得することを第一目的とし、テキストにそってコンピュータの様々な機能を学びながら、同時に基礎的なビジネス文書を作成することを通じて、実社会ですぐに役立つ技能を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 4～5月 キーボーディング（ブラインドタッチ習得練習）
- 6～7月 OS 基本操作練習および英文ビジネス文書の作成（英文ビジネス文書検定試験対応）
前期入力レベルテスト*
- 9～10月 日本語ビジネス文書の作成（ビジネス文書技能検定試験対応）
後期入力レベルテスト*
- 11～12月 表計算ソフトを使った表およびグラフの作成
期末入力レベルテスト

*前期と後期の授業時に日本商工会議所主催の「キーボード操作技能認定試験」（キータッチ2000テスト）のFDを使って入力レベルを測定する。合格基準は750字以上である。

履修上の留意点

授業開始時刻から10分間にその日の作業の準備と実習上の注意事項を伝える。その後の個別の質問は受けるが、全体の説明は一度だけにとどめるので、むやみなおしゃべりや遅刻を厳禁する。

また、一番重要な点であるが、自分の前の週の欠席などによる遅れた分は、各自の責任において友人に聞くなどして取り戻しておいてもらいたい。教員はその事に関して責任を持たない。データを入力したフロッピーディスクを忘れた場合も同様である。事前に何とかすべき問題である。なお、2週連続の無断欠席は授業放棄したものとみなす。

ブラインドタッチ習得の早さは個人差があるが一種の運動神経の訓練であるから、ある程度の時間数を要する。できるだけ早く確実に習得するため、一定期間集中して練習に励まなければならない。毎日2時間の練習時間が確保できれば2週間で完全に習得できるものが、1週間に1度の練習では2～3カ月もかかってしまう位の差が出る。そのため、4号館の情報教育センター使用登録申請（有料1,000円）をした上で、自習室を利用して、毎日最低30分練習することをすすめる。一年間を通じて、授業中のやり残した課題作成やキータッチ2000テストの練習に利用したり、当科目だけでなく他の科目での提出物作成にも活用できて便利である。

成績評価の方法

実習科目であるから出席を重視する。また、12月末に実施する期末入力レベルテスト「キーボード操作技能認定試験」結果も重要なポイントになる。その他、指示に従って作成した提出物の良否、授業の理解度、機器操作習熟度、授業への参加度・熱心さなどによって総合評価を行う。なお、課題をやってこなかったり、フロッピーディスク、テキスト等の必需品を忘れたまま授業に臨んだ場合は減点の対象となる。コピーをするなどして準備してほしい。

1月第2週に行う再試験時にブラインドタッチが習得できていない人、または10分間の入力文字数が750字未満の人には単位を認めない。

教科書

- ① フロッピーディスク：データ保存用に2～3枚のフロッピーディスク（2HD3.5インチ）を必要とする。
- ② テキスト：成蹊大学情報処理センター『ビギナーズ 情報リテラシ』（昭晃堂）1,650円

参考書等

使用するアプリケーションソフトに即した本を選ぶと良い：（英和ワープロソフト：Word 97、表計算ソフト：Excel 97）

その他

総合情報センター（4号館）の教場を使用して実習を進める。本講義は同じ内容のものが6コマあり、便宜上その時間に配当された学生番号の者を優先するが、必ずしも配当された番号のコマでなくても受講できる。ただし、各コマの第1回目の授業に出席し、担当者印を押した受講許可証を受け取らないと履修できなくなるので注意すること。必ず本人の出席とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English I A	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J.)	短 英 1 選	2

専門
(英
文
科)

講義のねらい

A comprehensive course for the advanced student, the purpose of this class is to develop and expand all language skills, but emphasizing acquisition of oral skills including pronunciation and delivery, sentence structure and organization. Considerable weight, however, will also be given to reading and writing skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The topic of the 1999-2000 course will be planning a two-week trip abroad. Assignments will include the gathering of social, cultural and historical background information about the country or countries to be visited from the library, the internet and the country's consulate in Japan, comparative pricing of airline tickets from a variety of sources, planning what personal articles to take, an itinerary including specific sites to be visited, accommodations and transportation.

履修上の留意点

Attendance is required.
No more than 4 unexcused absences will be allowed.
Two tardies are counted as one absence.
No retests will be given.

成績評価の方法

Grades are based on preparedness of weekly assignments (50%) and the overall quality of the project, which will be judged by two in-class presentations, one at the end of each semester.

教 科 書

No textbook is used in this class. Both Japanese-English and English-Japanese dictionaries are highly recommended and should be brought to each class.

参 考 書 等

None

そ の 他

The class meets twice a week, 90 minutes each time. Students are required to register for both Advanced English IA and IB. No students will be admitted who have only registered for one of the two sections. Admission to class will be determined by an interview during either the time set aside for orientation or the first week of classes in April. Class size is limited to 10-15. Only the best students will be admitted.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English I B	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J.)	短 英 1 選	2

講義のねらい

A comprehensive course for the advanced student, the purpose of this class is to develop and expand all language skills, but emphasizing acquisition of oral skills including pronunciation and delivery, sentence structure and organization. Considerable weight, however, will also be given to reading and writing skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The topic of the 1999 – 2000 course will be planning a two-week trip abroad. Assignments will include the gathering of social, cultural and historical background information about the country or countries to be visited from the library, the internet and the country's consulate in Japan, comparative pricing of airline tickets from a variety of sources, planning what personal articles to take, an itinerary including specific sites to be visited, accommodations and transportation.

履修上の留意点

Attendance is required.
No more than 4 unexcused absences will be allowed.
Two tardies are counted as one absence.
No retests will be given.

成績評価の方法

Grades are based on preparedness of weekly assignments (50%) and the overall quality of project, which will be judged by two in-class presentations, one at the of each semester.

教 科 書

No textbook is used in this class. Both Japanese – English and English – Japanese dictionaries are highly recommended and should be brought to each class.

参 考 書 等

None

そ の 他

The class meets twice a week, 90 minutes each time. Students are required to register for both Advanced English IA and IB. No students will be admitted who have only registered for one of the two sections. Admission to class will be determined by an interview during either the time set aside for orientation or the first week of classes in April. Class size is limited to 10 – 15. Only the best students will be admitted.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
戯 曲 研 究	くま ぎま ひさ こ 熊 崎 久 子	短英1・2選	4

専門(英文科)

講義のねらい

シェイクスピアの『ヴェニスの商人』を読みます。
 没後400年余を経てもなおシェイクスピアは世界中で最も愛されている作家と言っても過言ではありません。我が国においても内外の劇団によって、年間に上演されるシェイクスピアの作品は相当の数のにほり、しかもいずれの場合にも満席の観客を動員しています。原作を読みその魅力を味わいます。
 この作品はシェイクスピアの一連のロマンティック・コメディの中の傑作であり、現実的な町ヴェニスとロマンティックで牧歌的な町ベルモントを舞台に、有名な「人肉裁判」、「箱選び」の二つの筋と「指輪」をめぐるエピソードが巧みにからみ合って展開します。芝居の面白さを十分に楽しみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 第一週 ‘Syllabus’に基づいて、科目に関し、内容、年間の予定、目標等々について説明をし、質疑を受けます。
 第二週 シェイクスピアについて。
 第三週 シェイクスピアの作品全般について。
 以降は ① テキストの講読。
 ② 研究発表と発表を巡ってのディスカッション。
 ③ 発表に対する補足を行います。
- ① 年間を通し、James Kirkupの解説と批評(『ヴェニスの商人』朝日出版社)に基づいて作品へアプローチします。その中で言及され、指摘されている名句、名場面は原文(『The Merchant of Venice』篠崎書林)によって味わいます。
 ② 履修者が確定した段階で個人或はグループによる研究発表の要領を決め、逐次発表してもらうことになります。研究のテーマ、発表の日時については追って発表します。
 ③ 発表に対し、質疑応答を行います。
 ④ 担当者が補足します。
 ⑤ ヴィデオ・テープを用いてBBC放送収録の映画“The Merchant of Venice”を観賞します。(前期—前半、後期—後半)

履修上の留意点

シェイクスピアの戯曲は韻文で書かれており、現代の散文で書かれたものに比べ難解な箇所も多々あります。テキストの注、或は訳本等を参照して、十分に予習をすることが不可欠となります。発表に備えてあらかじめ個別に指導します。予約をし研究室において打ち合わせを行います。必要な参考書についてはその都度紹介、指示します。参考書は非常に多く、皆さんの必要に応じたものを取り敢えず指示することにします。

成績評価の方法

- 研究発表の評価(発表の態度、内容等)……50%
- 発表原稿の提出……20%
- 平常の評価……30%

教 科 書

- ① James Kirkup 著 *The Merchant of Venice* (朝日出版社)
- ② *The Merchant of Venice* (篠崎書林)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語演習Ⅰ 〔英語音声の基礎〕	Ashwell, Tim (アシュウェル, ティム)	短英1・2選	4

講義のねらい

It is hoped that by taking this course students will become proficient in aspects of the spoken language which may have been overlooked in their English language education to date, namely word and sentence stress, discourse stress and the equally important feature of reduction. By developing these aspects, it is hoped that students' listening comprehension will improve as well as their production of spoken English.

講義の内容・
授業スケジュール

Part of each lesson will be devoted to exercises from the textbook, 'Clear Speech', but time will also be set aside for working on the skills necessary to give an effective oral presentation in English. Facilities permitting, it is also hoped that students will engage in shadow speaking exercises, recording their own voices on tape alongside a model. Emphasis will, in any case, be laid upon the recordings students make for homework.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absence are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on: 1). effort shown in class; 2). homework; 3). presentations; 4). attendance.

教科書

'Clear Speech' by Judy Gilbert(Cambridge University Press)

その他

Students should buy a 90 minute cassette.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語演習Ⅱ 〔シャーロック・ホームズ〕	たき 滝 せい 静 じゅ 寿	短英1・2選	4

講義のねらい

推理小説の古典『シャーロック・ホームズ』ものの中から前後期各々1篇を、受講者の希望を考慮して選び、輪読し、推理しながら当時のロンドンの風俗やイギリス人気質など研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

輪読しながら、ロンドンを中心に地図をもとにしながら、推理過程における町や鉄道の様子、生活状況を研究していく。2、3篇の作品をビデオ鑑賞する予定。

履修上の留意点

必ず予習し、時間中は積極的に意見や考えを述べることを義務づける。一年間のうちに他の全作品を日本語訳で必ず読んで貰う。

成績評価の方法

輪読を進めていく過程での平常点、出席率、学年末のペーパー・テスト等による総合評価。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 Ⅲ 〔口語英語の基礎訓練〕	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英1・2選	4

講義のねらい

英語で自分の意志を表現するための基礎力の養成を目指す。具体的にはまず第一に基本的な英語表現をセンテンス単位で完全に覚え込み、それを使いこなせるようにする。第二にはテープを反復練習することによって英語の音声に慣れ、基礎的な英語聴解力を養うと同時に、英語の音声・特にリズムの基礎を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者はあらかじめ家でテープに録音された英語のセンテンスを聴き、それをノートに書き写しておく。毎回15センテンス程度。そして教室でその結果をコンピューターに入力し、教師から正答を聞き、聞き取れなかった単語を補い、また誤って聞き取ってしまった単語を訂正する。その際各々の表現の語法上の注意点及び聞き取れなかった箇所の音声上の問題点につき説明をうける。次いで各々の表現を使った簡単な英問英答または口頭英作文の練習をおこなう。その後でテープを使って各々のセンテンスの反復練習をおこなうが、限られた授業時間では反復練習は十分におこなうことが出来ないで、家で十分に反復練習することが求められる。

毎回、授業は前回の授業で習った文を完全に覚え込んでいるかどうかを確認することから始まる。この際、テープの後についてよどみなく且つ正しい英語のリズムで英文を言うことが出来るかどうかには注意が払われる。その後で新しい課の練習に入る。

履修上の留意点

授業の性格上またコンピューターを使用する関係上、多人数の授業は無理なので、受講希望者が多数の場合は、小テストを実施して受講者を決定する。従って、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。

成績評価の方法

毎回授業の最初におこなうテープを使った再現練習の出来具合、前期・後期の終了時におこなう試験の結果及び出席を総合的に勘案して成績評価をする。

教 科 書

録音教材として ENGLISH900 BOOK3と BOOK4を使う。テキストは使わない。

参 考 書 等

東後勝明 『英会話のリズムとイントネーション』（金星堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 IV 〔リスニング〕	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J.)	短英1・2選	4

講義のねらい

To improve the student's listening comprehension by developing the ability to hear significant groups of words in natural syntactical structures at natural speed.

講義の内容・
授業スケジュール

[Lesson content may vary somewhat from scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations and the need to spend more or less time on certain subjects.]

Listening materials will be drawn from a variety of sources including film, television, radio, and musical compositions. They will be assigned a week in advance to be explained and discussed in class the following week.

履修上の留意点

Attendance is required.
No more than 3 unexcused absences will be allowed.
Two tardies are counted as one absence.
No retests will be given.

成績評価の方法

Regular quizzes (50%), two tests, one at the end of each semester (25% each)

教 科 書

None

参 考 書 等

None

そ の 他

Nothing

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 V (ボキャビュラービルディング)	うめ ばら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英1・2選	4

講義のねらい

英文読解の基礎は単語と文法と文脈を読む力にある。文法は高校までの文法がしっかりしていれば日常の読書には殆ど問題はない。文脈を読む力は単語力に左右される。要するに問題は単語である。辞書を引き引き1時間かけて1ページ読むというのでは、実用的な読書にはほど遠い。こうした読書をせざるをえないのは単語を知らないからである。実用的な読書をするためには、単語力の増強が不可欠である。とはいっても、英語の単語の数は膨大であるし、覚えなくてはいけない単語の数は気が遠くなるほど多い。特に読書の際に必要な長音節語は、会話の際頻出する基本語に比べて出現頻度も高くなく、読書をしながら覚えていくにしても、あまり効率よく覚えられない。そこでどうしたら効率よく単語を覚えるかが問題となる。本演習では、効果的単語力増強の一方法として語源を利用することとし、実際に語源を使って語彙を増やしながら、語源を使った単語力増強法を身につけてもらう。また、単語力の増強を図りながら、一言一句細かく英文を読みながら正確に英文を読み取れることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

新聞や雑誌の記事、ちょっとしたストーリーや逸話など、異なった種類の英文を取り上げ、まずそれらを綿密に読む。その後で、その中で使われている単語の中から語源的に興味ある単語を抽出して、語根、接頭語、接尾語を中心とした語源的観点から当該単語の意味を解説する。次いで同じ語根、接頭語、接尾語を持つ関連語を教師が受講生に提示し、それらの意味・用法を説明する。時には受講生自ら辞書を使い、教師のヒントをもとに関連語を探し出し、簡単な語源的記述をして、教師の用意した例文を読んで、実際に文の中でどのように当該単語が使われるかを観察することもある。

一つの記事もしくはストーリーが終わるごとに小テストをして、扱った単語の記憶を図る。取り上げるストーリーもしくは記事の数は7から8の予定でいる。

履修上の留意点

単語力をつけるためには普段からの努力の積み重ねが必要である。そうした努力を厭わない受講者が望ましい。教材の準備及び演習という授業の性格上、またパソコン教室を使用する関係上受講者を限定せざるをえない。受講希望者多数の場合は小テストをして、受講者を決定する。従って、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。

成績評価の方法

授業時間中に頻繁に行う小テスト及び期末ごとの試験の合計点で成績判定をする。

教科書

使用しない。ハンドアウトを配る。

参考書等

小川芳男編『ハンディ語源英和辞典』(有精堂)
渡部昇一著『英語の語源』(講談社現代新書)
梅田修著『英語の語源物語』(大修館書店)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語演習Ⅵ 〔英語表現〕	たかのひでお 高野秀夫	短英1・2選	4

講義のねらい

日常、大学生活において役に立つ、口語英語表現の英作の例文を多数練習し、Case by Caseですぐに英語で自分の意思が伝えられるような、実践的な英作文の授業を目指す。
また、英字新聞で日常生活の出来事を伝えるための身近な英語表現の向上をも図る。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 英字新聞の活用。
- ② 「コミュニケーションのための口語英作文」のテキスト使用。
- ③ “Self-Expression in English”の向上のための“A short Speech”。

履修上の留意点

- ① 日常の出来事を30分間でよいから毎日英文で書き表す習慣を身につけること。
- ② 教科書の練習問題の解答、レポート提出を忘れぬこと。

成績評価の方法

- ① レポート (いろいろな話題を英語で書き表す。)
- ② 前期・後期のテスト
 - (a) 英字新聞
 - (b) 教科書
 - (c) 自由英作文 (辞書持込可)
- ③ 平常点

教科書

- ① *The Road From Writing To Speaking*

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語演習Ⅶ 〔英語基本読解法〕	みしまいづる 三島出	短英1・2選	4

講義のねらい

様々な英文を読んで理解するには、内容によって、それに適した読み方がある。種々の読み物を実際に提示して、それに適した読解の技術を身に付けてもらうのがこの演習のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

Introduction は、Pre-Reading Preparation、Scanning、Understanding Referents、Synonyms & Antonyms、Distinguishing Facts from Opinions、Transitions と分けられており、これらの項目に適した読み物が準備されている。それぞれの項目に掲げられている技術を学習した後で Review がⅠからⅢまである。現代英文法では、学習したことのない呼称が用いられているが、その機能を理解してしまうと自ずから文の構造が明解になる筈である。

履修上の留意点

用いられている英文が、平易であり、読解練習のための読み物が興味をそそるものばかりなので、進度に関係なく読み進んでもらいたいし、当日学習予定のものを前もって読んでくる必要がある。授業ではその章が意図している読解法を説明してから、テキストの指示に従って各自演習してもらうことにしている。

成績評価の方法

実際に指示された演習をすることがこの技術を身につける最良の方法であると考えているので授業に対する出席は必要不可欠であろう。

教科書

Basic Reading Strategies (英潮社) 1,700円

参考書等

特に必要はない、日頃様々な英文に親しむことが大切である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
米 文 学 演 習	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J.)	短英1・2選	

講義のねらい

Literature of the Harlem Renaissance during the 1920s reflects the social changes brought about by World War I as well as the experiences of Reconstruction, industrialization and the Great Migration it brought about out of the rural South to the cities of the North. The anger and despair of the dispossessed and marginalized and the search by Black Americans for African roots also characterize the art and literature of this period. This seminar will investigate the literature and the times through the novels and short stories of representative Black writers including Langston Hughes, Claude McKay, Countee Cullen, Jean Toomer, James Weldon Johnson and Richard Wright as well as several influential White writers and playwrights in order to present an overview of prevailing literary and social trends in America and encourage a deeper understanding of the forces at work forging racial identity and pride among African-Americans at the turn of the century.

講義の内容・
授業スケジュール

Introductory comments by the instructor on social, cultural and literary trends in America during the early 1900s followed by reading, discussion and analysis of selected authors, both Black and White, whose works are available in Japanese translation. Extensive reading required. Active participation in seminar discussions and scheduled group and individual presentations on subjects and authors assigned by instructor.

履修上の留意点

No written tests and no retests; term papers, however, may be rewritten.

成績評価の方法

Grades will be based on completion of assignments, class participation and presentations (50%) and one 7-10 page research paper (50%) on an author selected by the student in consultation with the instructor.

教 科 書

- 1) Works by authors as available in translation (to be announced)
- 2) Selected short stories and poems in English (to be copied by students from material secured by instructor)

参 考 書 等

None

そ の 他

Sophomores will be given preference in admission

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ジャーナリズム研究	はた の とし お 篠 野 寿 雄	短英1・2選	4

講義のねらい	ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースや報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材(マスメディア志望者)、あるいは、情報を自律的に解説・判断できる人間(読者)を育成する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道倫理といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。第一線の記者、論説委員、アメリカ勤務などの体験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、日米ジャーナリズムの比較なども試みる。放送局や新聞社の見学も行う。
履修上の留意点	実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。
成績評価の方法	ニュース分析、小論文、簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して評価する。
教科書	使用しない。
参考書等	その都度指示する。
その他	私語厳禁、公語(意見発表)歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋古典文学	みず しま よう こ 水 島 陽 子	短英1・2選	4

講義のねらい	二千年をはるかに超える昔、ギリシャに花開いた文化は西洋文化の源流の一端となって、今もなお多様な形でその消息をたどることができる。文学・哲学・歴史、その他人間のあらゆる文化的営みの原型がギリシャにあると言っても、過言ではないだろう。その、いわゆる「古典期ギリシャ」において人々を捉えてきたテーマは、「人間とは」ということであった。人間とはいかなるものか、また、いかに生くべきものか。 ここでは、多彩に発展した神話をもとに、詩人たちがそれぞれの世界観の中でどのように「人間」を捉えてきたかを追っていきたい。古くはホメロスの『イリアス』『オデュッセイア』から、紀元前5世紀の黄金時代に競演された数々のギリシャ悲劇までを、作品論的に、かつまた現実の時代背景との関連において考察する予定である。
講義の内容・授業スケジュール	前期……神話と詩人 ホメロス『イリアス』『オデュッセイア』 後期……ギリシア悲劇 ソポクレス『オイディプス王』など
履修上の留意点	テキストに必ず目を通しておくこと。叙事詩や劇の形式、また古めかしい表現などにとまどいがあるかもしれないが、決してむずかしすぎることはない。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、コメントを書いてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。
成績評価の方法	筆記試験及びレポート
教科書	ホメロス『イリアス、上・下』(岩波文庫) ソポクレス『オイディプス王』(岩波文庫)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イ ギ リ ス 史	Ashwell, Tim (アッシュウェル, ティム)	短英1・2選	4

講義のねらい

In this course it is hoped that students will gain some insight in to the changes that have occurred in Britain, particularly over the past fifty years. This will mainly be done by comparing changes that have occurred here in Japan over the same period with those that have taken place in the UK and by trying to decide how similar or different those changes have been in both countries. Occasionally, connections will be made to events and people pre-1945, but the focus will principally be on Britain(and Japan's)post-war history.

講義の内容

A series of topics will be investigated and two or three weeks will be spent exploring each one. Topics will include : 'Leisure Time', 'Education' and 'The Royal Family'. A mini-test will be given on each topic and the results of these tests will constitute the greater part of students' final grades.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absence are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on : 1). effort shown in class ; 2). mini-test results ; 3). homework ; 4). attendance.

教 科 書

なし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文化事情	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	短英1・2選	4

講義のねらい

To introduce American culture through the context of current events taken from such various media as newspapers, magazines, books, radio, television, and video.

講義の内容・
授業スケジュール

Each class will begin with a discussion of current events, the topics of which are to be introduced and discussed. As for these topics, students are encouraged to provide the teacher with requests, however, final selection will be at the sole discretion of the teacher. Periodically students may be asked to give oral presentations about an aspect of American culture. At any time during the year students may also submit reports on an aspect of American culture for extra credit. These reports may be typed in either English or Japanese, however, those typed in English will as a rule be more favorably graded than those typed in Japanese.

[Note : Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.]

前 期

- 4月 2週 Explanation of course. Student selection and sign-up.
- 3週 Current events. Geography. Climate.
- 4週 Current events. Cultural perspective up to Revolution.
- 5月 2週 Current events. Cultural perspective from Revolution to Civil War.
- 3週 Current events. Cultural perspective from Civil War to present day.
- 4週 Current events. Student presentations.
- 6月 1週 Current events. Government(Federal & State). People Power.
- 2週 Current events. Economy and business.
- 3週 Current events. Student presentations.
- 4週 Current events. Traditional holidays and events.
- 7月 1週 Current events. Sports. Leisure.
- 2週 Current events. Student presentations.
- 3週 Review.

後 期

- 9月 2週 Current events. People Attitudes. Traditional values. Individuals and groups.
- 3週 Current events. Music. The Arts. Literature.
- 4週 Current events. Student presentations.
- 10月 1週 Current events. Lifestyles. Common customs.
- 2週 Current events. Education.
- 3週 Current events. Student Presentations.
- 4週 Current events. Social Problems. Social issues.
- 11月 1週 Current events. International relations. The U. S. and the rest of the world.
- 2週 Current events. Student presentations.
- 3週 Current events. Individual rights. Religion. Guns.
- 4週 Current events. Foreigners living, studying, and working in America.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
20世紀米文学	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J.)	短英1・2選	4

講義のねらい

A survey course introducing the student to american literature in the 20th Century and the problems, approaches and styles characteristic of each age and genre from the early 1900s to the late 1990s.

講義の内容・
授業スケジュール

[Lesson content may vary somewhat from scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations and the need to spend more or less time on certain subjects.]
20世紀アメリカ文学の展望を講義しながら自然主義やリアリズムからエスニック文学、そしてミニマリズムまで代表的な作品を翻訳文で読んでディスカッションを行う。

前 期

- 4月2週 Introduction and explanation of syllabus. First reading assignment : Walt Whitman "Song of Myself"
- 3週 social, cultural and literary trends at the turn of the century : Naturalism and Realism (Stephen Crane ("The Open Boat"), Frank Norris, Theodore Dreiser)
- 4週 Darwinism and Socialism (Jack London "To build a Fire")
- 5月2週 The years between World War I and the Great Depression : 1917-1929 : T. S. Eliot ("The Waste Land")
- 3週 The Harlem Renaissance : Langston Hughes, Claude McKay, Countee Cullen
- 4週 Scott Fitzgerald, Sinclair Lewis
- 6月1週 The Great Depression : socio-cultural background : John Dos Passos
- 2週 William Faulkner I : ("A Rose for Emily")
- 3週 John Steinbeck I : ("The Grapes of Wrath")
- 4週 Ernest Hemingway I : ("The Killers", "Hills Like White Elephants", "The Sun Also Rises")
- 7月1週 スケジュール調整 (or Test)
- 2週 スケジュール調整 (or Test)
- 3週 スケジュール調整 (or Test)

後 期

- 9月2週 World War II in literature : Norman Mailer, J. Jones
- 3週 The Nuclear Age : Faulkner, Steinbeck and Hemingway revisited
- 4週 Black voices : Richard Wright, Ralph Ellison and James Baldwin
- 10月1週 Language, Sex and Censorship : Henry Miller and J. D. Salinger
- 2週 The Beats : Jack Kerouac ("On the road"), Allen Ginsberg ("Howl"), Gary Snyder
- 3週 Jewish Writers : Bernard Malamud and Saul Bellow
- 4週 The Counterculture : Richard Brautigan, Edward Abber
- 11月1週 Black Power and Black Women Writers I : Alice Walker ("The Color Purple")
- 2週 Black Women Writers II : Toni Morrison
- 3週 The West in Literature : Raymond Carver and Richard Ford
- 4週 Summation
- 12月1週 スケジュール調整 (or Test)
- 2週 スケジュール調整 (or Test)
- 3週 スケジュール調整 (or Test)
- 1月2週 スケジュール調整 (or Test)

履修上の留意点

There will be no retests. Since each test counts 50% toward the grade for the course, missing one will cause the grade to be a failing one.

成績評価の方法

Two tests, one at the end of each semester, and each accounting for 50% of the grade for the course.

教科書

Selected novels, collections of poetry and short stories in translation (to be announced).

参考書等

None

その他

Nothing

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
20 世 紀 英 文 学	たかのひでおの野秀夫	短英1・2選	4

講義のねらい

- ① Natural Speed で英語の聞く能力を高める。
- ② 教科書：現代イギリス小説について
19世紀には、偉大な女流作家が英文学史上に次々に登場した。男性優位のはなはだしい社会の陰で、女性弱者の立場から自らの文学をこつこつ築き上げ、英文学をより一層豊かなものにした。その伝統をしっかり受け継いで現代人の心を魅了し続けている新しいタイプの女流作家について考える。いわゆる20世紀の“意識の流れ”の作家 (James Joyce, D. H. Lawrence, Virginia Woolf 等) との接点を探りながら、まだ文学的評価の定まっていない女流作家の作品を読み、現代英国文学についての理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① テープの英語
- ② 教科書を逐語訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、現代英国文学の知識を広げる。

履修上の留意点

毎回教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

後期 一回テスト、平常点。

教 科 書

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
同時通訳 I	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	短英1・2選	4

講義のねらい

To teach students the basic principles of simultaneous interpreting through basic exercises designed to familiarize them with technique.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will be held in the L. L. Students will record tapes of vocabulary, phrases, and expressions to practice in class and at home. In addition to individual practice of tapes, there will also be application exercises that will call upon students to demonstrate their abilities individually and in pairs or small groups. Interpreting exercises will be both from English to Japanese and Japanese to English.

[Note: Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.]

前期

- 4月2週 Explanation of course. Selection of students. Seating assignments. Prepare brief self-introductions in both Japanese and English.
- 3週 Record Lessons Tape. Paired practice.
- 4週 Practice Lesson 1. Paired practice.
- 5月2週 Review Lesson 1. Practice Lesson 2. Paired practice.
- 3週 Review Lessons 1~2. Practice Lesson 3. Paired practice.
- 4週 Review Lessons 1~3. Practice Lesson 4. Paired practice.
- 6月1週 Review Lessons 2~4. Practice Lesson 5. Paired practice.
- 2週 Review Lessons 3~5. Practice Lesson 6. Paired practice.
- 3週 Review Lessons 4~6. Practice Lesson 7. Paired practice.
- 4週 Review Lessons 5~7. Practice Lesson 8. Paired practice.
- 7月1週 Review Lessons 6~8. Practice Lesson 9. Paired practice.
- 2週 Review Lessons 7~9. General review. Paired practice.
- 3週 Test over Lessons 1~9.

後期

- 9月2週 Review Lessons 1~9. Paired practice.
- 3週 Review Lessons 7~9. Practice Lesson 10. Paired practice.
- 4週 Review Lessons 8~10. Practice Lesson 11. Paired practice.
- 10月1週 Review Lessons 9~11. Practice Lesson 12. Paired practice.
- 2週 Review Lessons 10~12. Practice Lesson 13. Paired practice.
- 3週 Review Lessons 11~13. Practice Lesson 14. Paired practice.
- 4週 Review Lessons 12~14. Practice Lesson 15. Paired practice.
- 11月1週 Review Lessons 13~15. Practice original passages. Paired practice.
- 2週 Review Lessons 14~15. Practice original passages. Paired practice.
- 3週 Review Lessons 15. Practice original passages. Paired practice.
- 4週 Practice original passages. Paired practice.
- 12月1週 Practice original passages. Paired practice.
- 2週 Test over Lessons 1~15.
- 3週 Test over original passages.
- 1月2週 Make-up tests for qualifying students.

履修上の留意点

Only students selected during the first class will be eligible to take this course. Any student who was not selected at the first class or who did not receive permission from the teacher to take the course, but who enrolled in the course anyway will not receive a passing grade. Only students who have been screened by the teacher will be eligible to take this course. Emphasis will be on learning and utilizing basic interpreting techniques. Students will be expected to spend much time outside of class practicing and preparing. Those who fail to prepare properly will find it difficult to do the work and as a result may inevitably fail to complete the course.

This course is not recommended for shy students nor those with marginal oral and aural skills. Students who are absent on the day of a test will receive a score of zero for that test. Tardy students will not be permitted to take tests and as such, they also will receive a score of zero. As a rule, there will be no make-up tests, however, if a student can prove that she was absent, or tardy, for a legitimate reason, then she may qualify to take a make-up test at a later time.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calcu-

lated by the following formula :

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{Final Grade}$$

X=number of absences

Y=number of times tardy

Z =average of all grades

α =adjustment, if necessary, based on Teacher's evaluation.

教科書

No assigned textbook.

参考書等

Students should always bring to class at least one blank 60-minute tape. Students may use dictionaries.

その他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
同時通訳 II	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	短英 2 選	4

専門(英文科)

講義のねらい

To build upon the foundation established in 同時通訳 I.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will be held in the LL. The lessons will consist of recorded materials and also actual application of technique in paired practices. There is no established lesson schedule as this will depend upon student performance and be prepared each time accordingly.

履修上の留意点

This course is primarily open to students who successfully completed 同時通訳 I. Other students wishing to take this course will have to be interviewed and tested before they enroll in this course.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula:

$$((100 - 10x - 5y) + 2z) / 3 + \alpha = \text{Final Grade}$$

x = number of absences

y = number of times tardy

z = average of all grades

α = adjustment, if necessary, based on Teacher's evaluation.

教科書

No assigned textbook.

参考書等

Students should always bring to class at least one blank 60-minute tape. Students may use dictionaries.

その他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
聖書研究	みづ しま よう こ 水 島 陽 子	短英1・2選	4

講義のねらい

言うまでもなく、聖書をぬきにして西洋文明は語れず、また、日本を含む様々な非キリスト教文化圏においてもその影響による波紋は多大かつ複雑である。永遠のベストセラーと呼ばれるこの書物は、ありとあらゆる言語に翻訳され、人々の信仰を支えると同時に、キリスト教とキリスト教文化を知るための最も有効な手掛りのひとつとなっている。

ここでは日本語訳聖書を実際に読み進めながら、その意味、構造、歴史的背景などを理解し、さらに、英文学をはじめとする数々の文学、音楽、美術などに親しく触れながら、それらの中に聖書との関係を確認していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期……主として旧約聖書について

(天地創造、アダムとイヴ、ノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、ソロモン、詩篇、預言書など)

後期……主として新約聖書について

(福音書とたとえ話、イエスの生涯、パウロ書簡など)

履修上の留意点

いかにベストセラーといえども、聖書を「読む」のは骨が折れる。授業でも紹介するが、いわゆる「聖書物語」を読むことで予備知識をつけておくとうわりやすいであろう。何より望まれるのは授業への積極的な参加である。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、意見・感想を述べたりコメントを書いたりしてもらおう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

レポート

教科書

『新共同訳聖書』（日本聖書協会編）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ビジネスイングリッシュ	まち い やすし 町 井 靖	短英1・2選	4

講義のねらい

『商品の輸出入に関する英文の手紙』を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オフア、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階でよく使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注] を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
秘 書 概 論 (前 期)	湯 浅 陽 子 <small>あさ よう こ</small>	短英1・2選	2

講義のねらい

わが国における秘書的業務は、西暦645年大化改新の頃に誕生し、明治のはじめに秘書という言葉が用いられるようになったという。この秘書に対する一般的な概念は、それ以後あまり変わってはいない。しかし、時代の変遷に伴って秘書業務の内容は変わり、それは各分野における経営組織体の中で重要な位置を占めるまでになってきている。すなわち、経営者の日常業務が、情報の横溢、スピードの要求等の渦中にある今、その円滑な流れを全うするためには、上司の本務業務補佐のための秘書の能力が期待され、また、大いに役立っているからである。

秘書の仕事は大から小まで様々な種類があり、それに携わる秘書の能力・経験も様々である。しかし、どんな小さな仕事を受け持つ場合でも、上司を理解し、上司に匹敵して役立つ秘書の能力発揮が求められ、秘書はそれに応えなければならない。上司およびその業務内容を理解するためには、秘書の本質・形態・課題等に関する秘書理論を学ぶことが必要なのである。

講義の内容・
授業スケジュール

授業回数	1. 4月第3週	オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
	2. 〃 4週	秘書検定について
	3. 5月第2週	企業組織と人間行動
	4. 〃 3週	経営者と秘書の機能
	5. 〃 4週	秘書の形態
	6. 〃 5週	秘書の業務とその特質
	7. 6月第1週	秘書と交流分析
	8. 〃 2週	予備日 (学会)
	9. 〃 3週	秘書の人間関係
	10. 〃 4週	秘書と情報
	11. 7月第1週	秘書に求められるもの
	12. 〃 2週	女性とライフサイクル
	13. 〃 3週	レポート提出

履修上の留意点

1～2年後には社会人になろうという人が受講するのであるから、正当な理由の無い欠席・遅刻は許されない。事後承諾を受けるのではなく、事前に何らかの形で連絡しておく配慮が必要である。授業中は自分を一人の大人の女性として意識し、学生同士の言葉遣いにも留意し、自分達で学ぶ環境作りを心がけてほしい。

成績評価の方法

出席およびレポート提出の有無を重視する。日常に課する小レポートも加味する。いかなるレポートもメ切日を過ぎたものは受け取らない。2年生は就職活動で欠席を余儀無くされることがあるが、休む前の週までに届け出をした上で「私の就職活動報告」と題して、欠席したその日の活動を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとする。

教 科 書

プリント教材を実費支給する。

参 考 書 等

主に講義形式で授業を進める。取り扱う関連分野が多領域にわたるため、ビデオ教材を使うこともある。その際は前の週に予告するとともに、当日に教務課正面のビデオ教場使用欄にて案内するので、前もって指示されているビデオ教場に入ってもらいたい。

ただ講義を聞くというのではなく、これから直面する就職のこと、結婚、家庭と仕事との両立の問題、40代・50代をどんなふうに過ごしたいのか等々、自分のライフサイクルの中の現時点と未来を、秘書という事務能力の優れた女性の職能をとおして考える機会になればと思っている。自分のライフプランや職業に対する意識を再確認するために、出席票を兼ねて意見を書いてもらうことも多くなる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
秘書実務 (後期)	もりもとまさえ 森本正恵	短英1・2選	2

講義のねらい

秘書業務の基本を修得する。
 企業で働く秘書として必要な資質・職務知識、一般知識、マナー、接遇、技能などの分野について学び、即戦力として実務知識が役立つような講義を目的とする。
 文部省認定秘書技能検定試験の受験にも対応できる。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の進め方として、秘書や秘書の仕事について考え理解し、行動でき、表現できるように適宜レポートや実技(来客対応・電話対応など)を課題として与えながら実務能力がつくようにする。

1. オリエンテーション(授業のねらいと進め方)
2. 秘書の役割と心がまえ(秘書のイメージ資格要件)
3. 会話(話し方、聞き方、敬語)
4. 接遇(来客対応、電話対応)
5. 日程管理(行動予定、出張、旅行)
6. 交際業務と環境整備(慶弔のマナー、仕事のしやすい環境)
7. 文書作成(社内文書、社外文書、グラフ)
8. 文書管理(ファイリング、郵便の扱い)
9. 会議(会議の種類と準備、後始末)
10. 美しい立ち居振舞い(おじぎ、イスの立ち方、座り方、物の扱い)
11. 実技①(接遇—来客対応、受付、取次ぎ、案内、接待、見送り)
12. 実技②(接遇—電話対応)
13. 実技③(報告の仕方、状況対応)
14. まとめ

なお、適宜ビデオを使用し、秘書や秘書の仕事について、具体的な理解ができるようにするとともに、立ち居振舞いや話し方について自己を客観的に見られる資料とする。

履修上の留意点

毎回講義と演習を中心に進めますので、資料を参考にして課題をきちんとこなすこと。
 提出物については、締切日を守るように自己管理すること。

成績評価の方法

小テスト及び定期テストの成績。レポート等の提出物、実技、授業への参加意識などを含んだ総合評価とする。

教科書

野坂裕子・能勢照代・森本敦司共著『セクレタリアル・オフィスワーク・ノート』(燃焼社) 1,800円

その他

登録人数が多過ぎる場合は、制限をしますので、第1回目の授業には必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
秘 書 英 語 (前 期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

日本の国際化に伴い、企業で働く秘書として実務に即した英会話の学習は必修であるといえる。来客応対や電話応対の英語、ビジネスレターの作成などを学び、秘書英語検定の対策としても対応できる力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回1つのunitを学習する。Dialogについて内容をよく理解したうえで、hearing, speaking, roll playを通して体得していく。
復習を各自で十分に行ない、毎回の小テストに備えておくこと。

履修上の留意点

復習中心になりますので、テキストの順序どおりに講義しません。毎回出席しないと次回のテスト範囲がわかりませんので、必ず授業の進捗を把握しておくこと（止むをえず欠席の場合は、友人に尋ねておくこと）。

成績評価の方法

毎回実施する小テスト及びまとめのテストの成績。
出席を重視します。

教 科 書

授業で指示します。

そ の 他

- ① 受付、取次ぎ、案内などの来客応対における秘書としての会話を学ぶ。
- ② 電話会話、伝言メモの作成。
- ③ ビジネスレターの作成や履歴書の書き方。
- ④ まとめとして、来客応対のロールプレイを演習し、実際に活用できるか確認する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究 〔ロマン派の詩〕	くま さき ひさ こ 熊 崎 久 子	短 英 2 選	4

講義のねらい

イギリス・ロマン派の詩を鑑賞します。
 エリザ朝にその最初の萌芽と開花を見た英国浪漫主義は、「理性と散文の時代」を経て、18世紀後半から19世紀初頭にかけて円熟と完成の時期を迎えます。この時期に活躍した詩人（その殆どは夭折してしまいましたが）とその作品を研究、鑑賞し、彼らがどのように自然と人間に対峙したかを学び、かつ、彼らがさまざまな詩型と詩句を駆使して語るイギリス湖水地方を初めとする美しい田園の姿を味わい得ることを期待します。

講義の内容・
授業スケジュール

- 4月 ①英国浪漫主義について ②英詩の特徴、詩型、韻律等について
- 5月 人と作品 ウィリアム・ワーズワース
- 6月 S.T. コールリッジ
- 7月 G. G. バイロン
- 9月 P. B. シェリー
- 10月 ジョン・キーツ
- 11月 ウィリアム・ブレイク
- 12月 ロバート・バーンズ
- 1月 補足とまとめ

授業の進め方

- 概ね以下の手順で進めます。
1. 受講者は取り上げる詩人について、生涯、作品の特質、傾向等をあらかじめ調べて出席し、発表する。
 2. 発表に対し、質疑応答を行う。
 3. 担当者が補足する。
 4. 取り上げた作品の英国俳優等による朗読を聞く。
 5. 受講者の朗読と作品解釈。
 6. 詩型、詩句、韻律について担当者より補足。
 7. 作品について意見交換。

履修上の留意点

- ① 英詩における韻律はその作品を理解する上で特に重要な役割を持っています。従って黙読するだけでは十分な把握は望めません。用いられている語句に正しい抑揚をつけて音読することが必要となります。各自が下調べの段階において繰り返し音読をしてきていただきたい。
- ② 地名、その他固有名詞についてはテキスト注を参照されたい。
- ③ 詩人の伝記等については、『英米文学辞典』（研究社）その他の「文学辞典」、「文学史」関係の書によって簡単に調べることが出来ます。必要に応じ教場において説明、紹介します。

成績評価の方法

1. 前期・後期に各一回提出のレポートによる評価……60%
2. 授業中の発表等に対する評価……40%

教 科 書

『イギリス・ロマン派詩選』（北星堂書店）
 (A Choice of English Romantic Poetry)

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究 〔世紀末文学〕	たき 滝 せい 静 じゅ 寿	短英2選	4

講義のねらい

オスカー・ワイルドの作品を中心に、世紀末の文芸を考えてみる。童話や戯曲を中心に輪読し、ワイルドの文体をも研究する。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式で行う。毎時間、議長と書記を選び、討論しながら進めていく。
 (前一期) 世紀末文芸と概観。ワイルドについて、作品鑑賞(童話を中心に)。
 (後期前半) 戯曲『サロメ』の輪読。世紀末画家(ビアズレーを中心に)について。
 ビデオで、バーコフの『サロメ』鑑賞。
 (後期後半) 小説『ドリアン・グレイの画像』福田恒存訳を一部原文と比較しながら輪読しワイルドの芸術観への導入。

履修上の留意点

必ず予習し、積極的に意見や考えを述べることを義務づける。テーマを割り当て、研究発表を行う。

成績評価の方法

輪読を進めていく過程での平常点、出席率、前後期レポート等の総合評価。

教科書

O. Wilde *The Happy Prince and Other Tales* (北星堂)
 O. Wilde *Salome* (英光社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究 〔20世紀アメリカ小説〕	よし 吉 ざわ 沢 えい 栄 じ 治 ろう 郎	短英2選	4

講義のねらい

スタインベックの作品、*The Red Pony* を読んでいきます。主として作品の梗概をつかむために訳読形式をとりますが、訳は理解へのひとつの便宜的なものです。原文を味わうように努めて下さい。味わうためには不明の箇所は煩を厭わず辞典に当たることです。自伝的色彩の濃いこのアメリカ作品を堪能して戴き度い。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じてでき得る限り読み進めていきます。1回の授業で3~4頁位をめどに読んでいきます。上述したように、こまめに辞典を引いて、確認の労をとってよんでいってほしい。ある程度まとまったところで(3ページくらいをよんでから)辞典で確かめる手間を惜しまぬように。

履修上の留意点

英和辞典を持参のこと。英英辞典も随時、引いてみるとよい。

成績評価の方法

定期試験の結果を基にして評価します。なお出席に留意して下さい。

教科書

授業時に指示します。

参考書等

ロングマン英英辞典、研究社 新英英辞典

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 作 家 研 究 〔 19 世 紀 英 文 学 〕	たか の ひで お 高 野 秀 夫	短 英 2 選	4

講義のねらい

英国の大学で英文学の入門書となっている「サイラス・マーナー」の作品を読み、著者ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学に於いて特異な存在となったのかを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期：『サイラス・マーナー』作品の逐語訳

『サイラス・マーナー』の作品理解に努める。

「神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになる。そして彼はついに天涯孤独な守銭奴と化す。16年後、その金も盗まれ、再び絶望の淵をさ迷っている時、たまたま迷い子が家に転がり込んで来る。サイラスはその子を育てることで、実の親子あるいはそれ以上の強い心の絆で結ばれ、過去に失った全ての人間味溢れる生活を取り戻す。そしてまれに見る美しい髪に可愛い娘に成長したエビーと幸せに暮らす。」この話を原書で読む。

後 期：口頭発表

○後期は口頭発表の機会を作る。

発表は各自が課題を決めて一人20分程度でまとめる。

○この作品に登場する人物の様々な問題点（孤独、神、偶然など）を取り上げ、ジョージ・エリオットの文学に迫る。

同時に、19世紀英文学に於けるジョージ・エリオットの位置付けをも考える。

履修上の留意点

主要な19世紀英国作家の作品に触れ、絶えず文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

- ① 口頭発表
- ② レポート
- ③ 7枚程度の論文

教 科 書

- ① George Eliot : *Silas Marner*

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 作 家 研 究 〔 近 代 ア メ リ カ 文 学 〕	みしま いづる 三 島 出	短 英 2 選	4

専門(英文科)

講義のねらい

イギリス文学から出発したアメリカ文学が、何時、どのような内容や形態で独自の文学としての道を歩み始めたのか？この命題を解くのがこの授業の主たる目的である。

講義の内容・授業スケジュール

具体的に次のような作家作品を取り扱う。
Native American Literature、Benjamin Franklin (The Autobiography)、Washington Irving (The Sketch Book)、Nathaniel Hawthorne (The Scarlet Letter)、Henry Wadsworth Longfellow (Ballads and Other Poems)、John Greenleaf Whittier (In School Days)、Edgar Allan Poe (The Fall of the House of Usher)、Harriet Beecher Stowe (Uncle Tom's Cabin)、Henry David Thoreau (Walden)、Herman Melville (Billy Budd)、Walt Whitman (Leaves of Grass)、Horatio Alger Jr. (Ragged Dick)、Mark Twain (Adventure of Huckleberry Finn)、O. Henry (The Last Leaf)、Theodore Dreiser (Sister Carrie)、Sherwood Anderson (Winesburg, Ohio)、F. S. Fitzgerald (The Great Gatsby) まで。勿論上記の作品を全部取り扱うことは不可能、アメリカ文学の主流をなしていると思われる作品の一部をその都度取り上げてプリントし配布して学習する。

履修上の留意点

上記に掲げた作家の作品を出来るだけ多く読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

評価は筆記試験による。

教科書

プリント。出来るだけ早めに印刷して配布するように心がける。

参考書等

上記の作家作品に関して書かれたものであれば、参考になりうる。

その他

頻繁にビデオを上映し、物語の理解に役立つように努力する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 II	Brooks, D. (ブルックス, D.)	短 英 2 選	2

講義のねらい

The aim of the Joho Shori II (Information Management II) course is to provide students with practical skills with computer applications in English, building on the skills acquired in the previous course. Students will become familiar with various types of computer uses for business and personal information management. They will acquire skills in creating and manipulating data using such computer tools as word-processing, spreadsheet, database, and presentation software programs.

講義の内容・
授業スケジュール

The focus of the course is on acquiring practical hands-on competence with the four computer applications used in most work environments; word processing, database management software, spreadsheets, and presentation software. Beginning with an introduction to typical computer hardware and the concept of computer networks, the students will improve their mastery of routine computer functions through familiarity with the operating system (Windows). Each computer application will be covered individually, followed by a practical project to integrate the information from several of the applications. NOTE: Owing to the students' background knowledge and skills, the actual unit content may be altered.

UNIT TEACHING CONTENT

- 1 Introduction to information management and computer hardware
- 2 Computer software and operating systems
- 3 Word processing skills
- 4 Desk-top publishing
- 5 Introduction to spreadsheet software
- 6 Using spreadsheet to make decisions
- 7 Introduction to database management
- 8 Using database software for organizing data records
- 9 Integrating software applications (form letters)
- 10 Introduction to Presentation software
- 11 Project: presentation using all the computer applications
- 12 Preparation for Final Evaluation
- 13 Final Exam

履修上の留意点

A. Students will be able to competently use computer applications :
1) to create letters, newsletters or brochures, 2) design a simple budget using spreadsheet software and show how financial decisions can be made through analysis of spreadsheet models, 3) design and manage a computer database of clients. 4) use the information from several computer software applications to create formletters, integrating several types of data and 5) make a computer presentation.
(slide show) which illustrates a concept and integrates data from the other computer applications.

B. Students will be able to understand computer application concepts and operations in English and will be able to communicate concerning fundamental computer procedures and functions in English.

C. Students will gain a broader understanding of the ways that personal computers are used in today's office environments and will be confident in seeking to further develop their own competencies with computer applications.

成績評価の方法

On-going evaluation through unit assignments and projects will be the major component of course evaluation. Students will be informed at the beginning of each unit of the skills they will be expected to be able to learn and how they will demonstrate their learning. A practical hands-on performance examination to demonstrate competence will be another possible part of the evaluation. Attendance and class participation are important parts of the course grading. The instructor may use brief multiple-choice quizzes during the class to check comprehension of the English language content and computer vocabulary. Course projects will likely count 50% of the final grade. Examinations, quizzes, assignments, attendance, and class participation will make up the other portion of the grade.

教 科 書

There is no text for course. Handouts will be provided as needed. Regular attendance and

hands-on participation in class are the main ways of learning the required skills with the computer applications.

参考書等

Access to a computer outside of class is not required. Students will be using Microsoft Office software for Windows in the university computer lab.

その他

This is a hands-on practical skills course. There is a limited amount of lecture during each class period. However, the students will be actively listening and following the teacher's instructions in order to understand the features and the specific functions for the software programs. The students will be actively trying out computer commands and functions during the class. Additionally, time will be given in class for work on the various course assignments, culminating in the final computer applications project.

Because there are a limited number of computers, the number of students will be limited to 35 students. A Selection procedure will be conducted at the first class if there are more than 35 students wanting to enroll. Students must get the instructor's signature on the course registration form as approval for admission to the course.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 研 究	うめ 梅 ほん 原 とし 敏 ひろ 弘	短 英 2 選	4

講義のねらい

日本語と英語を比較・対象させることによって、両語の特徴と差異を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の「腰」という言葉と英語の“hip”とは同じであろうか、何故 hips と複数でいうのであろうか、というような語彙レベルでの問題、英語圏の国に手紙を書くとき、どうして番地を先に書いて、町名、国名などを後に書くのか、また英語では主語の次に動詞がきてその後目的語が来るのにたいして、日本語では動詞が目的語の後に来るのはどうしてなのか、というような語順の問題、日本語の敬語に相当するような表現が英語にあるのだろうか、という待遇表現の問題等、様々な「違い」が日英両語の間には存在する。それらを順次取り上げ、両語の特徴を探りながら、英語の表現上の特徴を明らかにしていく。授業は講義形式で行うが、完全な一方通行ではなく、日英両語の特徴と差異について、受講者自らに様々な具体的な例をあげてもらい、ディスカッションもしていく予定。

履修上の留意点

言葉に興味をもっている受講者が望ましい。履修希望者は必ず履修届を出す前に授業に出て受講許可を受けること。パソコンを使用するので、パソコンの操作が出来る受講者が望ましい。

成績評価の方法

レポートの出来映え、特にその独自性と授業への積極的参加と貢献度を勘案して決める。

教 科 書

使用せず。

参 考 書 等

小島義郎著『日本語の意味 英語の意味』（南雲堂）
 国広編『日英語比較講座』全5巻（大修館）
 国広哲哉著『日英語の比較』（現代英語教育-8）（研究社）
 榎垣実著『日英比較表現論』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English II A	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	短 英 2 選	2

講義のねらい

The goal of this course is to raise the oral and aural skills of the students to the highest level possible through an intensive application of reading, speaking, listening, and comprehension exercises. In short, the emphasis will be on encouraging students to further develop and build on their present abilities by making them use what they know to the fullest extent possible.

講義の内容・授業スケジュール

This course and Advanced English II B are essentially the same course, and as such, should be considered the same. The only difference between the two is that they are held on different days of the week. Accordingly, the schedule for both classes are interconnected. Because the content of the course will depend on and be influenced by the ability and progress of the students, a detailed lesson plan is not available.

Based on the presupposition that language proficiency comes primarily from constant practice, students will be expected to do most of the talking. Speaking situations will include paired conversations, presentations and speeches, and group discussions. Above all, students will be expected to ask the teacher lots of questions and seek to converse in English with the teacher and each other at all times.

Although a detailed lesson plan for the course is not available, students will be told well in advance what will be expected of them so that they can adequately prepare for class.

履修上の留意点

All second-year students interested in taking this course will be selected during the first week through a series of interviews. Any student who was not selected at the first class or who did not receive permission from the teacher to take the course, but who enrolled in the course anyway will not be allowed to take it nor receive a passing grade. Only students who have been screened by the teacher will be eligible to take this course. This course will require tremendous preparation outside of class. Those who fail to prepare properly will find it difficult to do the work and as a result may be asked to withdraw from the course. This course is not recommended for shy students nor those with marginal oral and aural skills. Tardiness and absences will not be tolerated. This course will be conducted only in English. Students may not use Japanese. Active participation in discussions and class activities is mandatory.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula :

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{Final Grade}$$

X=number of absences, Y=number of times tardy, Z=average of all grades, α =adjustment, if necessary, based on Teacher's evaluation.

教 科 書

No assigned textbook.

参 考 書 等

Students will be expected to follow current events and read a lot in English. Movies, articles, and books will often be assigned for study outside of class.

そ の 他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English II B	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	短 英 2 選	2

講義のねらい

The goal of this course is to raise the oral and aural skills of the students to the highest level possible through an intensive application of reading, speaking, listening, and comprehension exercises. In short, the emphasis will be on encouraging students to further develop and build on their present abilities by making them use what they know to the fullest extent possible.

講義の内容・
授業スケジュール

This course and Advanced English II A are essentially the same course, and as such, should be considered the same. The only difference between the two is that they are held on different days of the week. Accordingly, the schedule for both classes are interconnected. Because the content of the course will depend on and be influenced by the ability and progress of the students, a detailed lesson plan is not available.

Based on the presupposition that language proficiency comes primarily from constant practice, students will be expected to do most of the talking. Speaking situations will include paired conversations, presentations and speeches, and group discussions. Above all, students will be expected to ask the teacher lots of questions and seek to converse in English with the teacher and each other at all times.

Although a detailed lesson plan for the course is not available, students will be told well in advance what will be expected of them so that they can adequately prepare for class.

履修上の留意点

All second-year students interested in taking this course will be selected during the first week through a series of interviews. Any student who was not selected at the first class or who did not receive permission from the teacher to take the course, but who enrolled in the course anyway will not be allowed to take it nor receive a passing grade. Only students who have been screened by the teacher will be eligible to take this course. This course will require tremendous preparation outside of class. Those who fail to prepare properly will find it difficult to do the work and as a result may be asked to withdraw from the course. This course is not recommended for shy students nor those with marginal oral and aural skills. Tardiness and absences will not be tolerated. This course will be conducted only in English. Students may not use Japanese. Active participation in discussions and class activities is mandatory.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula :

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{Final Grade}$$

X=number of absences, Y=number of times tardy, Z=average of all grades, α =adjustment, if necessary, based on Teacher's evaluation.

教 科 書

No assigned textbook.

参 考 書 等

Students will be expected to follow current events and read a lot in English. Movies, articles, and books will often be assigned for study outside of class.

そ の 他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語とコンピュータ	Brooks, D. (ブルックス, D.)	短英2選	2

専
門
(
英
文
科)

講義のねらい

The aim of the English For Computers (Eigo to konpyuta) course is to teach students the English language skills needed to work with computers and information technology. Additionally, the students will become familiar with a wide variety of computer uses for both home and office. One of the main goals of the course is to bring students to thorough understanding of the Internet and multimedia. The course seeks to give them experiences to deal effectively with these in English.

講義の内容・
授業スケジュール

The focus of the course is on acquiring practical hands-on competence and English communication skills for using information technology, especially the Internet. Beginning with computer hardware and the concept of the computer network communications, the students will gain a basic understanding of the nature of information technology. Browsing the World Wide Web, search strategies, e-mail writing and etiquette, mailing list subscription, Telnet, FTP, newsgroups, webchatting are among the Internet topics to be explored. Students will learn how to make their own homepage with links to other websites. Additionally, graphics, text, audio and video will be combined to create a multimedia project.

NOTE : Owing to the students' background knowledge and skill and to the availability of software, the actual unit content may be altered.

UNIT TEACHING CONTENT

- 1 Computers and You : how computers affect our lives
- 2 Introduction to information technology and the Net
- 3 E-mail : using it and writing effective e-mail
- 4 Exploring the Internet through e-mail : listserv, e-zines, newsgroups
- 5 Browsing the World Wide Web
- 6 Search Strategies : how to find the information you want
- 7 Internet management tools : Telnet, FTP, Gopher, HTML
- 8 Individual project : Web-based research project
- 9 Homepage : content, design, and creation
- 10 Multimedia : integrating text, graphics, audio and video
- 11 Introduction to Class project : multimedia database / guide
- 12 Computing for entertainment and education
- 13 The Future of computers and information networks
Preparation for Final Evaluation Project
Final Exam

履修上の留意点

A. Students will be able to competently use information technology software : 1) to successfully locate information on the Internet, 2) read and write effective e-mail messages, 3) to access the full scope of the Internet resources, 4) to create and modify their own homepage on the Internet, 5) to produce a multimedia presentation.

B. Students will be able to understand computer and information technology concepts in English and will be able to communicate concerning computer procedures and Internet functions in English.

C. Students will improve their English language competence in the four main skills through communication in speaking, listening, reading, and writing about computers and through using the Internet and multimedia tools.

成績評価の方法

On-going evaluation through unit assignments and projects will be the major component of course evaluation. Students will be informed at the beginning of each unit of the skills they will be expected to be able to learn and how they will demonstrate their learning. A practical hands-on performance examination to demonstrate competence will be another possible part of the evaluation. Attendance and class participation are important parts of the course grading. The instructor may use brief multiple-choice quizzes during the class to check comprehension of the English language content and computer vocabulary. Course projects will likely count 50% of the final grade. Examinations, quizzes, assignments, attendance, and class participation will make up the other portion of the grade.

講義のねらい

There is no text for the course. Handouts will be provided as needed. Regular attendance and

hands-on participation in class are the main ways of learning the required skills with the computer applications.

教科書

Access to a computer outside of class is not required. Students will be using Apple Macintosh in a university computer lab.

その他

This is a hand-on practical skills course. There is a limited amount of lecture during each class period. However, the students will be actively listening and following the teacher's instructions in order to understand the features and the specific functions for the software programs. Students will be expected to communicate ideas in English and to work toward computer project in English.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
表 現 法	ささ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短英1・2選	4

講義のねらい

日本語の構造や特質の理解を通じ、文章表現力を養うのが本講義の主眼である。表現とは、自己発現の手段であると共に、他者や社会とのコミュニケーションをはかる手段でもある。そのことを踏まえ、明晰で論理的な、そして何よりも正しい表現方法の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を中心に現代日本語の表現について学ぶ。それと並行して、プリントなどの各種教材を参考に語彙力や書く力の向上をはかる。

履修上の留意点

随時に課す、課題を通して積極的な講義への参加をのぞむ。

成績評価の方法

授業中に実施する各種課題、レポート等を総合的に評価する。

教 科 書

影山尚之他編『日本語と表現の工夫』（双文社出版）1,796円

参 考 書 等

教場にて、適宜指示する。

1 專門教育科目

(3) 放 射 線 科

1 専門教育科目

(3) 放射線科

放射線物理学	(小山正希)	127
電気工学	(佐藤昌憲)	127
放射線機器概論	(氏家盛通)	128
放射線写真学	(古川克治)	129
解剖学	(古屋儀郎)	130
生理学	(樋口雄三)	130
衛生学及び公衆衛生学	(吉田稔)	131
画像検査技術学概論	(西尾誠示)	131
放射線基礎数学〔平成7年度以前入学生：放射線基礎数学(後期)〕		
	(清水忠良)	132
近代物理学序論	(清水忠良)	132
放射線化学序論	(田島隆)	133
実験 I A	(西尾誠示・氏家盛通・伊藤博美)	135
実験 I B	(清水忠良・佐藤昌憲・松林哲夫・百瀬旬)	135
実験 I C	(山本裕右・檀尾英次・原田和正)	136
実験 I D	(田島隆・山本裕右・原田和正・村上雅彦)	137
医学概論	(古屋儀郎)	139
臨床医学概論	(古屋儀郎)	139
放射線生物学	(大田忠親)	140
病理学	(古屋儀郎)	140
生化学	(田島隆)	141
応用数学	(清水忠良)	143
原子核物理学	(青木清)	143
放射化学	(山本裕右)	144
電子工学	(杉田徹)	144
放射線機器工学	(中北倫男)	145
画像工学〔平成8年度以降入学生〕	(古川克治)	146
画像技術学	(西尾誠示)	147
放射線計測学	(小山正希)	148
関係法規	(一守俊寛)	149
実験 II A	(西尾誠示・氏家盛通・阿部敏・金谷信一)	150
実験 II B	(小山正希・佐藤昌憲・中北倫男・中本淳)	151
実験 II C	(杉田徹・青木清・川副護・木村登)	151
実験 II D	(杉田徹・青木清・木村登・吉田正廣)	152
実験 II E	(檀尾英次・中北倫男)	152
病院実習 I	(氏家盛通)	153
放射線医学概論	(古屋儀郎)	153
自動制御工学	(青木清)	154
医用機器工学〔平成7年度以前入学生：放射線機器工学Ⅲ〕	(檀尾英次)	155
放射性同位元素応用機器工学〔平成7年度以前入学生：放射線機器工学Ⅳ〕		
	(小山正希)	156
画像情報学	(西尾誠示)	156
放射性同位元素検査技術学	(氏家盛通)	157
放射線治療技術学	(高山誠)	158

放射線管理学(一守俊寛)	158
放射線学演習(西尾誠示)	159
実験Ⅲ A(小山正希・佐藤昌憲・羽生毅)	159
実験Ⅲ B(青木清・杉田徹・永井善則)	160
実験Ⅲ C(山本裕右・田島隆・原田和正・大田忠親)	161
実験Ⅲ D(櫃尾英次・氏家盛通・小林久夫)	162
病院実習Ⅱ(氏家盛通)	163
医学英語〔平成7年度以前入学生：臨床放射線特論Ⅰ〕(照屋浩司)	163
臨床医学特論(休講)	
臨床放射線特論〔平成7年度以前入学生：臨床放射線特論Ⅱ〕(休講)	
統計学(休講)	
情報工学(休講)	
画像処理論〔平成7年度以前入学生：画像工学Ⅱ〕(櫃尾英次)	164
化学特論(原田和正)	165
応用計測学(櫃尾英次)	166
放射線学特論(是永建雄)	166
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(小山正希)	167
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(氏家盛通)	167
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(杉田徹)	168
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(田島隆)	169
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(中北倫男)	171
放射線学特別演習(青木清)	171
放射線学特別演習(櫃尾英次)	172
放射線学特別演習(佐藤昌憲)	172
放射線学特別演習(清水忠良)	173
放射線学特別演習(西尾誠示)	173
放射線学特別演習(山本裕右)	174

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線物理学	こやま まさ きの 小山正希	短放1必	2

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線（ここでは主としてX線）と物質との相互作用を中心として、最も多用されているX線の発生機構を含めて、放射線とその作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- 1) 放射線・放射能の定義と概念。
- 2) 放射線の種類と分類。
- 3) 光子（X線・γ線）の粒子性。
- 4) 光電効果。
- 5) 原子の構造・粒子の波動性。
- 6) X線回折・ブラグ反射。
- 7) 軌道電子のエネルギー準位。
- 8) 輝線スペクトル。
- 9) 制動X線・特性X線の発生機構。
- 10) X線の線質。
- 11) 光子と物質との相互作用（光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など）。
- 12) 吸収端現象とその応用。
- 13) 電子と物質との相互作用（電離・励起・制動放射・チエレンコフ放射など）。
- 14) 光子の減弱（吸収係数・再生係数・平均自由行程など）。
- 15) 電子の飛程。
- 16) 放射線の単位。

X線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習するX線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用に有ると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線学全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

教科書

教科書は使用しないが、参考となる書籍とその部分については適宜紹介する。

専門（放射線科）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
電気工学	さとう まさ のり 佐藤昌憲	短放1必	2

講義のねらい

電気工学全般にわたる広い基礎知識を得ることを目的としている。この科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合せ講義をする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- ① 電気回路の電圧・電流
- ② 消費電力と発生熱量
- ③ 電気抵抗
- ④ 磁界の強さと磁束密度
- ⑤ 磁気回路
- ⑥ 電磁力
- ⑦ 電磁誘導作用と電磁エネルギー
- ⑧ 静電現象
- ⑨ 電界の強さと電束密度
- ⑩ 静電エネルギー
- ⑪ 交流回路の基礎
- ⑫ 交流の平均値・実効値
- ⑬ 正弦波交流の基本回路
- ⑭ 交流の直列回路
- ⑮ 交流の並列回路
- ⑯ 交流の電力
- ⑰ 複素数とベクトル
- ⑱ 交流回路の計算
- ⑲ 相互インダクタンスを含む回路の計算
- ⑳ 三相交流の基礎
- ㉑ 三相の結線方法と電圧・電流の関係
- ㉒ 三相交流の電力と力率
- ㉓ 平衡三相交流回路の計算
- ㉔ 電気計測（電圧・電流・電力の測定）
- ㉕ 変圧器の基礎

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教科書

『新電気基礎問題集』（綜文館） 800円
『電気基礎上』（東京電機大学）2,472円
『電気基礎下』（東京電機大学）2,369円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線機器概論 (前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放1必	1

講義のねらい

診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種 X 線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理についての必要な知識について講述する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 診療 X 線機器：X 線機器の概要、X 線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- ② 一般撮影機器：X 線装置・X 線発生装置、X 線高電圧装置、X 線制御装置。
- ③ X 線源装置、X 線用高電圧ケーブル、電源設備。
- ④ X 線機械装置：透視撮影装置、保持装置撮影台、その他特殊装置。
- ⑤ 関連用品：散乱 X 線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- ⑥ 診断用 X 線システム：外科系、消化器系、呼吸器系、乳幼児系、頭部系等撮影装置。
- ⑦ 特殊 X 線検査システム：乳房用 X 線装置、泌尿器・産婦人科系 X 線装置。
- ⑧ X 線断層撮影装置、X 線間接撮影装置、X 線拡大撮影法と X 線立体撮影法の原理。
- ⑨ 循環器系 X 線検査装置：連続撮影装置と関連機器、X 線シネ装置と関連機器。
- ⑩ X 線 CT 装置：原理と画像再構成、前処理と補正、X 線 CT システム・走査方式。
- ⑪ X 線 CT 用検出器、寝台、X 線発生装置、X 線管。
- ⑫ スリッピング方式、コンピュータシステム、画像表示および記録装置。
- ⑬ X 線 CT 画像の特徴、画像処理、計測、表示機能、性能評価、検査技術。

履修上の留意点

4 月第 2 週より 7 月の第 3 週まで、毎週土曜日の 2 時限に教科書を用いて講述する。

成績評価の方法

前期試験の結果による。

教 科 書

『診療放射線技術』上巻 (南江堂) 7,004円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線写真学 (後期)	ふる古 かわ川 かつ克 ほる治	短放 1 必 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

画像診断の根幹をなす、各種医用画像の画像形成につき、感光材料、感熱材料等のセンサー科学とその最新技術につき理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 感光材料概論
- ② 感光理論
- ③ 現像理論
- ④ X線写真
- ⑤ 増感紙・蛍光板・II管

感光材料	現像理論	X線写真	増感紙
感光理論	品質管理		蛍光板
H11/10	/11, 12	H12/1	H12/2

履修上の留意点

期中2回程度のミニテスト実施予定。
教科書・参考書・文献等で理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視。出席・ミニテストを参考に最終評価をする。追試、再試「無」。

教科書

『新しい放射線写真学』新版（富士メデイカルシステム）5,700円

参考書等

- ・日本写真学会編『写真工学の基礎』（銀塩写真編）（コロナ社）
- ・友田宣忠『写真科学』（通商産業研究社）
- ・笹井 明『写真の化学』（写真工業出版社）
- ・内田他『放射線画像情報工学』（通商産業研）

その他

授業方法：講義、ビデオ、OHP

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
解 剖 学	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短 放 1 必	2

講義のねらい

診療放射線技師に必要な人体解剖学を学び画像との関係を習得する。

- ① 解剖学総論
- ② 骨 格 系
- ③ 筋 肉 系
- ④ 内 臓 系
- ⑤ 循 環 器 系
- ⑥ 神 経 系
- ⑦ 感 覚 器

教 科 書

吉川、星、林共著『解剖生理学』（金原出版）3,000円

専門（放射線科）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 理 学 (後 期)	ひ ぐち ゆう そう 樋 口 雄 三	短 放 1 必	2

講義のねらい

生体の生命現象について、単にその調節機序を解説するのではなく、それらが互いに有機的に関連しあい恒常性が維持されていることをホリスティックな視点から理解を深めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 生命と健康
2. 体 液
3. 循 環
4. 呼 吸
5. 消 化 吸 収
6. 栄 養 ・ 代 謝 ・ 体 温
7. 排 泄
8. 内 分 泌
9. 神 経 の 興 奮
10. 中 枢 神 経 系
11. 末 梢 神 経 系
12. 感 覚
13. 筋 収 縮 と 運 動
14. 生 体 の 防 御 機 構
15. 生 殖

履修上の留意点

講義内容は、教科書よりも高いレベルで重点的に話すのでノートを必ずとること。出席を重視する。

成績評価の方法

筆記試験。出席点を与える。

教 科 書

松村・越智・豊田著『臨床検査技術学⑥生理学』（医学書院）3,914円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
衛生学及び公衆衛生学 (後 期)	よし だ みのる 吉 田 稔	短 放 1 必	2

講義のねらい

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および全国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。しかしながら、健康の保持には環境、病因、宿主の間のバランスが重要である。今日では地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨といった地球規模での環境破壊が健康保持に深刻な問題を投げかけている。ここでは公衆衛生が果たす役割のみならず環境問題についても学ぶ。

教 科 書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』改訂7版(南江堂)2,400円

参 考 書 等

『国民衛生の動向』(厚生指標 臨時増刊)厚生統計協会
 厚生省編『厚生白書』(厚生省統計協会)
 環境庁編『環境白書』(大蔵省印刷局)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像検査技術学概論 (後 期)	にし お せい じ 西 尾 誠 示	短 放 1 必	2

講義のねらい

画像検査技術概論および放射線画像の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 放射線技術と医療社会
医療における診療放射線技師の役割、関連領域の構成、チーム医療について。
- ② X線の基礎
X線の発生から写真効果まで、診療画像領域について述べる。
- ③ 画像の成り立ち
点線源からのX線照射によって生じる画像の拡大、歪み、重責効果などについて。
- ④ 画質を評価する尺度
画質を評価するときの対象因子となる濃度、コントラスト、鮮鋭度、粒状性について。
- ⑤ 画像を左右するもの
要因を出力側、入力側に分けて散乱線、撮影管電圧、感光材料などについて述べる。
- ⑥ 撮影条件の設定と考え方
最適な画像を得るための理論的な考え方、課題と改善策について。
- ⑦ 体の基準線と原則および名称
医療画像検査を行う上で重要な基準線、名称および体表解剖について。
- ⑧ 画像検査の種類
単純撮影、造影法、特殊検査の原理と検査の基礎的知識について

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、小テストの結果、及び各自の学習意欲を重視する。

教 科 書

立入弘著『診療放射線技術』(南江堂)6,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線基礎数学	し 清 み 水 た だ よ し 忠 良	H8以降入学生/短放1必	2
放射線基礎数学(後期)		H7以前入学生/短放1必	1

講義のねらい

この科目は前半で確率・統計学と行列・行列式を、後半で積分学を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 連立一次方程式 2. 行列の表現 3. 行列の演算 4. 行列の分類
5. 6. 行列式 I・II 7. クラメル解 8. 固有値
9. 統計・実験データのいろいろ 10. 統計データの収集
11. 平均値、度数分布 12. 平均値からのズレの評価 13. 最小自乗法
14. 確率分布 15. ポアソン分布・ガウス分布 16. 計算機による計算実習
17. ～積分学

履修上の留意点

電卓、方眼紙は常に携帯して欲しい。

成績評価の方法

試験・レポート・出席で評価する。

教科書

矢野・石原著『科学技術者のための基礎数学』(裳華房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代物理学序論	し 清 み 水 た だ よ し 忠 良	短放1必	2

講義のねらい

この科目は新入生に向けて開講されるもので物理学の技術を磨くことを意図している。最初に今まで学習した内容の復習をする。予備知識は特に必要とはしない。定性的な議論ではなく、物理学の定量的な議論を運動方程式(質点、電子、電磁波)を軸に据えて扱う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 物理学小史 2. 運動の概念 3. 座標・時間・速度 4. 落下運動 5. 質量
6. 力 7. 運動方程式 8. 落下運動再論 9. 円・楕円運動
- 10~12. 摩擦のある運動 I・II・III 13. 電荷の運動 14. 電場、電位
15. 直線電荷のつくる電場 16. 平面電荷のつくる電場 17. 磁場および磁束密度
18. ベクトル積 19. ビオ・サバールの法則 20. 21. ローレンツ力 I・II
22. 23. ファラデーの法則 I・II 24. オームの法則 25~27. 電気回路 I・II・III
28. 電磁波 29. マックスエル方程式

履修上の留意点

予習は特に必要とはしないが復習をすること。講義中に宿題や計算問題等の演習を行う。電卓、方眼紙は常に携帯して欲しい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の結果と併せ評価する。

教科書

原康夫著『詳解物理学』(東京教学社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 化 学 序 論	た じ ま 田 島 隆	短 放 1 必	2

講義のねらい

昨今の高校の理科では「理科 I」で化学の初歩は学習しても「化学」を履修しない場合がある。また「化学」を履修した場合でも「化学」を暗記ものとして学んでいる場合が多い。「化学」は法則、定理を学んでも、確かに例外的多い学問分野ではある。無機化合物でも、まして有機化合物に至っては数え切れないので、それらを暗記など出来る筈もないし、必要もない。診療放射線技師となって扱う物質は、その中のほんの僅かである。だがその僅かな物質も元素およびその構成されたものでは原子、分子である。これらは一応物理学的性質、化学的性質の諸法則に従っているから、それらの諸法則の理解が充分ならば取り扱いも充分可能である。そのほんの僅かな物質の中のさらに僅かな物質だけが例外であり、暗記するとすれば、まことに僅かだ。

もう一つの問題点は「化学」は机上、抽象的な学門と考えている場合が多い。しかし「化学」はあくまでも物質を扱う学問である。例えば計算をして算出した数字は「化学」では数量であり、数値であると言う理解が必要である。具体的に言えば「有効数値」の概念である。

以上の諸点から、この時間では高校で履修した事項と重複することを承知の上で化学の基礎から講義を開始して、「放射化学」「放射線写真学」「生化学」の本論への橋渡しをするのを目的とする。

 講義の内容・
授業スケジュール

- a) 原子、分子、モル
質量保存の法則、定比例の法則、倍数比例の法則、気体反応の法則、Avogadro の法則、原子、分子の概念、モル数の考え方。
- b) 原子の電子配置と周期表
Schrodinger の波動方程式、量子数、電子配置、Pauli の排他律、Hund の規則、周期表と周期律、イオン化エネルギー、電子親和力
- c) 化学結合
イオン結合、共有結合、分子軌道法、配位結合、錯化合物、水素結合、水和物、金属結合、電気陰性度、分子の極性と非極性、分子の形と性質
- d) 化学平衡
可逆反応と不可逆反応、質量作用の法則、平衡定数、解離定数、化学平衡と温度、平衡移動 -Le Chatelier の法則
- e) 電解質溶液と pH
電離、電離平衡と電離定数、溶解度積、水のイオン積、水素イオン濃度と pH、塩の加水分解、緩衝溶液、共通イオン効果、塩効果
- f) 光の吸収
電磁波の分類（ここでは紫外部、可視部、赤外部）放射エネルギーと分子（ここでは回転エネルギー、振動エネルギー、電子エネルギー、蛍光、リン光）吸収スペクトル（赤外分光測光、紫外可視吸収スペクトル）可視光線と補色の関係、Lambert-Beer の法則、分光光度計の構造と測定法
- g) 酸化還元反応
酸化数、イオン式と半反応式の作り方、酸化剤と還元剤、酸化還元反応式の作り方、酸化還元の規定度
- h) 電気化学
酸化還元とイオン化列、半電池、標準単極電位、標準電極電位、濃淡電池、電位差と反応の進行、電位差と自由エネルギーの関係、電気伝導率、Kohlraush の法則、電気分解と Faraday の法則
- i) 化学熱力学
熱力学の法則、内部エネルギー、熱容量、断熱変化、エンタルピー、Hess の法則、Kirchhoff の法則、熱力学とエントロピー、自由エネルギー変化
- j) 反応速度論
反応速度と濃度、反応速度定数、反応の次数、半減期、反応の機構、活性化エネルギーと Arrhenius の式、觸媒の化学
- k) 核化学
同位体、放射能、放射線、放射性核種、放射性核種の壊変と変位法則、人工放射線核種、核エネルギー、核分裂、質量欠損、核融合、放射性核種の利用

履修上の留意点

「化学」を履修していない学生にも出来る限り理解できるよう平明な講義をするが、それでも解らぬ場合は必ず「基礎化学」を履修して欲しい。その時間の講義内容は暗記せずその時間中に理解して欲しい。

成績評価の方法

(平常点+中間テスト+定期試験) × 1 / 3 = 成績 平常点は前回講義した事項中重要な点につき出題する5分間テストの平均点とする。欠席の場合には0点とする。

教科書

磯直道著『化学通論』(東京化学社) 1,957円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I A	にしお せいじ うえい もりみち 西尾 誠示・氏家 盛通 いとう ひろみ 伊藤 博美	短 放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。
X線画像を左右する様々な要因について基礎的な実験を行い、画質管理を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 撮影条件の設定
被写体からより多い情報を得るための適切な線質・線量を求める。アクリル、人体ファントムを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度の関係を理解する。
- ② X線照射野と撮影距離
照射野とフィルム・焦点間距離を変化させ、写真濃度から照射野内のX線分布を把握する。
- ③ アルミステップの応用
管電圧を変化させアルミステップを撮影し、得られた写真濃度、コントラストを測定する。
- ④ フィルムの特性曲線の作成
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数のフィルムの特性曲線を作成する。
- ⑤ 散乱線の評価
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。
被写体厚、照射野サイズの違いによる散乱線の量を測定し、人体における量を把握する。
- ⑥ 撮影電圧とコントラストの関係
電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが微小検体の描出度に及ぼす影響を調べる。
- ⑦ 増感紙の感度
増感紙の相対感度を測定するとともに、被曝線量について認識を深める。
- ⑧ グリッドの性能評価
各種グリッドの散乱線透過率、直接線透過率等を求め、グリッドの基本性能を評価する。
- ⑨ 鮮鋭度/解像力
短形波チャートを用いたコントラスト法にて、フィルム・増感紙のMTFを求める。

履修上の留意点

実験項目を担当する教員の指導で実験を行い、データを整理して実験報告書を提出する。

成績評価の方法

報告書の内容と定期試験の結果によって評価する。

教科書

プリント
立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I B	しみず ただよし さとう さまのり 清水 忠良・佐藤 昌憲 まつばやし てつお ちもせ じゅん 松林 哲夫・百瀬 旬	短 放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の練習をする。後半はデータ処理する方法を扱う実験を用意してある。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

内容は手引書を制作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。
そのためにスケジュールは個人々人によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けによるスケジュールを発表する。

成績評価の方法

1. レポート 2. 実験 3. 質疑応答 4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書

放射線科でいくつかの実験のために用意した手引書を制作してある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I C	やまもと 山本 裕右・榎尾 英次 はらだ 原田 和正	短 放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

1 年次後期で並行して学ぶ「放射線写真学」および2 年次で学ぶ「画像工学」の基礎となる事項について実験を行う。医療用フィルム画像をよりよく理解するためには、フィルムの現像、定着の化学から始まり、フィルム現像、エックス線フィルムの特性を測定するセンシトメトリーに至る実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目について実験を行う。

1. 基礎実験 I (ハロゲン化銀の性質、現像液の単薬調合)
2. 基礎実験 II (現像液組成薬品の化学的性質、定着液組成薬品の化学的性質)
3. フィルム現像
4. 引伸しプリント
5. センシトメトリー (感光計によるエックス線フィルムの特性曲線の作成)
6. 現像薬品と画像 (異なる現像薬品組成をもつ現像液処理による画像の比較)
7. スライド作成 (カラーホイルおよびポジフィルムによるスライド作成)
8. エックス線フィルム画像の複写
9. マイクロデンシトメータによる濃度測定
10. プートストラップ法による特性曲線の作成

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教 科 書

実験プリント。

参 考 書 等

高尾慶人他『新しい放射線写真学』(富士メディカルシステム) 5,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I D	たじま 隆・山本 裕右 ほらだ かずまさ むらかみ まさひこ 原田 和正・村上 雅彦	短 放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

「放射化学実験 I」として、その基礎になる化学実験の基本操作を習得することを第一の目的とする。第二に「放射化学序論」の講義における理論の裏付けとなるテーマを設定し、化学の理論の実証、理解することを目的としている。

昨今、高校で「化学」を履修している学生でも、実験を経験した者は非常に少ない。また「化学」を履修しなかった学生は実験器具を見た事も触れたことも、名称すら知らないのが現状である。

このような状況のもとで、「化学実験」には常に危険を伴い、実験には誤差が伴い、失敗もあることを理解させる。特に「放射化学実験」では安全と正確さが要求されるものであることを体得せしめるのを第三の目的とする。さらに、実験結果の可否については特に問うことはしないが、実験結果の処理の方法を重要視して、実験報告書を提出させる。これにより、一般の科学のレポートの書き方、考え方を学ぶため、形式を守らせ、科学技術者としての論文・レポートの書き方を体得させるのを第四の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- a) ガイダンス
実験室内での一般的注意事項、数値の扱い方、洗浄の理論、器具の扱い方、レポートの書き方等
- b) ガラス細工、器具の洗浄
ポリスマン、毛管ピペットの作成、ガラス器具の洗浄
- c) 容量、重量の測定、試薬の調製法
測容器、上皿天秤、分析用電子天秤の扱い方、シュウ酸標準液、水酸化ナトリウム溶液の調整法
- d) 容量分析 I
酸・アルカリ中和滴定による酸の定量
- e) 薄層クロマトグラフィー
薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
- f) 分子模型実習
簡単な分子、錯化合物、異性体の作成
- g) pH の測定
pH 試験紙、ガラス電極 pH メーターによる緩衝能の測定
- h) 滴定曲線の作成
pH メーターによる一塩基酸と二塩基酸の一酸塩基の滴定曲線の作成
- i) 無機化合物の合成
硫酸銅(Ⅱ)五水和物の合成
- j) 容量分析Ⅱ
i) で合成した硫酸銅(Ⅱ)五水和物中の銅(Ⅱ)のヨウ素滴定法による定量
- k) 比色分析
0-フェナントロリン法による鉄(Ⅱ)の定量
- l) イオン交換樹脂
陽イオン交換樹脂の交換容量の測定

履修上の留意点

- a) 欠席しないこと：
実験室内で設備、器具を用い物質を扱うので、講義のように自習で補うことはできない。実験室、教員の条件等により欠席者についての補習は行えない。操作技術は段階的、体系的に学習するように設定しているため、欠席すると次の実験操作は出来なくなる。数名の班編成により実験をするので、他者に迷惑をかける。
- b) 遅刻しないこと：
時間の冒頭で当日の実験、注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないことになり、実験が正しく行えず、危険を伴い、事故を起しかねないので、実験をさせられず欠席扱いとなる。
- c) 予習、下調べをして実験のフローチャートを作成してくること：
該当する実験の詳細はプリントして2週間前に配布する。その実験の理論は講義してあるから、当日までにフローチャートを作成、使用する薬品、器具については下調べしておくこと。
- d) 実験室内の規則を守ること：
化学実験には危険(事故)、失敗、誤差が常につきまとうものである。これ等を出来る限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。昨今目立つのは男女を問わず長髪が多いが、頭部後方で縛ること。特に女子学生のハ

イヒール、口紅、長い爪、装飾品の着用は禁止する。これら禁止事項を守らない場合には、実験を禁止せざるを得ないことになる。

e) レポートの提出：

各テーマごとに実験終了一週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する書き方を守ること。これが守られぬ場合、間違いのある場合指摘するので再提出すること。再々提出もあり得る。

成績評価の方法

出席点+レポート点+定期試験点=成績

$$35 + 35 + 30 = 100$$

教科書

プリント使用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
医学概論 (前期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短放2必	2

講義のねらい

医学とは何か。正しい医療とはどうあるべきか。病気と人間のかかわり。診断・治療・予防などについて学ぶ。

- ① 医学をどのようにとらえるか
- ② 医学の発達のすがた — 医学史
- ③ 健康・病気・医学の体系
- ④ 病気の原因
- ⑤ 病気による身体の変化
- ⑥ 病気の診断
- ⑦ 病気の治療とリハビリテーション
- ⑧ 病気の予防
- ⑨ 新しい医療システム
- ⑩ 健康教育と衛生統計
- ⑪ 医学の生命へのアプローチ

教科書

日野原重明著『医学概論』(医学書院) 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
臨床医学概論 (後期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短放2必	2

講義のねらい

診療放射線技師がわかまえておく必要のある診断と治療に関する知識の修得を目的とする。

- ① 疾患の分類
 - ② 疾病の症状と診断
 - ③ 疾患の治療
 - ④ 発展する医療
- ①については器質的疾患と機能的疾患、原因別にみた諸疾患、臓器別にみた諸疾患、種々の症候群、国際疾病分類等。

教科書

玉木正男・林文字共著『臨床医学概論』(名古屋大学出版会) 3,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線生物学 (前期)	おお た ただ ちか 大 田 忠 親	短放2必	1

講義のねらい

1895年、レントゲンによってX線が発見された翌年には、X線による手の皮膚炎や脱毛が報告されている。以来、一世紀にわたり放射線の研究・応用と放射線障害の防止の研究・応用とは、相補的な関係で発展してきた。

21世紀の原子力利用は更なる発展が考えられ、特に医療の高度化に伴う医療被曝の増加、原子力発電所への依存が増すことによる環境放射能の増加、SPring-8（放射光）に代表される加速器の普及や高々度飛行時の宇宙線などによる被曝の増加が予想される。

放射線生物学は、生物の集団から分子の各レベルに対する放射線の影響を研究する分野であるから、今後さらにその重要性は増すであろう。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次の各項目よりなる。
- 1 放射線、放射光、宇宙線、素粒子
 - 2 放射線の物理・化学作用
 - 3 細胞の生存曲線
 - 4 温度効果と酸素効果
 - 5 LETとRBE
 - 6 放射線感受性と細胞周期
 - 7 酵素、核酸、DNA修復
 - 8 急性効果
 - 9 晩発効果
 - 10 遺伝的効果
 - 11 胎児および胚に対する効果
 - 12 環境放射能
 - 13 放射線診断・治療による危険と恩恵

履修上の留意点

授業開始時ならびに終了時にレポートを提出していただくので時刻厳守のこと。

成績評価の方法

評価は毎時間ごとのレポートにより判定する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に必要に応じ指示する。

その他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
病理学 (後期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短放2必	2

講義のねらい

診療放射線技師に必要な病理学を学ぶ。総論として先天異常、代謝障害、循環障害、炎症と免疫、腫瘍について。

各論として循環器系、血液・造血器系、呼吸器系、消化器系、腎・泌尿器・生殖器系、内分泌系、脳・神経・筋肉系、骨・関節系、耳・眼・皮膚、膠原病及び難病について。

教科書

中村・坂本編『系統看護学講座・病理学』（医学書院）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生 化 学 (前 期)	た じ ま 田 島 隆	短 放 2 必	2

講義のねらい

パラメディカル・スタッフとしての診療放射線技師にとって、人間の生理に関する基礎知識は必須のものである。近年における放射線医療の分野の進展には目覚ましいものがあり、これは分子生物学分野との関連性なしには考えられない。この教科目は半期で時間的制約のあること、また本科のカリキュラムには有機化学が開講されていないことの2点を考え、出来得る限り化学式を避け、生体の基本的な仕組みを学習できるように講義を組み立てた。核医学領域の学習の基礎となり、橋渡しになることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

- a) 細胞・その構成物質とその機能。
生物の基本単位としての細胞を構成する物質——核、ミトコンドリア、マイクロゾーム、細胞質、細胞膜等の成分物質と、これらの生理機能の関連性に重きを置いて説明する。また、多細胞生物における細胞の機能の分化について論ずる。
- b) 酵素の働きとそのメカニズム
生体内に起っている化学反応を触媒している酵素の本体がタンパク質であって、特異性を有する事を理解させる。活性剤、阻害剤に対して、どのような反応を示すかをミカエリスの定数を用いて説明する。またビタミン類が補酵素としての働きを有することから酵素反応のメカニズムの解明の一端を示す。
- c) 代謝概論——異化作用と同化作用
生体外 (in vitro) 生体内 (in vivo) の区別を明確にし、生体内で起きる化学反応のうち分解の過程により、生体維持、増殖、成長の成分の生成とエネルギー生産をする異化作用。生体維持、増殖、成長における生体物質の生合成とエネルギーの消費の過程である同化作用。この二つの流れの概論を行う。この章では b) で述べた酵素の役割と、代謝における臓器特異性、代謝異常と病気の関係も述べる。
- d) 生体エネルギーの生産と ATP
代謝概論では主として、物質の変化の流れとして主に論じ、ここでは代謝を生体エネルギーの生産過程として説明する。ここでは一年次で学習した熱力学、自由エネルギー、酸化還元電位の知識が必要となる。生体内のエネルギーの担体としての ATP の機能と役割を論ずるが、ここでは化学結合の知識が要求されることになる。
- e) 糖質、脂質、タンパク質の異化作用
ここでは c) で概論として述べた異化作用について、物質論を出来るだけ避けて、代謝の流れを臓器特異性と関連させて説明をする。糖尿病、ケトン血症との関係も説明する。
- f) 糖質、脂質、アミノ酸の同化作用
ここでも物質論はなるべく避け、各物質を合成する流れを臓器、酵素、エネルギーとの関連において説明する。
- g) 核酸と遺伝子
DNA、RNA の構造を出来る限り有機化学的な説明を避けて説明するが、化学結合の基礎知識だけは必要である。細胞の核、染色体、核タンパクに触れ、遺伝子の複製のメカニズムを説明する。プリン代謝と痛風、染色体異常、放射線の影響にも言及する。
- h) 遺伝情報の伝達
遺伝情報は DNA の転写という方法により正確に伝達される。この場合に核酸の順列組み合わせの暗号(コドン)による。そのメカニズムを説明し、突然変異、修復がどのような仕組みで行われるかに言及する。
- i) タンパク質の生合成
DNA から3種の RNA が転写という方法で作られ、各 RNA はそれぞれの役割を担当し、暗号が解読されて活性化されたアミノ酸がその暗号に対応して順次配列され1次～3次構造時には4次構造を作って特異なタンパク質が合成される過程を説明する。
- j) 代謝調節
生体の維持にとって異化作用、同化作用のバランスが保たれねばならない。そのバランスを保つ機構として細胞レベルで調節する方法——酵素活性の調節と個体レベルで行われる内分泌系、神経系による調節に大別される。そのメカニズムを解説する。

履修上の留意点

前述のように、生化学は生命、生体について分子レベルで解明しようとする分野である。ここでは種々の制約から、生体の仕組みを大きな流れとして理解できるように努める。しかし最少限1年次で学習した化学の基礎事項は理解しておいて欲しい。

成績評価の方法

毎時間の小テストの平均値 + 定期試験 = 成績
50 + 50 = 100

教科書

宿谷他著『生化学入門』（東京教学社）1,751円

参考書等

入野他著『パラメディカルの生化学』（三共出版）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応 用 数 学	し 清 水 忠 良	短 放 2 必	2

講義のねらい

ここで言う「応用数学」とは広い意味での微分積分学の応用という領域のことである。とはいえ、これでは扱う範囲は相当広い。放射線を扱う上でよく出てくる数学に極力限定する。同じ問題でもいろいろな角度からのアプローチがあることを経験してもらいたい。抽象的な定理も実際に数値を使って表現すると理解しやすい場合が多いので実例を中心に据える。電卓、パソコンを使ったグラフ、表、図を多用したい。また、学生自身にも作ってもらう。

講義の内容・授業スケジュール

1～3. 微分積分学の復習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 4. 微分方程式の例 5～7. 簡単な微分方程式の解法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 8～9. 数値微分方程式の解法Ⅰ・Ⅱ 10～12. 数値積分法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 13～15. フーリエ級数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 16～19. フーリエ変換Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 20. ～画像処理のための数学

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

試験・レポート・出席で評価する

教科書

矢野・石原著『科学技術者のための基礎数学』(裳華房)

参考書等

P. ラックス他『解析学概論』(現代数学社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原 子 核 物 理 学	あ お き 青 木 清	短 放 2 必	2

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射能に関する講義を行う。特に α ・ β 壊変と γ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。きちんと理解すると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質(構成粒子、結合エネルギー、質量公式、核模型、磁気モーメント)
2. 放射性壊変(放射能、 α ・ β ・ γ 線、壊変図)
3. α 壊変(α 線のエネルギー、ガイガーヌッタルの法則、トンネル効果)
4. β 壊変(β^- 壊変、 β^+ 壊変、 β 線のエネルギー、中性微子、電子捕獲、カリブプロット)
5. γ 線放射(γ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスパウアー効果)
6. 核反応(核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応)
7. 中性子(中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類)
8. 原子炉(核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法)

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後には、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

田島英三著『原子核物理概論』(地人書館)
竹井力著『放射線物理学』(南山堂)

そ の 他

授業の中では演習問題も出題する。電卓を用意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射化学	やまもと ゆうすけ 山本裕右	短放2必	2

講義のねらい

診療放射線技師として最低限必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。
本講義は、すでに1年次に学んだ「放射化学序論」および「放射線物理学」、さらに2年次で並行して学ぶ「原子核物理学」で得た化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について学ぶ。またここで学ぶ事柄は、3年次の「実験ⅢC（放射化学実験）」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「放射性同位元素検査技術学」、「管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。

なお、診療放射線技師国家試験科目として「放射化学」がある。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から以下の内容について講義する。

1. 天然に存在する放射性同位元素
2. 放射能、放射壊変および壊変則
3. 放射平衡
4. 放射性同位元素の製造
5. 放射性同位元素の分離、精製
6. 放射能を利用する分析法
7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

2回の中間試験および学年末試験により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）1,470円を使用する。講義には必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
電子工学	すぎた とおる 杉田徹	短放2必	2

講義のねらい

電子工学の主役は「電子」である。電子工学はまず電子の挙動を制御する素子の理解に始まり、その展開上に回路技術を習得する。現在、電子工学は医療分野に於ける基礎技術として考えなければならない。そのような観点から、次に掲げる項目に従い講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 電子の性質
2. 場との相互作用
3. 素子への展開と周辺技術
4. 基礎的な回路技術
5. 電子応用機器の概論

履修上の留意点

時間的制約があり概論的な講義になるが、基本的な知識の習得を心掛けて欲しい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験、出席状況により成績評価を行う。

教科書

宇佐美晶、曾根福保共著『テキストブック・電子工学概論』（日本理工出版会）2,500円

その他

国家試験該当科目である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 機 器 工 学	なか また つね お 中 北 倫 男	短 放 2 必	2

講義のねらい

診断用 X 線発生装置および X 線映像装置の構成、構成要素の構造、機能、特性、装置の動作原理、動作特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

X 線発生装置は、X 線管部、直流高電圧発生部および制御部などから構成される。直流高電圧の発生形式により、自己整流式、単相ならびに三相全波整流式、インバータ式およびコンデンサ式などの種別がある。また X 線映像装置として X 線 TV 装置とミラーカメラ装置がある。

前期は X 線管装置から単相ならびに三相全波整流式 X 線装置について講義し、後期はインバータ式、コンデンサ式および自己整流式 X 線装置と、X 線 TV 装置およびミラーカメラ装置について講義する。

履修上の留意点

X 線発生装置は、高電圧応用機器の一種でさまざまな技術要素を内包する。また X 線映像装置はエレクトロニクスと光学の応用機器である。したがって、この教科をよく理解するには、電気、電子工学、物理学、化学、自動制御工学などを併せ履修することが望ましい。

成績評価の方法

年度内に行う試験（小テスト、中間試験、定期試験）および出席状況により評価する。

教 科 書

青柳泰司ほか著『改訂 対射線機器工学(I)X 線診断機器』（コロナ社）5,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 工 学 (前 期)	ふる かわ かつ ほる 古 川 克 治	短 放 2 必 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

より良い画像とは何か、画像形成に結びつく諸要因とその物理値としての画像解析法を理解する。併せて、デジタル画像に対する基礎と各種画像処理や画像通信等についても理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

画像解析(1)

- ① センシトメトリー…光、X線露光
- ② 鮮鋭度と画像…レスポンス関数
- ③ 粒状性…雑音
- ④ 総合画像評価…ROC評価、NEQ (U)

画像解析(2)

- ① 各種医用画像概論…F/S法とDR法
- ② FCRの原理…FCRの構成、IPの原理と特性、画像処理
- ③ DR画像の画質評価…DQE、NEQ (U)
- ④ 各種画像処理等…新画像処理、画像計測、画像通信

スケジュール：「2年生 前期」

画像解析(1) 画像解析(2)

H11/4 /5 /6 /7

履修上の留意点

期中 ミニテスト、レポート提出を各1回程度実施予定。
画像評価の基礎的思考方、評価法について参考文献等により、理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視。出席・ミニテスト・レポート等を参考に最終評価する。追試、再試「無」

教 科 書

『新しい放射線写真学』新版 (富士メディカルシステム) 5,700円

参 考 書 等

- ・極光 X-RAYNo25 化成オプトニクス(株)
- ・友田宣忠『写真科学』(通商産業研究社)
- ・安居院猛他『画像工学の基礎』(昭晃堂)
- ・井上英一他『写工学』(共立出版社)
- ・内田他『放射線画像工学』(通商産業研究社)

そ の 他

授業方法：講義、OHP、他

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 技 術 学	にし お せい し 西 尾 誠 示	短 放 2 必	2

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や画像工学を元にした幅広い学問によって構成される。解剖・生理を裏付けとした整位・撮影条件論、及び得られた画像の評価まで含めて講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 胸部撮影の理論
- ② 腹部の撮影技術と画像評価
- ③ 乳房・軟X線撮影の理論
- ④ 頭部の撮影技術と画像評価
- ⑤ 耳鼻科領域の撮影技術と評価
- ⑥ 椎骨の撮影技術とチェックポイント
- ⑦ 四肢の撮影技術とチェックポイント
- ⑧ 消化管検査の手順と画像評価
- ⑨ 実質臓器の画像検査の手順
- ⑩ 心・血管造影検査について
- ⑪ 脳神経系の画像検査について

成績評価の方法

定期試験及び中間試験が基準であるが、小テスト及び学習意欲を参考にする。

教 科 書

稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円

参 考 書 等

立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800円
日本放射線技術学会編『放射線検査学』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 計 測 学	こ やま まさ き 小 山 正 希	短 放 2 必	2

講義のねらい

万能である放射線計測系は存在していない。即ち、測定対象と必要なデータとを接続する計測系は測定対象によっても、また必要とされるデータによっても様々に異なってくる。診療放射線学における放射線計測学とは一般に、状況に応じて変えなければならない計測系を如何に選択し、かつ使用するかを主としている。ここで必要とされる素養はこのことを念頭に置いて、現存する多種類の検出系、計測系の放射線応答を出来る限り詳細に知ることであろう。これらの系の選択に当っては絶対的なものが無い以上、あくまでも相互比較によってより適切な物を決定する必要がある。従って単に事項の項目的理解では計測学を学んだことにならない。本科目ではこれらの点に留意して学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

主として取り上げる事項は次の通りである。

- 1) 放射線検出器分類上の着眼点。
- 2) 放射線検出器の全体像とそれぞれの検出器の位置づけ。
- 3) 電離箱型検出器の基本動作原理。
- 4) 電子及びイオンの運動。
- 5) 電離箱型検出器の基本特性。
- 6) 電離箱型検出器の種類とその概要。
- 7) 電離箱型検出器の出力回路と動作モード。
- 8) 各種電離箱（自由空気型、指頭型、空洞型、外挿型、シャロー型、均質型など）の基本原理とその実際。
- 9) 線量計測とその実際。
- 10) 各種計数管（GM・比例・シンチレーション計数管など）の動作原理と特性。
- 11) パルス計測の基本とその応用。
- 12) 計測データの統計処理。
- 13) 半導体検出器の原理と応用。

検出器や計測系について、既成のコンポーネントの組合せでは目的が達せられない場合、必要なコンポーネント自身を研究開発し、実用に供するのが次の段階の計測学の内容となる。このレベルを念頭に置き学習したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
関 係 法 規 (後 期)	いち もり とし ひろ 一 守 俊 寛	短 放 2 必	1

講義のねらい

法律上、放射性同位元素及び放射線発生装置に関しては放射線障害防止法により、診療用放射線装置に関しては診療放射線技師法により、放射性医薬品に関しては医療法・薬事法によって規制される。しかしながら、保護法益、取扱いの態様等により更に電離放射線障害防止規則等により規制される。各々の法律を正確に理解するには各人の相当な努力が要求される。整理・関連性等を重視し効率的な理解を目論む。

講義の内容・
授業スケジュール

- * 関係する各種法令の体系的な把握
- * 各法令での定義、規制に関する共通・特異性のある事項の抽出
- * 管理技術との関連性に着目して法令条項の理解度を増大させる。
- * 数値的規制が与えられている項目についての整理と数値の意味の把握
- * 係わる各種業務に対応した
- * 想定される各種実務に対する整理された法令の理解・把握

履修上の留意点

《放射線管理学》の知識を活用して、確実に理解されることが要求される。

成績評価の方法

出席率、小テスト、定期試験により評価

参 考 書 等

日本アイソトープ協会
『医学における放射線の防護と安全』 ICRP Publication 73 2,400円
『医療放射線防護関係法令集』 2,200円
『放射線障害の防止に関する法令』 概説と要点 1,200円
医用放射線科学講座 4 『放射線安全管理学』 (医歯薬出版 KK) 4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II A	にしお せいじ うじいえ もりみち 西尾 誠示・氏家 盛通 あべ さとし がなや しんいち 阿部 敏・金谷 信一	短 放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

診断用 X 線装置、X 線 TV 装置、X 線 CT 装置を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、得られた画像の評価を通じて、臨床画像への認識を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 頭部 X 線撮影法
頭部ファントムを用い、正面像、側面像、タウン法等の撮影法を学び、画像解剖を理解する。
- ② 副鼻腔 X 線撮影法
ウォーター法、コルドウェル法等、副鼻腔の撮影法を学び、画像解剖とその意義を理解する。
- ③ 側頭骨 X 線撮影法
ステンバース法、シュラー法、ゾンネンカルブ法について撮影法と画像解剖を理解する。
- ④ 四肢の X 線撮影法
手関節、肘関節、膝関節のファントムを用い、四肢骨の撮影技術を習得する。
- ⑤ 腰椎、骨盤の X 線撮影法
腹部ファントムを用い、多種に及ぶ腰部の撮影技術を習得する。
- ⑥ 胸部の撮影技術と感光材料
胸部の撮影手技を学ぶと共に、複雑な内部構造に最適な撮影条件と検出系を選択する。
- ⑦ 胃造影検査法
X 線 TV 装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視撮影法を学ぶ。特に体位と画像情報の評価が重要になる。
- ⑧ X 線 CT 検査法
X 線 CT 装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、撮像法を習得する。

履修上の留意点

担当教員の指導により実験を行い、得られた画像及びデータを検討し報告書を提出する。

成績評価の方法

報告書の評価と定期試験の結果による。

教 科 書

稲本一夫編『放射線画像技術学』(医歯薬出版) 4,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II B	<small>こやま まさき さとう まさのり</small> 小山 正希・佐藤 昌憲 <small>なかきた つねお なかもと じゅん</small> 中北 倫男・中本 淳	短 放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

実際に放射線を測定することで、検出器を含む計測系の放射線応答から放射線についての知識の確認をすることを主眼とする。その題材として、ここでは診断用 X 線発生装置からの制動 X 線の実効エネルギー、吸収線量測定の為の空洞原理を応用する外挿電離型、診療に用いられる放射線場測定の主たる検出器である電離箱の基本特性、計数管型検出器のパルス計数処理の基本である統計処理の基礎的手順などを取り上げて実験し、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

実験項目は次の通りである。

- 1) 制動 X 線の実効エネルギーの測定。
連続エネルギー分布である制動 X 線を実効的に代表する単一なエネルギー値に置き換える。
- 2) 外挿電離箱による吸収線量の測定。
放射線によって与えられる物質の吸収線量はブラッグ・グレイの空洞原理によって求めるのが一般的である。これを実際に行う方法として外挿電離箱による測定法がある。X 線が与える樹脂内の吸収線量を外挿法を用いて求める手順を学ぶ。
- 3) X 線による物質の 2 次電子平衡厚の測定。
2 次電子平衡の概念を理解する為に、⁶⁰Co 線源によって電離箱壁厚を変化させた時の出力応答を測定する方法により求める。同時に電離電流出力の飽和特性などの電離箱型放射線検出器の基本特性を求める。2 次電子平衡の概念は、吸収線量率や照射線量率の概念形成にきわめて重要な係わりがあることを確認する。
- 4) GM 計数管の基本特性と計数の統計。
最も普遍的な計数管である GM 計数管の基本的応答特性と得られる計数率の統計処理の基礎を学ぶ。GM 計数管の分解時間と電子回路系の弁別レベルとの関係、ダブルパルス分解能、プラトー特性の意味、印加電圧レベルの与える効果、実測された計数率から確からしい値を得る方法などの計数率の統計を学ぶ。

専門(放射線科)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II C	<small>すぎた とおる あおき きよし</small> 杉田 徹・青木 清 <small>かわぞえ まもる きむら 登</small> 川副 護・木村 登	短 放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

電子工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行うものと各自が行うものがある。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験を行う。

1. 真空管 (三極真空管の静特性)
2. 半導体素子 (ダイオード、トランジスタ、サイリスタの代表的特性)
3. 集積回路 (オペアンプとデジタル素子)
4. パルス波形の観測 (シンクロスコープによる観測)
5. 波形変形回路 (微、積分回路、ダイオードクリッパー)
6. 波形整形回路 (シュミット・トリガー回路の特性)
7. パーソナルコンピュータ (図形処理Ⅰ)
8. パーソナルコンピュータ (図形処理Ⅱ)

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

『実験書 (ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB) 〔第四版〕』

そ の 他

パーソナルコンピュータの実験は情報教育センターで行う。
前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II D	すぎた 徹・青木 清 きむら のぼる 登・吉田 正廣	短 放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

電気工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行う。
下記の項目について実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

1. コンデンサーの充放電特性
2. 直、並列共振 (共振現象の基礎知識を得る)
3. 交流ブリッジ (インダクタンス、キャパシタンス)
4. R-C 回路 (インピーダンスとベクトル)
5. 整流回路 (整流と平滑、定電圧回路)
6. 変圧器 (電磁誘導、巻数比と電圧比)
7. 三相12ピーク整流回路 (多相整流)
8. 高電圧発生回路 (倍電圧、コッククロフト回路)

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

『実験書 (ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB) (第四版)』

そ の 他

前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II E	かしの 榎尾 英次・中北 倫男	短 放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

放射線機器工学で学修する理論を実験を通じて理解させることに主眼を置き、併せて各種装置・機器の取扱法を習熟させることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

実験を遂行する上で必要な説明を加えながら、以下のテーマについて実験を行う。
1. X線管焦点寸法の測定 2. X線管電圧、X線管電流の測定 3. 撮影時間の測定
4. 三相全波整流装置の特性

履修上の留意点

実験は結果の取得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学修を助け、より確実な知識修得を図る目的で設置された科目であるため、実験中はすでに学修済みの内容の確認とか、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛けて欲しい。

報告書 (レポート) の作成に当たっては、所定の書き方によるのは当然であるが、書かれている内容を理解することが最も重要であることを認識して欲しい。報告書提出時の試問は記載内容の理解度を確認、評価するために行っているもので、理解度が極めて低い場合には再提出を求められることもある。

成績評価の方法

実験態度、報告書及び試問、中間テスト、定期試験などの結果によって総合評価する。

教 科 書

配布プリント

参 考 書 等

『JIS ハンドブック 放射線 (能)』(日本規格協会) 最新版 (隔年発行)

そ の 他

実験科目の単位修得には所定のテーマすべてを終了することが必要で、やむを得ない理由により欠席した場合は、追実験を受けなくてはならない (実験Ⅱの単位認定はⅡA~ⅡE すべての合格が条件である)。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
病院実習 I (後 期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	H8以降入学生/短放2必	3
		H7以前入学生/短放2必	4

講義のねらい

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格取得のための必須科目です。2学年期までの履修科目や実験で修得した基礎知識が、臨床実習病院では、どのように応用されているかを知ると共に、臨床実習指導者等による臨床の場での教育と指導により研修し、将来の診療放射線技師としての資質を養う機会となる。特に学内では経験できない患者接遇のあり方など意義深いものがある。また学内での学習で不足していた点などに気づき、その後の学習意欲へつながることが多い。臨床病院実習に先だって、学習ガイダンスを担当教員と、実習病院の臨床実習指導者によって学内で実習する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法。
- ② 各実習病院の施設説明。実習生の実習病院希望調査。実習要項の説明。
- ③ 実習病院の決定。実習報告書についての説明。
- ④ 病院実習のための知識。病院の組織と業務や病院の機能について。
- ⑤ 患者接遇と患者心理について。
- ⑥ 病院実習における実習上の心得。
- ⑦ 実習病院の臨床実習指導者による実習項目別ガイダンス。
 - a. 一般撮影系
 - b. 透視撮影系
 - c. 血管造影検査系
 - d. X線 CT 検査系
 - e. 救急検査系
 - f. 超音波・MR 検査系

専門(放射線科)

成績評価の方法

実習病院の実習指導者からの実習成績報告書と実習生の提出する実習報告書の評価を参考として決定する。

教科書

病院実習要項・専門教育科目教科書参考書

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線医学概論 (後 期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短放3必	2

講義のねらい

基礎医学のうち診療放射線技師にとくに必要な解剖学の復習と、臨床医学との関連について学習する。

教科書

加藤征治著『解剖学の要点』(金芳堂) 3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 動 制 御 工 学 (前 期)	あおきよし 青 木 清	H8以降入学生/短放3必	2
		H7以前入学生/短放3必	1

講義のねらい

近年の医用装置は自動化が進んでおり、これを使いこなすには自動制御の考え方を理解しておくことが大切である。ここでは自動制御の基礎的な理論を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自動制御の概要 (自動制御の意味と種類、目標値、制御対象、制御量)
2. フィードバック制御
 - ① ラプラス変換とラプラス逆変換
 - ② 制御系の構成 (基本的構成と種類、サーボ機構、ブロック線図、伝達関数)
 - ③ 動作特性 (過渡特性、インディシャル応答、定常特性、定常偏差)
 - ④ 周波数特性 (周波数伝達関数、ベクトル軌跡、ボード線図)
 - ⑤ 安定判別 (ナイキストの安定判別法、ゲイン余有、位相余有)
3. シーケンス制御
 - ① 基本素子 (命令スイッチ、検出スイッチ、電磁リレー)
 - ② リレー回路 (自己保持回路、AND 回路、OR 回路、NAND 回路、NOR 回路、論理図)
 - ③ 基本回路 (優先回路、禁止回路)

履修上の留意点

講義の後は、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験により成績評価を行う。出席は重視する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

柳瀬著『自動制御の入門』(東京電機大出版局)、深海・藤巻監『制御工学』(東京電機大出版局)

そ の 他

自動制御に関する実験を実験ⅢBにて行う。実験の内容も良く理解しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
医用機器工学(後期)	かし 櫃 尾 英 次	H8以降入学生/短放3必	2
放射線機器工学Ⅲ(後期)		H7以前入学生/短放2必	1

講義のねらい

この科目は医用画像診断装置の中で、X線CT装置とMRIを重点に講義する。また、放射線治療などに用いられる加速器についてはその概要を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. X線CT装置
 - 1) X線CTの原理および種々の方式
 - 2) 検出器およびデータ収集系
 - 3) システムおよび画像再構成
2. MRI装置
 - 1) 核磁気共鳴の物理的原理
 - 2) MRIシステムの概要
 - 3) 画像形成の原理〈1〉
 - 4) 画像形成の原理〈2〉
3. 加速器
 - 1) 加速器の概要、コッククロフト形とバンデグラーフ形加速器
 - 2) 線形加速器
 - 3) サイクロトロン、シンクロトロン
 - 4) ベータトロン、マイクロトロン

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。X線CT、MRI、および加速器の各講義の後演習を行う。過去の放射線機器工学の国家試験問題を事前に勉強しておくこと。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射性同位元素応用機器工学 (前期)	こ 小 やま まさ き 山 正 希	H8以降入学生/短放3必	2
放射線機器工学Ⅳ (前期)		H7以前入学生/短放3必	1

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、更に中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについてそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像。
中性子の計測は、それが間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことなどによって、他の放射線の計測に比較して未発達であると言える。従って計測系は種々の方法に分散している状況にある。ここでは現状での考え方を整理し中性子計測理解の一助とする。
- 2) 中性子検出の原理
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは変換物質の種類とその目的に応じた選択・利用法について学ぶ。
- 3) 電離箱によるもの。
変換された荷電粒子を電離箱で測定する方法について見る。
- 4) 計数管によるもの
計数管を用いて変換荷電粒子を測定する際の得失を見る。
- 5) 半導体検出器によるもの。
半導体検出器を利用する意味を把握する。
- 6) 核反応を利用した箔物質による測定法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際。
電離箱式・TLD・ガラス線量計・エキソ電子線量計・エレクトレット線量計など。
計測学は計測器による計測値を如何に評価するかの問題を常に含んでいる。アンフォールディング処理などもその一環であるが最も基本となるのは計測値の精度であり、従ってトレーサビリティを常に念頭に置く必要がある。ここではこれらの点についても考える。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像情報学 (前期)	にし お せい し 西 尾 誠 示	短放3必	2

講義のねらい

臨床画像を主体に講義を行う。学生は実際の臨床写真を観察し、その伝達理論と画像評価を習得すること、最低限正常像の画像の解説ができることが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 画像情報概論
- ② 画像形成に影響を与える因子と画質の評価尺度
- ③ 胸部の画像情報
画像の最適化と条件に依存する情報量の変化について
- ④ 腹部領域の画像情報
診断目的に応じた画像技術と情報量の変化について
- ⑤ 乳房の画像情報
軟線と画質、CR画像、正診率、被曝線量、集団検診の現状など
- ⑥ CRの基礎 (概論)
CRの思想、原理・構成、被曝などについて
- ⑦ CR・画像処理
画像処理を交えてCRの解像力やコントラスト分解能などについて
- ⑧ DSAの基礎と臨床画像
- ⑨ CT検査と画像情報

教科書

稲本一夫編『放射線画像医学』(医歯薬出版) 3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射性同位元素検査技術学	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短 放 3 必	2

講義のねらい

放射線医学における校医学部門における検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの逸歩と共に発展してきた専門分野である。疾病の診断に放射性同位元素（Radio Isotope）を応用する診断法である。病態生理・生化学的な代謝と機能状態を検査しその情報を診断に供する。

検査法は測定の対象に従って、生体の測定（患者検査）および医学試料の測定（血液・尿・屎・その他の検体）に大別される。これらはRIを生体内に投与するもの（インビボ法）と投与しないもの（インビトロ法）の2種類となる。これらの検査法に関係する放射性医薬品、試薬キット類、検査機、検査手技、データ処理法などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 核医学検査概論、検査装置、機器、放射性医薬品概論、放射性医薬品の体内集積機序。
- ② 医薬品ジェネレータ、薬剤管理、検査法概論、シンチグラフィ概論。
- ③ 検査法前処置、放射性医薬品投与方法、画像処理の基本概念、RI動態検査法。
- ④ RI動態検査データ解析法、臓器摂取・代謝機能測定法・RI動態機能検査装置。
- ⑤ RI試料測定装置、ポジトロン断層装置・ヒューマンカウンタ。
- ⑥ インビボ検査各論、脳神経系シンチグラフィ。
- ⑦ 脳循環動態計測、甲状腺摂取率測定・シンチグラフィ。
- ⑧ 甲状腺癌・副甲状腺・副腎皮質・髄質シンチグラフィ。
- ⑨ 肺血流・肺換気・肺吸入シンチグラフィ、心筋シンチグラフィとデータ解析法。
- ⑩ 心プールシンチグラフィ、心機能データ解析法、末梢循環・血栓・脾シンチグラフィ。
- ⑪ 腫瘍・炎症・リンパ節シンチグラフィ。
- ⑫ ヘパトグラム、肝血流測定法、メッケル憩室、消化管出血、唾液腺シンチグラフィ。
- ⑬ VB₁₂吸収試験、蛋白漏出試験、腎・腎動態シンチグラフィとレノグラム。
- ⑭ 睪丸シンチグラフィ。循環血液量・血漿量・血球量測定・鉄代謝・赤血球寿命測定。
- ⑮ 血小板寿命・カルシウム代謝測定、ポジトロン断層検査法。
- ⑯ インビトロ検査概論。インビトロ放射性医薬品・検査法の原理・B/F分離法。
- ⑰ 測定試薬、基準値、精度管理、インビトロ検査の臨床的意義。
- ⑱ インビトロ検査各論。AFP、CEA、CA19-9、エラスターゼ、PA、CA125、CA15-3、NSE
他の腫瘍マーカー。ACTH、GH、T₃、T₄、PTH、HB他。

成績評価の方法

定期試験の結果による。

教 科 書

インビボ・インビトロ編『核医学検査技術』（通商産業研究社）各編 4,500円

参 考 書 等

『核医学ノート』（金原出版）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線治療技術学	たか やま まこと 高山 誠	短放3必	2

講義の内容・授業スケジュール

前半では癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。
放射線の人体に対する影響などの放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器について解説を行い、放射線治療の計画と実技、線量分布や照射方法(外部照射、密封小線源治療等)の総論的項目について考える。
また後半では各疾患別の放射線治療について各論的項目を検討していく。

教科書

村上晃一著『放射線治療技術』
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線管理学 (前期)	いち もり とし ひろ 一守 俊寛	短放3必	2

講義のねらい

放射線防護の観点からは、人間の被曝を伴う諸活動に対して適切に安全な諸条件を作り上げ維持することが重要であり、そのための基本的な理念と指針を与えている「国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告」の概要について理解し、放射線計測・線量測定技術に支えられた放射線・放射性物質の取扱・管理についての知識を習得することを目的としている。また、国内法令による管理基準との関係について注意をはらう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 基本的な概念
- 2) 放射線生物学上の考察
- 3) 線量制限の体系と放射線防護体系
- 4) 放射線防護実施の一般原則
- 5) 職業上、医療上の被曝
- 6) 放射線モニタリング技術
- 7) 被曝計測評価
- 8) 個人被曝管理
- 9) 放射性同位元素の管理と取扱
- 10) 放射線遮蔽

履修上の留意点

学術面よりも実務上で役立つことを重視する。国家試験該当科目「放射線管理学」に対応し基本的事項の理解度の高揚を目指しており小テストも実施する。

成績評価の方法

出席率・小テスト、定期試験により評価

教科書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』(医歯薬出版KK) 4,000円

参考書等

日本アイソトープ協会
『国際放射線防護委員会勧告』ICRP Publication 26
『国際放射線防護委員会の1990年勧告』ICRP Publication 60 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学演習 (後 期)	にし 西 尾 誠 示	短放 3 必	2

講義のねらい	この授業は放射線科の過程で学ぶ全科目の総合的評価を行うことを目的としている。具体的には診療放射線技師の国家試験合格のために必要な知識の習得を確認することである。
講義の内容・授業スケジュール	学生が主体となって教員支援のもとに国家試験対策を強化してゆく。ゼミ形式の学習体制をつくり、学生の能力、到達度に応じた指導を行う。
成績評価の方法	中間試験、定期試験の成績によって評価する。
教科書	『診療放射線技師国家試験対策全科 (第6版)』(金芳堂) 8,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実 験 III A	こやま 小山 正希・佐藤 昌憲 はぶ 羽生 敏 毅	短放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい	放射能の測定手順・放射能測定用計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定のご概念と実測技術の基礎を把握する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 吸収線量の測定。 高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここでは⁶⁰Co線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合せによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。⁶⁰Co線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源—ファントム—電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。 2) フィルムによる放射線場の測定。 計測器としてのフィルムは実時間(リアルタイム)応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここでは⁶⁰Co線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。 3) 半導体検出器によるα線の測定。 表面障壁型半導体検出器を使用してα線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集収率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。 4) GM計数管による線源のβ壊変率測定。 GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。 5) シングルチャンネル波高分析器によるエネルギー分布測定。 パルス波高測定の基礎的概念を把握する。 実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。
参考書等	放射線学会編『吸収線量の標準測定法』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 Ⅲ B	あおき 青木 ながい 永井 あよし 清・杉田 すぎた とある 徹 よしのり 善則	短 放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい

自動制御に関する基礎的実験を行うことにより、放射線機器で使用されている自動制御機構についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験する。

1. フィードバック制御Ⅰ (二次遅れ要素および基本的な自動制御回路について、過度特性、定常特性、安定性、周波数特性を測定し、理論との比較を行う。)
2. フィードバック制御Ⅱ (自動電圧調整器について実験し、電圧調整特性、定常偏差、整定時間、インディシャル応等と増幅部特性との関係について調べる。)
3. シーケンス制御Ⅰ (エックス線撮影用ホトタイマの模擬装置を使用し、装置構成要素である積分器、比較器、NOR回路、ソリッドステートリレー等の特性を測定する。)
4. シーケンス制御Ⅱ (各構成要素をつなぐことによりホトタイマを組み上げ、その制御特性を種々の条件で測定する。)
5. コンピュータ制御Ⅰ (パソコンにAD変換器をつなぎ、その制御プログラムを作成する。)
6. コンピュータ制御Ⅱ (AD変換器とデジタル入出力ボードにより温度の制御を行う。)

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。自動制御の理論については「自動制御工学」で講義する。実験の前に講義の復習もしておくこと。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により成績評価を行う。

教 科 書

『実験書(ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB)第四版』

そ の 他

一つのテーマについての実験を3~4人のグループで実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 III C	<small>やまもと</small> 山本 <small>ゆうすけ</small> 裕右・ <small>たじま</small> 田島 <small>たかし</small> 隆 <small>はらだ</small> 原田 <small>かずまさ</small> 和正・ <small>おおた</small> 大田 <small>ただちか</small> 忠親	短 放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい

主として放射化学領域における実験を行う。
 本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」での知識を基に、放射性核種の製造、放射平衡、放射化学的分離法についての実験を行い、マルチチャンネル波高分析器によるγ線スペクトルおよび半減期を測定する。また、3年次で並行して学ぶ「管理学」の実践の場でもある。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目について実験を行う。

1. ^{99m}Tc のミルキング
 - a) コールドラン
 - b) ホットラン： ^{99}Mo の製造、溶媒出法による ^{99m}Tc のミルキング、γ線スペクトルの測定、半減期の測定
 ホットランは学外実習として立教大学原子力研究所で行う。
2. マイクロビペットの検定（重量法、吸光光度法）

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面ももっている。従って、実験に対する準備を十分おこない、事前の実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教 科 書

実験プリント。

参 考 書 等

日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）1,470円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 Ⅲ D	梶尾英次・氏家盛通 小林久夫	短 放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい

放射性同位元素検査技術学、医用機器工学および放射線計測学に関連するテーマについて実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

主な実験テーマは次の通り。

- 1) ガンマカメラの性能評価
ガンマカメラの基本性能をファントムを使用して測定する。
- 2) ポジトロン同時計数測定
PETの基本的な実験として、ポジトロン核種を用いた同時計数の実験を行う。
- 3) 超音波の各種特性の測定
超音波装置を使用して、超音波が水中を伝播中に生じる反射、散乱、減衰などの特性と装置の主要な性能を測定する。
- 4) マルチチャンネル計測法
マルチチャンネル波高分析器を使用して、未知の核種を測定し、そのデータより核種を同定する。
- 5) X線CT装置による画像処理
X線CT装置を使用して水ファントム、校正用ファントムを測定する。このデータを画像処理し、結果を表示させる。
- 6) 甲状腺ヨード摂取率測定
模擬ヨード線源を用いて甲状腺ヨード摂取率測定の実験を行う。

履修上の留意点

あらかじめ実験ガイダンスを行うので、実験の前に予習しておくこと。

成績評価の方法

報告書と定期試験により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
病院実習Ⅱ (前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	H8以降入学生/短放3必	3
		H7以前入学生/短放3必	2

講義のねらい

3学年期の病院実習も2学年期と同じ、指定規則による必須科目となっている。実習科目は、放射性同位元素検査技術学（核医学検査技術学）と放射線治療技術学および放射線管理技術学の臨床実習である。臨床実習病院では、診療業務を実施しながら指導してくれる。実習生は限られた期間内で確実な結果を得よう積極的に、意欲的に知識と技術を習得し、医療技術者としての修練と、自覚を高め目的意識を明確に把握して、貴重な体験を将来に活かして欲しい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 病院実習の内容、実習に必要な手続上の書類の説明と記入方法。
- ② 病院実習施設の説明と実習先希望調査。
- ③ 病院実習先の決定と学割定期の申請
- ④ 実習要項（核医学系）の説明
- ⑤ 実習要項（放射線治療系）の説明
位元素の取り扱い上の注意。
- ⑥ 非密封放射性同位元素管理。
- ⑦ 実習報告書の説明。
- ⑧ 患者接遇（3学年実習関係）について。
- ⑨ 臨床実習における実習生の心得。
- ⑩ 実習病院の臨床実習指導者による実習項目と内容の説明。
 - a. 核医学検査法
(放射性同位元素：RI 検査法)
 - b. 放射線治療法
 - c. 核医学診療・放射線治療の放射線管理。

成績評価の方法

病院実習先の実習指導責任者からの成績報告書を中心に、学生の提出する実習報告書の評価を参考として決定する。

教科書

病院実習要項と3学年期中で使用している教科書等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
医学英語(後期)	てる や こう じ 照 屋 浩 司	H8以降入学生/短放2選	1
臨床放射線特論Ⅰ(後期)		H7以前入学生/短放2選	2

講義のねらい

1. 医学関連の英語に慣れる。
2. 英語の医学論文などの内容についておおまかに理解する。
3. 英文で簡単なレポートを作成する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の観点から、医学や健康に関する英文の題材を用いて講義を行い、単語力、構文読解力、英作文力をたかめていく。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、定期試験および小テストなどを総合して評価する。

教科書

未定

参考書等

1. 『リーダーズ英和辞典』、『英和中辞典』（いずれも研究社）などに代表される一般的な英和辞典（既に所有するものでよい）。
2. 『医学英和大事典』（南山堂）などの医学英語の辞典が準備できればさらに好ましいと思われる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画像処理論 (後期)	かし 檀 尾 英 次	H8以降入学生/短放3選	1
画像工学Ⅱ (後期)		H7以前入学生/短放3選	2

講義のねらい

コンピュータのハードウェアの小型化は、マルチプロセッサの使用を可能とし、大容量で高速な画像処理が可能となった。それに伴いコンピュータを用いた画像処理が、今後ますます盛んになるものと思われる。

コンピュータによる画像の処理と認識は、その処理の柔軟性からさまざまな応用が考えられ、その重要性が高まるであろう。

最近の医用画像診断機器は、ほとんどがコンピュータを内蔵し、画像処理した結果を出力としている。講義では画像の処理と認識の基本を修得することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は次の通り。

- 1) 画像の処理と認識について
- 2) 画像の入出力
- 3) 画像のフィルタリング
- 4) 画像の直交変換
- 5) 2値画像処理
- 6) 特徴空間とクラスタリング
- 7) パターンマッチング
- 8) 構文解析的パターン認識
- 9) 画像の領域分割
- 10) 立体認識
- 11) 神経回路網による画像認識

履修上の留意点

画像処理の基本を理解するように努力されたい。

教 科 書

安居院猛、長尾智晴共著『画像の処理と認識』(昭晃堂) 3,675円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化学特論 (後期)	はら だ かず まさ 原 田 和 正	H8以降入学生/短放3選	1
		H7以前入学生/短放3選	2

講義のねらい

核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は ^{99m}Tc -テクネチウムを中心として、 ^{133}Xe -キセノン、 ^{67}Ga -ガリウム、 ^{123}I 、 ^{125}I 、 ^{131}I -ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用した核医学検査技術学的な面については、3年次の「放射性同位元素検査技術学」で学ぶが、本講義においては *in vivo* 放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から、*in vivo* 放射性医薬品として使用されている放射性同位元素を同属元素別にまとめ、以下の内容について講義する。

1. テクネチウム (発見の歴史、核的性質、化学的性質、製造法、ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法)
2. キセノン、クリプトン (希ガス発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、 ^{81}Rb - ^{81m}Kr ジェネレータ)
3. ガリウム、インジウム、タリウム (発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)
4. ヨウ素 (発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)

成績評価の方法

講義中間におけるレポートと学年末試験により評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』(日本アイソトープ協会) 1,470円を使用する。講義には必ず持参すること。その他、参考書として厚生省薬務局審査課編『放射性医薬品基準ハンドブック』(日本アイソトープ協会) 2,310円をもつとよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用計測学 (前期)	かし 檀 お 尾 えい 英 し 次	H8以降入学生/短放3選	1
		H7以前入学生/短放3選	2

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
 - CR (Computed Radiography)
 - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学特論 (後期)	これ 是 なが 永 たて 建 お 雄	H8以降入学生/短放3選	1
		H7以前入学生/短放3選	2

講義のねらい

画像のパターン認識を基礎とした放射線診断学がどのようにH常診療に役立つかを理解してもらおう。単純エックス線写真の重要性を強調し、近年発展のめざましいCT、MRI、超音波検査、核医学検査、インターベンショナル・ラジオロジーの役割について講義をする。この講義を通して診療放射線技師が日常診療の中でどのような役立ち方をするのかを理解してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 胸部の画像診断
2. 腹部の画像診断
3. 泌尿・生殖器の画像診断
4. 食道・胃 ♪
5. 小腸・大腸 ♪
6. 肝・胆・脾 ♪
7. 骨・関節 ♪
8. 頭部 ♪
9. インターベンショナル・ラジオロジー

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	こやま まさき 山 正 希	短放1選 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

この科目の目的は、専門的な科目を学ぶ初学者に必要とされる学習の姿勢・考え方を培い、自分なりに学習の方法論を獲得しようとする場合に役立つようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的基礎的な放射線・放射能の応用機器・放射線の種々の物質に対する効果などに関する文献・書籍の内容を題材として、それらについての最新の動向・展望を含めて、何が、どのような視点で、どのように取扱われているかを検討し、議論を加えてゆく。取上げる題材の例を掲げれば(概要)

- X線を用いた元素分析
- 放射線定量の概念
- 医療用放射線機器
- 放射線と発光効果
- 放射線と天文学

などである。これらの題材はその内容・知識を獲得することが目的ではなく、テキストを通じて、放射線の世界のどこかに好奇心の対象を見出し、それへの関心を核として学習にはずみをつけること、種々の事項を関連づけて考える姿勢を身につけることなどを目標としているのである。専門科目を受講するときには陥り易い、単なる項目的理解を超えて、概念の流れを理解し、項目それぞれの位置づけが可能な学習姿勢培養の一助としたい。

教 科 書

授業に使用するテキストはプリントなどの形式で配布し、参考書などは個々の問題について、その都度紹介してゆく。

そ の 他

授業の方法はゼミ形式で行い、テキストの消化量より、討論を主としたい。

専門
(放射線科)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放1選 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献より選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 生活環境と放射線
- ② 奥の細道と放射線
- ③ 植物と放射線
- ④ 食品中の放射性物質
- ⑤ 核実験と放射能
- ⑥ 食生活と人工放射能
- ⑦ 実効線量当量
- ⑧ 線量限度の考え方
- ⑨ 海洋の放射能
- ⑩ 病院での放射線
- ⑪ 放射能時計
- ⑫ 美食家のための放射線

これらのことを中心に前期の毎月曜日の5時限に授業する。

教 科 書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	<small>すぎ</small> 杉 <small>た</small> 田 <small>とおる</small> 徹	短放1選 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

新入生の諸君に一つの場を提供し、いかに学ぶべきかを教員と共に考えることを目的としている。具体的にはゼミ形式をとり授業を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

専門分野のテーマにこだわらず広く問題意識が発現出来る授業としたい。

履修上の留意点

やる気のある学生の受講を望む。

教科書

資料は毎回配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習 (前期)	た 田 じま 島 たかし 隆	短放 1 選 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

本科の場合、3年制であって、1年次から各専門教科目の講義、実験を学習する。これらの専門教科目では科学技術の思考方法が要求される。しかし高校ではこうした専門的な思考方法—考え方は当然身につけていない。診療放射線技師となるためには専門教科における個々の知識を学習するが、それは同時に科学技術者として科学的思考方法—ものの考え方を学習することである。その思考方法が身につけていないで知識だけを学ぶことは将来性のない知識になってしまう。そこで、この演習では科学的思考方法を身につけて貰うための時間とする。

米国の大学で使われている「一般化学」の教科書の中の「核化学」の章をテキストとして用いる。(A)その英文を逐語的に日本語に訳すことによって、日本語の教科書を読む場合に、日本語であることにより読みとばしてしまう弊害を無くし、文章の意味を正確に読みとる訓練をする。(B)放射線、放射化学に関する専門用語を知識として持つ。(C)その文章を正確に読みとることによって科学的思考方法を学習する。在学中に多くの科学論文を読むことになるし、技師として仕事をすることになれば外国語の文献を否応なく読まなければならない。また研究論文を作成、発表することにもなるであろう。平易な教科書の文章であっても、この一章を読みこなすことで、この演習は基礎として十分に役立ち、目的を達成したことになる筈である。

専門(放射線科)

講義の内容・ 授業スケジュール

Nuclear Chemistry

The nucleus
Nuclear bindingenergy
Radio activity
Isotopes
Neutron-proton ratio
Half life
Cosmic abundance and nuclear stability
Writing equation for nuclear reactions
 γ -Decay
 α -Decay
 β -Decay
Radiation and matter
Natural radioactive series
Bombardment
Nuclear fission
Nuclear fusion
Light water reactors
Breeder reactors
Fusion reactors

全体の頁数約30頁、各小節は1～2頁である。履修する学生全員の輪読によるものとし、1回で約3頁消化する。

履修上の留意点

- とりあえず日本語にしてみよう。
平易に書かれた文章であるから、逐語訳でよいから日本語に翻訳をしてみる。そして日本語として通用する文章にする。
- 専門用語は英語のままでもよい。
専門用語はその分野で特有な使い方をしていく場合が多いので、一般の辞書では判らぬ時がある。その場合、物理、化学の辞典を用いるが、この場合も日本語の専門用語が示されているだけで、意味が判らぬ場合があるであろう。大体はテキストの中で解説をしてあるので、そこを読めば理解できるようになっている。1年次の学力では理解できない場合もあるので、それはそのままとして文章にする。講読の時に解説をする。
- 文章の意味を理解しよう。
とりあえず日本語にしたものの、何を言っているのか判らないようでは困る。その文章の意味していることを大略でよいから把握して、説明できるようにする。

以上の3点に留意して読み進むことが必要である。この演習では英文和訳の上達することや、核化学の知識を増やすことを主目的とはしていない。科学の文章を正確に読む訓練をし、それを幾度か繰り返す事で、科学の文章に慣れる—科学的なものの考え方、思考方法が身につくようになる。

従って、つまずいても、ころんでも飽きずに、この一章を読みこなす努力をして欲しい。それによって、英文和文にかかわらず科学の文章を正確に読み、科学の思考方法が身につくであろう。

成績評価の方法

平常点 = 毎時間の努力 = 成績

教科書

プリント配布
G. R. Choppin & L. R. Summerlin 著 *Chemistry* の The Nucleus の章

参考書等

英和辞典、物理学辞典、化学辞典等については第1回目のガイダンスで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習 （前期）	<small>なが</small> 中 <small>きた</small> 北 <small>つね</small> 倫 <small>お</small> 男	短放1選 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

放射線科における学業になじみ、将来診療放射線技師として立つための自覚を促し、学習意欲を引き出したい。

講義の内容・授業スケジュール

輪誌を中心に、放射線発見の歴史を辿り、放射線学への緒を学ぶ。また、医療技術の革新状況、画像診断機器の現状と将来、医師との共働者（COMEDICAL）としての診療放射線技師の役割などを、最近の文献から読み取り、認識と展望を持つ。
さらに、国家試験に絡み、若干の演習問題に触れる。

履修上の留意点

この演習を契機として、それぞれ学習と自己啓発を進展させることを期待する。意欲ある学生の受講を望む。

教科書

資料は、必要に応じて随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	<small>あお</small> 青 <small>き</small> 木 <small>きよし</small> 清	短放3選	2

講義のねらい

診断用X線およびその散乱線の線量と線質に関する実験を行い、研究発表ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

X線の測定は線量計や半導体検出器を用いて行う。測定結果はパソコンにより処理し、線量当量や実効エネルギーを求める。テーマによってはパソコンによるシミュレーションも行う。これらの結果から、診断時の患者・術者の被曝線量を求めると共に、被曝低減の可能性を考える。活動は下記のような順序で行う。実験は2～3人で一つのテーマを決めて行う。

1. 論文や報告書の講読
2. 実験テーマの設定
3. 実験の実施
4. 報告書の作成
5. 研究発表

履修上の留意点

通常の学生実験と異なり、テーマや方法が最初から決まっているものではない。それらは学生同士がお互いの議論の中から決めていくものであり、自主的な取り組みが最も大切である。

成績評価の方法

普段の活動状況、報告書、研究発表の内容から成績を評価する。試験は行わない。

教科書

使用しない。

参考書等

テーマに即した内容の論文や報告書を使用する。

その他

ゼミ形式で論文講読や討論を行うと共に、グループ単位で実験を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	かし 檀 尾 英 次 かし 檀 尾 英 次	短放3選	2

講義のねらい	パソコンを利用したデータ処理に関する分野からテーマを選び、データ処理の実験を行い、研究レポートとしてまとめる。
講義の内容・授業スケジュール	ニューラルネットワークや遺伝的アルゴリズムについての基礎を学習し、これの基本的なプログラムについてパソコンを利用して実習する。 1) テキストおよび論文の講読 2) 実験テーマの選定 3) 実験 4) 研究レポートの作成 5) 研究発表
履修上の留意点	あらかじめ本演習についての大綱を示すので、実験テーマおよび実験計画について、全員で討議して決める。
成績評価の方法	ゼミの活動状況、研究レポートおよび研究発表を総合して評価する。
教科書	ゼミのテキストとして適したものを採用する予定である。
その他	ゼミ形式で講読を行い、メンバー全員が参加して実験を進める。メンバーの自主的な活動を期待する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	ま 佐 藤 昌 憲 ま 佐 藤 昌 憲	短放3選	2

講義のねらい	この特別演習では、放射線線量計測に関するテーマを選び、実験を行い、論文としてまとめ、発表出来るようにする。
講義の内容・授業スケジュール	テーマ ○自由空気外挿電離箱の開発 ○電離箱によるX線線量の評価 ○電離箱によるγ線線量の評価 ○パソコンによるシミュレーション
成績評価の方法	研究論文にて評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	し 清 み 水 た だ よ し 忠 良	短放3選	2

講義のねらい

この科目はテーマを絞って、少し深く現在の話題(課題)に挑戦しようと設けられたものである。細部の技術にこだわると意外に面白い世界が開かれるのではなかろうかと思っている。担当者(清水)の得意なテーマに強く限定しないように配慮をしようと思っている。
モットー：1.「自分で考えてまず実行してみる」 2.「議論して、次のステップに進む」
3.「GO TO 1」

講義の内容・
授業スケジュール

1. 学生のテーマ(希望)の提案
 2. 担当者(清水)による具体的テーマの提案
 3. テーマ決定
- スケジュールの最終は12月末の発表会まで。

成績評価の方法

日頃の質疑応答、発表会での質疑応答による。

そ の 他

討論、ゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	にし お せい じ 西 尾 誠 示	短放3選	2

講義のねらい

高品質な画像の維持・向上には、画像工学及び画像評価の知識が必要不可欠である。その基礎としてX線画像の形成過程での事象について深い知識を持つこと、及び得られた画像について、理論的な分析・評価法を習得することが望ましい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 画質を左右する要因について実験
- ② 画質の物理的・視覚的評価法
- ③ 臨床写真の評価

履修上の留意点

学生個人でテーマに沿って実験を行い、発表会で結果を報告できるようにする。

成績評価の方法

研究に対する意欲、報告書の内容について評価する。

そ の 他

週1回、輪番制で医療画像に関する勉強会を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	短放3選	2

講義のねらい

放射線技術学の分野では、放射線検出のために熱ルミネセンス、輝尽発光、ラジオルミネセンス（シンチレーション）など種々の発光現象が利用されている。本演習においては、これらの発光を示す発光体材料を実際に取り扱い、新しい発光体の開発、あるいは既存の発光体について種々の特性を測定することにより、発光現象をより深く理解すると共に、得られたデータを解析、考察し、一つのレポートとしてまとめる作業を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

学年当初に履修者と相談のうえ各自の1年間のテーマを決定する。それぞれの学生は各自のテーマについて実験を行い、学年末までにレポートをまとめる。また、得られた成果についての発表会を行う。

さらに、各自のテーマとは別に、発光体関係の基礎的な文献または専門書を選び輪講を行う。

履修上の留意点

本演習を履修するにあたっては、学生各自の独自の工夫や創造性が要求される。すなわち、指示されたことを受け身で行うのではなく、各自が積極的に自分のテーマに取り組み、文献調査を行い、独自の観点からまとめることが必要である。

成績評価の方法

平常点。

2 他学部履修科目

2 他学部履修科目

禅学概論	(佐藤秀孝)	181
中国禅宗史	(田中良昭)	181
日本禅宗史	(原田弘道)	182
禅籍講読Ⅰ	(田中良昭)	183
禅籍講読Ⅲ	(佐藤秀孝)	184
仏教概論	(平井俊榮)	185
インド仏教文化史	(奈良康明)	186
中国仏教文化史	(永井政之)	187
日本仏教文化史	(袴谷憲昭)	187
中国古典語初級	(石井公成)	188
中国哲学史	(前川亨)	188
上代文学研究Ⅰ	(小野寛)	189
中古文学研究Ⅰ	(高橋文二)	189
中世文学研究Ⅰ	(村上光徳)	190
近世文学研究Ⅰ	(富士昭雄)	190
近代文学研究Ⅰ	(畑實)	191
比較文学	(満谷マーガレット)	191
児童文学	(山口節子)	192
西洋思想史	(麻生建)	192
演劇概論	(井上理恵)	193
編集実務	(長谷川孝)	193
イギリス文学特講Ⅰ	(石原孝哉)	194
イギリス文学特講Ⅱ	(高野正夫)	194
イギリス文学特講Ⅲ	(岡崎寿一郎)	195
イギリス文学特講Ⅳ	(富士川義之)	195
イギリス文学特講Ⅴ	(高松雄一)	196
イギリス文学特講Ⅵ	(丸小哲雄)	197
アメリカ文学特講Ⅰ	(新倉俊一)	198
アメリカ文学特講Ⅲ	(足田和人)	198
演劇特講(イギリス・アメリカ)	(荒井良雄)	199
時事英語	(サンダース, L.P.)	200
地理思想史	(休講)	
地形学	(小池一之)	201
人口地理学	(大友篤)	201
文化地理学	(小田匡保)	202
応用地理学	(高木正博)	202
現代地理学特論	(長谷川均)	203
日本史特講Ⅶ〔近代〕	(小泉雅弘)	204
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	(趙軍)	205
考古学特講Ⅲ	(休講)	
日本仏教史Ⅱ	(休講)	
西洋文化史Ⅰ	(佐々木真)	206
日本民俗学	(谷口貢)	207
哲学史	(山口祐弘)	208
歴史哲学	(麻生建)	208
産業・職業社会学	(休講)	

マスコミュニケーション論	(休 講)	
社会福祉発達史	(林 千代)	209
国民所得論	(吉野 紀)	210
日本経済史	(渡辺 新)	211
中小企業論	(三井 逸友)	212
社会政策	(光岡 博美)	214
教育経済論	(谷敷 正光)	215
日本経済論	(工藤 昌宏)	217
アジア経済論	(郭 洋春)	218
中国経済論	(小杉 修二)	219
アメリカ経済論	(瀬戸岡 紘)	220
ロシア・東欧経済論	(山縣 弘志)	222
商業政策	(岩下 弘)	223
マーケティング	(曾我 信孝)	224
経営管理論	(百田 義治)	225
労務管理論	(石井 脩二)	226
財務会計論	(遠藤 孝)	227
会計監査論	(飯岡 透)	229
管理会計論	(中原 章吉)	231
原価計算論	(加藤 利安)	232
貿易行法論	(古沢 紘造)	233
銀行法論	(齊藤 正)	234
比較憲法	(休 講)	
親族法	(竹中 智香)	236
相続法	(竹中 智香)	236
西洋法制史	(北野 かほる)	237
英米经济法	(北野 かほる)	238
国際政治学	(岡田 外司博)	239
ヨーロッパ政治史	(小堀 訓男)	240
地方自治法	(浦田 早苗)	240
地方自治法	(富井 幸雄)	241
議会関係法	(休 講)	
立法過程論	(前田 英昭)	242
比較政治学	(岩崎 正洋)	243
現代国家論	(大塚 桂)	244
比較憲法	(休 講)	
経営労務論	(鹿嶋 秀晃)	245
国際経営論	(茂垣 広志)	246
商業史	(山田 勝)	247
商保業論	(石名坂 邦昭)	248
財務會計論	(休 講)	
経営分析論	(片桐 伸夫)	249
税務會計論	(高木 克己)	250
経営情報論	(高井 徹雄)	251
情報理論	(西村 和夫)	252
経営統計	(長 国強)	253
上代文学講	(佐原 作美)	254

中古文学	講読	(鈴木裕子)	254
中世文学	講読	(藺部幹生)	255
近世文学	講読	(菅野一雄)	255
近代文学	講読	(石割透)	256
現代文学	講読	(安藤幸輔)	256
時事英語	(休講)		
英語演習Ⅰ	[英語音声の基礎]	(アシュエル, T.)	257
応用計測学		(檀尾英次)	258

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅学概論	佐藤秀孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にはかならない。

はじめにインド仏教における禅（禪定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国禅宗史	田中良昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

菩提達磨の渡来以前の仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪洲宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものにしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史—中国—』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものである。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	はら だ ひろ みち 原 田 弘 道	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

- 我国に伝来した禅はその主流となつて、類型を異にするものが五つあったと考えられる。
- I. 荣西・聖一・法燈等の流派であり、教禅兼修の家風である兼修禅——教乘禅的性格をもつたもの。
 - II. 蘭溪・祖元等の来朝した中国僧によって伝えられた鎌倉禅であり、これは禅林の清規によつて祖師禅を挙揚した。
 - III. わが国の南浦紹明（大応国師）が入宋求法して松源一派の禅を伝え、純一無雑に祖師禅を挙揚し、大応・大燈・関山の三代に亘つて基盤を築いた応燈関の一流である。
 - IV. これらの臨濟禅とは別に道元によつて伝来され、瑩山に至つて、宗団として形成され、その門流によつて展開された曹洞禅である。
 - V. 江戸時代に隠元によつて伝えられた明朝禅——念仏禅——である。
- 講義ではこれらを中心にして日本禅宗の歴史を考察する。内容は伝来・受容、発展の実態とその思想的意義も明らかにしてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

1. 禅宗の伝来（奈良・平安時代）
2. 兼修禅の勃興とその系譜
3. 曹洞禅の伝来と原始僧団
4. 臨濟禅の伝来と形成
5. 五山の成立と五山文学
6. 臨濟禅（応・燈・関）の展開
7. 曹洞禅の地方展開
8. 近世の禅宗
9. 近代の禅宗

履修上の留意点

禅の教理、思想の理解、日本史の一般的知識の習得をしておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

参考書等

『禅の歴史——日本——』（講座禅第四卷）、鈴木泰山『禅宗の地方発展』
荻須純道『中世日本禅宗史』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 I	た な か りょう しょう 田 中 良 昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、中国で成立した初期の禅籍（禅宗語録）を講読するものである。本年は、初期の禅籍の内、六祖慧能（638～713）が韶州大梵寺で道俗のために説法した語録とされる『六祖壇経』を読む。『六祖壇経』は、長い年月にわたって数多くの異本が生み出されたが、現存最古のテキストである敦煌本の内、近年その内容が明らかにされた敦煌県博物館所蔵本（敦煌本）を用い、その読解を通じて、初期禅思想、特に南宗禅の特色を明らかにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

オリジナルテキストは写本であるが、近年、楊曾文氏の校定本、周紹良氏の影印・校写本が刊行されているので、両者を比較しながら読解を進める。尚、上記校訂本はいずれも白文（かえり点のない漢文）であるが、佐藤悦成氏による訓読と現代語訳が出版されているので、順番に読み下しと解釈をしてもらい、その上で読み方と内容について詳しい解説を加えていきたい。

履修上の留意点

この講義の履修を通して、原文に触れることの意義を体験し認識していただきたい。

成績評価の方法

平常の当番の際の読解力、出席状況、学年末試験の結果を総合して評価する。

教 科 書

楊曾文校写『敦煌新本・六祖壇経』（上海古籍出版社）、周紹良編著『敦煌写本壇経原本』（文物出版社）の該当部分をコピーして配布する。

参 考 書 等

佐藤悦成和訳『敦煌新本・六祖壇経』（全国曹洞宗青年会事務局）、柳田聖山訳『六祖壇経』（世界の名著）18 『禅語録』（中央公論社）、及び『世界古典文学全集』36A『禅家語録』I 筑摩書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 III	と とう ひで たか 佐 藤 秀 孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は日本禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して日本の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。日本への禅宗の伝来は平安末期から鎌倉時代に始まり、南北朝時代から室町・戦国時代にはその隆盛期を迎えている。ここで初期の日本禅籍というのは、こうした中世禅林に成立したものをその対象としている。

はじめに日本への禅宗の伝来、兼修禅と純粹禅、臨済宗と曹洞宗の展開とその状況、五山叢林と林下、漢文語録と仮名語法などの問題を概観し、日本禅籍の分類や特徴を講ずる。とくに永平道元（1200～53）や登山紹瑾（1264～1325）に始まる曹洞宗の禅籍についてはいくぶん詳しく説明したい。

その後、当該の禅籍を講読するわけであるが、今年は『道元禅師語録』をその対象とし、特徴的な上堂語その他を順次を読み進めることにしたい。本書は道元の語録である『道元和尚広録』（『永平広録』とも）10巻を抜粋編集して1巻となした『永平元禅師語録』すなわち『永平略録』のことであり、その編集は道元と同門に当たる南宋の無外義遠（?～1266）によってなされているらしい。その間の事情などを踏まえて本書を精読吟味していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

仮名の『正法眼蔵』と違い、本書は漢文の語録であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

鏡島元隆訳註『道元禅師語録』（講談社学術文庫）700円

参考書等

大久保道舟訳註『道元禅師語録』岩波文庫（岩波書店）520円
酒井得元訳註『永平元禅師語録』『道元禅師全集』第5巻に所収（春秋社）4,120円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	ひら 平 井 俊 榮	英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。

- 序 章 仏教とは何か
- 第1章 仏陀の生涯
- 第2章 仏の本質
- 第3章 法——仏教の真理観——
- 第4章 一切法——法の分類——
- 第5章 輪廻と業の煩惱
- 第6章 悟りへの道
- 第7章 心——実践の主体——
- 第8章 修行者の理想像
- 第9章 戒律と教団の組織
- 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は随時採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』（春秋社）2,575円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教文化史	な ら やす あき 奈 良 康 明	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

インド仏教を「教理」としてではなく、「文化」としてとらえて、検討したい。ここに「文化」とは生活様式、行動様式としての文化であり、「仏教徒」という社会を構成する人々（出家修行者および在家信者を含む）が、事実として、何を考え、どのように生活していたかをさぐる。したがって、悟りのレベルにある修行や教理、悟りに基づく倫理的生き方などは、無論、仏教である。同時に、功德を積んで良き後生を願う観念や行動、六道輪廻の理解、通過儀礼、祖先崇拜、呪術、祈願儀礼、占星等も仏教徒の生活「文化」である。両者は宗教的レベルと機能を異にするが故に、相互補完の形で共存し、その共存のあり方が興味ある研究対象である。又、インド仏教（徒）はそれを生み、育てたヒンドゥー世界とどうかかわり、如何に位置づけられるか、も興味ある研究テーマである。資料は梵語、パーリ（そして漢訳）語の経・律典と碑文、考古学的遺品等が中心となる。文献学的操作を経て得られた結果は、当時の仏教徒の現実の生活文化と、教学が主張するところとは大きなギャップのあることを示しているし、この構造は中国、韓国、日本ないし東南アジアのテラヴァーダの仏教文化でも同様である。そして、このギャップこそが仏教（宗教）教団の社会への定着・発展のダイナミズムとしてとらえられるべきものである。

以上の問題意識のもとに今年度は、おおよそ次のテーマにしたがって講義したい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏教を「文化」としてとらえるとはどういうことか。
「仏教」をどうとらえるか
「文化」とは何か：
仏教（宗教）の二つのレベル：「世間」（自我充足）と出世間（自己凝視）
仏教文化の「表層」と「基層」
仏教文化研究の方法論：M. Spiro, M. Ames, 他
2. 古代インドにおける仏教文化とヒンドゥー文化。
民族宗教としてのヒンドゥー教（世界）
ヒンドゥー教の特徴：神観念・宗派・特定の教義のないこと・ダルマ
カースト・ヴァルナ制度と仏教
古代インドの仏教徒とヒンドゥー教徒の関係（特にカーストをめぐる）
3. 仏教文化における業・輪廻思想の意味。
古代インドにおける業・輪廻思想の成立
業思想の構造と機能（含む 死後世界の構造と機能）
一般的業論の「自覚的業論」への昇華
懺悔の思想と実践
業と果報の関係
業の止滅と改変
4. 功德観念の文化史的発展。
善業と功德（punya）・悪業と悪徳（papa）
「作功德→生天」の図式の倫理的・宗教的意味
功德観念の「出世間レベル」への関係付けないし昇華
功德の廻向（adesana）と廻向（parinamana）
死者儀礼・祖先崇拜儀礼における功德観念
「生天」観念の発展と解脱の関係
5. 「餓鬼」（preta）研究。
ヒンドゥー教におけるプレータと祖霊祭
古代インド仏典にみる「餓鬼世界」の住人としての餓鬼
古代インド仏典にみる死者儀礼と関わる餓鬼
『ペータヴァットゥ』『ヴィマーナヴァットゥ』における餓鬼供養の構造と意味
テラヴァーダ仏教における餓鬼観念の変遷と儀礼
中国、日本における餓鬼供養の構造と変遷

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。そのような文化を中国の歴史の上で見えていこうとするのが、本講義の主眼となる。言葉をかえていうなら、各時代を通じて中国人と仏教がどのような関係にあったかということになる。

今年度は、主として宋という中央集権国家に組み込まれた「禅宗」が、政治・経済・社会とどのように対応していったかを考える。

本来は「方外」の士であるべきにも関わらず、中国の仏教者は、その当初から国家権力への配慮を余儀なくされる。それが伽藍や教団の盛衰に直結していたからである。このような二律背反の世界を抱えつつも、彼らは仏教の中国的な理解に励み、またその受容に努力する。このことは現代に生きる我々にとってもさまざまな示唆をあたえるのではないかな。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

教科書

必要なテキストは授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

私は日本の「仏教文化」について講義する資格を有しないと自らは思っている。それを私は仏教学部に申し出ているが、私の思うとおりをやって頂いてよい、ということなので、通常の講義と思って出る方は、失望と落胆を味わうことになると思うので遠慮されたい。この授業は講義ではなく、『国体の本義』の批判的な講説を通して、日本における「仏教文化」の問題点を考えていこうという、むしろ演習であると了解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

『国体の本義』を冒頭より演習形式で読みすすめる。最初の数時間のみは、本書の成立状況等について講義するが、これが1年間続くのだから、履修登録の際には決して考えないでもらいたい。

履修上の留意点

教科書はもとより関連諸文献を自ら読もうとする者でない限りは履修は無理と思われるので、その点留意されたい。

成績評価の方法

平常点とする。

教科書

『国体の本義』（昭和12年3月、文部省刊）。
もちろん、現物を今求めることは難しいが、図書館には多数所蔵されているので、借り出すかコピーするかして授業には必ず持参してもらいたい。

参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波書店）1982年 600円

袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	いし 石 井 公 成	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい	漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。
履修上の留意点	口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。
成績評価の方法	試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。
教科書	使用せず、コピーを配布する。
参考書等	教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえ 前 川 とおる 亨	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい	中国人の世界観・人間観・死生観などを歴史的に把握することを目的とする。具体的には儒教・仏教・道教の思想とその相互関係を理解するように努める。その際、東アジアの思想史という広い視野を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式、諸思想（宗教）がいかにか我々日本人に受け容れられたか、また受け容れられなかったかを考えてみたい。一見抽象的にみえる思想史も、実は我々の現実と深くつながっているのだということを、共に学んでいこうと思っている。
講義の内容・授業スケジュール	受講者の顔ぶれ・関心の方向を勘案して、前年度同様に孔子から始めて唐・宋代に及ぶか、それとも前年度に引き続いて唐・宋代から始めて近・現代に及ぶかを決めたい。いずれにしても、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。
履修上の留意点	中国の思想・宗教・文化など多方面の関心のある諸君の受講を期待する。現代中国語もしくは古典中国語の初歩的な知識をもっていること（持とうという意欲を持っていること）が望ましいが、授業じたいはそれなしでも理解可能であろう。但し当然ながら、本講義内容に関心をもち、継続して出席する意欲を意志を有する者に限る。レポートだけ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちで登録してはならない。
成績評価の方法	授業に関連するレポートを前期・後期に提出してもらおう。それ以外の評価方法も検討したい。
教科書	特に必要としない。
参考書等	授業中に適宜紹介する。
その他	できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の皆さんの意見なども聞きながら進めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	おののひろし 小野寛	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

昨年は万葉集巻一をよみ進めて来たが、今年度はその続きを同じく巻一から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	たか　はし　ぶん　じ 高橋文二	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大・短英	4

講義のねらい

平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特質を考える。

履修上の留意点

講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席の状況、夏休みの課題リポートの提出、期末テストの成績で評価する。

教科書

未定（4月出版予定のものを使用予定）

参考書等

講義時間内に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究Ⅰ	むら かつ のり 徳 村 上 光 徳	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

中世隠者文学について講ずる。隠者とは何か。中世の隠者文学の特色などを考え、西行・長明・兼好・正徹、心敬などの遁世の動機や生き方、物の考え方、さらにそれぞれの作品を読み、自然観、無常観、美意識などを考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義が中心、そのときどきに応じて講読する作品を配布し、西行から一人一人について考えて行く。

成績評価の方法

①筆記試験、②出席状況。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学研究Ⅰ	ふ じ あき お 雄 富 士 昭 雄	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

芭蕉の俳諧紀行の講読を通して、芭蕉の俳諧文学の俳諧文学の特質を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

『野ざらし紀行』『笈の小文』などを精読して、『おくのほそ道』へ至るまでの俳諧紀行文の成立と展開の諸相について理解を深める。

成績評価の方法

学年末の定期試験で評価するが、出席状況も考慮に入れる。

教科書

プリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究Ⅰ	はた 焔 みのる 實	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

明治の末に文壇の中心的存在であった自然主義文学をとりあげる。その当時に出た小説、評論類を考察して日本の自然主義文学の特色をあきらかにすると共に、文壇の主流を占めた理由、およびその限界等を考えていくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前後期とも講義を中心とするが、必要に応じてプリントを配布し小説や評論の一部を読むことにより理解を深めたいと考えている。

成績評価の方法

学年末に試験を行い出席状況等を考慮しながら総合的に評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	みつたに 満谷マーガレット	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短大	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。明治時代の日本は西欧文化のすべてを「翻訳」しようとしていたといっても過言ではないが、授業では、比較的扱いやすい詩の問題が中心になる。前期では、讚美歌、イギリスの浪漫派、フランスの象徴派の詩人たちやシェークスピアなどが近代日本にどのようにして翻訳されてきたか、作品を精読しながらみていきたい。後期では、逆に日本語の詩（短歌、俳句を含めて）の翻訳問題を焦点にして、十九世紀からの英訳短歌、E. パウンドの英訳謡曲や戦後のハイク・ブームなどをみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義科目ではあるが、授業中、なるべくたくさんのテキストを精密に読んでいきたい。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学	やま ぐち せつ こ 山 口 節 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日の状況をのり超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』ヤルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

成績評価は、前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教 科 書

授業の際に、事前に紹介する。

参 考 書 等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

そ の 他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 思 想 史	あ そう けん 麻 生 建	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短英・短英	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教 科 書

麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円

参 考 書 等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	いのうえよしえ 井上理恵	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかに収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになろう。ビデオで舞台に展開される演劇を視聴しながら西洋と日本の演劇の違いもみである。

履修上の留意点

個別的な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Xを同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいったりして批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は劇場に足を運ぶことを条件としたい。(観劇料3,500~4,500円)

成績評価の方法

レポート(二回、観劇批評含む)とテストによる。

教科書

木下順二『劇的とは』(岩波新書)650円、平田オリザ『演劇入門』(講談社現代新書)640円(必携)

参考書等

毛利三彌『東西演劇の比較』(放送大学教育振興会)

その他

講義形式ではあるが、ビデオ視聴や観劇後に討論をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに—何かを—伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点(目のつけどころ)」が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして、「自分の視点」を育てることを目指したいと考えています。

「だれかに—何かを—伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙(誌)づくりの課題は、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙(誌)を課題作品として提出してもらいます。

教科書

教科書は使いません。(随時、プリントを使用)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	いし 原 孝 哉 石 原 孝 哉	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

シェイクスピアを中心にルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。

講義の内容・
授業スケジュール

主としてとりあげる内容は：①神話と文学 ②文学の源流 ③詩・民話・劇 ④ルネッサンスと新学問 ⑤トマス・モアと新しい流れ ⑥エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦クリストファー・マーロウとヒューマンイズム ⑧ウィリアム・シェイクスピアの世界Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ ⑨獄中作家ジョン・バニヤン ⑩ミルトンの世界 ⑪文学とイギリスの文化

履修上の留意点

完全な講義形式で行なうので予習は必要ないが、トマス・モア、エドモンド・スペンサー、クリストファー・マーロウ、ウィリアム・シェイクスピア、ジョン・バニヤン、ジョン・ミルトンなどの主要作品を、読んでいることが前提となる。このため3・4年生の受講を希望する。

成績評価の方法

成績はレポート、期末試験で評価する。

教 科 書

『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』（三修社）2,000円

参 考 書 等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）その他教場にて指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たか の まさ お 高 野 正 夫	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

教 科 書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おか ざき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernity という言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらに D. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教 科 書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参 考 書 等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀と19世紀における文学と絵画の関連（いわゆる「^{シスター・アーツ}姉妹芸術」）について、とくに風景画と風景庭園の流行、ピクチャレスク美学の成立、ワーズワスからラスキンやペイター等にいたる文学者たちにおける風景志向等に注目しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

主として取り上げるのは、理想風景、ピクチャレスク美学、風景の発見、ゲインズボロ、ターナー、コンスタブルなどの風景画家、ワーズワス『序曲』、ラスキンのターナー解釈、ペイターにおける風景と記憶の問題、ワイルドの庭など。

履修上の留意点

講義を中心とし、機器を使って風景画などを見る予定。

成績評価の方法

出席は毎回とる。成績はレポートと試験により評価する。

教 科 書

必要に応じて、プリントを配布する。

参 考 書 等

教室でその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 V	たか まつ ゆう いち 高 松 雄 一	禪・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

本講義ではイギリスにおけるモダニズム文学の種々相を考察する。モダニズムとは20世紀の初め、1910年前後に、英米およびアイルランドに出現した若い文学者たち、たとえば小説のジェイムズ・ジョイス、ヴァージア・ウルフ、批評のT. E. ヒューム、詩のエズラ・パウンド、詩と批評のT. S. エリオット、それに年長の詩人イェイツなどが、それぞれの分野で新しい実験的な表現法による作品を生みだし、従来の伝統的な手法を革新した1つの文学運動というべきものである。

彼らはこの運動の存在理由を自らの批評活動によって論理づけ主張することを怠らず、1920年代から40年代の初めまでイギリス文学の主流を占めるに至ったが、今日のいわゆるポストモダニズムの時代にも、有形無形の影響を残していると言っている。

講義の内容・
授業スケジュール

この運動は、しかしながら、唐突に生じたのではない。当時の社会的な変動や、19世紀から20世紀にいたる一連の文学的な展開と密接に結びついている。本講義では19世紀初めのロマン主義文学運動、および世紀末の唯美主義批評との関連にも触れながら、モダニズムの特質を明らかにしてゆきたい。ただし主義主張を羅列するのではなく、上記の詩人や作家の作品から適宜抜粋して具体的に読み、分析しながら考察を進める。

教 科 書

講義内容に応じてプリントアウトした作品や批評を読む。

参 考 書 等

高松雄一編『イギリス文学』（放送大学教育振興会）。イギリス文学の流れをつかむのに役立つであろう。

高松雄一編『想像力の変容』（研究社出版）。主としてモダニズム関係の論考を集めたもの。内容は専門的。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 VI	丸 小 哲 雄	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

批評行為は人間の本能です。文学テキストの読みについての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用がなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路を、いかに創り出してゆくかが問題となります。

ですから、初発の読書体験を大切に、主体としての〈持続する〉テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくのかの手順を批評的ディスカールとして説明してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構の世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か：日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程：文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）

参考書等

開講時に読書リストのプリントを配布します。また、読書のための参考書は適宜必要に応じて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	にい くら とし かず 新 倉 俊 一	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

アメリカにおける近代詩の成立の歴史的状況をふまえて、いかにイギリスとは異なるユニークなアメリカ詩が発展したかを、具体的な作品に即して説明していく。それと併せて、新体詩以来の日本の詩にアメリカ詩が及ぼした影響を取り上げたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は主として19世紀までのアメリカの詩人たちを紹介し、ポー、ホイットマン、エマソン、ディキンソンからロビンスン、フロストまでの作品を対象とする。後期は第一次大戦前後からアメリカ詩に大胆な革新をもたらしたパウンド、エリオット、ウィリアムズ、ステイーヴンズ、ムア、カミングズ、ハート・クレインから、第二次大戦後に詩と人間の関係を問い直したロバート・ローエル、ベリマン、スナイダー、ギンズバーク、ブライなどの現代詩人の作品を取り上げる。なお、適宜に、エマソンと北村透谷、ポーと萩原朔太郎、ホイットマンと有島武郎、エリオットと西脇順三郎、それに「荒地」の詩人たちやギンズバークらのいわゆる「ビート詩人」たちの影響などをふれていきたい。

履修上の留意点

講義を中心とし、適宜、ビデオで詩人の紹介を行う予定。

成績評価の方法

前期はレポート提出。後期は詩の解釈および訳についてテストを行う。

教 科 書

新倉『アメリカ詩の世界』（大修館書店）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションと呼ばれる作家の短編小説を読み、その特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの技法を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

それぞれの作家の作品に目を通しながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることもあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とする。加えて、前期・後期あわせて2回のレポートを課し、年間の評価とする。

教 科 書

『現代アメリカ短編小説選(3)』（南雲堂）

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	あら い よし お 荒 井 良 雄	禪・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス演劇史とアメリカ演劇史を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容をも視界に入れて講義する。とくに近代劇と現代劇を中心に、ミュージカルも取り上げて、世界中で上演されている英米演劇の特色と魅力を明らかにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はアメリカ演劇を、ユージン・オニールの作品を中心に講義する。後期はバーナード・ショーとノエル・カワードの演劇が中心である。

1. Tragedy and Comedy
2. Eugene O'Neill
3. Lillian Hellman
4. Arthur Miller
5. Tennessee Williams
6. Edward Albee and Sam Shepard
7. Mediaeval Religious Drama
8. Elizabethan Drama
9. William Shakespeare
10. Comedy of Manners
11. Oscar Wilde
12. Maugham, Coward and Rattigan
13. Peter Shaffer
14. Musicals
15. Theatre and Film

履修上の留意点

戯曲を読んだり、舞台を見たり、映画化作品を映画館やビデオで見たりして、英米演劇を積極的に鑑賞したり研究したりするのが好きな学生の受講を期待する。

成績評価の方法

レポートと学年末試験の成績で評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社）2,500円
 太平和登・荒井良雄共著『ブロードウェイ！ブロードウェイ！』（朝日新聞社）1,200円

その他

舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
Intertextual Analysis のメソッドで行う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

長谷川潔、L. P. サンダース著 *ASIAN CROSSROADS* (成美堂)

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉 心理・経済・商・短大	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。
1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェディング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円
小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	大友篤	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを平行して説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 地 理 学	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

広義の文化地理学は人文地理学とほとんど同じであるが、本講義では狭義の文化地理学に的を絞り、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要 2. 宗教地理学 3. 宗教分布 4. 宗教集落・宗教都市
5. 山岳宗教 6. 巡礼 7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 地 理 学	た か き ま さ ひ ろ 高 木 正 博	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマが求められるであろう。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体として捉えることを基本とし、流域（地域）の自然とその土地の人々とのかかわりあいを利水・災害・自然環境などの視点から考える。また、ヨーロッパの河川特性・管理などについても紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

教 科 書

授業時間に配布するプリントを使用。

参 考 書 等

高橋 裕『河川工学』（東京大学出版会）その他随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

新聞やテレビで“沖縄”の二文字を目にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金がつかぎ込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。後期は、前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地球や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 VII 〔 近 代 〕	こ いづみ まさ ひろ 小 泉 雅 弘	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった明治維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら近代国家の成立について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、幕末の政治運動、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、岩倉使節団と留守政府、明治六年の政変、文明開化、藩閥権力の生成、士族反乱と農民一揆、自由民権運動などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教 科 書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参 考 書 等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 X 〔 近 ・ 現 代 〕	ちよう 趙 ぐん 軍	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

太平洋の東に浮かぶ島国日本の経済生活は、他国との貿易に大きく依存している。特に中国を初めとするアジア各国とは、歴史的にも文化的にも極めて深い関係におかれてきた。本講義は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概要的に解説し、日本とアジア各国との関係を正しく理解できる知識や教養を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概要的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第1次世界大戦以後の日中関係を具体的に解説する。
主な項目は次の通りである。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携論」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山満と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満洲事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦と
14. 「成熟の時代」
15. 改革開放と「新アジア主義」
16. 日本の対中国政策決定－組織と過程－
17. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学期末にレポートの提出やペーパー試験を行う。試験成績と出席率による総合評価を行いたい。

教 科 書

- ① 趙軍『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
- ② 田中明彦『日中関係 1945－1990』（東京大学出版会）1991年

参 考 書 等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史 I	さ さ き 佐 々 木 真	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

近世末から近代にかけて、ヨーロッパ諸国において戦争や軍隊が有していた意味について講義をする。軍隊のあり方やその機能、国家による戦争の遂行は、近代国家や近代社会の形成に非常に大きな影響を与えており、最近ではそのような視点に立った研究が見られるようになった。本講義では、そのような研究動向をふまえ、フランスを主な題材として、近世から近代への移行において、戦争や軍隊がどのような役割を果たしたのかを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 絶対王政期の軍隊と戦争（戦術の変化、軍隊の実態、軍制改革、王権と戦争）
2. フランス革命と戦争（革命下の軍制改革、兵士と市民的自由）
3. 近代社会と戦争・軍隊（国民化・近代システムと軍隊、国家と軍隊、総力戦体制）

履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。
アルフレート・ファークツ『ミリタリズムの歴史』（福村出版）
山内進『掠奪の法観念史』（東京大学出版会）

その他

授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	禅・仏教・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

本講義では教科書は使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	やまぐち まさひろ 山口 祐弘	国・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動してものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	あそう けん 麻生 建	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営・短大	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

教科書

特になし

参考書等

今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 紀	理・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここでは、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R.J. ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』(第6版)(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	わた なべ 渡 辺 新	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・短国・短放	4

講義のねらい

日本経済の歴史的分析を通じ、第1に日本経済の通史的理解を深め、第2に経済史的な考え方および経済史の基礎的知識を学び、広い意味での歴史認識を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

主な講義内容は以下の通りであるが、近年の歴史学の研究動向を反映させ、できる限り隣接諸科学（たとえば国家論、地域社会論、女性論など）との接点を探っていきたい。

- ① 日本経済史の課題
- ② 前近代の経済構造
- ③ 日本における原始的蓄積
- ④ 日本における産業革命
- ⑤ 日本帝国主義の構造
- ⑥ 昭和恐慌と戦時統制経済
- ⑦ 戦後改革と高度経済成長

成績評価の方法

筆記試験ないしはレポートによって評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	みづ い っ とも 三 井 逸 友	釋・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な (critical) 構成要素である」(クリントン米国大統領) と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中心企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』(森清著、ダイヤモンド社刊) ののである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用収縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーディズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済の関係」

ここでは、うえの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小工業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業の「国際化」のもとの、日本の企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貢献がもたらす「経済の関係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的視角となる。

第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を取ってきた我が国の「中小企業の近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとで、近年の「収斂傾向」を検討し、特に EU 欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国についても、近年の「構造転換」対応策、創業促進策、ベンチャー企画支援策なども検討する。

履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日的現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。

教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』(青木書店) 2,800円 (税込)
同編『日本の生産システムの評価と展望』(ミネルヴァ書房) (予定)

参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』(白桃書房) 2,300円

巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ新版』（有斐閣）2,200円
中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕
中小企業総合研究機構訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』（同友館）3,500円
佐藤編『21世紀、中小企業はどうなるか』（慶大出版会）2,300円

そ の 他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用していく。また、諸方面のWEBサイトの提供する情報は（担当者自身のものを含めて）、必須の材料である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会政策	みつ おか ぼく み 光 岡 博 美	禅・仏教・国文 英米文・地理・歴史 経営・短国・短放	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上のべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育経済論	や 谷 敷 数 正 光	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確定期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化と教育
 - (2) 日本の経済成長と教育
 - (3) 日本の産業高度化と教育
 - (4) 日本の「新高度成長」と教育
 - (5) 日本の人的開発政策
 - (6) レーガン大統領の経済政策と教育（一部ビデオ）
 - (7) ブッシュ大統領の経済政策と教育（一部ビデオ）
 - (8) クリントン大統領の経済政策と教育（一部ビデオ）
 - (9) サッチャー首相の経済政策と教育（一部ビデオ）
 - (10) メージャー首相の経済政策と教育（一部ビデオ）
 - (11) プレア首相の経済政策と教育（一部ビデオ）
- 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における実業教育政策 1 富国強兵・殖産興業（映画）
 - (13) 学制時代における実業教育政策 2 学制公布と実業教育
 - (14) 教育令時代における実業教育政策 1 工場払下
 - (15) 教育令時代における実業教育政策 2 教育令公布と実業教育
 - (16) 学校令時代における実業教育政策 1 産業革命
 - (17) 学校令時代における実業教育政策 2 学校令公布と実業教育
 - (18) 実業学校令時代における実業教育政策 実業学校令、専門学校令公布と実務教育
- 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (19) 復興期の経済発展と教育 1（一部ビデオ）
 - (20) 復興期の経済発展と教育 2 産業教育振興法公布（一部ビデオ）
 - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育（一部ビデオ）
 - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育（一部ビデオ）
 - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育（一部ビデオ）
 - (24) 高度成長終焉後の産業教育

履修上の留意点

- ① 年間5回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間30～40枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

- 沼口 博『学校教育と経済発展』(学文社)
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)
原田和男『ブッシュの米国経済』(日本経済新聞社)
宮崎正弘『クリントンの日米経済』(銀河出版)
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』(岩波新書)
天野郁夫『教育と近代化』(玉川大学出版部)
その他、講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	く どう まき ひろ 工 藤 昌 宏	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・法律 政治・短国・短英	4

講義のねらい

第二次大戦後の日本経済と、そこに貫かれる資本主義経済システムの論理を探ることをねらいにします。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は大きく前期と後期に分け、前期は主に50年代後半以降今日までの世界経済の動向とその中での日本経済の位置を確認し、それを通じて日本経済の特殊性と問題点を検出します。具体的には、IMF や世界銀行を重要な装置にしたバクス・アメリカーナ体制とその動揺、50年代後半から70年代初頭にかけての高度経済成長過程、石油危機と日本経済、日本経済摩擦の展開、バブル経済とその崩壊などを中心に講義します。

後期は前期の内容を踏まえて、敗戦後の日本経済の基本的枠組みとそれを形成した経済再建過程、朝鮮戦争とその影響、高度経済成長に至る過程を分析します。その中ではとくに経済主体としての個別企業に焦点を当て、その発展とそれを支えた条件を明らかにします。

講義の進め方。

1回ごとにテーマを設定しますが、全体として連続性をもたせます。また具体例、数値を用いて、日本経済の在り方とそれを担う経済主体の行動に焦点を当てて考察します。

講義の到達目標。

戦後日本経済の推移、基本構造、問題点を捉えることができるように認識を高めるようにします。また新聞などの経済記事の内容についてある程度理解できるようにし、今日の様々な経済現象とその根底にある論理を大筋で捉えることができるようにします。

履修上の留意点

講義は1回ごとに独立したテーマを設定しているので、講義時間に遅れないこと。ノートは確実にとること。

成績評価の方法

前期、後期各1回ずつの試験によって評価します。

教 科 書

サブ・テキストを含めて、開講時以降、随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	かく 郭 よう 洋 しゅん 春	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

「世界経済の成長のセンター」「開発途上国の優等生」、これらは1980年代に入り急速に成長してきたアジア諸国（特に東・東南アジア）を指して使われた言葉である。

植民地支配解放後、長く低開発に喘いでいた開発途上国の中から登場したこれらアジア諸国は、今や先進国の仲間入り寸前のところまで来ている。しかし、1997年7月以降、アジア各地に波及した通貨・金融危機は、世界経済そのものの根幹を揺るがしている。

一方で、インドネシアの「東チモール問題」、ミャンマーの「民主化問題」、中国の「三峡ダム問題」「南沙諸島、尖閣列島問題」など民族紛争、人権問題、環境破壊、領土問題など冷戦後特に、賦の遺産が噴出しているのもアジア地域なのである。

従って、本講義では急成長を遂げたアジア諸国の経済メカニズムの解明と、その陰に隠れて見落とされがちな負の要因の分析の両面から、アジア経済の実態を明らかにしていく。その際、我々の身の回りから見たアジア、という視点についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りであるが、状況に応じて多少の変更はあり得る。

- I アジアの台頭
 - ①NICsの登場、②NIEsへの転換、③ASEANとは何か、④変貌するASEAN
 - ⑤日本に来るアジア人旅行者
- II ダイナミック・アジア
 - ①アジアの経済政策、②経済開発に果たした国家の役割、③外資導入とアジアの工業化
 - ④日本のODAとアジアの工業化、⑤経済開発の推進母体としての財閥、ビッグ・ビジネス
- III 迷走するアジア
 - ①アジアの環境破壊、②飢餓と飽食のアジア、③軍事大国化するアジア、④アジアの開発独裁
 - ⑤アジアに広がる日本文化
- IV 21世紀のアジア
 - ①地域経済圏とアジア、②継続するか「成長のセンター」、③アジアは先進国の仲間入りをするのか

履修上の留意点

教員による一方通行的な授業ではなく、応答的授業形態を模索するので、積極的・主体的姿勢で参加すること。授業中は私語・携帯電話類は厳禁。

成績評価の方法

授業中に行う小テストと前期末レポート、学年末試験を合わせた総合評価

教 科 書

郭 洋春『アジア経済論』（中央経済社）3,360円

参 考 書 等

横山正樹・涌井秀行編著『ポスト冷戦とアジア』（中央経済社）3,045円。他は授業中に随時紹介する。

そ の 他

授業方法は講義中心であるが、学生との討論も考えている。また、ビデオを多用し視覚からも授業を理解してもらおうつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国経済論	小杉修二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。

現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前的変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。

前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

これにつづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949～57年)、(2)毛沢東モデル(1958～78年)、(3)鄧小平モデル(1978～)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎) 4,000円

その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せとわか 瀬 戸 岡 紘	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカでのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらに深めた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようともし考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥ふかく興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

《導入の話題》

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

◇アメリカの建国の理念と現代の経済

◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家とヴェンチャービジネス

◇アメリカの雇用と労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの交通・通信・情報

◇アメリカの金融

◇アメリカの教育と経済

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

◇アメリカ経済と環境問題

◇アメリカ社会とヴォランティア

◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

◇国際通貨ドルの地位と IMF

◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋
- 《むすびの話題》
- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話しします。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらしないで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

成績評価の方法

熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を何回か提出してもらうことを考えていますし、受講者の希望により、この講義のなかでいただくようになった問題意識をもとにアメリカ経済にかんする自由論題で小論文を年度末に提出してもらい試験に替えることも考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を考慮にいれつつ小論文を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエンと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの — レーニン時代 —
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) ブレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本 — 比較経済史 —

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教 科 書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

そ の 他

教科書はないので、授業中にノートを取るのは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ した ひろし 岩 下 弘	禅・仏教・国文・英文文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導=抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題-商店法
 - 2 フランス-ロワイエ法
 - 3 ドイツ-土地利用計画
 - 4 アメリカ-ゾーニング規制

成績評価の方法

試験、レポート、出席により評価。

教 科 書

岩下弘編『流通国際化と海外の小売業』（白桃書房）2,800円

参 考 書 等

保田芳昭編『日本と欧米の流通政策』（大月書店）2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	曾 我 信 孝	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短国・短放	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を現状をふまえながら講義する。その概要は次のとおりである。
 - 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
 - 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
 - チャンネル政策……自己製品の流通経路の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それにはたんに流通コストの問題だけではなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
 - 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は次のとおりである。
 - 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFTA、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合商社の役割などである。
 - 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合商社との関係などである。
 - 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならぬ状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
 - 総合商社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合商社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合商社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合商社の子会社戦略、②総合商社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験（場合によって小テスト、出席等）によって評価する。定期試験に大きなウエイトをおいていることはないが、そこでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。

教 科 書

曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	ひゃく た よし ばる 百 田 義 治	禅・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 社 会 福 祉 ・ 心 理 ・ 短 国	4

講義のねらい

現代企業の経営管理（組織と管理）について、大学生に必要な基礎知識を提供することと、その現代的諸課題の現状と問題点を明らかにすることが一年間の講義を通しての課題です。

講義の内容・ 授業スケジュール

多数の人々の協働体である組織が、さまざまに変化する環境の中で、目的・目標の設定から達成までのプロセスを効率的に運営する活動が経営管理です。したがって、経営管理は、学校や病院や政府諸機関など非営利組織（NPO）、あるいはボランティア活動の組織（NGO）にも必要不可欠な活動です。しかし、現代社会において組織という場合に、企業を除いて組織を語ることはできません。一年間の講義の中では、NPO や NGO の組織の特性や管理の課題についても up-to-date な話題にふれて言及しますが、講義の中心は現代企業の経営管理問題です。

一年間の授業スケジュールは以下の通りです。

前期（4月～7月）は経営管理論の流れを「個人と組織」の問題を中心にフォローし、その現代的意義について考えます。前期の授業の内容は次のような問題です。

- ① 授業ガイダンス（経営管理論では何を学ぶのか？）
 - ② 現代の組織と経営管理（企業の経営管理と NPO・NGO の経営管理は異なるか？）
 - ③ 経営管理論の源流 1：科学的管理法（唯一最善的管理法は存在するか？）
 - ④ 経営管理論の源流 2：管理過程と管理原則（経営管理は学校教育で学べるか？）
 - ⑤ 組織の人間関係（人間の非論理的・非合理的行動とは何か？）
 - ⑥ 現代組織論 1：個人と組織の統合理論（個人の欲求充足と組織目標の達成は両立するか？）
 - ⑦ 現代組織論 2：意思決定論（経営者の意思決定は科学の対象になるか？）
 - ⑧ モチベーション論（自己実現とは？勤労意欲は何から生みだされるか？）
 - ⑨ 人的資源管理論（行動科学とは？「労働力」と「人的資源」では何が異なるか？）
- （夏休みの課題）前期の授業についてレポートの提出を求めます。

後期（9月～1月）は現代企業の経営管理の実際（当面する諸問題）を具体的に検討します。

- ⑩ 企業戦略論（現代企業のもっとも重要な経営管理問題とは何か？）
- ⑪ 日本企業の国際競争力（トヨタ・システムはフォード・システムを超えたか？）
- ⑫ グローバリゼーションとジャパナイゼーション（日本の経営は国際的に通用するか？）
- ⑬ 日本企業の国際化（グローバル化とローカル化の両立は可能か？）
- ⑭ 経営管理と情報化 1（企業内・企業間ネットワーク化は経営管理を根本的に変革するか？）
- ⑮ 経営管理と情報化 2（情報化は中間管理職を無用化するか？）
- ⑯ 地球環境問題と経営管理（共生の時代の経営管理に求められるものは何か？）
- ⑰ コーポレート・ガバナンスと企業倫理（経営者の社会的責任とは何か？）
- ⑱ 労働の未来と経営管理の課題（一年間のまとめ）

（学年末試験）

履修上の留意点

新聞・雑誌・ニュースなどを通して現代の企業と経営に関心を持つことが大事です。「なぜ」という疑問がなければ勉強意欲は持続しません。現実の経営管理問題にマークシート方式の解答はありません。すべてが応用問題です。洞察力と問題解決能力も90%は経験と学習です。

成績評価の方法

出席（10%）、小レポート（10%）、夏季レポート（20%）、学年末試験（60%）で総合的に評価します。

教科書

笹川・山下・仲田・渡辺編著『現代の企業経営を学ぶ』（ミネルヴァ書房）1996年
片岡・篠崎・高橋編著『新しい時代と経営学』（ミネルヴァ書房）1998年

参考書等

授業や夏季レポートに関連して随時紹介する。

その他

授業に関する質問などがあれば研究室（第2研究館4階2436：電話03-3418-9345）を気楽に訪ねるか、E-mail（授業で説明）で問い合わせ下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	いし い じょう じ 石 井 脩 二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

日本企業を取り巻く経営環境は、急激に変化しつつある。国際的にはいわゆる冷戦体制の崩壊の中で、欧州・アメリカ・アジアを中心とする世界三局経済体制への動きを背景に、国際市場で激しく展開される企業間競争は今やメガコンペティションといわれる様相を現出させている。他方、国内に目を向ければ急速に進行する情報技術革命を背景とした産業構造の転換、豊かさを背景とした市場の不透明度の高まり、企業戦略の変化など従来までの経営理念や経営姿勢ではもはや環境変化に対応できない状況が生まれている。さらに近年の日本企業を特徴づける政官財癒着にみられる企業倫理観のない企業犯罪の多発、中高年層のみならず若年層をも巻き込んだ容赦のない人員整理などは、改めて企業とはいかなる存在意義を持つのかという疑問を抱かせるに十分である。このような企業環境の変化や企業の社会的存在意義への疑問は、日本企業がこれからどのような方向へ進んでいくのかという「将来展望」を曖昧にしているばかりでなく、その予測をきわめて困難なものにしている。社会の進む方向も企業の将来も極めて透明な時代に必要とされることは、現実が生じている様々な動きや事例についての多くの情報を集め、これらの事実情報に基づいて次なる時代の方向性を自分なりに見定めることである。この講義では、日本企業を取り巻く経営環境の変化や日本企業の現実に関する最新の情報に基づきながらこれからの日本企業の動向やそこで勤務生活の変化などを経営側からの様々な従業員対策の展開に即して検討しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

企業は、一般にヒト・モノ・カネ、さらには情報といった有形無形の経営資源を組み合わせ利用することによってその目的とするものを実現する。かつて日本企業が世界市場で強い競争力を発揮し日本経済の豊かさを実現したのは、これら経営資源の中でもヒト資源の活用が巧みであったことによるといわれてきた。このヒト資源の活用に関わる一連の経営活動がこれまで人事労務管理といわれてきたものである。日本企業における人事労務管理こそは、日本的経営の別名でもあり、日本企業の競争力の源泉であったということである。しかし、今日、日本企業の競争力にかげりが見え始めているといわれる。これは、従来まで日本的経営が競争力を発揮する事のできた経営環境が急速に変化していることを反映している。経営環境の変化は、この講義のキーワードの一つである工業化社会から情報化社会への転換ということに他ならない。この講義では、日本企業が工業化社会というモノ作り中心の産業社会で築き上げてきたヒト資源の活用システムすなわち「人事労務管理」が情報化社会という知識創造や情報創造が中心となる産業社会で妥当性を持たなくなり「人材資源管理」という名称に変化していることに注目し、情報化社会でのヒト資源の活用に関わる最近の企業の動きを中心に検討を加える。同時に、ヒト資源に対する新しい活用への企業側の取り組みが従業員側からみたときにどのような結果を生み出すことになるのかも併せて検討する。このような検討を通して、最終的には日本企業の将来を考えるとということにこの講義の焦点がある。以下のような順序に従って進めていく。

序章 人事労務管理から人材資源管理へ	第5章 報酬管理
第1章 企業内従業員秩序の編成原理とその変化	第6章 労働時間管理
第2章 採用管理	第7章 福利厚生管理
第3章 教育訓練と能力開発	第8章 女性労働の管理
第4章 昇進管理	第9章 国際人事

成績評価の方法

定期試験のみにて評価。評価の基準は解答内容の論理性と説得性。

教科書

現在作成中のため、当面は授業時間中に配布するプリントを中心に行う。

参考書等

津田真澄編著『人事労務管理論』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	えん どう たかし 遠 藤 孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短大	4

講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計(FINANCIAL ACCOUNTING)について、その伝達、開示の手段である貸借対照表(BALANCE SHEET)、損益計算書(INCOME STATEMENT)を中心に、その性格、内容、役割について講義する。できるだけ時の実務上の会計問題にひきつけて講義する。例えば、'98年度ではヤオハン、三田工業の粉飾問題。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

- (1) 4月第1週
企業会計、財務会計とは何か。会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- (2) 4月第2週
先週に引き続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- (3) 5月第1週
財務会計の制度性について。
財務会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- (4) 5月第2週
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- (5) 5月第3週
資産評価について。流動資産－棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- (6) 6月第1週
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- (7) 6月第2週
繰越資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- (8) 6月第3週
引当金について。引当金とは何か。引当金の設定基準－商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- (9) 6月第4週
同上。
- (10) 7月第1週
資本会計について。

後 期

- (11) 9月第1週
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- (12) 9月第2週
連結財務諸表とは何か。
- (13) 9月第3週
同上。
- (14) 10月第1週
セグメント会計について。
リース会計について。
年金会計、退職給与引当金と年金会計
- (15) 10月第2週
企業内容、会計内容の開示について。
注記 財務諸表附属明細表(書)。
- (16) 10月第3週
同上。
- (17) 10月第4週
財務諸表の監査、商法上の監査。
- (18) 11月第1週
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。
「企業会計原則」について。
- (19) 11月第2週
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- (20) 11月第3週

- 同上。
- (21) 11月第4週
日本、世界企業会計の最新動向。
- (22) 12月第1週
同上。
- (23) 12月第2週
会計学を学ぶについて考えるべきこと。パソコン時代の企業会計。総括。
- (24) 最終週
予備。
以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

試験による。(前期、後期2回実施の予定)

教科書

遠藤孝他著『会計学』(森山書店)1998年

参考書等

遠藤孝著『引当金会計制度の展開』(森山書店)1998年

その他

授業の方法、教科書、OHP、ときにプリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	い い 飯 岡 透	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・ 授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。

〔前 期〕

- 4月 会計監査の目的と種類
 - (1) 会計監査の目的
 - (2) 会計監査の種類
 - (3) 監査基準の必要性とその構造
- 5月 わが国監査制度の展開
 - (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
 - (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開
監査人の要件と責任
 - (1) 監査人の要件
 - (2) 監査人の選任と解任
 - (3) 監査人の職務権限と責任
- 6月 監査要点と監査手続の選択適用
 - (1) 監査要点の意義と種類
 - (2) 通常実施すべき監査手続とその内容
- 7月 監査証拠の種類と内容
 - (1) 監査証拠の意義と分類
 - (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後 期〕

- 9月 内部統制と監査リスク
 - (1) 内部統制の構成要素
 - (2) 内部統制の評価
 - (3) 監査リスクと重要性
- 10月 監査計画と組織的監査
 - (1) 監査契約と予備調査
 - (2) 監査計画の目的とその設定
 - (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
 - (4) 他の監査人の監査結果の利用
- 11月 監査調査の目的と種類
 - (1) 監査調査の目的と作成要件
 - (2) 監査調査の種類と保存
経営者確認書の意義と記載内容
 - (1) 経営者確認書の意義と目的
 - (2) 経営者確認書の記載内容
- 12月 監査報告書と監査概要書
 - (1) 監査報告書の意義と機能
 - (2) 監査報告書の種類
 - (3) 短文式監査報告書の記載内容
 - (4) 特記事項の記載内容
 - (5) 監査概要書の目的と記載内容
- 1月 この講義の総括と年度末試験の説明
なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	なか ほら しょう きち 中原 章 吉	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの段階を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができるといえます。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思ひます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思ひます。例えば、『企業会計の基礎』（創成社）

教科書

『管理会計論』（税務経理協会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	かとうとし やす 加藤利安	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計の側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状況の認識の下で、ある特定の社会的役割を果たすべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになってきている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとするれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのでないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することをこころがける。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義、そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

成績評価の方法

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

授業時に適宜挙げる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	祥・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンス編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーション
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出来れば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう 齊 藤 正	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 法律・政治・短国・短英	4

講義のねらい

近年、経済の様々な分野で「規制緩和」、すなわち自由化が喧伝され、金融業においても「6大改革」の重要な柱として金融ビッグバン構想が展開されている。官僚的規制には様々な問題が指摘できるが、モラルを欠いた「自由化」がそのまま認められることにはならない。とりわけ銀行は、「預金通貨の供給」を通じて経済社会の決済システムを担っており、その安定性（信用秩序の維持）なしには経済社会の安定も達成されないという意味で、他の産業と異なる独自の「社会的責任」が存在する。相次ぐ経営破綻、数々の金融スキャンダル、巨額の不良債権など信用秩序の動揺は、「野放しの自由化」が銀行を収益至上主義に陥らせ、その結果経済社会に対しても多大な否定的な影響を及ぼすことの例証である。また、「堅実で、比較的高賃金」というイメージで、就職先としての人気も高いとされる銀行の職場は現在、自由化の下での競争激化に伴う「経営合理化」によって、サービス残業、苛酷なノルマなど、「長時間・過密労働」がさらに強められるとともに、出向・転籍が常態化し、健康と将来への不安を抱く行員が増えている。

このように銀行を取り巻く状況は内外ともに問題が多いと言わざるをえないが、しかし、銀行は依然として「貨幣の供給」及び決済システムを担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の役割を果たしている。それゆえ、今こそ銀行の健全なあり方が強く望まれるのである。

本講義では銀行の基礎理論を踏まえたうえで、戦後の日本経済の展開に果たした銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
 - ① ここでは古代からすでに存在した「金貸し業者」や「高利貸」と「銀行」との違いがどこにあるのかを検討しながら、「銀行」の基本的機能及び経済社会（メーカー、商社、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - ② 銀行が、一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。だが、銀行は受け入れた預金をそのまま現金で貸し出すわけではなく、受け入れた預金を基礎として、貸し出す際に「信用貨幣」（預金通貨）を創造する。現代社会では、エレクトロニクス技術の進展に伴い、ファームバンキングやホームバンキング、さらには電子マネーといった「キャッシュレス社会」現象がみられるが、それは銀行を頂点とした信用（債権債務）関係の高度な発展であると同時に、返済の確実性を前提に成り立っていることを忘れてはならない。
- 2) 後期は戦後日本の経済に果たした銀行の役割を、時期毎に検証し、将来の銀行制度の望ましいあり方について検討する。
 - ① まず、専門的金融機関制度あるいは分業主義といわれる戦後日本の金融制度の特殊性とそれぞれの専門機関（普通銀行、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の果たした役割の理解を目指す。
 - ② 時期区分は、おおまかに高度成長期、スタグフレーション期、自由化以後、とし、欧米の動向も参照しながら、それぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されたのかを併せて紹介する。
 - ③ とりわけ、現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半の「バブル経済」と90年代以後の「バブル崩壊」である。戦後銀行制度の構造的転換という視角からこの時期の諸問題を検証する。
 - ④ 以上を通じて現在日本の銀行が抱える問題を理論的にも制度的にも的確にとらえ、金融ビッグバン構想について検討を加えながら望ましい銀行制度のあり方についての理解を深めたい。

成績評価の方法

成績は、基本的には前期試験（レポートに変更の場合もありうる）と後期試験によって評価するが、出席状況、授業態度における積極性も十分加味する。また、履修にあたっては、「独自の銀行観」の習得を目指すことを望む。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。また、毎回レジメを配布し、それに沿って講義する。

参考書等

- 谷田・野田・久留間編『現代金融の制度と理論』、熊野・龍編『現代日本の金融』
いずれも大月書店 1992年。山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年
- 日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう ひさし 齊 藤 寿	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究していませんか。

— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) — との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
親族法	たけなかちか 竹中智香	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』（有斐閣双書）1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	たけなかちか 竹中智香	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続〔第4版〕』（有斐閣双書）1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きた の 北 野 かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる。法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法観念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	おか だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 福祉・心理・経営・短放	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

参 考 書 等

初回の講義の時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こほりのりお 堀 訓 男	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生と共に考えたい。

履修上の留意点

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は、必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業をすすめたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらたさなほ 浦 田 早 苗	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・経営・短放	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- 近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- 英国革命とIRA
- ジャコバイトと英国王室
- 議院内閣制の成立変遷過程
- 英国における政治腐敗防止過程
- フランス革命と国家の概念
- フランス政治におけるジャコバン主義
- 「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- 統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート 7～8×400字 は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。その際、現在進行している地方分権推進のシナリオは参考になる。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位、自治立法権について議論を行う。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

南博方他『行政法(3) (第3版)』(有斐閣双書) 1,800円

参考書等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)。『地方自治判例百選 (第2版)』別冊ジュリスト、なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方自治』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
立 法 過 程 論	まえ だ ひで あき 前 田 英 昭	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

講義のねらい

法律はどのような経過を経て、どのような人々の手によって、どのようにつくられるのかを勉強することによって、法律、政令、条例などの法令の起案の仕方や、社会生活において必要とされる規則のつくり方に習熟し、法令や規則の理解を容易にすることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

立法過程とは、立法を中心に議会でのさまざまな決定をめぐって繰り広げられる議会内外諸勢力の公式・非公式の相互作用の実質的な過程であり、狭義には、議会内部での法律制定に関する立法手続の諸過程をさす。今年度は、後者を主として対象とする。

[取り上げるテーマ] 立法過程とは。国会における審議過程。立法過程における政府の役割。立法過程における議員の役割。内閣提出法律案。議員提出法律案。内閣法制局と議院法制局。常任委員会制。法律の体裁と用語の解説。法律・政令・条例。政府委員。審議会。会議制。会議の公開。委任立法（行政立法）。法律と予算。法律の公布・施行。その他サッカーくじ法など個別法案。（順不同）

履修上の留意点

この講義は、公務員志望の学生、立法機関としての国会や地方議会に関心のある学生向きである。できるだけ出席して国会職員としての経験談も聞き講義のテーマに関連した時事問題の解説にも注目すること。

成績評価の方法

平常点と期末試験（ノート持ち込み可）

教 科 書

前田英昭『国会の立法活動』（信山社）

参 考 書 等

小島和夫『法律のできるまで』（日本評論社）
浅野一郎『立法過程』（ぎょうせい）
前田英昭『国会の100年』（原書房）
岩井泰信『立法過程』（東大出版会）
林修三『法令用語の常識』（日本評論社）
中村陸男・前田英昭『立法過程の研究』（信山社）近刊

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	いわ さま まさ ひろ 岩 崎 正 洋	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この科目で取り扱うテーマは、現代世界の民主主義諸国の政治に関する問題を、現代の比較政治学の理論の観点から検討することである。科目名は、「比較政治学」であるが、広義に捉えれば、「現代政治分析論」ということもできよう。

本講義では、比較政治学の基本的な理論の検討を通して、「比較政治学は現実政治を考える上でどのように役立つのか」という点を考える。比較政治学が研究対象とするのは、世界のあらゆる国々である。それ故、焦点を向けるのは、先進諸国だけではなく、また発展途上国だけだということでもない。先進国同士を比較することもあれば、発展途上国同士を比較することもある。さらには、先進国と発展途上国との比較を行うこともある。

本講義では、各国の政治現象を説明するさまざまな議論に言及し、現実政治の理解と政治理論の理解との間を架橋することを目的とする。この講義でとり上げる比較政治学の諸理論は、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視点を提供することになるだろう。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のような項目に従って、比較政治学の理論を広範に見渡し、現実政治が政治理論によってどのように説明され、捉えられているのかを明らかにする。それにより、現実政治と政治理論との間の橋渡しを行うこととする。

- I 比較政治学の課題と方法
- II 政治システム
- III 政治発展
- IV 政治文化
- V 政治体制
- VI 連立政権
- VII コーポラティズム
- VIII 福祉国家
- IX 民主化
- X 政党システム

なお内容・スケジュールについては、現実政治の変動を受けて、若干変更することもあるので、その点に留意されたい。

履修上の留意点

この科目のみが学部内の政治学に関連する科目として独立して存在するのではないため、関連分野の他の科目と併せて履修することが望ましい。

しかし、本講義のテーマに関心をもつ者が初学者であったとしても、何ら履修上の差し支えはない。受講者の知識の習得と理解の増進に役立つような授業展開としたい。

日常生活や研究においても、この科目に関連する情報を、新聞や雑誌、ニュース、インターネットを通じて収集し、理解増進に役立てられたい(例えば、各国の選挙結果についてのデータ・アーカイブや政党や政府のホームページなど)。

成績評価の方法

原則として、定期試験およびレポートの評価を総合して行う。前期もしくは後期のいずれかを試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

ただし履修者の数などにより、その方式に変更がありうることを念頭に置かれたい。

教 科 書

教科書というかたちで、何か特定の書物を一年間にわたり使用することはないが、授業中に適宜、参考書および関連文献を提示する。

参 考 書 等

講義の際に詳細な文献目録を提示するが、さしあたり、以下に挙げる書物は、比較政治学について考える際に役立つだろう。

- *M. ドガン&D. ベラッシー／櫻井陽二訳『比較政治社会学』（芦書房）1983年
- *西川知一編『比較政治の分析枠組』（ミネルヴァ書房）1986年
- *H. J. ウィアールダ編／大木啓介他訳『比較政治学の新動向』（東信堂）1988年
- *砂田一郎・藪野祐三編『比較政治学の理論』（東海大学出版会）1990年
- *青木一能・野口忠彦・岩崎正洋編『比較政治学の視座』（新評論）1998年
- *Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Politics and Society in Western Europe*, 3rd ed., Sage, 1994.
- *Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Comparative Politics: An Introduction and New Approach*, Polity Press, 1994.

そ の 他

基本的に講義中心とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おお つか かつら 大塚 桂	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

講義のねらい

福祉国家の見通しが叫ばれて久しい状況にあります。ありうべき国家とは何か、が今日の重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履修してきた政治学、憲法などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論(史)的に整理することからはじめるのが、ヘダーでしょう。政治学の発達を顧みたとき、政治学=国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目(憲法・行政法・政治哲学・政治思想史・政治史・行政学)の研究成果をとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格をもつものといえるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

A 国家論の課題ならびに研究方法

B 国家学説の史的展開

①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説

C 法治国家の構成原理

①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権

D 行政国家の構成原理

①福祉国家 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかにより単位を認定します。

A方式(レポートによる単位認定)

～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。

B方式(試験による単位認定)

～中間・期末試験により、成績を評価します。B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂)3,000円

その他

上記テキスト所収の〈参考文献〉を参照のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営労務論	か しま ひて あき 鹿 嶋 秀 晃	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、経営労務学説史、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、日本の生産システム、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、90年代の労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には講義を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったように問題点を掲げ、その解説をおこなう。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をするので、初回は重要。出席は取らないので、出席点はなし。私語は他の学生に迷惑になるので遠慮してもらいたい。

成績評価の方法

学期末の試験のみによる。内容はA方式：①空欄補充問題（約50点分）②論述問題1問（約50点分）の計100点、またはB方式：論述問題1問（100点）のいずれかを選択のこと。詳細は初回の講義で説明する。

教科書

テキストは津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993 定価3,000円程度

参考書等

労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995 定価2,600円程度、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992 定価3,500円程度をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際経営論	茂垣 広志	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短放	4

講義のねらい

国際経営とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点間の諸活動をどのようにマネジメントするのか？」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存の経営諸理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論（アプローチ）、データ、ケースを援用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の観点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

海外に拠点を高度に分散化している MNC にとっての大きな課題は、それら拠点の現地化（適応性）の要請とグローバルな統合化（効率性）の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本のマネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系 MNC と異なる様相を示している。授業では、その日系 MNC の戦略及びマネジメントの特徴を理論、欧米系 MNC との比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点を理解することに主眼を置くことにする。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク（隣接領域との異同と関連性）
- II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討（IPLC 仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説等）
- III. 国際経営／企業多国籍化の発展段階モデル（ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、ルートの海外市場参入段階モデル、EPRG モデル等）
- IV. 国際経営の戦略選択モデル（国際競争戦略）
 1. 国際競争優位性（規模の経済・範囲の経済・連結の経済、比較優位・国家特殊優位性）
 2. 国際競争戦略の類型（ポーター・モデル、ドズ＝プラハラード・モデル、バートレット＝ゴシャール・モデル等）
- V. 国際戦略と国際経営管理
 1. マクロ構造（国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造）とミクロ構造および内部ネットワーク
 2. 欧州系 MNC とアメリカ系 MNC の戦略およびマネジメント上の特徴（経営伝統と現状）
 3. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴（その現状と課題）
- VI. 国際マーケティング戦略
 1. 海外市場参入と現地マーケティング戦略の展開（現地マーケティングミクス）
 2. 国際マーケティング戦略における現地適応化とグローバル標準化
- VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
 1. 異文化マネジメント
 2. 海外派遣社員の人事管理
 3. 国際人的資源管理（能力開発、処遇、キャリアデベロップメント）
- VII. 国際研究開発戦略
 1. R&D の集中化と分散化
 2. 規格競争と戦略提携（R&D コンソーシアの形成）

以上が講義内容の要目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。

履修上の留意点

経営学、経営戦略論の知識があった方が理解しやすいので、そのような関連科目を既に履修しているか、現在している方が望ましい。ただ、授業中にも概説する。

成績評価の方法

成績は、出席状況および期末試験の結果により判断します。

教科書

茂垣広志・池田芳彦『国際経営論』（学文社）2800円＋税

参考書等

根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』（学文社）

その他

講義が中心であるが、その際 OHP ないしプロジェクターを用いてビジュアル的な授業を行う。その際、使用資料について配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短国・短放	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継 続 性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流 通 量 |
| (3) 利 潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品 | (9) 価 格 革 命 |
| (5) 市 場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業史』（創成社）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いし な ざが くにあま 石 名 坂 邦 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的な事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的な共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない。学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメント』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営分析論	かたぎり のぶ お 片桐 伸 夫	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短放	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと学年末試験で行います。

- *レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（統）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テ ス ト 範 囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

渋谷武夫著『経営分析の考え方・すすめ方』（中央経済社）3,568円

参 考 書 等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	高木克己 <small>たか き かつ み</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営情報論	高井 徹 雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※なお、適宜（前期3、後期5回程度）、情報教育センターのコンピュータールームを利用して実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。
その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

教科書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円
上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

その他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお夫 西村和夫	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（ビットという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の中間試験
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教 科 書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、OHPとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参 考 書 等

各種の参考書をそのつど紹介します。

そ の 他

〔関連科目〕 → 経営情報論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	ちやうこつ きやう 長 国 強	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短放	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：	経営統計の役割、基礎概念	1回
統計特性値：	平均、分散、正規分布	2回
市場調査と統計整理：	調査の諸段階、標本設計、データ整理	6回
統計推測：	標本分布、区間推定、仮説検定	2回
前期復習と中間試験：	(七月中旬)	2回
経営時系列：	季節指数、時系列予測	4回
経営指数：	物価指数、数量指数	2回
分散・回帰分析：	一元配置法、相関係数、最小2乗法	3回
統計的意志決定理論：	意思決定基準、期待効用理論	2回
後期復習と定期試験：	(翌年一月中旬)	2回

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により統合的に判断する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

参 考 書 等

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』（培風館）1992
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』（日本理工出版社）1992

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学講読	佐原 作美	禪・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝（629-641）の頃から奈良朝の天平宝字3年（759）までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人で個性豊かな、山上憶良等の和歌を中心に講読していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

レポートや出席状況をもって評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう（桜楓社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学講読	鈴木 裕子	禪・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者一人一人に答を見つけてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

今年は、初音の巻から読みます。完成した六条院に玉鬘を迎え、いよいよはなやかに我が世の春を誇る光源氏。いわゆる玉鬘十帖の構造や意味についても理解を深めていきたいと思ひます。

履修上の留意点

授業は、テキストを用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます。（前期一回、後期一回）その他、授業中に適宜レポート等を課し、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

『源氏物語四』新潮日本古典集成（新潮社）

参考書等

秋山虔・室伏信助編『源氏物語必携事典』（角川書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学講読	その べ みぎ お 園 部 幹 生	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

中世文学の中から、本年度は『御伽草子』をとりあげる。『御伽草子』は、「一寸法師」「浦島太郎」「物くさ太郎」「鉢かづき」「酒吞童子」その他（狭義では二十三編）のたいへんによく親しまれた作品群であるが、古典の原文を読むことで、幼い頃に親しんだ御伽話とはまた異なる作品世界を味わいたい。作品それ自体が持つおもしろさを堪能することも講座のねらいではあるが、加えて、それ以前の古典作品とは質的に変貌してきた中世文学のあり方や享受の問題について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前後期を通して、『御伽草子』の中の作品を出来るだけ多く講読する。

履修上の留意点

毎時間、その日の講義内容に対する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限に提出する意見文によって50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う（試験はテキスト・ノート・辞書・参考書等何でも持ち込み参照可）。なお、追再試験はレポート提出とするが、これについては1月の授業時間内に指示するので、必ず出席すること。

教科書

白田甚五郎・藤島秀隆・岡田啓助・成田守編『御伽草子』（おうふう）1,937円

参考書等

必要に応じて時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学講読	かん の かず お 菅 野 一 雄	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

現在の劇場で上演される「文楽」は、「浄瑠璃」演奏による人形芝居で、世界の人形劇の中でも独特なものである。この「浄瑠璃」とは、中世後期に発生し、近世に発展・盛行した芸能である。浄瑠璃詞章の作者として代表的なのが近松門左衛門である。近松はたくさん名作を残したが、『曾根崎心中』は元禄16年に初めて身の廻りの町人の生活から取材して書いた作品で、大当りをとったものである。醤油屋の手代徳兵衛と遊女お初が、愛し合っていないが心中に至ってしまう物語で、現在の「文楽」でも繰り返し上演される人気演目である。

この講義において、浄瑠璃とはどういうものか、近松はどのような作品を作ったか、『曾根崎心中』の二人の主人公やその周囲の人々に近松がどういう眼を向けていたか、何を観客に訴えようとしていたか、などを学習して考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

浄瑠璃の歴史、近松門左衛門の略歴などを説明し、『曾根崎心中』をくわしく読む。言葉の意味、引用されている先行作品、表現技巧などをこまかく吟味し、現在の「文楽」で上演する形態も適宜考察しながら読んで行く。

履修上の留意点

だいたい講義式で進める。時々全員での斉読を行う。毎時出欠をとる。学生の私語や無礼には厳しく対応する。

成績評価の方法

随時小テスト（テキスト・ノート携行）を行い、その結果と出欠状況などを総合して評価する。

教科書

祐田善雄校注『曾根崎心中・冥途の飛脚他五篇』（岩波文庫）

参考書等

講義の進展につれ、随時参考資料や観劇資料を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学講読	いしわりとある 石割透	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

1910年代から1920年代に発表された、わが国の代表的な小説を、多様な角度から読み、同時代の文学史、表現史の検討の一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール

扱う作品は芥川龍之介「奉数人の死」「秋」「歯車」、谷崎潤一郎「少年」「帮間」「痴人の愛」志賀直哉「十一月三日午後の事」「雨蛙」、内田百閒「冥途」「施順入城式」宇野浩二「蔵の中」など。また、それらの作品や時代に共通する課題をかかえた菊池寛、近松秋江、江戸川乱歩などの作品も自由にとり入れて、この時代の文学の問題を考えていく予定。

履修上の留意点

文庫本などで接することが難しい作品を扱う場合もあるが、そうした作品も、受講者は必ず授業でとりあげる作品を前もって読んで授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートなどでは、これまでの研究文献にもたれかかることのない、斬新な視覚によるものを期待したい。

教科書

『奉数人の死・煙草と悪魔』『大導寺信輔の半生・手中・湘南の扇』（以上、岩波文庫）、谷崎潤一郎『刺青・秘密』（新潮文庫）、『美食倶楽部－谷崎潤一郎大正作品集』（ちくま文庫）、志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』（新潮文庫）、内田百閒『冥途・施順入城式』（岩波文庫）

参考書等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学講読	あんどうこうすけ 安藤幸輔	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

「戦後文学」の代表的作家の作品を講読する。すなわち、
 ・太宰治『富嶽百景』『斜陽』『お伽草子』『ヴィヨンの妻』『駆け込み訴え』など。
 ・坂口安吾『風博士』『桜の森の満開の下』『青鬼の禪を洗う女』など。
 ・大岡昇平『俘虜記』『武蔵野夫人』など。
 ・三島由紀夫『金閣寺』『橋づくし』『近代能楽集』など。
 (上の各作家の作品は、掲げることのできなかつた作品も扱いたい。受講生が手にしやすい文庫本に収録されているものを選ぶようにするため、作品や順序に変更があるかもしれない。)

教科書

テキストは、そのつど指示する。

参考書等

参考文献は、そのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語演習Ⅰ 〔英語音声の基礎〕	Ashwell, Tim (アシュウエル, ティム)	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 福祉・心理・短国・短放	4

講義のねらい

It is hoped that by taking this course students will become proficient in aspects of the spoken language which may have been overlooked in their English language education to date, namely word and sentence stress, discourse stress and the equally important feature of reduction. By developing these aspects, it is hoped that students' listening comprehension will improve as well as their production of spoken English.

講義の内容・
授業スケジュール

Part of each lesson will be devoted to exercises from the textbook, 'Clear Speech', but time will also be set aside for working on the skills necessary to give an effective oral presentation in English. Facilities permitting, it is also hoped that students will engage in shadow speaking exercises, recording their own voices on tape alongside a model. Emphasis will, in any case, be laid upon the recordings students make for homework.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absence are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on: 1). effort shown in class: 2). homework: 3) presentations: 4). attendance.

教科書

Clear Speech by Judy Gilbert (Cambridge University Press)

その他

Students should buy a 90 minute cassette.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 計 測 学 (前 期)	かし 檀 尾 英 次	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉 心理・経済・商・経営	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
 - CR (Computed Radiography)
 - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

3 日本語・日本事情科目

3 日本語・日本事情科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I (佐野典子)	263
日 本 語	I (多田羅哲子)	263
日 本 語	II (佐野典子)	264
日 本 語	II (多田羅哲子)	264
日 本 語	III (多田羅哲子)	265
日 本 語	III (湯村礼子)	265
日 本 語	IV (石川守)	266
日 本 語	IV (湯村礼子)	266
日 本 語	V (石川守)	267
日 本 語	V (多田羅哲子)	267
日 本 語	VI (石川守)	268
日 本 語	VI (多田羅哲子)	268

《日本事情科目》

日本事情 I〔地理〕	(後期) (小池一之)	269
日本事情 II〔自然〕	(前期) (清水善和)	269
日本事情 III〔歴史〕	(後期) (宮本由紀子)	270
日本事情 IV〔思想〕	(前期) (赤羽由規子)	270
日本事情 V〔社会〕	(後期) (江上涉)	271
日本事情 VI〔政治・法律〕	(前期) (関口雅夫)	271
日本事情 VII〔文学〕	(前期) (奥原淳子)	272
日本事情 VIII〔文化・芸術〕	(後期) (赤羽由規子)	272
日本事情 IX〔経済〕	(前期) (瀬戸岡紘)	273
日本事情 X〔経営〕	(前期) (前田和利)	274

《日本語科目》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	さ 野 のり 典 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

聴解を中心に、高度な日本語能力を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は時事問題のビデオを教材とする。

成績評価の方法

小試験、提出物、研究発表、出席率などにより、総合的に評価する。

教 科 書

教材は、担当者が準備する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	た た ら あき こ 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。

漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- 語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- 助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、小説、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	さ の のり こ 佐 野 典 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

読解を中心に、日本語及び日本文化への総合的理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

小説、小論文、雑誌記事、新聞記事などの読解を、ゼミ形式で行う。

成績評価の方法

小試験、提出物、討論への参加度、出席率などにより、総合的に評価する。

教 科 書

教材は、担当者が準備する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を養う。

- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- あわせて書く練習もする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	ゆ むら れい こ 湯 村 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。
後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	いし ^{かわ} 石 川 ^{まもる} 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。
履修上の留意点	授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。
成績評価の方法	成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。
教 科 書	教材は、授業中にプリントを配布する。
参 考 書 等	特になし
そ の 他	授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	ゆ ^{むら} 湯 村 ^{れい} 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。
履修上の留意点	講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	作文・レポートなど（5回程度） 授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）
教 科 書	授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考えながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 V	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中上級の文法・表現練習及び作文演習。主としてレポート・論文等を正しく適切な表現を用いてわかり易く書くための基本的練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

- 留学生の文章によく見られる問題箇所（たとえば「は」と「が」の使い分け、その他の助詞、自他動詞、接続表現、文末表現など）について正しく書けるよう練習する。
- より適切な表現が選べるよう中上級の文法・表現の復習をする。
- 話し言葉と書き言葉の使い分け、事実と意見の述べ方、表・グラフを使う表現等レポートを書くときに役立つ基礎的な練習をする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「会話文型」を中心に、より高度な日本語の日常会話の表現について分析する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は ICJ (intermediate) の会話部分を用い、そこに出現する会話文型、会話特有の文型、アクセント等について分析をしながら進める。

履修上の留意点

講義は教師が一方的に講義するというのではなく、常に学生に質問をしながら進めるため、自分の意見をはっきりもってもらいたい。また、本講義は、日常会話の文型や文法的要素を分析するもので、実際の会話をしたり、会話練習をするものではない。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを押さえながら、本・新聞・雑誌等の生教材を読む。
- 関連したビデオを見て、それらが実際にどう使われているかを知る。
- テーマについて話し合ったり書いたりすることで日本語を豊かにする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布、ビデオを使用。

《日本事情科目》

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(後期)	こいけかずゆき 池 一 之	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、日本人が変化に富んだ日本列島とどのように付き合ってきたか考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

半年の講義の中で、重点的に触れるのは次のような点である。

- a. 稲作技術の伝来と平野の開発
- b. 江戸－東京の発展－その自然的な背景－
- c. 治山・治水事業－自然災害との闘い
- d. 「白砂青松」－代表的な日本の海岸成立の背景－

履修上の留意点

出来るだけ明瞭な日本語で講義するよう心掛けるが、学術的な用語が解りにくい場合、遠慮せずに質問すること。

成績評価の方法

平常の出席状況と課題レポートによる。

教科書

特定の教科書はないが、授業中に紹介する。

その他

出来るだけプリント類を配布し、スライド、ビデオなどを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	しみずよしかず 清 水 善 和	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候・地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

成績評価の方法

レポート(2、3回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。参考書は適宜紹介する。

その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。適宜スライドによる事例紹介を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

なし

そ の 他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あか ば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

そ の 他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情 V 〔 社 会 〕 (後期)	江 上 渉 <small>え がみ わたる</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、現代日本の社会の特質を素描する。
戦後における日本は、高度成長をとげ社会の構造的変動を経て、著しい変化をしてきた。その変動の過程でさまざまな社会問題が発生し、人びとの社会生活、社会意識等も大きく変容してきた。そうした日本社会の諸相について、社会学的なアプローチから概観する。

講義の内容・
授業スケジュール

ほぼ次のようなテーマを扱う予定である。
1. 日本社会の構造的変化
2. 大衆社会化の進展とマスコミ
3. 情報化社会の進展と社会生活

履修上の留意点

この講義は、社会学的な考察を行うので、社会学の基礎を学んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

受講生の数にもよるが、レポートと試験を行い、場合によっては出席を加味して評価する。

教科書・
参考書

教科書、参考書は特に指定しないが、講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情 VI 〔 政治・法律 〕 (前期)	関 口 雅 夫 <small>せき ぐち まさ お</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本事情VI〔政治・法律〕は、新聞にでてくる政治と法律についての記事を利用して、受講生の日本語を読む力、日本語を正確に話す力、日本語でよい答案を書く力を高めることを目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

まず先生が新聞の記事を読みます。つぎに受講生におなじ記事を読んでもらいます。それから、記事の内容を検討し、全員が理解できるようにします。その後、この記事に関連して話し合いをし、おわりに、この記事の内容を正確な日本語で表現できるようにします。

履修上の留意点

かならず出席してください。

成績評価の方法

平常点により評価します。

教科書

最初の授業の日に受講生の日本語の能力を見て、教材を作成します。コピー代は、150円ぐらいです。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 VII 〔 文 学 〕 (前 期)	おく はら じゅん こ 奥 原 淳 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

目標は、問題発見能力の涵養と、文学・言語に対する理解を深めることにあります。
具体的には、各自がテーマを選定し調査研究して発表する、という方式で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきましょう。
テーマは、文学作品、作家、また、日本語の言語項目を対象とします。なお、文学作品の中では、日本語の作品とその翻訳版との比較なども興味深いだろうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第一回の授業には、予め、関心のある文学作品や作家、言語項目を持って出席できるといいと思います。
各自で調査研究を進め、順次教室で発表、検討していきます。

履修上の留意点

授業には、受身でなく、積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席状況／研究発表

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 VIII 〔 文化・芸術 〕 (後 期)	あか ぼ ゆ き こ 赤 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。
また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を日差している。そのような過程をも合わせて見ていきたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IX 〔 経 済 〕 (前 期)	瀬 戸 岡 <small>せと おか</small> ひろし 紘	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。わかっているようで、わからないことを、なるべくていねいに話します。たとえば、明治時代以来の工業化は、アジア諸国のなかでなぜ日本が先んじて成功したのか？ 日本的経営が今あちこちで問題にされていますが、どのようにしてそれが日本に根をおろしていったのか？ 就業人口に占める農業人口の割合は、日本とオーストラリアとイギリスとアメリカでは、どこが一番高いか？ そして農業生産高はどうか？そして時には余談もします。たとえば、この国本当の名前ってニホンなの？ ニッポンなの？それともジャパンでもいいの？など、みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話すことがねらいです。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

- 日本の工業地帯と工業
- 日本の農村と農業および日本の水産業
- 日本のサービス業および金融
- 明治維新以前の日本経済の歴史
- 第2次世界大戦以降の日本経済の展開
- 日本経済とアメリカ経済
- 日本経済とアジア経済
- 日本経済と政府の役割
- 日本の労働者・サラリーマンの生活
- 日本経済と社会や文化の変化
- その他

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト(クイズ)30%、宿題30%が目安です。

教 科 書

日本経済について書かれた本はあまりにたくさんあるので、特定の本を指定することはいたしません。しかし、授業のなかでその都度適切な本を紹介しします。日々のニュースをよく聞いてください。この講義では、日ごろあなたが目にするものそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。とくに、よい本をもとめたい人は、私に相談してください。いくらでも紹介します。

そ の 他

授業は、おおむね日本語ですすすめます。しかし、その日の要点は、英語でも話します。質問は、日本語でも英語でもどちらでも受けつけます。授業のなかで、みなさんが積極的に発言することを期待しています。はじめのうち、どうしても日本語がうまくつかえなければ、英語で発言してもかまいません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 X 〔経営〕(前期)	まえ だ かず とし 前 田 和 利	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本的経営とよばれるものが歴史的にどのように形成されてきたかを、企業の具体的経営行動のケースをとおして明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

1. コーポレート・ガバナンス、2. 雇用システム、3. 生産・流通システム、4. 政府と企業の関係というテーマにそってケースをとりあげていく。

履修上の留意点

講義形式はとらない。あらかじめ担当者を決めておき、その報告にもとづいてディスカッションしながら日本の企業経営についての理解を深めることとする。自主的受講態度が望まれる。

成績評価の方法

平常点と筆記試験によって評価する。

教科書

伊丹敬之・加護野忠男・宮本又郎、米倉誠一郎編『日本的経営の生成と発展』(有斐閣) 1998年。

4 教職・資格講座

(国文科・英文科)

(1) 教 職 課 程

(2) 学校図書館司書教諭講座

4 教職・資格講座

〔注意〕頁（ ）は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

(1) 教職課程

《教職に関する専門科目（必修）》

教育原理（豊田千代子）	279
教育原理（北村三子）	279
教育心理学〔教育方法論を含む〕（遠藤司）	280
青年心理学〔教育方法論を含む〕（小宮山要）	280
国語科教育法（小林治）	281
英語科教育法（梅原敏弘）	282
特別活導（山田忠行）	282
生活指導（佐藤尚人）	283
道徳教育の研究（坂本信昭）	284
教育実習（坂本信昭）	284
教育実習（村山輝吉）	285

《教職に関する専門科目（選択）》

教育関係法規（広沢明）	286
学校経営と学校図書館（山田節子）	(287)
読書と豊かな人間性（山田節子）	(287)
学校図書館メディアの構成（源昌久）	(287)
情報メディアの活用（源昌久）	(287)
学習指導と学校図書館（山田節子）	(287)

(2) 学校図書館司書教諭講座

学校経営と学校図書館（山田節子）	291
読書と豊かな人間性（山田節子）	291
学校図書館メディアの構成（源昌久）	292
情報メディアの活用（源昌久）	292
学習指導と学校図書館（山田節子）	293

《教職に関する科目（必修）》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 原 理	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	教 職 1 必 (短 国)	4

講義のねらい

自分自身の成長過程で経験した教育をふり返ることをとおして、教育について考えていきたい。取り上げるテーマとしては、次のものを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・現代の教育問題
- ・「子どもの権利条約」
- ・人権教育
- ・生涯教育論
- ・教師論
- ・国際理解教育
- ・教育改革の方向性

成績評価の方法

出席点、レポート等によって、成績評価を行なう。

教 科 書

特になし。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

篠田弘編『資料でみる教育学』（福村出版）
大学教育実践研究会編『教育を考える』（相川書房）

そ の 他

自分たちで考えていくことを大切にしたいので、授業は、グループでの話しあいを中心に進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 原 理	きた むら みつ こ 北 村 三 子	教 職 1 必 (短 英)	4

講義のねらい

いじめや暴力をはじめとして教育現場には解決しにくい問題が山積している。それらは単に学校だけの問題ではなく、近代社会の歪みと深く関わっている。今日の社会や文化が私たちにどのような影響を与えているかに気付き、それとの関係で教育問題を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は三つの要素から組み立てられる。①実際の教育問題について知る。②文献を通じて近代社会の諸問題を考える。③ ①・②を結びつけ、今日の教育問題を乗り越える方向を探る。

成績評価の方法

平常点。

教 科 書

若田恭二『終末の予感 われわれの時代の診断書』（せりか書房）1997年 2,200円
J.クリシュナムルティ『英知の教育』（春秋社）1998年 1,400円
矢山俊彦『気そだて教育』（太郎次郎社）1998年 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理学 (教育方法論を含む)	えん 遠 藤 つかさ 司	教職1必 (短国・短英)	4

講義のねらい

現在の教育に関する諸問題を考えるとき、心理学の様々な知見が影響力を持ち得ていることに気づかざるをえない。その様子を概観し、将来、教職に就こうとしている人間として、教育心理学的なものの方とはどのようなものであるのか考えることを通して、自分なりに見方を確立することをテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

教育心理学の中での主要なテーマを概観することが講義の主となる。中でも、「自己」の問題をテーマとして取り上げ、教育心理学の中で、「自己の成り立ち」、「自己と他者」等の問題がどのように考えられてきたか見ながら、具体的な現象から考えていくこととしたい。また、「学習」の問題にも注目し、教育心理学の中で「学ぶ」ことをどのように考えてきたか、それに伴って「教える」ことをどのように考えてきたかを見直し、「評価」の問題、「教師-生徒関係のあり方」等の問題にも触れながら、現在の学校において「学ぶ」ということを改めて問いなおしていきたい。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

年度末試験を予定している。

参考書等

授業中に随時紹介する。特定の教科書は用いない。

その他

講義が中心になることは否めないが、ビデオ等を用い、できるだけ実際の場面などを見ながら、実践に即して様々な問題について考える機会を作りたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
青年心理学 (教育方法論を含む)	こ み やま かなめ 小宮山 要	教職1必 (短国・短英)	4

講義のねらい

青年期にある学生自身にとって、青年期をどう生きるかについて考えると同時に、青年期にある中・高校生を正しく理解してよき教育を実践できる能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 青年期は人間関係の拡大と深化の時期であり、その良否は精神的健康にも影響する。そこで、好ましい人間関係の形成に必要な理論や、ルール及びスキル等について幅広く学習する。
- 2) いじめ、登校拒否、非行、スチューデント・アパシー等の青年期に見られる病理現象について、その発生のメカニズムと対応について学習する。
- 3) 青年期の中心的テーマである恋愛と結婚について学習する。

履修上の留意点

予定された内容を終わらせるためには、講義はかなりのスピードで行われるので、自分で積極的にノートをとる週刊を身につけて欲しい。

成績評価の方法

通常の授業の中で行う小テストとレポート及び授業に対する態度等を総合して評価する。

教科書

小宮山 要著『間違いだらけのいじめ指導』(明治図書)

参考書等

授業で適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 科 教 育 法	こ ばやし 林 治	教 職 1 必 (短 国)	4

講義のねらい

本講座の受講生は、その大半が一年後には教育実習生として、教室で生徒を前に授業という形で国語の教科指導を行なうことになる。あるいは、将来、教師として教壇に立つこともあるだろう。そのような時に、国語という科目をどのように教えることができるか、その方法と実際に学ぶための講座である。

国語という科目は大きく分けて、理解と表現という二領域があると考えられる。理解とは、論説文、文学作品などの読解、鑑賞であり、表現とは、文章表現（書く）、口頭表現（話す・聞く）に関わることである。そして、この二領域を横断する要素として、考えること（思考）がある。これらの領域、要素にまたがって、様々な教材を使って生徒の総合的な国語力修得をはかることが、教科指導の目的である。しかし、教育現場において生徒一人一人は、その能力、適性、学習の進度に大きな差があり、一律には指導できない。その多様さに応じた学習指導上の工夫も必須であると言えよう。よって、本講座では従来の一斉授業の枠の中でその長所を把握し、そこにおける効率的学習のあり方を考えることを経て、個人差に応じた学習指導の工夫を試みる授業形態を考えていくことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現行学習指導要領の解説および2002年実施の新学習指導要領について。
2. 国語科教育の基本的な知識と方法。
3. 中学校教科書を用いた授業展開例の紹介と、その問題点の把握。
4. 実際に教育現場で行なわれている新しい指導法の紹介。
5. 指導案の作成。
6. 中学校教科書を用いての受講者一人一人の模擬授業。

履修上の留意点

受講生が教育現場で教壇に立った時に遭遇する様々な困難を想定し、それに対処できるような実践力の養成を行ないたいので、漠然とした教師への憧れや、安易な資格取得目的による受講がないよう希望する。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容（教科指導案を含む）、模擬授業の内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

『改編 中学校・高等学校 国語科教育法』（おうふう）1,800円
中学校教科書『現代の国語1』（三省堂）690円（五月以降に購入可能）

参考書等

その都度指示する。なお、適宜、プリントを配布する。

その他

ビデオ等を使って各校の授業展開例を紹介する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 科 教 育 法	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	教 職 1 必 (短 英)	4

講義のねらい

基本的な教授法及び外国語習得理論の概略と、教育実習をするために必要な具体的な知識を学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

現代の英語教師に求められている資質、能力、知識とは何かという基本的な問題をまず検討し、英語教師になるために何が必要なかを受講者自身によく考えてもらったうえで講義に入っていく。前期では外国語教育にまつわる諸問題を、現代に至るまでの教授法及び主要外国語習得理論を中心に講義をする。後期は、実際に授業風景を録画したビデオテープを見ながら、具体的な指導技術の知識を深め、学生一人一人にやってもらう模擬授業を通して、指導技術を習得してもらう。

履修上の留意点

英語教師になるのであるから英語そのものの力がないといけない。常に自分の英語力を高める努力を怠らないでほしい。

成績評価の方法

レポート (50-60%) 及びその他の要素 (40-50%)、例えば出席・授業への貢献度 (質問、意見の発表等) ・模擬授業の出来映え、などを総合的に勘案して決める。

教 科 書

教科書は特には指定しない。

参 考 書 等

塩澤他『新英語科教育の展開』(英潮社)
ビデオテープ：英語教育研究シリーズ ジャパンライム

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 (前 期)	やま だ ただ ゆき 山 田 忠 行	教 職 1 ・ 2 必 (短 国 ・ 短 英)	2

講義のねらい

「特別活動」は小・中・高校の教育課程の一領域であり、集団活動を通じた教育活動により、集団の一員としての自覚を深め、児童生徒の個性の伸長と調和のとれた豊かな人間性を育成するとともに、学級(ホームルーム)や学校生活の基盤に形成に重要な役割を果たしているものである。この「特別活動」の教育的意義や目標、内容、及び方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。特に、理論的な研究面では、特別活動の指導理念や方法原理について、生徒指導のそれとの関連を図った研究を行う。また、実践的な面では、特別活動の内容や活動内容の取り扱い方、指導計画の作成、及び指導方法などについての具体的な研究を行い、教師としての指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

①学校教育と教育課程 ②生きる力を育むことを目指す教育改革と特別活動 ③特別活動の教育的意義と目標の特質 ④特別活動の特質と内容の取り扱い方 ⑤特別活動の指導計画の作成と指導の工夫 ⑥特別活動の指導の実際 ⑦特別活動と生徒指導 ⑧特別活動と学校・学年・学級経営 ⑨特別活動の指導体制とその改善 ⑩特別活動の研究組織と活動の充実 ⑪特別活動の評価 ⑫特別活動の今後の課題

履修上の留意点

文献による理論的な研究を深めるとともに、特別活動の具体的な実践にかかわる指導計画の作成や指導内容、指導方法等についての研究を深め、教師としての識見を高め、実践力、指導力を身につけることが大切である。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し評価する。

教 科 書

- ① 文部省『中学校指導書特別活動編』(ぎょうせい) 80円
『中学校解説書特別活動編』新学習指導要領告示後発刊予定
- ② 高橋哲夫・原口盛次・井上裕吉編『特別活動研究』(教育出版) 1,900円

参 考 書 等

宇留田敬一著『特別活動論』(第一法規) 1,800円、他

そ の 他

講義及び年間指導計画、指導案等の作成

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 活 指 導 (前 期) (後 期)	さ とう なお と 佐 藤 尚 人	教職1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校教育において、教科の学習や集団生活への参加が、一人ひとりの児童生徒でスムーズにいくよう指導することを教師は求められる。しかしながら、子どもは決して等質・均一の存在ではない。画一化された教師の指導方法や対応では日々起こりうる種々の問題の解決がうまくいかない、あるいはむしろ問題を引き起こしてしまうことすらあるであろう。

本授業では、昨今教育問題として取り上げられる機会の多い「いじめ」「不登校」「非行」などについて、そのような問題行動を示す子どものこころのありようの理解や対応の仕方、さらには問題行動を未然に防ぐための教師としての心構えなどを考えてゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1X はじめに 学校教育の歴史と目的 教師のなすべきこと
- 2X 子どもの理解 問題行動について医学的・工学的な理解と教育的な理解
- 3X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その1)
- 4X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その2)
- 5X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その3)
- 6X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その4)
- 7X さまざまな問題行動とその理解 「いじめ」
- 8X さまざまな問題行動とその理解 「不登校」
- 9X さまざまな問題行動とその理解 「非行」
- 10X こころの病・不応 「神経症」「精神病」
- 11X 問題行動への対応の方法 「学習理論にもとづくもの」
- 12X 問題行動への対応の方法 「心理療法にもとづくもの」
- 13X まとめ 生活指導において大切なこと

履修上の留意点

原則として出席はとらないが単位を取得することを希望する学生は毎回出席すること。さらに、授業中に質問や意見などを積極的に表明することが望ましい。

参加学生に対してはすべて公平に扱う (さまざまな事情があっても特別扱いはしない)。

成績評価の方法

原則として定期の筆記試験 (ノート等の持ち込みは一切不可) の結果により成績を評価する。ただし、授業中の発言 (質問・意見) や宿題等の課題の提出を試験の成績にプラスして評価する。

教 科 書

特に使用しない。講義ノートをもとに授業を進めてゆく。

参 考 書 等

大貫・佐々木編著『心の健康と適応』(福村出版) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
道徳教育の研究 (前期)(後期)	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職2必 (短国・短英)	2

講義のねらい	道徳教育の問題は、古くて新しい問題である。「徳は教えるか」とは、ソクラテスのとり組んだ難問であったが、これは今日でもやはり難問である。これからの道徳はいかなるものであり、どんな方法で教えるべきかということは、いぜんとして新しい課題である。 本講義では、明治「学制」以降、今日にいたる道徳教育の史的変遷にそって検討し、殊に学校における道徳教育の成立過程と事情について探究する。
講義の内容・授業スケジュール	講義を中心とするが、道徳の時間における指導案(中学校)についても、具体的な検討をする。
履修上の留意点	出欠は厳密にとる。
成績評価の方法	主として定期試験をもとに評価します。
教科書	教師養成研究会編『道徳教育の研究』(学芸図書)950円
その他	必要な資料を適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職2必 (短国)	3

講義のねらい	教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくするというよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。
講義の内容・授業スケジュール	教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。 教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。 教育実習後には、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か——どうあるべきか——について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。
履修上の留意点	授業の出欠は厳密にとる。
成績評価の方法	①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント(感想)、④年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。なお、①～④について重視する度合は、全て同グレードに考えている。
教科書	栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社)1,500円
参考書等	寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』(学文社)1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 実 習	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教 職 2 必 (短 英)	3

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとり組み、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項を取りあげる。

- 教育実習の意義と心がまえ
- 学習指導について
- 生徒指導について
- 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教 科 書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

《教職に関する科目（選択）》

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育関係法規	ひろ 沢 あきら 明	教職1選 (短国・短英)	4

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 校則(1) — 丸刈訴訟
2. 校則(2) — バイク裁判
3. 校則(3) — 生徒会
4. 懲戒(1) — 退学・停学
5. 懲戒(2) — 体罰・精神罰
6. 教育情報(1) — 家庭環境調査書
7. 教育情報(2) — 申書・指導要録
8. 教育と宗教(1) — 日曜日訴訟
9. 教育と宗教(2) — エホバの証人事件
10. 日の丸・君が代
11. 教科書裁判(1) — 検定の事実
12. 教科書裁判(2) — 法律上の争点
13. 戦後教育政策の変遷
14. 教育と平等(1) — 民族教育
15. 教育と平等(2) — 性差別
16. 教育と平等(3) — 障害児
17. 義務教育（登校拒否を含む）
18. いじめ

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教科書

使用しない。

参考書等

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こと 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.291) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こと 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.291) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.292) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.292) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こと 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.293) 参照

(2) 学校図書館司書教諭講座

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

成績評価の方法

小論文とテストによる

参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

そ の 他

講義・討論・ビデオ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子ども読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

成績評価の方法

小論文とテストによる

参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前 期)	みなもと 源 しょう 昌 きゅう 久	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい	本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教 科 書	『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円 『日本目録規則 1987年版 改定版』(日本図書館協会)3,500円
参 考 書 等	講義中に指示する。
そ の 他	必要に応じて、ビデオを活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報メディアの活用 (後 期)	みなもと 源 しょう 昌 きゅう 久	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい	学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教 科 書	情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』(日外アソシエーツ) 2,200円
参 考 書 等	講義中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学校図書館は児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。
この科目は、その原理と方法を学と共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習過程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

成績評価の方法

小論文とテストによる

参 考 書 等

- 全国 SLA 編『これからの学校図書館と司書教諭の役割：改正学校図書館法マニュアル』
- 井沢純著 全国 SLA 刊行『図書館学大系 7 読書教育言論』

そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習

Ⅱ 專 攻 科

(放射線技術科学専攻)

阿 第 事 二

(亞 第 年 第 二 卷 第 九 號)

専攻科（放射線技術科学専攻）

応用医療生物学（北 沢 日出男）	299
放射線の生物影響（北 沢 日出男）	299
放射線生物学研究（休 講）	
放射線生物学特別実験（休 講）	
疾病と画像（古 屋 儀 郎）	300
放射線治療効果（古 屋 儀 郎）	300
画像医学研究（古 屋 儀 郎・清水 忠良・氏家 盛通・西尾 誠示）	301
画像医学特別実験（古 屋 儀 郎）	301
線量計測工学（小 山 正 希）	302
放射線検出器工学（小 山 正 希）	302
放射線計測工学研究（小 山 正 希・青木 清・杉田 徹・佐藤 昌憲）	303
放射線計測工学特別実験（小 山 正 希）	303
放射線感光化学（山 本 裕 右）	304
放射線化学特論（山 本 裕 右）	304
応用放射線化学研究（山本 裕右・田島 隆・原田 和正）	305
応用放射線化学特別実験（山 本 裕 右）	305
放射線リスク評価学（一 守 俊 寛）	306
最新放射線治療技術（高 山 誠）	306
診療機器工学研究（中北 倫男・檀尾 英次）	307
診療機器工学特別実験（中 北 倫 男）	307
診療機器システム基礎工学（中 北 倫 男）	308
診療機器材料・デバイス工学（中 北 倫 男）	308

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用医療生物工学 (後期)	きた ざわ ひで お 北 沢 日出 男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

レーザー光という特殊な電磁波が、多くの病気の治療や診断を助ける有用な道具になり得ることが認識され、その応用分野が拡大しつつある。講義では、まずレーザー光の特徴および自然放出光との相違を把握させる。次に、レーザー光を得るための光の増幅および発振をどのようにして行なうか理解させる。最後に、生体細胞のホログラフィーの道具として、現在世界的に注目されている軟X線レーザーの開発の現状を述べる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) レーザー光の特徴
- (2) 光のコヒーレンス
- (3) レーザー光の性質
- (4) 光の放出と吸収
- (5) 光の増幅と発振
- (6) レーザーの出力特性
- (7) 実際のレーザー装置
- (8) 軟X線レーザーの開発

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線の生物影響 (前期)	きた ざわ ひで お 北 沢 日出 男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

レーザー光である電磁波の生体中における伝播および生体物質によるレーザー光のエネルギー吸収を通じて、レーザー光と生体の相互作用を理解させる。さらに、レーザー光の医療技術への応用とその将来の展望を述べる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) レーザー光の生体中における伝播
- (2) 生体物質によるレーザー光の吸収
- (3) レーザー光による生体の局所加熱から生じる微視的現象
- (4) レーザー光の医療技術への応用
 - (4.1) 病気の治療への応用
 - (4.2) 病気の診断への応用
 - (4.3) 生体のホログラフィ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
疾病と画像 (前期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

諸臓器の主な疾患の理解と、それぞれの画像所見の特徴を検討する。また対応する各種撮影法の利点、限界を知り、適切な検査体系の構成を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 胸部レントゲンサイン
- ② 腹部単純撮影
- ③ 尿路系
- ④ 食道・胃
- ⑤ 十二指腸
- ⑥ 大腸、胆のう
- ⑦ 骨
- ⑧ 心・大血管
- ⑨ 救急放射線
- ⑩ 小児放射線
- ⑪ Interventional Radiology

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線治療効果 (後期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

諸臓器の悪性腫瘍のTMN分類、stage分類に関して、治療前の各種撮像法、特にCT、MRI、超音波断層法について有用性と限界を学ぶと同時に治療結果及び経過観察における画像診断の意義について検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

主として脳、頭頸部、肺、腹部臓器、骨盤腔内臓器等全般に亘ると共に肺癌、乳癌、肝癌をとり上げる。また最近とくに画質の向上がみられる3Dについても現状を理解する。
尚、放射線治療に必要な生物学、病理学について基本的な事項について学習する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像医学研究	古屋 儀郎・清水 忠良 氏家 盛通・西尾 誠示	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

主として下記の学術専門誌から関連する論文を取り上げ、各種撮像法の基礎的研究と、臨床における有用性と限界などについて研究する。

- ・ Radiology
- ・ American Journal of Roentgenology
- ・ Acta Radiologica
- ・ Radiation Medicine

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像医学特別実験 (前期)	古屋 儀郎	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

各種エックス線撮影法、CT、MRI、シンチグラフィ等、撮影法、撮影条件の差による画像評価について検討する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
線量計測工学 (前期)	小山正希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

照射線量、吸収線量、等価線量を決めるための測定ではまず各線量概念を明確にすることが必要である。次にこれらの線量概念を実測するための測定装置について、現時点での対応とその問題点について明らかにしこれら問題点を解決するための方針について考える。国際勧告で提示される線量概念とその同定法に関する指針に準拠し、かつ在来の測定法に必ずしもとらわれずに計測系を構成することを考えてゆく。又、同一条件下で異なる検出系、例えば電離箱型と半導体検出器との測定結果を比較することで測定対象をより明らかにするなどの手法を考えてみる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線検出器工学 (後期)	小山正希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

主として比較的新しい形式の検出器の内容を紹介し、計測系全体を見渡して特定のものを選択する場合の参考となるようにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測工学研究	小山正希・青木清 杉田徹・佐藤昌憲	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

- ・ Radiation Research
- ・ Physics in Medicine & Biology
- ・ Medical Physics
- ・ Nuclear Instruments and Methods
- ・ British Journal of Radiology

等の関連外国雑誌から主として医療に係わる、或は関連のある論文を主題にして放射線計測についての新しい知見と在来技術との関係などについて議論する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測工学特別実験 (前期)	小山正希	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

半導体放射線検出器による制動 X 線のエネルギー分布測定など、放射線線束、被放射場の特性及び線量計測システムに関する実験を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線感光化学 (後期)	やまもと ゆう すけ 山本 裕 右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線化学特論 (前期)	やまもと ゆう すけ 山本 裕 右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかにして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーをいかにして開放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、輝尽発光、エキソ電子放出現象についても言及する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用放射線化学研究	山本 裕右・田島 隆 原田 和正	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

Journal of Luminescence, Journal of Physics, Physica status solidi, Journal of Applied Physics などの洋雑誌および専門書から、固体線量計、特に TLD および輝尽発光体に関する最近の代表的な研究論文、総説などを講読し、この分野における最新の研究状況に触れると共に、種々の研究法の詳細、および得られたデータの解釈についての理解を深める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用放射線化学特別実験 (前期)	山本 裕右	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

熱ルミネセンス発光体 (TLD)、輝尽発光体 (FCR プレート) および増感紙の基本原理、基本特性および使用上の注意点等を理解するための実験を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線リスク評価学 (後 期)	いち かり とし ひろ 一 守 俊 寛	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

人の感覚器官である目、耳、鼻、舌、皮膚は生物組織で構成された代表的なセンサであるといえる。センサを必要とする分野は産業界にかぎらず広範囲にわたっており今後益々重要度を増してくると考えられる。本講義では各種センサ素子の物理機構・特性に焦点をあて、それを利用したセンシング技術について理解を深めることを主目的としている。特に、対象に対する理解から新しい発想への発展を大切に「考える」を実行すべく一部ゼミ形式をとり入れる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 観測とは (感覚する・測定する)
- 2) センサの分類・物理・基礎特性
- 3) 半導体センサ
- 4) 磁気センサ
- 5) 光ファイバセンサ
- 6) 超音波・マイクロ波センサ
- 7) 温度センサ
- 8) 化学センサとバイオセンサ
- 9) 歪みゲージ
- 10) クォーツで測る
- 12) 光でものを測る
- 13) 長さを、流れを、温度を、磁気を測る
- 14) 直接測定とリモートセンシング
- 15) センサの未来像

成績評価の方法

課題レポートで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
最新放射線治療技術 (前 期)	たか やま まこと 高 山 誠	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

医療技術の進展の中で、特に放射線治療の技術的な動向を重点として取り上げる。例えば、ガンマ・ナイフやリニアックによるラジオサージャリーなどの脳定位放射線治療の開発と現況、応用に関する技術的問題点、極小線束に対する線量評価法の現状など、その方向と展開に注目する。診療放射線技師の教育課程ではきわめて不十分であるこの分野について、その最新技術を医療全体の流れとの係わりを含め、国内および国際的な視野から講ずる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療機器工学研究	なかきたつねお かしおえいじ 中北倫男・榎尾英次	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

下記のような内外の学会誌、専門誌、技術誌所蔵の論文、記事を講読し、診断、治療機器の現状と課題について展望をもつ。

- ・ American Journal of Roentgenology
- ・ Radiology
- ・ British Journal of Radiology
- ・ INNERVISION
- ・ 新医療
- ・ 医用機器メーカー技術誌

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療機器工学特別実験 (前期)	なかきたつねお 中北倫男	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

診療機器・システムの基本回路を中心に、ハードまたはソフトによる模擬実験を行い、基本的特性について理解を深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療機器システム基礎工学 (後 期)	なか きた つね お 中 北 倫 男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器・システムの計画、運用、評価、各種診療機器に関わる基礎現象について解説し、診療機器への理解を深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療機器材料・デバイス工学 (前 期)	なか きた つね お 中 北 倫 男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器に関わる主要材料、デバイスの物性と諸特性について論じ、診療機器に関する理解を深める。

Ⅲ 仏教科 (一夜間開講)

仏教科 (一夜間 開講)	専門教育科目
	他学部履修科目
	仏教学部開設科目

1999 (平成11) 年度 学年暦

■は全学休業日
(事務も取扱いません)

日	月	火	水	木	金	土
4月 (平成11年)						
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
5月						
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
6月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
7月						
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
8月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
9月						
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

6日・7日 在校生成績発表・在籍確認入学式
8日 新入生オリエンテーション
9日～12日 前期授業開始
13日～19日 在校生成績質疑応答
19日・20日 履修届受付
30日 特別研修日 (全学休業)

1日 特別研修日 (全学休業)

10日～14日 履修訂正期間

13日～19日 前期終了科目定期試験 ※授業平常どおり
19日 前期授業最終日
21日 夏季休業開始 (～9月15日)
22日 前期終了科目定期試験欠試届 (追試験申込) 受付締切
26日～28日 全学休業

7日～18日 全学休業

30日 前期補講期間 (～9月3日)

6日～10日 生涯スポーツ演習 (シーズン前期)
16日 後期授業開始
16日・17日 前期終了科目定期試験成績発表
成績質疑応答及び再試験申込受付
16日～24日 編入学試験願書受付
20日～22日 転部・転科試験願書受付 (第2部から第1部へ、第2部内)
27日 前期終了科目追・再試験 (～10月2日)
※授業平常どおり

日	月	火	水	木	金	土
10月 (平成11年)						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
11月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
12月						
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
1月 (平成12年)						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
2月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29				
3月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11日 編入学試験、転部・転科試験
15日 第117回開校記念日 (全学休業)

18日・19日 教職課程受講登録ガイダンス (大学1年次生)

20日 冬季休業開始 (～12年1月10日)
20日・21日 後期補講日

11日 後期授業再開
17日 後期授業最終日
18日～24日 定期試験 (専門・教職科目)
25日～31日 定期試験 (全学共通科目)

3日 定期試験欠試届 (追試験申込) 受付締切
16日・17日 成績発表および再試験申込受付・成績質疑応答 (大学4年次生・短大生)
21日～26日 追・再試験
21日～25日 生涯スポーツ演習 (シーズン後期)

17日 卒業生名簿発表
25日 卒業式
27日～31日 春季休業

1 專門教育科目

仏 教 科

1 専門教育科目

基礎 仏教学	(石井公成)	315
坐禅	(角田泰隆・志部憲一)	315
宗学 研究	(角田泰隆)	316
禅学 研究	(奥野光賢)	316
仏典 研究 I	(木村誠司)	317
仏典 研究 II	(石井公成)	317
仏典 研究 III	(袴谷憲昭)	318
仏教 語解説	(池田道浩)	318
中国 禅宗史	(須山長治)	319
日本 禅宗史	(角田泰隆)	319
インド 仏教史	(池田道浩)	320
中国 仏教史	(奥野光賢)	320
日本 仏教史	(袴谷憲昭)	321
禅籍 講読	(志部憲一)	321
仏典 講読	(大西龍峯)	322
仏教 伝道	(角田泰隆)	322
中国 古典語	(須山長治)	323
書道	(野村宙弘)	323
仏教 と 文化	(奥野光賢)	324
仏教 と 現代	(峰岸孝哉)	324
外国語 仏書演習	(木村誠司)	325
インド・チベット 仏教演習	(木村誠司)	325
中国 仏教演習	(奥野光賢)	326
仏教 思想演習	(袴谷憲昭)	326
仏教 文学演習	(石井公成)	327
宗学 演習	(角田泰隆)	327
日用 経典概説	(奥野光賢)	328
宗教 哲学	(紺野馨)	328
キリスト教 概説	(紺野馨)	329
仏教 特講 I	(荒井裕明)	329
仏教 特講 II	(三橋正)	330

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 仏 教 学	いし 井 公 成 いし 井 公 成	短 仏 1 必	4

講義のねらい

この授業は、仏教科に進学した第1年次生に対して、仏教と仏教学の基礎知識を身につけてもらうことを目的としている。つまり、仏教の基本的な教義と歴史を学ぶとともに、関心をもった分野を自分で学んでゆくための知識と方法、そして深く考えつつ追及してゆく態度を身につけることが目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の伝記と思想から出発し、インド・中国・朝鮮・日本・チベットその他の諸国・諸地域に展開してゆく仏教史の流れ、研究動向の変化、参考文献の性質やその利用法などについて講義する。講義に当たっては、縁起の思想の変化に重点を置き、禅宗に関しては仏教史における道元禅師及び瑩山禅師の思想の意義を明らかにする。

履修上の留意点

頻繁に質問し、その応答を通じて講義を進めてゆくため、積極的に参加することが望まれる。

成績評価の方法

学年末の試験によるが、質疑に積極的に参加した者については考慮する。

教 科 書

教科書は用いず、コピーを配布する。

参 考 書 等

参考文献はきわめて多いため、一覧を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅	つ 角 田 泰 隆 ・ 志 部 憲 一 つ 角 田 泰 隆 ・ 志 部 憲 一	短 仏 1 必	4

講義のねらい

短大仏教科は「仏教とは何か」という基本的な研究の場であるとともに、曹洞宗宗侶の養成機関でもあり、曹洞宗教義の重要な実践としての坐禅の実修を必修科目としている。将来僧侶となることを希望する学生にとっては、宗門の重要な修行である坐禅の意義とその実践方法を学ぶ科目であり、一般学生にとっても坐禅という修行のほんとうの意義を知りそれを実際に体験できる科目として重要な意義をもっている。

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、専ら坐禅を実修する。よって、教場は坐禅堂（禅研究館4階）である。坐禅を実際に修行し、曹洞宗の両相の坐禅に関する教えを学びながら、坐禅の意義や作法を習得していただきたい。

実修時間の前半は只管打坐、後半は坐禅に関する文献の提唱をする。提唱には指定の講本を用いるので、各自購入して持参すること。筆記用具は不用。

履修上の留意点

坐禅は修練ではない。仏行である。従って服装・態度・動作等の厳粛・整齊であることが望まれる。

成績評価の方法

科目の性格上、評価方法は出席状況に重きをおくが、それに加えて服装・態度・動作・坐相等総合的な評価をするので、充分自覚して授業に臨んでいただきたい。原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、単位を認定しない。

教 科 書

『坐禅-講本-』（更生社）2,200円

参 考 書 等

なし。

そ の 他

身体上の不自由がある者は、予め申し出て指示を受けること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 研 究	つのだたいりゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選必	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の基本的な教義について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストにより曹洞宗の両祖（道元禪師・瑩山禪師）の伝記をたどりながら、その基本的な教義にも触れてゆく。著作も断片的に講読してゆきたい。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績と、夏季休業中の課題リポートによって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参 考 書 等

授業において紹介する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 学 研 究	おくのみつよし 奥 野 光 賢	短仏1・2選必	4

講義のねらい

どんな分野であれ、研究は山登りに似ているように思われる。予備的知識のないまま、いきなり難しい事柄に飛びついても、さしたる成果は得られないであろう。したがって、前期はこれから「禅学」を本格的に研究していく上での基本的予備知識の習得を目標とした。その上で実際に禅に関する文献を読み進めていく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は「禅学」に関する基本的知識の習得を目標に講義形式で授業を進める。その上で後期には実際に文献講読を行なう。いまのところ『六祖壇経』を読む予定である。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行なわないのであらかじめ注意されたい。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末試験によって評価する。

教 科 書

特に指定せず、プリントを配布する。受講希望者は開講初日にかかわらず出席すること。

参 考 書 等

授業に直接関係する参考文献は授業において適宜指示するが、手頃な仏教辞典と緩和辞典はいつも手許に置いておいてもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏典研究Ⅰ	木村誠司	短仏1・2選必	4

講義のねらい

インド仏教の代表的經典や論書を講読する

成績評価の方法

筆記試験あるいは、レポートによって行う。

参考書等

特定の教科書は用いず、適宜コピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏典研究Ⅱ	石井公成	短仏1・2選必	4

講義のねらい

漢訳の原始仏教經典を講読する。漢訳經典は、早い時期に翻訳されているため、現存するパーリ語などのテキストより古い内容を伝えていることも多く、資料として貴重である。パーリ語テキストやその日本語訳なども適宜参照しつつ、初期の素朴な仏教のあり方を検討してゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教漢文の訓練もかねるため、初めは漢文の基礎を説明しながら進めてゆき、平易な經典から読む。秋からは注釈の読み方なども指導する。

履修上の留意点

仏教漢文が中心となる。必ず漢文の力がつくよう指導するが、自分から取り組もうとする姿勢が必要とされる。

成績評価の方法

年度末試験によって判定するが、授業中に熱心に取り組んでいた者については、平常点を加算する。

教科書

用いず、コピーを配布する。読む經典については、希望があれば考慮する。

参考書等

読む經典に応じて教場で一覧を配布する。

専門(仏教科)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 研 究 Ⅲ	はかま 袴 谷 のり あき 憲 昭	短仏1・2選必	4

講義のねらい

このクラスでは、日本における仏教思想の展開に重要な役割を果たしたものは、浄土教であるとの考えから、中国や日本における浄土思想に対し、法然に対するのとは異った意味において大きな影響を与えた、インドのヴァスバンドゥの著である後魏菩提流支訳『無量寿経優波提舎願生偈』（世に『浄土論』と略称さる）を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

演習形式の講読である。講読に当っては、常時ではないが、曇鸞の『浄土論註』を参照することもありうる。

履修上の留意点

常に出席して自ら講読に参加すること。

成績評価の方法

平常点

教 科 書

同上。底本としては、大正蔵、26巻、230頁下-233頁上。『浄土論註』は、同、40巻、826頁上-844頁中。

参 考 書 等

山口益『世親の浄土論』（法蔵館）：神戸和磨「浄土論註」『大乘仏典』中国・日本篇5（中央公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 語 解 説	いけ 池 田 みち ひろ 道 浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

多くの仏教語に触れ、その言葉に表現される仏教教理を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、教科書によって多くの仏教語の基本的な意味を理解し、その後、『法華経』『般若心経』等、必要に応じて多くのテキストを参照し、仏教の基礎的な概念を考察する。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験あるいはレポートによって評価する。

教 科 書

水野弘元『仏教用語の基礎知識』（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国禅宗史	須山長治	短仏1・2選	4

講義のねらい

『景德伝灯録』には1700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。なぜ感動的なのか。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際は言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を語録を通して考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は“宗門第一の書”と言われる『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅では時代とともにどのような問題意識が展開していったのか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とは何かを考えていきたい。

履修上の留意点

試験は論文形式。

成績評価の方法

プリントを配布する。

教科書

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪 頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	角田泰隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史-日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する。

専門（仏教）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教史	いけ 池 だ 田 みち 道 ひろ 浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

インド仏教の思想的展開を理解する。インドにおいて既に仏教に対して異なった見解が多数存在し、論争が行われていた。その思想的相違を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教 科 書

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国仏教史	おく の 野 みつ よし 光 賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

中国に展開した仏教の概説を目標とする。その際、たんなる歴史の概説にとどまることなく、特に思想的展開を跡づけることに意を用いたいと思う。

履修上の留意点

特に教科書は指定せず、プリントを配布して授業を進める。プリント配布のため受講者を確認するので、受講希望者は開講初日にならず出席すること。また、欠席によるプリントの配布は原則として行なわないのであらかじめ注意されたい。

成績評価の方法

プリントを配布して授業を進める。

教 科 書

鎌田茂雄『中国仏教史辞典』（東京堂出版）4,800円、その他、適宜授業において指示する。

参 考 書 等

学年末の試験によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史	はかま 袴 谷 のり あき 憲 昭	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

この授業は、日本において、インド伝来で中央アジアや中国や朝鮮を經由して将来された外来思想としての仏教が、いかに展開し定着したかを、通史的に辿っていく一方で、仏教と一括されるものの中に生じた全く異質な相対立する二つの流れの相違を明確に押えていこうとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、以上の目的を実現するために、通史的な講義と諸文献の講読を並行して進めていくことになるが、できれば、後者により大きなウエイトを置きたいと思っている。

履修上の留意点

参加人数の大小に大きく左右される面があるので、確定的なことは言えないが、できれば、演習形式の講読の割合を多くしたいと考えている。参加者はその点を念頭に意欲をもって授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

上述の状況いかんによる。

教 科 書

講義は、末木文美士『日本仏教史－思想史としてのアプローチ－』（新潮文庫）560円をテキストとし、講読は、適宜指示する文献のコピーによる。

参 考 書 等

袴谷憲昭『法然と明恵－日本仏教思想史序説－』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

そ の 他

授業方法は、上述したごとくであるが、講読文献のコピーは再発行しないので、できるだけ継続して参加してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読	し べ けん いち 志 部 憲 一	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

祖録の読み方や禅の基本的考え方を初歩から学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

中国禅の大成者とされる慧能の説法記録『六祖壇経』を中心に、江戸時代の代表的曹洞禅者である天桂伝尊がその『六祖壇経』に注釈した『註法宝壇経海水一滴』を参考にしながら毎回講義の形で行う。

教 科 書

最初の授業時にプリントで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 講 読	おおにしりゅうほう 大 西 龍 峯	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は長い歴史をもち、伝承も複雑多岐にわたることから、その教えを示す仏典も多様かつ膨大なものがあります。

本講座では、仏典として今日伝承されるものの概要を示し、かつ実際にそれらの仏典の一部に触れることを目的としております。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ仏典に関する知識を広げてもらうために、特定の文献をひとつ選んで通読するのではなく、むしろ傾向の異なるさまざまな文献から教材となりそうなものを取りあげて講読してみようと思います。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

随時配布します。

参 考 書 等

随時配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 伝 道	つのだたいりゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は、これを学ばなくては説くことはできないが、学んで説くことがなければその存在意義を失う。道元禅師は「弘法救生」(仏法を広め、苦悩する多くの人々を救う)の思いを常に深く心に願われていたというが、曹洞宗宗侶もやはり同様の誓願を持たなければならないであろう。そこで必要なのが伝道・教化ということである。この科目では、この伝道・教化の理念と実践について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の伝道において、一般の人々にわかりやすく説き広めるということは容易なことではない。この科目では、まず釈尊の生涯をたどりながら、仏教伝道の基本的あり方について考え、さらに現代の宗門寺院における伝道の種々のあり方、方法等について、実際に伝道・教化に携わっている私が、その現状を紹介しながらその重要な点や問題点等について解説する。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 古 典 語	須 ^す 山 ^{やま} 長 ^{ちよう} 治 ^じ	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

『論語』を読む。中国の古典で最も有名なものは、何と言っても孔子とその弟子たちの言行録『論語』である。中国思想史としても、この書を中心に儒家の思想は展開していく。本年度は『論語』を精読することによって、孔子を中心とした当時の人々の考え方を読み取っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『論語』二十卷は、それぞれ断片的な短文の集まりである。まずはその一文一文を初めから読みすすめ、訓読できるようにする。その上で口語訳を試み、そこで語られる“現在”を浮き彫りにする。

履修上の留意点

- ・試験は論文形式。
- ・白文を訓読できるようにする。
- ・口語訳できるようにする。
- ・出欠を重視する。

成績評価の方法

プリントを配布する。

教 科 書

金谷治訳注『論語』（岩波文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道	野 ^の 村 ^{むら} 宙 ^{おき} 弘 ^{ひろ}	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教 科 書

王羲之『蘭亭序』（清雅堂）360円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 文 化	おくのみつよし 奥野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

本授業は仏教を教理の上からのみとらえるのではなく、文化史的側面から考察することによって仏教が実際に果たした役割を考えることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は仏教が中国に受容・定着するにあたっていかなる変容をとげたのかを、主として「孝」思想に的を絞り考えてみたい。前期は概説を中心とした講義形式で授業を進め、後期には『仏説孟蘭盆経』や『父母恩重経』といった経典を読みながら前期の問題を考えていきたいと思っている。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行わないのであらかじめ注意されたい。プリントを準備する関係上、受講希望者は開講初日にならず出席すること。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末の試験によって厳正に評価する。安易な気持ちでの受講は避けられたい。

教科書

特に指定せず、プリントを配布して授業を進める。

参考書等

適宜、授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 現 代	みねぎしこうさい 峰岸孝哉	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教はインドで成立し、中国を経て六世紀には日本にも伝来し、その影響は今日に及んでいる。この間仏教はそれぞれの民族・国の歴史・社会・文化と交流し、様々な特色ある宗教文化を現出してきたわけである。日本仏教もそうしたものの一つであろう。

それだけに、仏教と歴史・社会を深く考えることは、単に仏教ばかりではなく社会の立場からも、重要な関心事でなければならないだろう。

ここに「仏教と現代」と題する本講の目的を次のように考えたい。つまり本講の題目からは、今日の「実態としての仏教」の意にも解せるし、また理念的に「現代仏教としての今日的条件」を考えることも理解できよう。そこで今年は、仏教は日本人のくらしの中の宗教として、大きな影響を及ぼしてきたことの当然の責任として、宗教的・社会的責任を負うものと考えよう。

仏教は、これまで原則として出家教団であり、このためか社会性に欠けるとみに指摘されてきた。しかし今日ほど宗教教団の果たす宗教的・社会的役割に対するきびしい評価が求められている時代もないのではなからうか。

以上のような問題意識から考えるとき、「仏教と人権」という視点は今日の仏教を考える上で重要なテーマの一つと思われる。今年はこれをめぐって日本仏教の性格を考える。

講義の内容・授業スケジュール

明治から今日の日本仏教に限定し、特定教団の差別事象を中心に、仏教と差別についてまず学習する。今日における「人権」とは何か。そしてテキストを中心に学習する。

履修上の留意点

他人の考えではなく、自分の頭で考えることの大切さを自覚して欲しい。

成績評価の方法

レポート提出による評価

教科書

曹洞宗宗務庁編『差別語を考えるガイドブック』（解放出版社）1,854円

参考書等

講義の進行に合わせてその都度提示する。

その他

必要に応じてコピーも参考にする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 国 語 仏 書 演 習	木 村 誠 司	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

英文で書かれた仏教文献を講読する。テキストは、最初の講義において、受講者と協議して決定するので、必ず出席することを希望する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では、受講者全員に訳してもらうつもりなので、なるべく予習をして欲しい。

成績評価の方法

基本的には、平常点によって行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド・チベット 仏 教 演 習	木 村 誠 司	短 仏 1・2 選	4

講義のねらい

ダルマキールティは、後世に絶大な影響を与えた仏教論理学者である。彼の思想に関する知識なしでは、インド・チベット仏教の理解は不可能であろう。本講義では、ダルマキールティの著作を実際に読むことを目標とするが、まず始めは、その前提となるいくつかの基本的事柄を講義する。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験あるいは、レポートによって行う。

教 科 書

適宜配布する。

参 考 書 等

適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教演習	おくの奥野みつよし 光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

この授業は純然たる「演習」科目なので、本来は毎週当番をきめて実際に文献を講読してもらうのが建前であるが、慣れるまでのしばらくの期間は丁寧な指導を行なう。一年間、徹底的に一つの文献に接することによって読解力を養成するのが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。『八宗綱要』は古来、簡にして要を得た仏教概論として読みつがれてきた古典的名著で、今日の研究水準から見ると部分的には誤りはあるものの、その価値はいささかも減ずるものではない。本演習では、その講読を通じて中国仏教各宗の歴史と基本的教義の把握を目標とする。その際、本演習はあくまで「中国仏教演習」であるので、随時中国撰述の文献も参照していく予定である。

履修上の留意点

演習科目なので、十分な事前の下調べが必要である。受講にあたってはその点をあらかじめ認識しておいてもらいたい。下調べの方法は丁寧に指導を行なう。何よりも必要なことは自分で調べてみよう、読んでみようという意欲である。

成績評価の方法

演習科目なので、出席とレポートによって評価する。したがって、欠席の多い学生は、成績評価の対象としないのであらかじめ留意されたい。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）、その他の参考書、受講にあたって是非揃えておいて欲しいもの等は開講初日に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教思想演習	はかまのりあき 袴谷憲昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

この授業は、日本における仏教思想の展開を検討していくために必要な仏教思想を取り上げ、それを素材に、仏教思想とはなにかを具体的に考えていく、演習形式で進められるクラスである。本年度は、日本の浄土思想一般の形成に大きな影響を及ぼした、中国三論宗の大成者吉蔵の『観無量寿経義疏』を最初から講読する。

講義の内容・授業スケジュール

上記より推測されうらと思う。

履修上の留意点

常に出席して自ら講読に参加すること。

成績評価の方法

平常点

教科書

同上。大正蔵、37巻、233頁中-245頁下を底本として講読する。

専門
(仏教科)

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教文学演習	いし い こう せい 石 井 公 成	短仏1・2選	4

- 講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講座では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。
- 講義の内容・授業スケジュール

男女の愛情・無常・自殺・夢その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。
- 履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくと、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。
- 成績評価の方法

期末試験とレポートによるが、討議などに積極的に参加していた者については評価する。
- 教科書

使用せず、コピーを配布する。
- 参考書等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗学演習	つの だ たい りゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選	4

- 講義のねらい

本科目は、曹洞宗の宗旨に関わる学問研究を演習形式で行うものである。本年は、道元禅師の著作を演習し、自ら読む力を養う。
- 講義の内容・授業スケジュール

毎週当番を決めて、学生が研究成果を発表する。それに対して問答形式で授業を進め、テキストを読解してゆく。
- 履修上の留意点

演習形式を取るなので、事前の予習が必要である。予習においては、自ら辞書等にあたり、一々の文字言句を正確に解釈し、現代語訳を行ってもらおう。出版されている種々の現代語訳はなるべく用いず、自ら解釈することを目指してほしい。
- 成績評価の方法

演習科目であるので、授業への出席、および授業での研究成果の発表によって評価する。よって欠席の多い学生や、所定の研究成果の発表を行わなかった学生には単位を認定しない。
- 教科書

コピーを配布する。
- 参考書等

授業において紹介する。
- その他

本科目は1・2年次生を対象とした選択科目ではあるが、『正法眼蔵』は仏教および宗学の基礎知識がないと読めないなので、受講生は、「宗学研究」の単位を修得している2年次生であることが望ましい。

専門(仏教科)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日用経典概説	おくの野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

この科目は、日頃、曹洞宗寺院においてよく読誦されている経典をはじめ、主要な大乘経典等について、その成立の背景や内容の概説を目標とする。将来、曹洞宗の宗侶となる学生諸君はもちろん、仏教を学ぶものにとって経典の内容を理解しておくことは重要なことであろう。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗において日頃読誦している経典（教典）・語録等について概説する。その際、それらの内容上のはもちろんのこと、仏教史上における意味、影響といった問題も視野に入れて講義を進める。重要な経典については、実際に原文も講読する。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行わないのであらかじめ注意されたい。プリントを準備する関係上、受講希望者は開講初日にかならず出席すること。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末の試験によって厳正に評価する。

教科書

特に指定せず、プリントを配布して授業を進める。

参考書等

水野弘元編『仏典解題辞典』（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教哲学	こんの野馨	短仏1・2選	4

講義のねらい

主に西洋世界における「超越」「超越者」の問題をとりあげます。

講義の内容・授業スケジュール

古代ギリシャの哲学者たちに始まる西洋哲学史に即して、歴史的展開を辿ることとします。

履修上の留意点

受講に際しては、「知る」姿勢に加えて「考える」姿勢を望みます。

成績評価の方法

学期末試験および受講の状況を総合的に勘案します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
キリスト教概説	紺野馨 <small>こんの かわる</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい	キリスト教の教義の紹介にとどまらず、西欧世界の思想的・社会的バックボーンとしてのキリスト教にも光を当てます。
講義の内容・授業スケジュール	前期は「新・旧約聖書」を主題とします。後期は教団、思想の歴史的展開を叙述します。
成績評価の方法	学期末試験および受講の状況を総合的に勘案します。
教科書	教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教特講 I	荒井裕明 <small>あらい ひろあき</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい	本講義では、唯識（ゆいしき）思想を扱います。唯識とは、唯だ織のみがあるという唯心的な考え方のことで、認識される対象ではなく、認識をする心 of 存在の方を重視するものです。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、唯識派の代表的な経典である『解深密教』（げじんみつきょう）を中心として、三性説（さんしょうせつ）などの教義について考察したいと思います。
成績評価の方法	学年末の試験、あるいはレポートによって主に評価するが、平常点も加味する。
教科書	必要に応じてプリントを配布します。
参考書等	講義の際に随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 II	みつ はし 三 橋 正	短仏1・2選	4

講義のねらい

日本人は、ある時は神を拝み、ある時は仏を拝み、曆に基づく迷信に左右され、「仏」となって死んでいく。外国の人々から見ると実に不可解に見えるが、この中に一定の法則が見出される。本講座では一年間の講義を通じて、日本人と宗教の関わりについての様々な側面を、歴史的に解明していく。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本人の在来信仰（神祇信仰）について分析し、それが仏教の伝来によって如何に変化したか、そして両者の間に如何なる使い分け（棲み分け）ができたかを考察していく。おおむね、前期は神祇信仰や神話など神道関係を中心に、後期は仏教の日本的展開を中心に論じていく予定である。また、江戸時代以前の曆についても解説し、そこから生じた様々な禁忌（タブー）が今に残っていることも指摘したい。

履修上の留意点

講義の内容が多岐にわたるので、受講生は真面目に出席し、一回ないし数回毎にまとめをしていくことが望まれる。

成績評価の方法

講義内容全般についての論述式テストを授業の最後に行ない、これを主に評価する。

教 科 書

授業内に指示する。

参 考 書 等

授業内に指示する

そ の 他

講義が中心となるが、受講生の積極的な参加を期待したい。

2 他学部履修科目

2 他学部履修科目

商学	総論	(大吹勝男)	335
国際	経済	論(休講)	
社会	政策	(光岡博美)	337
価格	理論	(荒木勝啓)	338
国民	所得	論(吉野紀)	339
銀行	行	論(休講)	
中小	企業	論(三井逸友)	340
人口	論	(森岡仁)	342
中国	経済	論(休講)	
アメリカ	経済	論(瀬戸岡紘)	343
ヨーロッパ	経済	論(休講)	
貿易	論	(古沢紘造)	345
会計	監査	論(休講)	
管理	會計	論(休講)	
憲法	法	(西修)	346
比較	憲法	(斉藤寿)	347
法思想	史	(高橋洋城)	348
日本	法制	史(休講)	
西洋	法制	史(北野かほる)	349
英米	法	(北野かほる)	350
経済	法	(岡田外司博)	351
国際	関係	論(首藤素子)	352
行政	法	論(金子昇平)	353
裁判	判	法(雨宮眞也)	354
法哲	学	(高橋洋城)	356
地方	自治	法(富井幸雄)	357
倒産	処	理法(馬越道夫)	358
アメリカ	経営	学(宮城徹)	359
経営	財	務論(高田光明)	360
経営	組織	論(休講)	
経営	技術	論(休講)	
公益	企業	論(園田哲男)	361
管理	會計	論(猿山義広)	362
会計	監査	論(中平榮一)	363
日本	経済	論(休講)	
中国	禅宗	史(須山長治)	363
日本	禅宗	史(角田泰隆)	364
インド	仏教	史(池田道浩)	364
日本	仏教	史(袴谷憲昭)	365
書道	道	(野村宙弘)	365
仏教	と	文化(奥野光賢)	366

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	お お が き かつ お 大 吹 勝 男	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいえ、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらには、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するものであります。また、商学専修の学生は、あわせて経済原論Ⅰを履修すれば、本講義の理解の助けとなるでしょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験は論述形式ですが、テキストの参照を認めます。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備をして試験に臨んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばいいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。

教 科 書

- 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社）
- 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
- 3 『経済学論集』第20巻第4号
- 4 『経済学論集』第22巻第1号
- 5 『経済学論集』第22巻第4号

6 『経済学論集』第26巻第1号

7 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2 から7 までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光 おが 岡 はく 博 み 美	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、このような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うことにしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策の歴史
- (4) 日本における労使関係の歴史
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本的労使関係の現実とその未来

上にのべた(1)~(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の紹介、最近注目されている外国人労働者問題や女性問題などの持論、私が専門的に研究してきた問題などもできるだけ分かりやすく解説してみたいと考えている。

成績評価の方法

履修条件は特になし。成績の評価基準は、授業で説明する。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら 荒 木 よし ひろ 勝 啓	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導き出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかなりの部分がそのための準備と練習に当てられると期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) 共謀解

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成溪堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よし野 紀 <small>おきむ</small>	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』第6版(多賀出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中小企業論	みつ 三 井 逸 友	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が“言霊”としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な (critical) 構成要素である」(クリントン米国大統領) と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中小企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』(森清著、ダイヤモンド社刊) のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用収縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーディズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的關係」

ここでは、うへの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小工業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業の「国際化」のもとでの、日本的企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的關係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的な視角となる。

第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を取ってきた我が国の「中小企業近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとでの、近年の「収斂傾向」を検討し、特に EU 欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国についても、近年の「構造転換」対応策、創業促進策、ベンチャー企業支援策なども検討する。

履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日的現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。

教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』(青木書店) 2,800円(税抜)
同編『日本の生産システムの評価と展望』(ミネルヴァ書房) 予定

参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）2,330円
巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ 新版』（有斐閣）2,200円
中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕
中小企業総合研究機構訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』（同友館）3,500円
佐藤編『21世紀、中小企業はどうなるか』（慶大出版会）2,300円

その他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用していく。また、諸方面の WEB サイトの提供する情報は（担当者自身のものを含めて）、必須の材料である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

人口に係わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げつつある経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる低出生力と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていくことは周知の事実である。

一方発展途上国諸国に生じている急激な人口増加の問題は、貧困からの脱却のためには緊急に解決しなければならない困難な課題になっていることも周知のとおりである。このようにみても、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養ってみたい。

何はともあれ、この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら人口問題は、国民一人一人の問題だからである。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参 考 書 等

大淵・水野・森岡・吉田訳『マルサス人口の原理』（中央大学出版部）1985年
大淵寛・黒田俊夫編『現代人口問題』（大明堂）1990年
国際人口学会編（日本人口学会訳）『人口学用語辞典』（厚生統計協会）1994年

そ の 他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	瀬 戸 岡 紘	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅広く、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカでのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済について関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探求をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し、資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・ 授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

《導入の話題》

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

◇アメリカの建国の理念と現代の経済

◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家とベンチャービジネス

◇アメリカの雇用と労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの交通・通信・情報

◇アメリカの金融

◇アメリカの教育と経済

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

◇アメリカ経済と環境問題

◇アメリカ社会とヴォランティア

◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

◇国際通貨ドルの地位とIMF

◇アメリカと貿易 (GATTとWTO)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークと経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋

《むすびの話題》

- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

授業の方法

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話します。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたどちまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとり入れるようにところがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

成績評価の方法

熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を何回か提出してもらうことを考えていますし、受講者の希望により、この講義のなかでいざようになった問題意識をもとにアメリカ経済にかんする自由論題で小論文を年度末に提出してもらい試験に替えることも考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を考慮にいれつつ小論文を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカのもの本全体の、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーク著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	二法・二営・短仏	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 永続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	にし 西 修 <small>おきむ</small>	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があります。

私は、次のような授業方針でのごみしますので、了解されたい。

① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。

なお、今年度は短期国外留学が予定されていますので、その理め合わせ方法は授業中に伝えます。

② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。

③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。

④ 成績は平常点を重視。私が独白に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切に授業内容にします。

⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。

⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。

前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%。

要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・ 授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 日本国憲法の制定過程 | ⑨ 憲法の改正と限界 |
| ② 国民主権と象徴天皇制 | ⑩ 基本的人権の歴史と意義 |
| ③ 日本国憲法と平和主義 | ⑪ 法の下での平等 |
| ④ 政治改革と憲法問題 | ⑫ 精神的自由権 |
| ⑤ 国会の組織と機能 | ⑬ 経済的自由権 |
| ⑥ 内閣の機能、議院内閣制 | ⑭ 社会権 |
| ⑦ 司法の構造と権限 | ⑮ 身体的自由 |
| ⑧ 憲法の保障 | ⑯ 財政・地方自治 |

教 科 書

- (1) 西 修編著『日本憲法25講』（八千代出版）1996年版 2,700円
- (2) 西 修著『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年

参 考 書 等

別に配布するシラバスを参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	さいとう ひさし 斉 藤 寿	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
- 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）は、どのように歩んできたか。
- 第8回 世界各国の憲法は、どのように類型化が可能か。また、その特質は何か。
- 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第13回 これまで（第1回～第12回）の review。
- 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
- 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
- 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。
- 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
- 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
- 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
- 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
- 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
- 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
- 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
- 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
- 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
- 第28回 これまで（第14回～第27回）の review。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私と引っしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。——私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) —— との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

西欧の様々な法思想を跡づけ再吟味する営みを通じて、近代法の環境の中で自明のものと考えられている思考のワクを相対化し、批判する視点を持つためのきっかけとしたい。こうした作業は、揺れ動く現代の法状況へ対峙してゆくのに必要であると思われる。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは大まかなアウトラインしか述べることができないが、重点をおくトピックおよび思想家として、以下を予定している。

(前期) ヨーロッパ法思想の核となったギリシャの法思想（プラトン、アリストテレス）、キリスト教思想（アウグスティヌス）、中世自然法論（トマス・アクィナス）

(後期) 前近代から近代への世界像の転換、近代法の基礎理論とも言える自然権論や社会契約思想（ホッブズ、ロック、ルソー）、これを批判的に受け継ぐドイツ啓蒙期の法思想（カント）、ドイツ観念論の法思想（ヘーゲル）

基本的には、時代を順に追い、代表的な思想家と思索を共にする形で述べていくことになるが、断片的な紹介ではなく、影響関係や重要な概念枠組の変遷などを重視し、明らかにできればと思う。また狭い意味での法学理論史の枠にとらわれず、各々の法思想を、その時代の人間観やコスモロジーの中に法理解を位置づけて検討し、そうした作業を通じて最終的には、近代という時代が獲得したものと忘却してしまったものについて考えてみたい。なお、時間の都合上、最大限順調に講義が進んだとしても、19世紀前半の法思想までをカバーするのが精一杯だと思う。19、20世紀以降の法思想ないし法学理論の諸潮流については、法哲学講義の一環として取り扱うつもりである。

成績評価の方法

定期の記述試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他に任意提出課題として、講義で紹介した思想家の著作を読んでレポートを提出してもらえば、一定範囲内で評価に加える。

参 考 書 等

ここでは、三島淑臣『法思想史』[新版]（青林書院）4,854円を挙げておくが、講義の補完、通常の学習には自分にあった概説書を選んでもらってかまわない。詳細については講義のはじめに紹介する。

そ の 他

講義の概要、参考資料を必要に応じて配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 か ほ る	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	^{きた} の 北 野 か ほ る	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形式における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法観念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	<small>おか</small> 岡 <small>だ</small> 田 <small>とし</small> 外 <small>ひろ</small> 司 博	二 営 ・ 短 仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

参 考 書 等

初回の講義の時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	しゅう とう もと こ 首 藤 素 子	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

現代の国際関係の課題について、知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような項目をほぼ3週分の授業を割当てながら進める予定。

1. 国際政治理論の展開
国際政治の冷戦後の新たな視座
2. 冷戦後の大地域主義の生成
3. 地域紛争と安全保障の課題
国連の安全保障分野の機能
地域紛争と地域組織の機能
4. 国連の開発戦略と南北格差の問題
近代化理論の変遷と従属論の影響
世銀・IMFの機能と問題
5. 国際政治と人権保障の制度化
人権保障の法的枠組みの展開と課題
人権と人権 NGO と国際社会
6. 1970年代以降の経済のグローバル化
政策協調と国際交渉の多様化
Global Governance の課題
7. 経済発展と途上国の政治体制
権威主義的政治体制と民主化の課題
8. 地球環境と国際関係の課題
地球環境問題の現状と政策的対応
「発展の権利」と「持続可能な発展」

成績評価の方法

定期試験および課題提出物により評価する。

教 科 書

とくに毎時間使用するというわけではないが、次の文献を入手し、授業に関連する項目を各人で勉強しつつ、授業に出席することを勧める。
細谷千博監修、横山・野林編『国際政治の21世紀像』（有信堂）1997年（第2版）2,987円

参 考 書 等

講義の内容ごとに参考文献等を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 総 論	かね こ しょう へい 金 子 昇 平	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、今後、立法化が予想される、情報公開法、プライバシー保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
 - ①法律による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
 - ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織 ④行政機関・公務員
 - ⑤行政情報と法
- 3) 行政手段法
 - ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査
 - ⑧行政強制 ⑨行政関
- 4) 行政手続の法
- 5) 行政救済法
 - ①国家賠償法 ②行政上の苦情処理 ③オンブズマン ④行政上の不服申立 ⑤行政訴訟

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

成田頼明他『現代行政法』（有斐閣）

その他

塩野宏他編『行政判例百選』第三版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
裁 判 法	あまみやまさや 雨宮真也	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

主として、わが国の裁判制度について、その組織と運用の実情を理解させることをもって、この講義の目的とします。

裁判とは、社会関係における利害の衝突、紛争を解決し調整する規律を定めるための、法的な権威を有する第三者の判定です。

社会関係の複雑化と国民の権利意識の高まりとに従いがい、現代社会において裁判の果たすべき役割は、年々その比重を増してきています。

裁判制度の現にある姿を明らかにするとともに、そのあるべき姿を求めるため、特に、裁判の本質、裁判の構造、裁判の論理、裁判と法律の解釈、裁判と事実認定、裁判の機能、判例の成立と意義等の諸論点について、重点を置いて講義します。

裁判における裁判官の思考プロセスにも触れ、法的思考の何たるかをも明らかにしたいと考えています。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、後掲の教科書に従って次のように進めて行きます。

第1章 法と裁判の役割

1 民事法の実現と民事手続

- ① 紛争
- ② 法規範
- ③ 訴訟

2 刑事法の実現と刑事手続

- ① 刑事手続の目的
- ② 適切な手続の保証
- ③ 刑事裁判

3 司法権と違憲審査権

- ① 司法権と裁判所
- ② 違憲審査権と司法権の独立

第2章 裁判所制度

- 1 最高裁判所
- 2 高等裁判所
- 3 地方裁判所
- 4 家庭裁判所
- 5 簡易裁判所

第3章 法律家の役割

- 1 裁判官
- 2 検察官
- 3 弁護士
- 4 準法律家
- 5 法曹養成

第4章 裁判の仕組み

1 民事裁判

- ① 民事訴訟の基本構造
- ② 訴えの提起
- ③ 審理の展開
- ④ 証拠調べ
- ⑤ 判決
- ⑥ 上訴（不服申立て）

2 家事裁判

3 行政裁判

- ① 行政訴訟の類型
- ② 行政訴訟の特色

4 刑事裁判

- ① 刑事手続の流れ
- ② 捜査手続

- ③ 公訴の提起と検察官の役割
- ④ 公判手続の基本原則とその運用
- ⑤ 刑事裁判の課題
- 5 憲法裁判
 - ① 違憲審査制と憲法裁判
 - ② 違憲審査権の運用状況

第5章 裁判をめぐる現代的課題

- 1 市民の裁判を受ける権利
- 2 市民の司法参加
- 3 国際化と裁判

履修上の留意点

教科書を予め読んで、疑問点を把握しておいてください。

成績評価の方法

期末試験における論文式テストにより評価します。

教科書

市川正人外著『現代の裁判』（有斐アルマ）
兼子一・竹下守夫著『裁判法』改訂版（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 哲 学	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

- ・法哲学は、「法学」の基礎的一分野であると同時に、「哲学」でもある。法制度や法的思考をめぐる基礎理論や根本的諸問題を考察しながら、法と関わりつつ生きる人間という存在者をどのように把握していけばよいのかという視点を常に持って、一緒に考えてゆきたい。
- ・出来上がった知識の体系を伝えることが講義の目標ではない。極論すれば、「わかっているつもりのこと」をわからなくする、一度根底から疑ってみる、ということが講義のねらいといってもよい。とはいえ、一人で内省しているだけでは自ずからその思考の広がりにも限界がある。法と人間、社会の関わりにおいて、どのような問題があり、どのような考え方が提起されているのか、さまざまな議論に触れることで、各自の思考の自由度を広げてもらい、参加者各人自分自身で考える、その手がかりを本講義でつかんでもらえるならば講義としては成功である。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度（平成10年度）までの講義内容からかなり変更を行ない、本年度は、法と現代思想の動向とのかかわりを大きなテーマとして設定する予定である。これまで自明の前提とされてきた人間像、社会像は今日大きな懐疑・批判にさらされており、法や法律学と言えども、それと無縁ではない。また逆に法律学的な問題とされてきた諸事象が、実は人間観、世界観の問題と密接に絡み合っているということもある。人文諸科学や社会科学のなかで展開されてきた様々な考え方が示唆するものに対して、法を学ぶものとしても、その問題提起を真剣に受け止めなければならない状況に至っている。こうした基本的関心から、法をめぐる議論を哲学・思想一般の領域での議論、論争史の文脈に位置づけながら考察していきたい。したがって、講義の中では、実定法の議論の参照はもちろんだが、他の人文・社会科学、とりわけ哲学、倫理学、社会学などの知見にしばしば言及することになる。狭い意味での法律学を超えた問題関心が求められる。

個別の項目としては、たとえば以下のようなものを考えているが、現段階ではあくまで予定であり、詳細は講義開講時に伝える。

- ・近代法原理への懐疑、批判と擁護
- ・リベラリズム正義論とそれに対する批判
- ・解釈的存在としての人間と法的判断の問題
- ・法実証主義と自然法論
- ・生命倫理・環境倫理的問題状況からのインパクト

また講義の進め方としては、できるだけ現象として現われている具体的な諸問題の紹介・検討から入り、その根底にある根源的な思考や原理を洗い出していく、という方式をとりたいと考えているが、ある程度は抽象度の高い議論にもチャレンジし、自分自身でそれを具体的・日常的問題と関連づけていく、という姿勢も参加者に求めることになるだろう。

成績評価の方法

前期終了後のレポート、後期終了後の定期試験、この二つを主たる評価対象とする。その他たとえば授業時間内に小論を書いてもらうことなどもあるかもしれないが、その場合は平常点として一定範囲内で評価する。

教科書

田中成明『法理学講義』（有斐閣）2,900円を挙げておく。ただし、講義はこのテキストの叙述にとらわれず進めていくので、あくまで講義を補完する意味で推薦するものと考えてもらいたい。また法思想史の背景的知識を前提に話さなければならないことも多いので、できれば法思想史関係の概説書も手許に置き自学自習に役立ててほしい。

参考書等

その他の参考文献については、講義の進行過程でテーマに応じてそのつと紹介する。

その他

上で述べた通り、法哲学という学においては知識の獲得・整理が目標ではないのだから、講義ならびに概説書だけでなく、こちらから指示する参考文献を含め、様々な著作、思考、問題に自ら直接あたり、自分なりの思索を行なうつもりでのぞんでほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。その際、現在進行している地方分権推進のシナリオは参考になる。

講義の内容・ 授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位、自治立法権について議論を行う。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教 科 書

南博方他『行政法(3)（第3版）』（有斐閣双書）1,800円

参 考 書 等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方自治』（岩波書店）同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	ま 越 道 夫 馬 越 道 夫	二経・二営・短仏	4

講義のねらい

倒産処理法とは破産法・和議法・商法上の会社整理・清算に関する規定、会社更生法など倒産に関する諸法規の総称である。倒産処理法という名称の法典が六法全書に存在するわけではない。なお、倒産とは債務者が経済的に破綻し債務の弁済が極めて困難になった状況をさす。倒産処理法には目的の異なる二種の法規が存在する。一つは債務者の財産を清算し、債権者への平等弁済を図る制度である（例・破産法）。他の一つは債務者の財産を全面的に清算することなく、取引関係を整理し企業の再建を図る制度である（例・会社更生法）。上記二種の法規について判例を挙げ具体的に講述したい。

また、今日国際的取引の拡大や多国籍企業の多発に伴い、一企業の破産もその影響は国内に止まらず破産的処理も国際的規模が要求される。かかる涉外破産の問題点についても平易に講述したい。

講義の内容・
授業スケジュール

4月・5月 倒産処理法の概説

6月・7月・9月 破産法

10月・11月・12月・1月 会社更生法

※授業時間ごとに、その時間の講義の要旨を記載したプリント（レジュメ）を渡します。

履修上の留意点

受講者は民法・民事訴訟法の基礎知識を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況を参考にします。

教 科 書

桜井孝一編 馬越道夫著『演習ノート破産法』（法学書院出版）1,800円

参 考 書 等

石川明『破産法』（日本評論社発行）2,800円

馬越道夫編著『論点国際民事訴訟法』（不磨書房出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 営 学	みやぎ てつ 徹	二経・二法・短仏	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必須科目である「経営学概説」や「経営学」などの授業を通じて、無意識のうち、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の8つの要目について検討する。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

1999年度『アメリカ経営学』授業計画

- I 1年間の授業の概要(1)
- II 経営学の対象と方法(2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論(4)
- VI 取引コスト理論(6)
- VII プロパティ・ライツ理論(2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論(2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1983、1997
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1989、1998
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 財 務 論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	二 法 ・ 短 仏	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつて意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・ 授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項について次の順番で講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 流動・固定分類法の重要性
6. 資金

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

教 科 書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参 考 書 等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	その だ てつ お 園 田 哲 男	二 法 ・ 短 仏	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別される意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討（規制と競争）を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価においては、單元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行うつもりである。

教科書・
参考書等

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行うつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	二 法 ・ 短 仏	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思考と計算体系を学びます。なお、講義における重点項目は、次の3つです。

- ① 近年の日商簿記検定における「工業簿記」「原価計算」の出題傾向として、管理会計的な問題が増加しつつあり、この傾向は今後も続くと思われるので、その対策。
- ② 従来の管理会計論ではあまり深く検討されてこなかったマーケティング管理会計やゼロベース予算についての解説。
- ③ 最近の管理会計手法の解説。

講義の内容・授業スケジュール

- I 管理会計の体系
- II 管理会計における原価概念と利益概念
 1. 原価態様
 2. 全部原価計算と直接原価計算
 3. 分権管理のための原価概念と利益概念
- III 利益計画
 1. 利益計画の手続
 2. 損益分岐点分析と CVP 分析
 3. 短期利益計画のための価格分析
 4. 短期利益計画のための営業費分析
- IV 原価管理
 1. 標準原価計算
 2. 製造間接費管理
 3. 営業費管理
- V ブランド管理会計
 1. ブランド資産の意義
 2. ブランド資産の測定法
 3. 企業経営とブランド資産
- VI 予算管理
 1. 予算管理の基礎
 2. 参加型予算とゼロベース予算
 3. 資本予算

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので、かならず電卓を持参すること。

成績評価の方法

以下のような課題による夏休み中のレポートと期末試験によって評価します。

- ① レポートの課題
「短期利益計画の枠組みを用いて、価格プロモーションと広告プロモーションそれぞれの限界を指摘しなさい。」
- ② 期末試験
問題1 「変動予算による製造間接費の差異分析」「EOQ 分析」(計算問題)
問題2 「ブランド資産について」「参加型予算について」(論述問題)

教 科 書

適宜、プリントを配布します。

参 考 書 等

より体系的に勉強したいという人のためには、
櫻井通晴著『管理会計』(同文館)。
計算問題については、
日商簿記検定の「工業簿記」「原価計算」のテキスト。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	なか ひら えい いち 中 平 榮 一	二 法 ・ 短 仏	4

講義のねらい

独立監査人による財務諸表監査の基礎知識について解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

会計監査論では、つぎの題目の順で体系的に講義をすすめる。

- (1) 会計監査論の対象と方法
- (2) 会計監査の意義
- (3) 監査の種類
- (4) 監査の基準
- (5) 監査の主体
- (6) 監査証拠と監査技術
- (7) 監査計画と監査手続
- (8) 監査調書
- (9) 監査報告
- (10) 内部監査及び監査役監査
- (11) 国際監査

上記を通じて財務諸表監査の基礎知識を十分に講述したい。

履修上の留意点

継続して受講することが要請される。

成績評価の方法

定期試験のほか、小ペーパー・テストも評価の対象にする。

教 科 書

開講時にくわしく紹介する。

参 考 書 等

開講時にくわしく紹介する。

そ の 他

授業の方法 講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 禪 宗 史	す やま ちよう じ 須 山 長 治	二 経 ・ 二 営	4

講義のねらい

『景德伝灯録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。なぜ感動的なのか。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際は言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を語録を通して考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は“宗門第一の書”と言われる『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅では時代とともにどのような問題意識が展開していったのか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とは何かを考えていきたい。

履修上の留意点

試験は論文形式。

成績評価の方法

プリントを配布する。

教 科 書

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪 頌古』（禅の語録シリーズ）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 禅 宗 史	つの だ たい りゅう 角 田 泰 隆	二 経 ・ 二 営	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史-日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イ ン ド 仏 教 史	いけ だ みち ひろ 池 田 道 浩	二 経 ・ 二 営	4

講義のねらい

インド仏教の思想的展開を理解する。インドにおいて既に仏教に対して異なった見解が多数存在し、論争が行われていた。その思想的相違を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教 科 書

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	はかま 袴 谷 のり あき 憲 昭	二経・二営	4

講義のねらい

この授業は、日本において、インド伝来で中央アジアや中国や朝鮮を経由して将来された外来思想としての仏教が、いかに展開し定着したかを、通史的に辿っていく一方で、仏教と一括されるものの中に生じた全く異質な相対立する二つの流れの相違を明確に押えていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、以上の目的を実現するために、通史的な講義と諸文献の講読を並行して進めていくことになるが、できれば、後者により大きなウエイトを置きたいと思っている。

履修上の留意点

参加人数の大小に大きく左右される面があるので、確定的なことは言えないが、できれば、演習形式の講読の割合を多くしたいと考えている。参加者はその点を念頭に意欲をもって授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

上述の状況いかんによる。

教科書

講義は、末本文美士『日本仏教史－思想史としてのアプローチ－』（新潮文庫）560円をテキストとし、講読は、適宜指示する文献のコピーによる。

参考書等

袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

その他

授業方法は、上述したごとくであるが、講読文献のコピーは再発行しないので、できるだけ継続して参加してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書 道	の 野 むら おき ひろ 宙 弘	二経・二営	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教科書

王羲之『蘭亭序』（清雅堂）360円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と文化	おくの 奥野 みつ よし 賢	二経・二堂	4

講義のねらい

本授業は仏教を教理の上からのみとらえるのではなく、文化史的側面から考察することによって仏教が実際に果たした役割を考えることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は仏教が中国に受容・定着するにあたっていかなる変容をとげたのかを、主として「孝」思想に的を絞り考えてみたい。前期は概説を中心とした講義形式で授業を進め、後期には『仏説孟蘭盆経』や『父母恩重経』といった経典を読みながら前期の問題を考えていきたいと思っている。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行わないのであらかじめ注意されたい。プリントを準備する関係上、受講希望者は開講初日にかならず出席すること。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末の試験によって厳正に評価する。安易な気持ちでの受講は避けられたい。

教科書

特に指定せず、プリントを配布して授業を進める。

参考書等

適宜、授業において紹介する。

3 仏教学部開設科目

3 仏教学部開設科目

パ ー リ 語 初 級 (片 山 一 良)	371
サンスクリット語初級(金 沢 篤)	371
チベット語初級(松 本 史 朗)	372
仏 教 美 術 (山 下 裕 二)	372
詩 偈 (休 講)	
原 始 仏 教 (片 山 一 良)	373
宗 教 史 (長 谷 部 八 朗)	374
インド仏教文化史(奈 良 康 明)	375
浄 土 学 概 論 (休 講)	
真 宗 学 概 論 (本 多 弘 之)	376
真 言 学 概 論 (休 講)	
日 蓮 教 学 概 論 (渡 邊 寶 陽)	377

科目名	担当者名	配当学科	単位
パーリ語初級	かた やま いち ろう 片 山 一 良	短仏1・2選	4

講義のねらい	パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、文法全体について講義し、後半は、『アングリマーラ経』(Angulimāla-sutta)を直接に読みたいと思う。
履修上の留意点	習得に丁寧であることが望まれる。
成績評価の方法	成績評価は、レポート(夏期)および年度末テストによる。
教科書	テキストはコピーにて配布する。
参考書等	水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)
その他	随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
サンスクリット語初級	かな ざわ あつし 金 沢 篤	短仏1・2選	4

講義のねらい	仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。
講義の内容・授業スケジュール	定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解説のための実際的・基礎的な力を養う。
履修上の留意点	予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。
成績評価の方法	平常点と期末・年度末の筆記試験。
教科書	J・ゴンドラ著『サンスクリット語初等文法』(春秋社)
参考書等	辻直四郎著『サンスクリット文法』(岩波書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
チベット語初級	まつもと しろう 松 本 史 朗	短仏1・2選	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの（チベット人の著作）を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教 科 書

開講日初日に指示するので、必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教美術	やました ゆうじ 山 下 裕 二	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏像や仏画を見れば、だれもがそれを「仏教美術」だと認識する。だが、きらびやかな色彩の花鳥画や、落ちついた水墨の動物画にも、仏教的なイメージは流れこんでいる。この講義では、一見「仏教美術」とは思われなような作品をあえてとりあげて、読み解いていくこととする。

講義の内容・授業スケジュール

①江戸時代の画家・伊藤若冲 ②南宋時代の画家・牧 谿 ③江戸時代初期の風俗画・彦根屏風、他にも適宜多数の作品を紹介し、最新の研究論文を読んでもらう。

履修上の留意点

仏教美術に対する固定化したイメージを捨てて講義に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートにより評価する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

参考文献は適宜コピーして配布する。

そ の 他

スライド・ビデオを多用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原始仏教	かた やま いち ろう 片 山 一 良	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教の源泉を原始仏教という。大乘であれ小乗であれ、そのすべては後代の呼び名に過ぎず、いずれの考えも原始仏教から出発している。釈尊が示されたものは、縁起、四諦の教え、あるいは無常・苦・無我という三相の見方であった。戒律を保ちまもることに始まり、少欲知足の生活をつねに教え導かれた。そこには智慧と慈悲の教えがあるのみで、何ら飾りは見られない。本講義では、このような原始仏教の教えを具体的に示し、またこの教えを通して「仏教」とは何かを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、仏伝を紹介し、縁起・四諦などの基本的思想について、後期は、中道ないし戒律の実践について見ることにする。

履修上の留意点

受講生は、まず、従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始仏典を直接読むことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。

参考書等

参考資料は適宜指示する。

その他

随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 史	はせべ はちろう 長谷部 八 朗	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教 科 書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参 考 書 等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教文化史	な ら やす あき 奈 良 康 明	短仏1・2選	4

講義のねらい

インド仏教を「教理」としてではなく、「文化」としてとらえて、検討したい。ここに「文化」とは生活様式、行動様式としての文化であり、「仏教徒」という社会を構成する人々（出家修行者および在家信者を含む）が、事実として、何を考え、どのように生活していたかをさぐる。したがって、悟りのレベルにある修行や教理、悟りに基づく倫理的生き方などは、無論、仏教である。同時に、功德を積んで良き後生を願う観念や行動、六道輪廻の理解、通過儀礼、祖先崇拜、呪術、祈願儀礼、占星等も仏教徒の生活「文化」である。両者は宗教的レベルと機能を異にするが故に、相互補完の形で共存し、その共存のあり方が興味ある研究対象である。又、インド仏教（徒）はそれを生み、育てたヒンドゥー世界とどうかかわり、如何に位置づけられるか、も興味ある研究テーマである。資料は梵語、パーリ（そして漢訳）語の経・律典と碑文、考古学的遺品等が中心となる。文献学的操作を経て得られた結果は、当時の仏教徒の現実の生活文化と、教義が主張するところとは大きなギャップのあることを示しているし、この構造は中国、韓国、日本ないし東南アジアのテラヴァーダの仏教文化でも同様である。そして、このギャップこそが仏教（宗教）教団の社会への定着・発展のダイナミズムとしてとらえられるべきものである。

以上の問題意識のもとに平成10年度は、おおよそ次のテーマにしたがって講義したい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 仏教を「文化」としてとらえるとはどういうことか
「仏教」をどうとらえるか
「文化」とは何か？
仏教（宗教）の二つのレベル；「世間」（自我充足）と出世間（自己凝視）
仏教文化の「表層」と「基層」
仏教文化研究の方法論；M. Spiro, M. Ames, 他
2. 古代インドにおける仏教文化とヒンドゥー文化
民族宗教としてのヒンドゥー教（世界）
ヒンドゥー教の特徴：神観念・宗派・特定の教義のないこと・ダルマ
カースト・ヴァルナ制度と仏教
古代インドの仏教徒とヒンドゥー教徒の関係（特にカーストをめぐる）
3. 仏教文化における業・輪廻思想の意味
古代インドにおける業・輪廻思想の成立
業思想の構造と機能（含む 死後世界の構造と機能）
一般的業論の「自覚的業論」への昇華
懺悔の思想と実践
業と果報の関係
業の止滅と改変
4. 功德観念の文化史的発展
善業と功德（punya）・悪業と悪徳（papa）
「作功德→生天」の図式的倫理的・宗教的意味
功德観念の「出世間レベル」への関係付けけない昇華
功德の廻向（adesana）と廻向（parinamana）
死者儀礼・祖先崇拜儀礼における功德観念
「生天」観念の発展と解脱の関係
5. 「餓鬼」（preta）研究
ヒンドゥー教におけるブレータと祖霊祭
古代インド仏典にみる「餓鬼世界」の住人としての餓鬼
古代インド仏典にみる死者儀礼と関わる餓鬼
『ペータヴァットゥ』『ヴィマーナヴァットゥ』における餓鬼供養の構造と意味
テラヴァーダ仏教における餓鬼観念の変遷と儀礼
中国、日本における餓鬼供養の構造と変遷

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
真 宗 学 概 論	ほん だ ひろ ゆき 本 多 弘 之	短仏1・2選	4

講義のねらい

現代の科学技術によってもたらされている豊かさや便利さのなかで、人間自身の内面の空虚さや人間関係の希薄さが増幅されている。こういう時代だからこそ、真に人間が充実しうる方法としての宗教的自覚を、各自が見出すべきことを明かにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

宗教的な要求のなかで、何故釈尊が新たなる道として、仏道を開いたのか。そしてその教えが中国・日本と伝わってきて、私たちの祖先がどのように仏教を取入れたのか。その中で、親鸞という人がどうして、浄土真宗という考え方を、その人間の見方を顕わしたのか。いわゆる浄土真宗の教えの特質とは何か。現代の私たちとしてそこから何を学ぶことができるのか。

成績評価の方法

出席率と講義内容をどれだけ受け止めているか（ペーパーテスト）を相加える。

教 科 書

『東本願寺版真宗聖典』3,000円

参 考 書 等

本多弘之著『はじめての親鸞』（草光舎）2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 蓮 教 学 概 論	わた なべ ほう よう 渡 邊 寶 陽	短仏1・2選	4

講義のねらい

この講座は、日蓮（1222-1282）の思想・教学を概観する試みである。
鎌倉新仏教の宗祖の一人に挙げられる日蓮聖人は、道元禅師の二十二年後に、安房の国（現在の千葉県）に生誕し、道元禅師も重要視した「法華経」を依経とする宗教活動を行なった。道元禅師の主著『正法眼蔵』中、もっとも引用の多い経典が「法華経」であることは、駒沢大学の歴代の教授によって研究されてきたことであるが、この講座ではできるだけ、そうした研究を意識しつつ、日蓮の法華経への取り組み方の特色を通じて、皆さんと一緒に法華仏教のありようを念頭に入れながら、仏教の存在を考えてみたい。

講義の内容は、簡単に日蓮の生涯を紹介し、「法華経の行者」として活動した軌跡をたどることによって、釈尊→天台大師智顛→伝教大師最澄→日蓮という系譜意識をもとにしつつも、次第に独特の仏教理解を発表していく日蓮の思想と教学を概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそ、次のようなスケジュールを進めたい。

- ・日本仏教の歴史を意識しながら、日蓮の生涯をたどる。
- ・比叡山遊学後、故郷を追放され、鎌倉に活動の場を求めた日蓮が、社会の動揺に直面して執筆した『立正安国論』について考える。
- ・『立正安国論』を幕府関係の実力者に献呈した後に受けた、大難四ヶ度、小難数知れずという受難の生涯のなかで、どのように法華経の行者意識が高まっていくかをたどる。
- ・最大の大難＝龍口法難ののち、佐渡に流罪され、その地で著わした重要著作、『開日抄』『如来滅後後五百歳始観心本尊抄』の概要とその意識について考える。
- ・ちょうど、後に『東方見聞録』を書いたマルコ・ポーロが大都（西安）に着いた頃、日蓮は佐渡流罪の地から甲斐（山梨県南巨摩郡）の身延山に隠棲する。時代は蒙古来襲に怯える危機が現実のものとなってきた。その最中に著わした『撰時抄』『報恩抄』について考える。
- ・身延山は新たな布教の拠点となっていた。特に「書簡」を通しての信徒の教化、心の通い合いは、今日になまなましく伝えられている。身延山時代の活動について考える。
- ・鎌倉新仏教（浄土宗・浄土真宗・曹洞宗・日蓮宗）の成立後、それぞれの宗派はさまざまな条件に添いながら、教団の社会への定着を余儀なくされる。これらについては改めての講義をする迄には至らないが、折々に皆さんと考えてみたい。

成績評価の方法

皆さんと一緒に考えていく雰囲気ですべてを進めたい。
したがって、簡単なペーパー等による意見表明を求めることもあろうし、夏休みに一定の課題について勉強して、それを報告してもらうこともあろう。

教科書

講義時にプリントを配布する。

参考書等

立正大学日蓮教学研究所編『日蓮宗読本』（平楽寺書店）
久保田正文『日蓮』（講談社現代新書）
その他については講義時に紹介したい。